総合検査案内

General Test Guidance



🛕 株式会社 武蔵臨床検査所

目次

		素で利用の手引引
/// 索引・ご利用の手引き	索引1 ご利用の手引き①	₹ 3 \$
生化学検査	蛋白	··A-13 (13)
内分泌学検査	下垂体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内 分 泌 学
⚠ 腫瘍関連検査	胎児性蛋白 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	腫 瘍 関連
◇◇◇薬物検査	抗てんかん剤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D-5 (31) 楽 🕳
クイルス学検査	肝炎ウイルス関連検査・・・・E-1 (33) ウイルス抗体の検出(HI・FA)・・・・E-8 (40) レトロウイルス・・・・・E-2 (34) ウイルス抗体の検出(EIA等)・・・E-9 (41) ウイルス抗原の検出・・・E-3 (35) ウイルス抗体の検出(NT)・・・E-4 (36) ウイルス抗体の検出(CF)・・・・E-7 (39)	ウイルス学
△ 免疫血清学検査	感染症血清反応 ·····F-1 (45) 免疫成分判定検査 ···F-10 (54) 蛋白 ······F-14 (48) 免疫グロブリン ·····F-10 (54) 補体 ········-F-5 (49) 競グロブリン(アルドー 自己免疫関連 ·····F-6 (50) 血液型検査 ·····F-9 (53)	免疫血清学
細胞性免疫検査	細胞性免疫検査G-1 (58)	細胞性免疫
へ 染色体検査・遺伝子関連検査	先天異常染色体 ······H-1 (61) 癌関連遺伝子 ········H-3 (63) 先天異常染色体 (FISH) ····H-1 (61) HLA検査·移植関連検査 ···H-4 (64) 血液疾患染色体 ······H-1 (61) 血液疾患染色体 ······H-2 (62) 免疫関連遺伝子 ······H-2 (62)	杂遣 色子関 体連
血液学検査	血液算定・機能 I-1 (65) 凝固因子 I-5 (69) 血液形態 I-2 (66) 血液特殊染色 I-2 (66) 血液寄生虫 I-2 (66) 出血凝固線溶 I-3 (67)	血液学
│	一般細菌検査・・・・・・J-1 (70) 慶受性誠実施薬剤と商品名・・・J-5 (74) 真菌検査・・・・・J-1 (70) 薬剤・受性試験における実施薬剤・・・J-6 (75) 特殊目的菌・原虫類・・・J-2 (71) 抗酸菌検査・・・・・J-3 (72) その他・・・・・J-4 (73)	微生物学
一般臨床検査	尿検査・・・・・・ K-1 (79) 精液検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	般臨床
// 病理学検査	病理組織検査・・・・・・L-1 (82) 細胞診検査・・・・・・L-1 (82) その他・・・・・・L-1 (82)	病理 理 学
↑ その他	新規項目············M-1 検査方法の概略······M-2 検体の安定性 他·····M-5	その _他 M
◇ 容器 一覧	容器—覧··············N-1 採取方法·············N-6	容器人
主要参考文献	生化学検査・・・・・・O-1 免疫血清学検査・・・・・O-5 一般臨床検査・・・・・ 内分泌学検査・・・・O-2 細胞性免疫検査・・・・O-7 病理学検査・・・・・・ 腫瘍関連検査・・・・O-3 染色検査・・・・O-8 ウイルス学検査・・・・O-4 微生物学検査・・・・O-8	

1-08 株 全 項 目 名 15 11 11 11 12 13 13 14 15 15 14 15 15 15 15								
52.58 アクチノミとス(核線面)(特別・日的面) J2 (71) — 1978		コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(本	文頁)	実施料 区分番号	判断料 包括	保険収載名称
52.58 アクチノミとス(核線面)(特別・日的面) J2 (71) — 1978	ア	0573 2908	亜鉛 (Zn)〈血清〉〈尿〉	A-11	(11)	136 D007-37	生化 I	亜鉛 (Zn)
5244 アスペルギルス (培養・目的館)			アクチノミセス (放線菌)(培養・目的菌)	J-2	(71)	_		
4173 アスペルギルス抗療 F2 (48) 157 D012-29 免疫 アスペルギルス抗原 F2 (46)		0764	アスコルビン酸(ビタミンC)	A-9	(9)	305 D007-60	生化 I	ビタミンC
1237 アスハルギルス抗体 F-2 (46)		5244	アスペルギルス(培養・目的菌)	J-2	(71)	_		
2633 アセトアミノフェン D.3 (29) 185 D007-46 生化1 アセトアミノフェン 2637 アナレン (山南) (原) A-14 (14)		4173	アスペルギルス抗原	F-2	(46)	157 D012-29	免疫	アスペルギルス抗原
2027 アセトン (血清) (原)		1237	アスペルギルス抗体	F-2	(46)	_		
1431		2633	アセトアミノフェン	D-3	(29)	185 D007-46	生化 I	アセトアミノフェン
400他 アデノ (NT)			アセトン〈血清〉〈尿〉	A-14	(14)	_		
4156 アデノウイルス抗原定性 E-3 (35) 60 D012-7 免疫 アデノウイルス抗原定性 (雲便) 0770 アデノシンアアミナーゼ (ADA) (歯清) (歯水) A2 (22) 32 D007-11 生化 I アデノシンアアミナーゼ (ADA) 3995 アトビー鑑別試験 (ファディアトーブ) F-11 (55) 49 D015-21 免疫 アレンジンアミナーゼ (ADA) 1995 アメ蛋白 A-1 A-4 (4) 1996 アメ蛋白 A-1 A-4 (4) 1996 アメ蛋白 A-1 A-4 (4) 1996 アメ蛋白 A-1 A-4 (4) 1997 アボ蛋白 A-1 A-4 (4) 1998 アメ蛋白 B-1 A-4 (4) 1998 アミナダロン D-2 (28) 分目の7-10 生化 I アボリボ蛋白 B-1 A-4 (4) 1998 アミナダロン D-2 (28) 分目の7-10 生化 I アボリボ蛋白 日本 日本 日本 1998 アミナグロン D-2 (28) 分目の7-10 生化 I アボリボ蛋白 日本 1998 アミナグロン D-2 (28) 分目の7-10 生化 II アミナ 日本 日本 1998 アミナグロン D-2 (28) 分目の7-10 生化 II アミナ 日本 日本 1998 アミナグロン D-2 (28) 分目の1-2 日本 日本 日本 1998 日本 199		4001	アデノ《CF》	E-7	(39)	79 D012-11	免疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
1947 アデノシンデアミナーゼ (ADA) (血清) (海水) A.2 (2) 32 D007-11 生化 I アデノシンデアミナーゼ (ADA) (血清) (海水) A.2 (2) 32 D007-11 生化 I アデノシンデアミナーゼ (ADA) (1945 1944 D015-21 免 疫 アトビー鑑別試験定性 9807-2 特定策削法検管理科 1995 ア水蛋白 A-I A-4 (4) 1097 アボ蛋白 A-I A-4 (4) 1198 ア水蛋白 B A-4 (4) 1199 アボ蛋白 C-I A-4 (4) 1100 アボ蛋白 C-II アボリボ蛋白 C-II ロー アボリズ蛋白 C-II ロー アボリズ蛋白 C-II ロー アンター C-II ロー アングー C		4002他	アデノ《NT》	E-5	(37)	79 D012-11	免疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
1414			アデノウイルス抗原定性	E-3	(35)	60 D012-7	免疫	アデノウイルス抗原定性(糞便)
2628 アプリンジン D.2 (28) 参 B001-2 特定薬剤治療管理料 2626 アヘン素泉製検査 D.3 (29) — 1096 アボ蛋白 A-I A-4 (4) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			アデノシンデアミナーゼ(ADA)〈血清〉〈胸水〉	A-2	(2)	32 D007-11	生化 I	アデノシンデアミナーゼ(ADA)
2666 アハン系麻薬検査		3595	アトピー鑑別試験(ファディアトープ)	F-11	(55)	194 D015-21	免 疫	アトピー鑑別試験定性
1096 アボ蛋白 A - I A-4 (4) 1項目 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1097 アボ蛋白 A - II A-4 (4) 2項目 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1098 アボ蛋白 B A-4 (4) 2項目 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1009 アボ蛋白 C - II A-4 (4) 62 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1100 アボ蛋白 C - II A-4 (4) 93 III D007-10 生化I アボリボ蛋白 1100 アボ蛋白 C - II A-4 (4) 93 III D007-10 生化I アボリボ蛋白 1101 アボ蛋白 E A-4 (4) 94 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1101 アボ蛋白 E A-4 (4) 94 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1101 アボ蛋白 E A-4 (4) 94 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1101 アボ蛋白 E A-4 (4) 94 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1101 アボ蛋白 E A-4 (4) 94 D007-10 生化I アボリボ蛋白 1101 アボ蛋白 E A-7 (7) 1141 D010-4 生化II アジリ ロ 5種類以上 1044 アミノ酸分詞 (血漿) 原〉 A-7 (7) 1141 D010-4 生化II アミノ酸 ロ 5種類以上 1044 アミノ酸分詞 (血漿) 原〉 A-2 (2) 11 D007-1 生化I アミラーゼ 1046 アミラーゼ (Anny) (血清) (尿) A-2 (2) 11 D007-1 生化I アミラーゼ 1057 アメーバ検査 K-2 (80) 64 D017-3 微生物 非地 ※地収入総砂路膨脂機を その他のもの 1016 アルカリフォスファターゼ (ALP) A-1 (1) 11 D007-1 生化I アルカリカスファターゼ (ALP) 1046 アルドステロン (血清) (血漿) (尿) B-4 (18) 125 D008-16 生化I アルドステロン 10002 アルドステロン (血清) (血酸) (尿) B-4 (18) 125 D008-16 生化I アルドラーゼ 10002 アルブミン (AlD) A-1 (1) 11 D007-1 生化I アルドラーゼ 10002 アルブミン (AlD) A-1 (1) 11 D007-1 生化I アルドラーゼ 10003 アルブミン (AlD) A-1 (1) 11 D007-1 生化I アルドラーゼ 10003 アルブミン (ADD) A-1 (1) 11 D007-1 生化I アルドラーゼ 10003 アルブミン (ADD) A-1 (1) 11 D007-1 生化I アルドラーゼ 10004 アルブラン (ADD) A-1 (1) 11 D007-1 生化I アルドラーゼ 1005 アルブランシンI 転換酵素 (ACE) B-3 (17) 140 D007-38 生化I アルミニウム (ADD) 10725 アンジオテンシンI 転換酵素 (ACE) B-3 (17) 140 D007-38 生化I アンギオテンシンI 転換酵素 (ACE) 1162 アンチトロンビン (AT) (活性		2628	アプリンジン	D-2	(28)	母 B001-2		特定薬剤治療管理料
1097 アボ蛋白 A-Ⅱ		2666	アヘン系麻薬検査	D-3	(29)	_		
1098 アボ蛋白 B A-4(4) 2項目 D007-10 生化 I アボリボ蛋白 1099 アボ蛋白 C-II A-4(4) 1100 アボ蛋白 C-II A-4(4) 1110 アボ蛋白 C-II A-4(4) 1110 アボ蛋白 C-II A-4(4) 1110 アボ蛋白 E A-4(4) 1110 アボ蛋白 E A-4(4) 94 D007-10 生化 I アボリボ蛋白 1110 アボ蛋白 E A-4(4) 94 D007-10 生化 I アボリボ蛋白 1110 アボ蛋白 E A-4(4) 94 D007-10 生化 I アボリボ蛋白 1110 アボ蛋白 E A-4(4) 94 D007-10 生化 I アボリボ蛋白 1110 アボ蛋白 E A-4(4) 94 D007-10 生化 I アボリボ蛋白 1110 アボリボエリ 1110 アボリボエリ 1110 710 年化 I アボリボ蛋白 1110 7110 7110 年化 I アボリボ蛋白 1110 7110 7110 7110 7110 7110 7110 711		1096	アポ蛋白 AーI	A-4	(4)	1項目 D007-10	生化 I	アポリポ蛋白
1099 アボ蛋白 C-Ⅱ A-4 (4) 1100 アボ蛋白 C-Ⅲ A-4 (4) 1110 アボ蛋白 C-Ⅲ A-4 (4) 1110 アボ蛋白 C-Ⅲ A-4 (4) 1111 アボ蛋白 E 特定素剤治療管理料		1097	アポ蛋白 A-II	A-4	(4)	31 D007-10	生化 I	アポリポ蛋白
1100 アボ蛋白 C-Ⅲ				A-4	(4)	2項目 D007-10	生化 I	アポリポ蛋白
1101 アボ蛋白 E		1099	アポ蛋白 C-II	A-4	(4)		生化 I	アポリポ蛋白
2869 アミオダロン D-2(28) 参 B001-2 特定薬剤治療管理料 2648 アミカシン D-2(28) 参 B001-2 特定薬剤治療管理料 0598 アミノ酸11分画〈血漿〉 A-7(7)1141 D010-4 生化 T アミノ酸 ロ 5種類以上 1044 アミノ酸分画〈血漿〉(尿) A-7(7)1141 D010-4 生化 T アミノ酸 ロ 5種類以上 0598 アミノ酸分画〈血漿〉(尿) A-7(7)1141 D010-4 生化 T アミノ酸 ロ 5種類以上 05974 アミラーゼ (Amy)〈血清〉(尿) A-2(2)11 D007-1 生化 I アミラーゼ 0757 アメーバ検査 K-2(80)64 D017-3 微生物 排燃、み出放口分剤の凝累燃油検査 40他のもの 0016 アルカリフォスファターゼ(ALP) A-1(1)11 D007-1 生化 I アルカリホステロン 0758 アルドステロン(血清〉(尿) B-4(18)125 D008-16 生化 I アルドステロン 0758 アルドステロン(血清〉(尿) B-4(18)125 D008-16 生化 I アルドステロン 077 アルドステロン(ム油)〈ログログリン上 (ACG) A-1(1)11 D007-1 生化 I アルドステロン 078 アルブミン (Alb) A-1(1)11 D007-1 生化 I アルドステロン 079 アルブミン (Alb) A-1(1)11 D007-1 生化 I アルドステロン 070 アルブラン (Alb) A-1(1)11 D007-1 生化 I アルドステロン 070 アルブラン (Alb) A-1(1)11 D007-1 生化 I アルドステロン 070 アルブラン (Alb) A-1(1)11 D007-1 生化 I アルミーウム(Al) 072 アルベカシン D-2(28)参 B001-2 特定薬剤治療管理料 166 アルミーウム(Al) A-1(1)12 D007-29 生化 I アルミーウム(Al) 0725 アンジオテンシン I 転換酵素(ACE) B-3(17)140 D007-38 生化 I アンモーアム (Al) 0725 アンデカスミン (API)(ログラスミンインヒビター)(活性)1-4(68)128 D006-15 血液 アンチトロンビン活性 0350 アンチトロンビン (AT)(活性) 1-4(68)128 D006-15 血液 アンチトロンビン活性 0350 アンチフラスミン (API)(ログラスミンインヒビター)(活性)1-4(68)128 D006-15 血液 アンチトロンビン活性 0350 アンチフラスミン (API)(ログラスミンインヒビター)(活性)1-4(68)128 D006-15 血液 アンチトロンビン活性 0350 アンチフラスミン (API)(ログラスミンインヒビター)(活性)1-4(68)128 D006-15 血液 アンチトロンビン活性 0350 アンチフラスミン (API)(ログラスミンインヒビター)(国グのインスに対し		1100	アポ蛋白 C-Ⅲ				生化 I	アポリポ蛋白
2648 アミカシン D-2 (28)		1101	アポ蛋白 E			94 D007-10	生化 I	
0598 アミノ酸11分画(血漿)						∯ B001-2		
1044								
1045 アミラモゼ (Amy) 〈血清〉〈尿〉		1011						
10.567 アミラーゼアイソザイム (Amyアイソザイム) (血清) (尿) A-3 (3) 48 D007-14 生化 I アミラーゼアイソザイム 2573 アメーバ検査 K-2 (80) 64 D017-3 微生物		1045						
2573 アメーバ検査 K-2 (80) 64 D017-3 微生物 排泄物、β出物又は分泌物の細胞類酸核酸 その他のもの 0016 アルカリフォスファターゼ (ALP) A-1 (1) 11 D007-1 生化 I □ アルカリホスファターゼ (ALP) 7ルドステロン (血清) (血漿) (尿) B-4 (18) 125 D008-16 生化 I ■ アルドステロン 4446 7ルドステロン/レニン活性比 (高血圧) (アルドステロン産性 (ALP) A-2 (2) 11 D007-1 生化 I □ アルドラーゼ 0027 アルドラーゼ (ALD) A-2 (2) 11 D007-1 生化 I □ アルドラーゼ 0002 アルブミン (Alb) A-1 (1) 11 D007-1 生化 I □ アルブミン (BCP改良法・BCG法) 0003 アルブミン (グロブリン比 (A/G) A-1 (1) -					` '			
0016 アルカリフォスファターゼ (ALP) A-1 (1) 11 D007-1 生化 I □ アルカリホスファターゼ (ALP) 872-7 アルドステロン (血清) (血漿) (尿) B-4 (18) 125 D008-16 生化 I ■ アルドステロン 446-6 アルドステロン (血清) (血漿) (尿) B-4 (18)								
8726 8727 7ルドステロン (血清) (血漿) (尿) 8-4 (18) 125 D008-16 生化 II 7ルドステロン 4466 7ルドステロン/レニン活性比 (高血圧) (アルドステロン症) 8-4 (18) -								
44466								
O027 アルドラーゼ (ALD)						125 D008-16	生1℃Ⅱ ■	アルトステロン
0002 アルブミン (Alb)						11 0007 1	#/LT □	7 II I = 1
0003 アルブミン/グロブリン比(A/G)								
2650 アルベカシン D-2 (28)						_	エルエ	/ M / C / (DUF以及広・DUU広)
1065 アルミニウム (AI) A-11 (11) 112 D007-29 生化 I アルミニウム (AI) 0725 アンジオテンシン I 転換酵素(ACE) B-3 (17) 140 D007-38 生化 I アンギオテンシン I 転換酵素(ACE) 1162 アンチトロンビン (AT)《活性》 I-4 (68) 70 D006-10 血 液 アンチトロンビン活性 0350 アンチブラスミン (α₂PI) (α₂プラスミンインヒビター)(活性) I-4 (68) 128 D006-15 血 液 ブラスミンインヒビター (アンチブラスミン) 0043 アンモニア (NH3) A-7 (7) 50 D007-16 生化 I アンモニア 1181 イオン化カルシウム (Ca²+) A-10 (10) 26 D007-7 生化 I アンモニア 1181 イオン化カルシウム (Ca²+) A-14 (14) 120 D007-33 生化 I イヌリン 0150 インスリン (IRI) B-6 (20) 103 D008-10 生化 I インスリン (IRI) 0891 インスリン抗体 B-6 (20) 110 D014-6 免 疫 抗インスリン抗体 0824 インフルエンザA型《CF》 E-7 (39) 79 D012-11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり) 0825 インフルエンザB型《CF》 E-7 (39) 79 D012-11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)						∯ R∩∩1-2		特 定薬剤治療管理料
0725 アンジオテンシン I 転換酵素(ACE)								
1162 アンチトロンビン (AT)《活性》 I-4 (68) 70 D006-10 血 液 アンチトロンビン活性 0350 アンチプラスミン (a₂Pl) (a₂プラスミンインヒビター)(活性) I-4 (68) 128 D006-15 血 液 ▽ プラスミンインヒビター (アンチプラスミン) 0043 アンモニア (NH₃) A-7 (7) 50 D007-16 生化 I アンモニア 1181 イオン化カルシウム (Ca²+) A-10 (10) 26 D007-7 生化 I □ イオン化カルシウム 2939 イヌリン 〈血清〉〈尿〉 A-14 (14) 120 D007-33 生化 I イヌリン 0150 インスリン (IRI) B-6 (20) 103 D008-10 生化 II インスリン (IRI) 0891 インスリン抗体 B-6 (20) 110 D014-6 免 疫 抗インスリン抗体 0824 インフルエンザA型《CF》 E-7 (39) 79 D012-11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり) 0825 インフルエンザB型《CF》 E-7 (39) 79 D012-11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)								
0350 アンチプラスミン (α₂PI)(α₂プラスミンインヒビター)(活性) I-4 (68) 128 D006-15 血 液 ▽ プラスミンインヒビター (アンチプラスミン) 0043 アンモニア (NH₃) A-7 (7) 50 D007-16 生化 I アンモニア								
A-7 (7) 50 D007-16 生化 I アンモニア								
イ 1181 イオン化カルシウム(Ca²+) A-10 (10) 26 D007-7 生化 I □ イオン化カルシウム 2939 2940 イヌリン〈血清〉〈尿〉 A-14 (14) 120 D007-33 生化 I								
2939 2940イヌリン〈血清〉〈尿〉A-14 (14)120 D007-33生化 Iイヌリン0150 0891インスリン (IRI)B-6 (20)103 D008-10生化 IIインスリン (IRI)0891 0824インフルエンザA型《CF》B-6 (20)110 D014-6免 疫抗インスリン抗体0825 		30.10			/	30 2007 10		
2939 2940イヌリン〈血清〉〈尿〉A-14 (14)120 D007-33生化 Iイヌリン0150 0891インスリン (IRI)B-6 (20)103 D008-10生化 IIインスリン (IRI)0891 0824インフルエンザA型《CF》B-6 (20)110 D014-6免 疫抗インスリン抗体0825 0825インフルエンザB型《CF》E-7 (39)79 D012-11免 疫ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり)	1	1181	イオン化カルシウム(Ca²+)	A-10	(10)	26 D007-7	生化I □	イオン化カルシウム
0150 インスリン (IRI)B-6 (20)103 D008-10 生化II インスリン (IRI)0891 インスリン抗体B-6 (20)110 D014-6 免 疫 抗インスリン抗体0824 インフルエンザA型《CF》E-7 (39)79 D012-11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり)0825 インフルエンザB型《CF》E-7 (39)79 D012-11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり)								
0891 インスリン抗体B-6 (20)110 D014-6免疫抗インスリン抗体0824 インフルエンザA型《CF》E-7 (39)79 D012-11免疫ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり)0825 インフルエンザB型《CF》E-7 (39)79 D012-11免疫ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり)								
0824 インフルエンザA型《CF》 E-7 (39) 79 D012-11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり) 0825 インフルエンザB型《CF》 E-7 (39) 79 D012-11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり)								
0825 インフルエンザB型《CF》 E-7 (39) 79 D012−11 免 疫 ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり)								
						79 D012-11		
4013 「フラルエング 《III》		4013	インフルエンザ《HI》	E-8	(40)	79+79 D012-11	免疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)

-	
-	_
-	
- 1	7
- 7	-

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	本文頁)	実施料	区分番号	判断料区分	包括	保険収載名称
ゥ	5240	ウレアプラズマ(培養・目的菌)	J-2	(71)	_				
	2851	ウロポルフィリン〈血液〉	A-10		_				
	1051	ウロポルフィリン〈尿〉	A-10	(10)	105	D001-10	尿・便	į	ウロポルフィリン(尿)
I	0551他	I⊐- 《HI》	E-8	(40)	79	D012-11	免疫	Ē	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	1105他	I □ - 《NT》	E-4	(36)	79	D012-11	免疫	Ē	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0469	エステラーゼ染色〈血液〉	I-2	(66)	27	D005-6(注)	血液	Ī	末梢血液像(鏡検法) (注)特殊染色を併せて行った場合の加算(特殊染色ごとに)
	0464	エステラーゼ染色〈骨髄液〉	I-2	(66)	40	D005-14(注)	血液	Ī	骨髄像 (注) 特殊染色を併せて行った場合の加算 (特殊染色ごとに)
	0736	エストラジオール(E ₂)	B-6	(20)	172	D008-36	生化Ⅱ		エストラジオール(E ₂)
	1197	エストロジェンレセプター	L-1	(82)	720	N002-1	病理	1	エストロジェンレセプター
	0778	エタノール	A-14	(14)	108	D007-27	生化 I		エタノール
	0663	エトスクシミド	D-1	(27)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	0773	エラスターゼ1	C-2	(24)	123	D009-8	生化Ⅱ	\Diamond	エラスターゼ1
	0876	エリスロポエチン(EPO)	B-8	(22)	209	D008-41	生化Ⅱ		エリスロポエチン
		塩基性フェトプロテイン(BFP)	C-1	(23)	150	D009-16	生化Ⅱ	\Diamond	塩基性フェトプロテイン(BFP)
	1106 1062	エンテロ《NT》	E-6	(38)	_				
	2949	エンドトキシン定量《ES法》	F-2	(46)	236	D012-50	免疫	Ę	エンドトキシン
オ	0702	黄体形成ホルモン(LH)	B-1	(15)	108	D008-13	生化Ⅱ		黄体形成ホルモン(LH)
		オーム病抗体	F-3	(47)		D012-11	免疫	Ē	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
		オステオカルシン(BGP)	B-3		157	D008-28	生化Ⅱ		オステオカルシン(OC)
	1702	オリゴクローナルバンド	F-10	(54)	522	D004-11	尿・傾		オリゴクローナルバンド
カ	2670	覚せい剤検査	D-3	(29)	_				
	0362	喀痰中好酸球	I-1	(65)	15	D005-3	血液	ē	好酸球(鼻汁・喀痰)
	1768	ガストリン放出ペプチド前駆体(Pro-GRP)	C-2	(24)	175	D009-21	生化Ⅱ	\Diamond	ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)
	0340	活性化部分トロンボプラスチン(APTT)	I-3	(67)	29	D006-7	血液	ē	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)
	0717 0719 4382	カテコールアミン3分画〈血漿〉〈尿〉〈蓄尿〉	B-5	(19)	165	D008-33	生化Ⅱ		カテコールアミン分画
	0045	カドミウム(Cd)〈血液〉〈尿〉	A-11	(11)	_				
	2660	ガバペンチン	D-1	(27)	得	B001-2			特定薬剤治療管理料
	1798	可溶性インターロイキンー2レセプター (sIL-2R)	G-2	(59)	438	D009-30	生化Ⅱ	\Diamond	可溶性インターロイキンー2レセプター(slL-2R)
	0046 0176	カリウム(K)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10	(10)	11	D007-1	生化I		カリウム
	0048 0125	カルシウム(Ca)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10	(10)	11	D007-1	生化 I		カルシウム
	0892	カルシトニン(CT)	B-3	(17)	133	D008-20	生化Ⅱ		カルシトニン
	2857	カルニチン(ビタミンBt)	A-9	(9)	95+95	D007-23	生化 I		総カルニチン、遊離カルニチン
	0785	カルバマゼピン	D-1	(27)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	1372	肝細胞増殖因子(HGF)	B-8	(22)	227	D007-52	生化 I		肝細胞増殖因子(HGF)
	5251	カンジダ(培養・目的菌)	J-2	(71)	-				
	1148	カンジダマンナン抗原	F-2	(46)	134	D012-21	免疫	Ę	カンジダ抗原定量
		感受性試験・1菌種(一般細菌)	J-1	(70)	180	D019-1	微生物	J	細菌薬剤感受性検査 1菌種
		感受性試験・2菌種(一般細菌)	J-1	(70)	230	D019-2	微生物	J	細菌薬剤感受性検査 2菌種
		感受性試験・3菌種以上(一般細菌)	J-1	(70)	290	D019-3	微生物)	細菌薬剤感受性検査 3菌種以上
	0549	感受性試験・4薬剤以上(抗酸菌)	J-3	(72)	400	D022	微生物	0	抗酸菌薬剤感受性検査(培地数に関係なく)
	7001	感受性試験(酵母様真菌)	J-1	(70)	150	D019-2	微生物	J	酵母様真菌薬剤感受性検査
	0232	間接クームス試験	F-9	(53)	47	D011-2	免疫	Ę	Coombs試験 口 間接
	0168	癌胎児性抗原(CEA)	C-1	(23)	99	D009-2	生化Ⅱ	\Diamond	癌胎児性抗原(CEA)
	2858	癌胎児性フィブロネクチン	B-7	(21)	204	D015-23	免疫	Ž	癌胎児性フィブロネクチン定性(頸管膣分泌液)
	5230	カンピロバクター(培養・目的菌)	J-2	(71)	_				

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	(頁文本	実施料	区分番号	判断区	f料 分	包括	保険収載名称
カ	0208	寒冷凝集反応	F-1	(45)	11	D014-1	免	疫		寒冷凝集反応
丰	2627	キニジン	D-2	(28)	特	B001-2				特定薬剤治療管理料
7		凝固抑制因子検査第VⅢ因子	I-5	(69)	144	D006-20	ш́	液		凝固因子インヒビター
	2691	凝固抑制因子検査第Ⅸ因子	I-5	(69)	144	D006-20	血	液	∇	凝固因子インヒビター
	0417	蟯虫卵《セロファンテープ法》	K-2	(80)	20	D003-2	尿・	便		糞便塗抹顕微鏡検査(虫卵、脂肪及び消化状況観察を含む。)
ク	1040	グアナーゼ	A-2	(2)	35	D007-12	生化	ίΙ		グアナーゼ
	2821 2822	クエン酸〈血清〉〈尿〉	A-6	(6)	_					
	1195	クラミジア・トラコーマチス抗体IgA&IgG	F-2	(46)	200	D012-40	免	疫		グロブリンクラス別クラミジア・トラコマチス抗体
	1921他	クラミジア・トラコーマチス/リアルタイムPCR	F-2	(46)	193	D023-2	微生	物		クラミジア・トラコマチス核酸検出
	1821	クラミジア・ニューモニエ抗体lgA	F-2	(46)	75	D012-10	免	疫		クラミドフィラ・ニューモニエIgA抗体
	1822	クラミジア・ニューモニエ抗体lgG	F-2	(46)	70	D012-9	免	疫		クラミドフィラ・ニューモニエIgG抗体
	1841	クラミジア・ニューモニエ抗体IgM	F-2	(46)	152	D012-27	免	疫		クラミドフィラ・ニューモニエIgM抗体
	0587 2829	グラムキソン(パラコート)〈血清〉〈尿〉	D-4	(30)	_					
	0583	クリオグロブリン	F-4	(48)	42	D015-5	免	疫		クリオグロブリン定性
	1278	グリコアルブミン(GA)	A-6	(6)	55	D007-17	生化	ίI		グリコアルブミン
	5237	クリプトコッカス(培養・目的菌)	J-2	(71)	_					
	4189	クリプトコッカスネオフォルマンス抗原	F-3	(47)	174	D012-35	免	疫		クリプトコックス抗原定性
	0055	グルコース(血糖)(GLU)	A-6	(6)	11	D007-1	生化	ίI		グルコース
	0039 0064	クレアチニン(Cre)〈血清〉〈蓄尿〉	A-6	(6)	11	D007-1				クレアチニン
		クレアチニンクリアランス	A-12		_					
	0071	クレアチニンクリアランス(24時間)	A-12		_					
	0040 0073	クレアチン(Cret)〈血清〉〈蓄尿〉	A-6	(6)	11	D007-1	生化	ίI		クレアチン
		クレアチンキナーゼ(CK)	A-2	(2)	11	D007-1	生化	: I	П	クレアチンキナーゼ(CK)
	0047 0177	クロール(CI)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10		11	D007-1	生化	ΞI	П	ナトリウム及びクロール
			K-2			D007-1	生化	ίΙ		ナトリウム及びクロール
		クロストリジオイデス・ディフィシル (C・ディフィシル)(培養・目的菌)			_					
		クロストリジオイデス・ディフィシル毒素(C・ディフィシル毒素)			80	D012-12	免	疫		クロストリジオイデス・ディフィシル抗原定性
	0244他	クロスマッチ(交差適合試験)	F-9	(53)	_					
		クロナゼパム	D-1		得	B001-2				特定薬剤治療管理料
	0855	クロバザム	D-1			B001-2				特定薬剤治療管理料
	2912 2913 2914	クロム(Cr)〈血液〉〈血清〉〈尿〉	A-11		-					
ケ	2947	結核菌IFN-γ SPOT数《ELISPOT法》	J-3	(72)	594	D015-30	免	疫		結核菌特異的インターフェロンー γ 産生能
	5906	結核菌群核酸同定/リアルタイムPCR	J-3	(72)	410	D023-13	微生	物		結核菌群核酸検出
	5908	結核菌群・MAC核酸同定セット/リアルタイムPCR	J-3	(72)	_					
	5902	結核菌群同定	J-3	(72)	410	D023-13	微生	物		結核菌群核酸検出
	0303	血色素量(Hb)	I-1	(65)	21	D005-5	血	液		末梢血液一般検査
	0308	血小板数(PLT)	I-1	(65)	21	D005-5	血	液		末梢血液一般検査
		血小板第4因子(PF-4)	I-4	(68)						血小板第4因子(PF4)
		血小板表面IgG(PA-IgG)	F-7			D011-6	免			血小板関連IgG(PA-IgG)
		血漿レニン活性(PRA)	B-3			D008-8	生化			レニン活性
		血清アミロイドA蛋白(SAAP)	F-4			D015-6	免			血清アミロイドA蛋白(SAA)
		血清補体価 (CH ₅₀)	F-5			D015-4	免			血清補体価 (CH ₅₀)
		結石鑑別《定量》	A-14			D010-2	生化			結石分析
		血沈(赤沈・ESR)	I-1	(65)	_					
		血糖 (GLU) (グルコース)		(6)		D007-1	生化	; T		グルコース
	5555		, , ,	(0)	1.1				_	· · · - · · ·

ч	_
- 1	5
- 1	2

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	本文頁)	実施料	区分番号	判断区分	料包括	保険収載名称
ケ	0568 3706	ケトン体分画〈静脈血〉〈動脈血〉	A-14	(14)	59	D007-19	生化	Ι	ケトン体分画
		幻覚剤検査	D-3	(29)	_				
	0503	嫌気性菌培養・同定	J-1	(70)	122	D018(注)	微生	物	細菌培養同定検査 (注)嫌気性培養加算
	2646	ゲンタマイシン	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	1913	抗BP180抗体	F-8	(52)	270	D014-33	免	疫	抗BP180-NC16a抗体
	1907	抗CCP抗体(抗シトルリン化ペプチド抗体)	F-6	(50)	198	D014-24	免	疫	抗シトルリン化ペプチド抗体定量
	1257	抗CL $-\beta_2$ GP I 複合体抗体(抗カルジオリピン・ β_2 GP I 複合体抗体)	F-7	(51)	223	D014-27	免	疫	抗カルジオリピンβ2グリコプロテインΙ複合体抗体
	0807	抗DNA抗体	F-7	(51)	163	D014-17	免	疫	抗DNA抗体定量
	1226	抗ds-DNA抗体IgG	F-7	(51)	163	D014-17	免	疫	抗DNA抗体定量
	4217	抗ds-DNA抗体IgM	F-7	(51)	_				
	1767	抗GAD抗体	B-6	(20)	134	D008-21	生化	II	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)
	1906	抗IA-2抗体	B-6	(20)	213	D008-43	生化	I	抗IA-2抗体
	1160	抗Jo-1抗体	F-7	(51)	140	D014-9	免	疫 ▲	抗Jo-1抗体半定量
	1159	抗Jo-1抗体《定量》	F-7	(51)	140	D014-9	免	疫 ▲	抗Jo-1抗体定量
	1908	抗LKM-1抗体	F-6	(50)	215	D014-25	免	疫	抗LKM-1抗体
	4455	抗MuSK抗体(抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体)	F-8	(52)	1000	D014-45	免	疫	抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体
	1902	抗p53抗体	C-2	(24)	163	D009-19	生化		抗p53抗体
	0576	抗RNP抗体	F-6	(50)	144	D014-11	免	疫 ▲	抗RNP抗体半定量
	0588	抗RNP抗体《定量》	F-6	(50)	144	D014-11	免	疫 ▲	抗RNP抗体定量
	2976	抗ScI-70抗体	F-7	(51)	157	D014-14	免	疫 ▲	抗ScI-70抗体半定量
	1025	抗ScI-70抗体《定量》	F-7	(51)	157	D014-14	免	疫 ▲	抗ScI-70抗体定量
	0577	抗Sm抗体	F-6	(50)	151	D014-12	免	疫 ▲	抗Sm抗体半定量
	1918	抗Sm抗体《定量》	F-6	(50)	151	D014-12	免	疫 ▲	抗Sm抗体定量
	0679	抗SS-A抗体	F-6	(50)	161	D014-16	免	疫 ▲	抗SS-A/Ro抗体半定量
	2900	抗SS-A抗体《定量》	F-6	(50)	161	D014-16	免	疫 ▲	抗SS-A/Ro抗体定量
	0680	抗SS-B抗体	F-6	(50)	158	D014-15	免	疫 ▲	抗SS-B/La抗体半定量
	2903	抗SS-B抗体《定量》	F-6	(50)	158	D014-15	免	疫 ▲	抗SS-B/La抗体定量
	1227	抗ss-DNA抗体IgG	F-7	(51)	163	D014-17	免	疫	抗DNA抗体定量
	4219	抗ss-DNA抗体IgM	F-7	(51)	_				
	1107	抗アセチルコリンレセプター結合抗体	F-8	(52)	798	D014-43	免	疫	抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)
	0649	抗胃壁細胞抗体(抗パリエタル細胞抗体)	F-8	(52)	_				
	4252	抗インスリンレセプター抗体	F-8	(52)	_				
		好塩基性斑点赤血球	I-2	(66)	_				
		抗核抗体(ANA)	F-6		102	D014-5	免	疫	抗核抗体(蛍光抗体法)半定量
		抗ガラクトース欠損IgG(CARF)	F-6			D014-7		疫	抗ガラクトース欠損IgG抗体定量
		抗カルジオリピン・β ₂ GP I 複合体抗体 (抗CL – β ₂ GP I 複合体抗体)		(51)		D014-27		疫	抗カルジオリピンβ2グリコプロテインΙ複合体抗体
		抗カルジオリピン抗体IgG	F-7			D014-28		疫	抗カルジオリピンIgG抗体
		抗カルジオリピン抗体IgM	F-7			D014-28	免		抗カルジオリピンIgM抗体
		高感度PSA	C-2			D009-9			
		高感度心筋トロポニンT	F-5			D007-29	生化		心筋トロポニンT(TnT)定性・定量
		好気性菌培養・同定(血液又は穿刺液)		(70)		D018-3	微生		細菌培養同定検査 血液又は穿刺液
		好気性菌培養・同定(口腔、気道又は呼吸器からの検体)		(70)		D018-1	微生		細菌培養同定検査口腔、気道又は呼吸器からの検体
		好気性菌培養・同定(消化管からの検体)	J-1	(70)		D018-2	微生		細菌培養同定検査消化管からの検体
		好気性菌培養・同定(その他の部位からの検体)		(70)		D018-5	微生		細菌培養同定検査その他の部位からの検体
		好気性菌培養・同定(泌尿器又は生殖器からの検体)		(70)		D018-4	微生		細菌培養同定検査泌尿器又は生殖器からの検体
		抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)		(52)		D014-45	免		抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体
	0641	抗血小板抗体	F-7	(51)	261	D011-8	免	疫	抗血小板抗体

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(本	(頁文才	実施料	区分番号	判图区	分包括	保険収載名称
	1258	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(TPO-Ab)	B-2	(16)	142	D014-10	免	疫 ▲	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体
	1788	抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)(C-ANCA)	F-8	(52)	259	D014-31	免	疫	抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体(PR3-ANCA)
	1804	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)(P-ANCA)	F-8	(52)	258	D014-30	免	疫	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)
	1031	抗サイログロブリン抗体(Tg-Ab)	B-2	(16)	140	D014-9	免	疫 ▲	抗サイログロブリン抗体
	0244他	交差適合試験 (クロスマッチ)	F-9	(53)	_				
	0317	好酸球数	I-1	(65)	17	D005-4	血	液	好酸球数
	7916	抗酸菌同定(164菌種)《質量分析法》	J-3	(72)	361	D021	微生	物	抗酸菌同定
	5901	抗酸菌分離培養(MGIT法)	J-3	(72)	300	D020-1	微生	物	抗酸菌分離培養(液体培地法)
	0512	抗酸菌分離培養(小川培地法)	J-3	(72)	209	D020-2	微生	物	抗酸菌分離培養 (それ以外のもの)
	4240	抗糸球体基底膜抗体	F-8	(52)	262	D014-32	免	疫	抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)
	1907	抗シトルリン化ペプチド抗体(抗CCP抗体)	F-6	(50)	198	D014-24	免	疫	抗シトルリン化ペプチド抗体定量
	1792	甲状腺刺激抗体(TSH刺激性レセプター抗体)(TSAb)	B-2	(16)	340	D014-38	免	疫	甲状腺刺激抗体(TSAb)
	0173	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	B-1	(15)	101	D008-9	生化	ΞI	甲状腺刺激ホルモン(TSH)
	0204	抗ストレプトキナーゼ(ASK)	F-1	(45)	29	D012-3	免	疫	抗ストレプトキナーゼ(ASK)半定量
	1024	抗セントロメア抗体	F-7	(51)	174	D014-19	免	疫	抗セントロメア抗体定量
	1179	好中球殺菌能	G-1	(58)	-				
	1194	好中球貪食能	G-1	(58)	_				
	1904	抗デスモグレイン1抗体	F-8	(52)	300	D014-37	免	疫	抗デスモグレイン1抗体
	1905	抗デスモグレイン3抗体	F-8	(52)	270	D014-33	免	疫	抗デスモグレイン3抗体
	0649	抗パリエタル細胞抗体(抗胃壁細胞抗体)	F-8	(52)	-				
	0558	抗皮膚抗体(ASA)	F-8	(52)	_				
	2600	抗副腎皮質抗体	F-8	(52)	_				
	0669	抗平滑筋抗体	F-8	(52)	_				
	7001	酵母様真菌感受性試験	J-1	(70)	150	D019-2	微生	E物	酵母様真菌薬剤感受性検査
	4230	抗ミトコンドリアM2抗体	F-7	(51)	189	D014-21	免	疫	抗ミトコンドリア抗体定量
	0887	抗ミトコンドリア抗体	F-7	(51)	181	D014-20	免	疫	抗ミトコンドリア抗体半定量
	4424	抗ミュラー管ホルモン(AMH)	B-6	(20)	600	D008-52	生化	ΞI	抗ミュラー管ホルモン(AMH)
	0709	抗利尿ホルモン(バゾプレシン)(AVP)	B-1	(15)	230	D008-47	生化	II	抗利尿ホルモン(ADH)
	2667	コカイン系麻薬検査	D-3	(29)	_				
	0834他	コクサッキーA群・B群《CF》	E-7	(39)	79	D012-11	免	疫	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	4052他	コクサッキーA群・B群《NT》	E-5(37)	E-6(38)	79	D012-11	免	疫	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	1892	骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	A-1	(1)		D008-30			骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)
			I-2	(66)	788	D005-14	Щ		骨髄像
	0776	コプロポルフィリン〈血液〉	A-10	(10)		D007-50	生化	ΞI	赤血球コプロポルフィリン
	0777	コプロポルフィリン〈尿〉	A-10	(10)	131	D001-14	尿·	便	コプロポルフィリン(尿)
	0022	コリンエステラーゼ(ChーE)	A-2	(2)	11	D007-1	生化	íI 🗆	コリンエステラーゼ(ChE)
	0728	コルチゾール〈血清〉	B-4	(18)	124	D008-15	生化	iI ■	コルチゾール
	1714	コルチゾール〈蓄尿〉	B-4	(18)	124	D008-15	生化		コルチゾール
サ		サイアミン(ビタミンB1)	A-9	(9)	239	D007-53	生化	ίI	ビタミンB ₁
	1193 3971	サイクリックAMP(c-AMP)〈血漿〉〈尿〉	B-8	(22)	170	D008-35	生化	II 🔳	サイクリックAMP (cAMP)
	1268	サイトケラチン19フラグメント (シフラ)(CYFRA)	C-2	(24)	158	D009-17	生化		サイトケラチン19フラグメント(シフラ)
		サイトメガロ(CMV)《CF》	E-7		79	D012-11	免	疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
		サイトメガロ(CMV)IgG《CLIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免	疫	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
		サイトメガロ(CMV)IgM《CLIA》	E-9		206	D012-42	免	疫	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	4144	サイトメガロウイルスpp65抗原(C7-HRP)	E-3	(35)	366	D012-54	免	疫	サイトメガロウイルスpp65抗原定性
	4094	サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア	E-3	(35)		D012-54		疫	サイトメガロウイルスpp65抗原定性
	9821他	細胞診検査・呼吸器、蓄痰、体腔液、穿刺液	L-1	(82)	190	N004-2	病	理	細胞診(1部位につき)・穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるもの

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(本文頁)	実施料	区分番号	判断料区分	包括	保険収載名称
サ	9801他	細胞診検査・婦人科	L-1	(82)	150	N004-1	病 理		細胞診(1部位につき)・婦人科材料等によるもの
9		サイロイドテスト	B-2	(16)		D014-3	免疫		抗サイログロブリン抗体半定量
	0712	サイロキシン結合グロブリン(TBG)	B-2	(16)	130	D008-17	生化Ⅱ		サイロキシン結合グロブリン(TBG)
	0639	サイログロブリン(Tg)	B-2	(16)	131	D008-18	生化Ⅱ		サイログロブリン
	1220	サリチル酸	D-3	(29)	(B001-2			特定薬剤治療管理料
シ	1084	ジアゼパム	D-1	(27)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	0763	シアノコバラミン(ビタミンB12)	A-9	(9)	140	D007-38	生化 I		ビタミンB ₁₂
	1041	シアリルLe ^X ーi抗原(SLX)	C-1	(23)	144	D009-14	生化Ⅱ	\Diamond	シアリルLe ^x ーi抗原(SLX)
	1213	シアリルTn-抗原(STN)	C-1	(23)	146	D009-15	生化Ⅱ	\Diamond	シアリルTn抗原(STN)
	1835	子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ	B-7	(21)	119	D004-8	尿・便		顆粒球エラスターゼ(子宮頸管粘液)
	1280	シクロスポリン	D-3	(29)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	0788	ジゴキシン	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	4526	シスタチンC	A-7	(7)	115	D007-30	生化 I		シスタチンC
	1017	ジソピラミド	D-2	(28)	得	B001-2			特定薬剤治療管理料
	5206	ジフテリア菌(培養・目的菌)	J-2	(71)	_				
	1268	シフラ (CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	C-2	(24)	158	D009-17	生化Ⅱ	\Diamond	サイトケラチン19フラグメント(シフラ)
	2618	シベンゾリン	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	4406	脂肪酸分画(4成分)	A-4	(4)	405	D010-7	生化Ⅱ		脂肪酸分画
	2996	酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ5b(TRACP-5b)	B-3	(17)	156	D008-27	生化Ⅱ		酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)
	5005	真菌塗抹鏡検	J-1	(70)	64	D017-3	微生物		排泄物, 滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 その他のもの
	5006	真菌培養・同定	J-1	(70)	_				
	0674	神経特異エノラーゼ(NSE)	C-2	(24)	142	D009-12	生化Ⅱ	\Diamond	神経特異エノラーゼ(NSE)
	1138	心室筋ミオシン軽鎖I	F-5	(49)	184	D007-45	生化I		心室筋ミオシン軽鎖I
	0451	浸透圧〈血清〉	A-12	(12)	15	D005-3	血液		血液浸透圧
	0452	浸透圧〈尿〉	A-12	(12)	16	D001-3	尿・便		尿浸透圧
	0453	浸透圧〈透析液〉	A-12	(12)	_				
ス	1233	膵PLA2(膵ホスホリパーゼA2)	A-2	(2)	204	D007-49	生化I		ホスフォリパーゼA2(PLA2)
	0421	髄液一般検査	K-2	(80)	62	D004-4	尿・便		髄液一般検査
	0183 0184	膵型アミラーゼ(P型アミラーゼ)〈血清〉〈尿〉	A-3	(3)	48	D007-14	生化I		アミラーゼアイソザイム
	0780 1427	水銀(Hg)〈血液〉〈尿〉	A-11	(11)	_				
	2864	推算糸球体濾過量(eGFR)	A-6	(6)	_				
	0822	水痘・帯状ヘルペス(VZV)《CF》	E-7	(39)	79	D012-11	免 疫		ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	1019	水痘・帯状ヘルペスIgG(VZV)《EIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免 疫		グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	1020	水痘・帯状ヘルペスIgM(VZV)《EIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免 疫		グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	5212	髄膜炎菌(培養・目的菌)	J-2	(71)	_				
	1233	膵ホスホリパーゼA2(膵PLA2)	A-2	(2)	204	D007-49	生化 I		ホスフォリパーゼA2(PLA2)
七	0431	精液一般検査	K-3	(81)	70	D004-5	尿・便		精液一般検査
	1056	精子不動化抗体	F-8	(52)	_				
	3733	脆弱X染色体	H-1	(61)2	2553+397	D006-5-1+注	遺・染		染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
	0701	成長ホルモン(GH)	B-1	(15)	108	D008-13	生化Ⅱ		成長ホルモン(GH)
	0355	赤沈(血沈・ESR)	I-1	(65)	_				
	0302	赤血球数(RBC)	I-1	(65)	21	D005-5	血液		末梢血液一般検査
	0330	赤血球像(R-Hg)	I-2	(66)	_				
	1083	赤血球プロトポルフィリン	A-10	(10)	272	D007-56	生化I		赤血球プロトポルフィリン
	0626	セルロプラスミン(Cp)	F-4	(48)	90	D015-9	免 疫		セルロプラスミン

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(本	(頁文本	実施料	区分番号	判断料 区分	括	保険収載名称
七	2909	セレン (Se)	A-11	(11)	144	D007-39	生化I		セレン
۲	0888 3949	セロトニン〈血液〉〈血漿〉	B-5	(19)	_				
	0428	穿刺液一般検査	K-3	(81)	_				
	2503	全脂質構成脂肪酸分画	A-4	(4)	405	D010-7	生化Ⅱ		脂肪酸分画
	0815他	染色体検査〈先天異常〉	H-1	(61)2	2553+397	D006-5-1+注	遺・染		染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
	0816	染色体検査〈血液疾患〉	H-1	(61)2	2553+397	D006-5-1+注	遺・染		染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
	0569	前立腺特異抗原(PSA)		(24)		D009-9		>	前立腺特異抗原(PSA)
				, ,				•	
1	3721	造血器腫瘍細胞抗原検査(白血病・リンパ腫解析検査(LLA))	G-1	(58)	1940	D005-15	血液		造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
	0028	総コレステロール(T-Cho)	A-4	(4)	17	D007-3	生化I[総コレステロール
	0172	総サイロキシン (T ₄)	B-2	(16)	108	D008-12	生化Ⅱ		サイロキシン (T4)
	0591 2886	総三塩化物	A-13		_				
	0191	総胆汁酸(TBA)	A-4	(4)	47	D007-13	生化I		胆汁酸
		総蛋白(TP)	A-1	, ,		D007-1	生化I「		総蛋白
		総鉄結合能(TIBC)	A-10			D007-1			総鉄結合能(TIBC)(比色法)
	0008	総ビリルビン(T-Bil)	A-1			D007-1	生化Ⅰ		総ビリルビン
		総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)				D010-5	生化Ⅱ		総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)
		組織ポリペプチド抗原(TPA)	C-2			D009-5			組織ポリペプタイド抗原(TPA)
		ゾニサミド	D-1			B001-2	T10 H		特定薬剤治療管理料
		ソマトメジンーC	B-1		_		生化π▮		ソマトメジンC
	1009		D-1	(13)	212	D000 42	⊥ 10± ■		7 (17) 20
L	2684	第Ⅲ因子活性	I-5	(69)	223	D006-30	血液で		凝固因子(第Ⅱ因子、第Ⅴ因子、第Ⅶ因子、第Ⅷ因子、
タ		第V因子活性	I-5	(69)		D006-30	血液	_	第IX因子、第IX因子、第IX因子、第IXI因子、第IXII因子) 凝固因子(第II因子、第IV因子、第IVI因子、第IVI因子、
		第VII因子活性	I-5	(69)		D006-30	血液	_ :	第Ⅸ因子、第Ⅺ因子、第Ⅺ因子、第Ⅻ因子、第Ⅻ因子) 凝固因子(第Ⅲ因子、第Ⅵ因子、第Ⅷ因子、第Ⅷ因子、
		第2個因子活性	I-5	(69)		D006-30	, ,,	_	第Ⅸ因子、第Ⅹ因子、第Ⅺ因子、第Ⅻ因子、第Ⅷ因子) 凝固因子(第Ⅲ因子、第Ⅴ因子、第Ⅷ因子、第Ⅷ因子、
		第7個囚子様抗原(フォン・ウィルブランド因子定量)	I-5	(69)					第IX因子、第IX因子、第IX因子、第IX因子、第IXI因子) von Willebrand因子(VWF)抗原
		第以因子活性	I-5	(69)		D006-21 D006-30	血液		凝固因子(第II因子、第V因子、第VI因子、第VII因子、
								· .	第Ⅸ因子、第Ⅹ因子、第Ⅺ因子、第Ⅻ因子、第Ⅻ日子) 凝固因子(第Ⅲ因子、第Ⅴ因子、第Ⅷ因子、第Ⅷ因子、
		第X因子活性	I-5	(69)		D006-30	血液、		第IX因子、第IX因子、第II因子、第III因子) 凝固因子(第II因子、第IV因子、第II因子、第III因子、
	2688	第双因子活性	I-5	(69)		D006-30	血液、		凝固因子(第11因子、第12因子、第121日子、第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日子,第121日
	2689	第四日子后性	I-5	(69)		D006-30	血液、		凝固因子(第Ⅱ因子、第V因子、第Ⅵ因子、第Ⅶ因子、 第Ⅳ因子、第Ⅹ因子、第刈因子、第洳因子、第Ⅷ因子) 凝固因子(第Ⅲ因子、第Ⅴ因子、第Ⅷ因子、第Ⅷ因子、
	1052	第四因子定量	I-5	(69)		D006-30	血液		凝固因子(第11因子、第12因子,第12因子,12因子,12因子,12因子,12因子,12因子,12因子,12因子,
	5225	大腸菌血清型別	J-2	(71)		D012-36	免疫		大腸菌血清型別
		大腸菌ベロトキシン	J-2	(71)	189	D023-2-3	似土物		大腸菌ベロトキシン定性
	2668	大麻・マリファナ検査	D-3	(29)	-	D004 0			4. ウ 被 文心 / c · 体 · 四 · 凶
	1864	タクロリムス ************************************		(29)		B001-2	<i>h</i>		特定薬剤治療管理料
	0821 1028	単純ヘルペス(HSV)《CF》	E-7	(39)		D012-11	免疫		ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	1029	単純ヘルペス(HSV)1型・2型《NT》		(36)		D012-11	免疫		ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	1172	単純ヘルペスIgG (HSV)《EIA》		(41)		D012-42	免疫		グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	1173	単純ヘルペスIgM(HSV)《EIA》		(41)		D012-42	免疫		グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	1104	単純ヘルペスウイルス特異抗原〈塗抹標本〉		(35)		D012-37	免疫		単純ヘルペスウイルス抗原定性
		蛋白定量〈髄液〉		(80)		D007-1	生化I[総蛋白
		蛋白定量〈穿刺液〉	K-3	, ,		D007-1	生化Ⅰ	_	
	0069	蛋白分画(PR-F)	A-1	(1)	18	D007-4	生化I[蛋白分画
	1700	- > > L 1 1 1 1 1 1 1 1 1		(2)	0.5.5	D005 : 3	4 4		-: _
チ		チミジンキナーゼ活性(TK)	A-2	(2)		D005-12	血液		デオキシチミジンキナーゼ(TK)活性
	0032	中性脂肪(TG)	A-3			D007-1	生化I[中性脂肪
	0489	虫体鑑別	K-2			D003-3	尿・便		虫体検出(糞便)
	0416	虫卵《集卵法》	K-2	(80)	15	D003-1	尿・便		虫卵検出(集卵法)(糞便)

	⊐-۴No.	検 査 項 目 名	頁数(2	本文頁)	実施料	区分番号	判断区外	料包括	保険収載名称
7	0/15	虫卵《塗抹法》	K-2	(80)	20	D003-2	尿・		- 糞便塗抹顕微鏡検査(虫卵、脂肪及び消化状況観察を含む。)
チ		直接クームス試験	F-9	(53)		D000 2	免		Coombs試験 イ 直接
		直接ビリルビン(D-Bil)	A-1					Ι []	
		沈渣〈穿刺液〉	K-3	(81)	_				
	0409	沈渣〈尿〉	K-1		_				
	0690	沈渣・尿酸結晶〈穿刺液〉	K-3	(81)	50	D004-2	尿・	便	関節液検査
	1169	沈渣・ピロリン酸Ca〈穿刺液〉	K-3	(81)	50	D004-2	尿•	便	関節液検査
ッ	4174	ツツガ虫 Gilliam IgG	F-3	(47)	207	D012-43	免	疫	ツツガムシ抗体半定量
	4175	ツツガ虫 Gilliam IgM	F-3	(47)	207	D012-43	免	疫	ツツガムシ抗体半定量
	4178	ツツガ虫 Karp IgG	F-3	(47)	207	D012-43	免	疫	ツツガムシ抗体半定量
		ツツガ虫 Karp IgM		(47)		D012-43		疫	ツツガムシ抗体半定量
		ツツガ虫 Kato IgG		(47)		D012-43		疫	ツツガムシ抗体半定量
	4177	ツツガ虫 Kato IgM	F-3	(47)	207	D012-43	免	疫	ツツガムシ抗体半定量
テ	1659	テイコプラニン	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	4254	定量クームス試験	F-9	(53)	47	D011-2	免	疫	Coombs試験 口 間接
	1895	デオキシピリジノリン(DPD)	B-3	(17)	191	D008-39	生化	II	デオキシピリジノリン(DPD)(尿)
	0633	テオフィリン	D-3	(29)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	0733	テストステロン	B-7	(21)	122	D008-14	生化	II	テストステロン
	0052	鉄(Fe)	A-10	(10)	11	D007-1	生化	ΙI	鉄(Fe)
	0470	鉄染色〈血液〉	I-2	(66)	27	D005-6(注)	血	液	末梢血液像(鏡検法) (注)特殊染色を併せて行った場合の加算(特殊染色ごとに)
	0465	鉄染色〈骨髄液〉	I-2	(66)	40	D005-14(注)	血	液	骨髄像 (注)特殊染色を併せて行った場合の加算(特殊染色ごとに)
	1635	デハイドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA $-$ S)	B-4	(18)	169	D008-34	生化	II	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)
	0051	銅(Cu)〈血清〉〈尿〉	A-11	(11)	22	D007-5	ナル	т	銅(Cu)
	1951	透析液/R2A	J-4		_	D007-5	土工	, L 🗀	到的(Cu)
		糖定量〈髄液〉	K-2		11	D007-1	生化	т П	グルコース
		トキソプラズマ抗体IgG	F-1			D007 1	免		トキソプラズマ抗体
	4431	トキソプラズマ抗体IgM	F-1				免		トキソプラズマIgM抗体
		特異的IgE(シングルアレルゲン)	F-11					疫	特異的IgE半定量・定量
		特異的IgE(マルチアレルゲン)	F-11				免		特異的IgE半定量・定量
		トコフェロール(ビタミンE)	A-9		_				
	2647	トブラマイシン	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	0501	塗抹鏡検 (一般細菌)	J-1	(70)	64	D017-3	微生	.物	排泄物、渗出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 その他のもの
	0509	塗抹鏡検(抗酸菌・蛍光法)	J-3	(72)	50	D017-1	微生	.物	排泄物、冰出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 営光顕微鏡、位相差顕微鏡、暗視野装置等を使用するもの
	0511	塗抹鏡検(抗酸菌・チールネルゼン法)	J-3	(72)	64	D017-3	微生	.物	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 その他のもの
	5005	塗抹鏡検 (真菌)	J-1	(70)	64	D017-3	微生	.物	排泄物、渗出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 その他のもの
	0766	トランスフェリン(Tf)〈血清〉	F-4	(48)	60	D015-7	免	疫	トランスフェリン(Tf)
	1242	トランスフェリン(Tf)〈尿〉	F-4	(48)	101	D001-9	尿・	便	トランスフェリン(尿)
	1067 2872 2875	トリクロル酢酸	A-13		_				
	5281	トリコモナス(培養・目的菌)	J-2		_				
	0592	トリプシン	A-2				生化		トリプシン
	0171	トリヨードサイロニン (T3)	B-2			D008-7	生化		トリヨードサイロニン (T3)
	1055	トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)		(68)					トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)
	2560	トロンボモジュリン(TM)〈血清〉〈血漿〉	I-4	(68)	204	D006-28	Ш	液▽	トロンボモジュリン
ナ	0045 0175	ナトリウム(Na)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10	(10)	11	D007-1	生化	: I 🗆	ナトリウム及びクロール

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(本	(頁文才	実施料	区分番号	判断。区分	料包括	保険収載名称
ナ	0781	鉛 (Pb)	A-11	(11)	-				
_	2921	ニッケル(Ni)	A-11	(11)	_				
	0695	ニトラゼパム	D-1	(27)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	0831	日本脳炎《CF》	E-7	(39)	79	D012-11	免力	变	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	4091	日本脳炎《HI》	E-8	(40)	79	D012-11	免力	变	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0858	乳酸	A-6	(6)	47	D007-13	生化	I	有機モノカルボン酸
	0019	乳酸脱水素酵素(LD)	A-1	(1)	11	D007-1	生化	I 🗆	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)
	0118		A-2	(2)	41	D001-5	尿・イ	更	Nーアセチルグルコサミニダーゼ(NAG)(尿)
	0041 0065	尿酸(UA)〈血清〉〈蓄尿〉	A-6	(6)	11	D007-1	生化	Ι 🗆	尿酸
	1898 3898	尿素呼気試験 (ユービット)(ピロニック)	F-3	(47)	70	D023-2-2	微生物	物	尿素呼気試験(UBT)
	2865	尿素クリアランス	A-12	(12)	_				
	0037 0063	尿素窒素(BUN)〈血清〉〈蓄尿〉	A-6	(6)	11	D007-1	生化	Ι 🗌	尿素窒素
		尿中Ⅳ型コラーゲン	F-5	(49)	184	D001-15	尿・1	更	Ⅳ型コラーゲン(尿)
	1888	尿中NMP22	C-2	(24)	143	D009-13	生化	П ♦	核マトリックスプロテイン22 (NMP22) 定量 (尿)
	0182 0181	尿中アルブミン	F-4	(48)	99	D001-8	尿・1	更	アルブミン定量(尿)
		尿中一般物質定性半定量検査	K-1	(79)	_				
	0498	尿蛋白定量	K-1	(79)	7	D001-1	尿・1	更	尿蛋白
	4462	尿蛋白定量《クレアチニン補正》	K-1	(79)	_				
	0402	尿糖定量	K-1	(79)	9	D001-2	尿・1	更	尿グルコース
1	1765	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	B-8	(22)	136	D008-22	生化	II I	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)
	1764	脳性Na利尿ペプチド(BNP)	B-8	(22)	133	D008-20	生化	п 🔳	脳性Na利尿ペプチド(BNP)
	2578 2579	農薬スクリーニング〈血液〉〈尿〉	D-4	(30)	_				
		ノロウイルスーRNAマルチ	E-3	(35)	_				
	1915	ノロウイルス抗原《EIA》	E-3	(35)	_				
/\	1886	肺サーファクタントプロテインA(SP-A)	F-5	(49)	130	D007-35	生化	Ι	肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)
	1889	肺サーファクタントプロテインD(SP-D)	F-5	(49)	136	D007-37	生化	Ι	肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)
	0268	梅毒定性(TP抗体定性)	F-1	(45)	32	D012-4	免	变	梅毒トレポネーマ抗体定性
	0267	梅毒定性(RPR定性)	F-1	(45)	15	D012-1	免	变	梅毒血清反応(STS)定性
	0270	梅毒定量(TP抗体定量)	F-1	(45)	53	D012-6	免	变	梅毒トレポネーマ抗体定量
	0269	梅毒定量(RPR定量)	F-1	(45)	34	D012-5	免	变	梅毒血清反応(STS)定量
	0301	白血球数(WBC)	I-1	(65)	21	D005-5	血	夜	末梢血液一般検査
	0318	白血球像(W-Hg)	I-2	(66)	15	D005-3	血	夜	末梢血液像(自動機械法)
	3721	白血病・リンパ腫解析検査(LLA)(造血器腫瘍細胞抗原検査)	G-1	(58)	1940	D005-15	血	夜	造血器腫瘍細胞抗原検査 (一連につき)
	0709	バゾプレシン(AVP)(抗利尿ホルモン)	B-1	(15)	230	D008-47	生化		抗利尿ホルモン(ADH)
		馬尿酸	A-13	(13)	_				
	3993 0720 0849	バニリルマンデル酸(VMA)〈血漿〉〈蓄尿〉 《クレアチニン補正》	B-5	(19)	90	D008-4	生化	П	バニールマンデル酸(VMA)
	0710	ハプトグロビン(Hp)	F-5	(49)	132	D015-14	免	变	ハプトグロビン(型補正を含む。)
	0871	パラインフルエンザ1型(HA-2)《HI》	E-8	(40)	79	D012-11	免力	变	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0872	パラインフルエンザ2型(CA)《HI》	E-8	(40)	79	D012-11	免力	变	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0873	パラインフルエンザ3型(HA-1)《HI》	E-8	(40)	79	D012-11	免力	变	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0587 2829	パラコート(グラムキソン)〈血清〉〈尿〉	D-4	(30)	_				
	0787	バルプロ酸ナトリウム	D-1	(27)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	1254	パルボウイルスB19DNA	E-3	(35)	_				
	4073	パルボウイルスB19抗体IgG《EIA》	E-9	(41)	_				
	4070	パルボウイルスB19抗体IgM《EIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免	变	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)

	⊐-ドNo.	検 査 項 目 名	頁数(本文頁)	実施料	区分番号	判断料 包括	保険収載名称
/\	1037	ハロペリドール	D-1	(27)	特	B001-2		特定薬剤治療管理料
	1658	バンコマイシン	D-2	(28)	(B001-2		特定薬剤治療管理料
上	1012	ヒアルロン酸	A-6	(6)	179	D007-43	生化I	ヒアルロン酸
	0359	鼻汁中好酸球	I-1	(65)	15	D005-3	血液	好酸球(鼻汁・喀痰)
	0643	ヒスタミン	B-8	(22)	_			
	1144	ビタミンA(レチノール)	A-9	(9)	_			
	0761	ビタミンB1(サイアミン)	A-9	(9)	239	D007-53	生化 I	ビタミンB1
	0763	ビタミンB ₁₂ (シアノコバラミン)	A-9	(9)	140	D007-38	生化 I	ビタミンB ₁₂
	0762	ビタミンB ₂ (リボフラビン)	A-9	(9)	242	D007-54	生化 I	ビタミンB2
	1137	ビタミンB6	A-9	(9)	_			
	2857	ビタミンBt(カルニチン)	A-9	(9)	95+95	D007-23	生化 I	総カルニチン、遊離カルニチン
	0764	ビタミンC(アスコルビン酸)	A-9	(9)	305	D007-60	生化 I	ビタミンC
	2505	ビタミンE(トコフェロール)	A-9	(9)	_			
	0765	ビタミンM(葉酸)	A-9	(9)	150	D007-41	生化 I	葉酸
	0795	非特異的IgE(IgE)	F-11	(55)	100	D015-10	免 疫	非特異的IgE定量
	4531	ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	F-5	(49)	135	D007-36	生化 I	心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定量
	1108	ヒト心房性Na利尿ポリペプチド(hANP)	B-8	(22)	221	D008-46	生化Ⅱ ■	心房性Na利尿ペプチド(ANP)
	3964 3965	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)〈血清〉〈尿〉	B-6	(20)	134	D008-21	生化Ⅱ ■	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量
	4181	百日咳菌核酸検出	F-3	(47)	360	D023-12	微生物	百日咳菌核酸検出
	4182	百日咳菌抗体一IgA	F-3	(47)	80	D012-12	免疫	百日咳菌抗体定性
	4183	百日咳菌抗体-IgM	F-3	(47)	80	D012-12	免 疫	百日咳菌抗体定性
	4180	百日咳菌抗体《EIA》	F-3	(47)	257	D012-51	免疫	百日咳菌抗体
	5234	百日咳菌(培養・目的菌)	J-2	(71)	_			
	9901他	病理組織検査	L-1	(82)	860	N000	病 理	病理組織標本作製(1臓器につき)
	2629	ピルシカイニド	D-2	(28)	特	B001-2		特定薬剤治療管理料
	1093	ピルビン酸	A-6	(6)	47	D007-13	生化 I	有機モノカルボン酸
	2652	ピルメノール	D-2	(28)	特	B001-2		特定薬剤治療管理料
フ	3595	ファディアトープ(アトピー鑑別試験)	F-11	(55)	194	D015-21	免疫	アトピー鑑別試験定性
	0405	フィッシュバーグ濃縮試験	A-12	(12)	(100)	D289-2	_	その他の機能テスト 肝機能テスト
	0338	フィブリノーゲン(FIB)	I-3	(67)	23	D006-4	血液	フィブリノゲン定量
	4405	フィブリンモノマー複合体定量	I-3	(67)	221	D006-29	血液▽	フィブリンモノマー複合体
	0236	風疹《HI》	E-8	(40)	79	D012-11	免 疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0556	風疹IgG《EIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免疫	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	0557	風疹IgM《EIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免 疫	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	0784	フェニトイン	D-1	(27)	(B001-2		特定薬剤治療管理料
	0783	フェノバルビタール	D-1	(27)	(B001-2		特定薬剤治療管理料
	0149	フェリチン	F-4	(48)	105	D007-25	生化 I	フェリチン定量
	2565	フォン・ウィルブランド因子活性(リストセチンコファクター)	I-5	(69)	129	D006-16	血液▽	von Willebrand因子(VWF)活性
	0348	フォン・ウィルブランド因子定量(第Ⅷ因子様抗原)	I-5	(69)	147	D006-21	血液▽	von Willebrand因子(VWF)抗原
	0579	不規則性抗体	F-9	(53)	159	D011-4	免疫	不規則抗体
	1253	副甲状腺ホルモン関連蛋白-intact(PTHrP-intact)	B-2	(16)		D008-38		副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)
		副甲状腺ホルモンーintact(PTHーintact)	B-2			D008-33		副甲状腺ホルモン(PTH)
	0715	副甲状腺ホルモンwhole(whole PTH)	B-2	(16)	165	D008-33	生化Ⅱ ■	副甲状腺ホルモン(PTH)
	0704	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	B-1	(15)	189	D008-38	生化Ⅱ ■	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)
	0054	不飽和鉄結合能(UIBC)	A-11	(11)	11	D007-1	生化 I 🗌	不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)
	0349	プラスミノーゲン(PLG)《活性》	I-4	(68)	100	D006-13	血液	プラスミノゲン活性

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	(頁文本	実施料	区分番号	判断。区分	料包括	保険収載名称
フ	2674	プラスミノーゲン(PLG)《抗原量》	I-4	(68)	100	D006-13		夜	プラスミノゲン抗原
	0786	プリミドン	D-1	(27)	(B001-2			特定薬剤治療管理料
	1705	プレアルブミン	F-4	(48)	104	D015-12	免	变	トランスサイレチン(プレアルブミン)
	1633	フレカイニド	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	3969	プレグナンジオール(P2)	B-6	(20)	213	D008-43	生化	II I	プレグナンジオール
	3970	プレグナントリオール(P3)	B-6	(20)	232	D008-48	生化		プレグナントリオール
	1789	プロカインアミド	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	0893	プロカルシトニン(PCT)	F-2	(46)	284	D007-58	生化	Ι	プロカルシトニン(PCT)定量
	1196	プロジェステロンレセプター	L-1	(82)	690	N002-2	病	理	プロジェステロンレセプター
	1039	プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)	F-5	(49)	136	D007-37	生化	Ι	プロコラーゲンーⅢーペプチド(PーⅢ−P)
	0735	プロゲステロン	B-7	(21)	147	D008-24	生化		プロゲステロン
	1221	プロテインC《活性》	I-4	(68)	234	D006-32	血	夜 ▽	プロテインC活性
	2679	プロテインC《定量》	I-4	(68)	232	D006-31	血	夜 ▽	プロテインC抗原
		プロテインS《活性》	I-4	(68)	163	D006-24	血	夜 ▽	プロテインS活性
	2681 2680	プロテインS《定量》《遊離型》	I-4	(68)	158	D006-23	血	夜 ▽	プロテインS抗原
	0336	プロトロンビン時間(PT)	I-3	(67)	18	D006-2	血	夜	プロトロンビン時間(PT)
	2631	プロパフェノン	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
		ブロムペリドール	D-1			B001-2			特定薬剤治療管理料
	0706	プロラクチン(PRL)	B-1	(15)	98	D008-6	生化	II	プロラクチン(PRL)
^	0307	平均赤血球血色素濃度(MCHC)	I-1	(65)	_				
	0306	平均赤血球血色素量(MCH)	I-1	(65)	_				
	0305	平均赤血球容積(MCV)	I-1	(65)	_				
	2635	ベプリジル	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	4457	ペプシノゲン(PG)	A-14	(14)	_				
		ヘマトクリット値(Ht)	I-1	(65)	21	D005-5	血	夜	末梢血液一般検査
	0189	ヘモグロビンA1c(HbA1c)	A-6	(6)	49	D005-9	血	夜	ヘモグロビンA1c(HbA1c)
		ヘリコバクター・ピロリ抗体《定性》	F-3			D012-9	免		ヘリコバクター・ピロリ抗体定性・半定量
		ヘリコバクター・ピロリ抗体《定量》	F-3			D012-12	免	变	ヘリコバクター・ピロリ抗体
		ヘリコバクター・ピロリ/培養		(73)	190	D018-2	微生物	物	細菌培養同定検査消化管からの検体
		ヘリコバクター・ピロリ/感受性試験	J-4						
		ペルオキシダーゼ染色〈血液〉	I-2	(66)		D005-6(注)			末梢血液像(鏡検法) (注)特殊染色を併せて行った場合の加算(特殊染色ごとに)
		ペルオキシダーゼ染色〈骨髄液〉		(66)		D005-14(注)	ш ;	夜	骨髄像(注)特殊染色を併せて行った場合の加算(特殊染色ごとに)
		ベンス・ジョーンズ蛋白定性(BJP定性)	K-1			D045 60	h	<u>-</u>	
		ベンス・ジョーンズ蛋白同定(BJP同定)	F-10				免		Bence Jones蛋白同定(尿)
		便中カルプロテクチン	F-5			D003-9	尿・位		カルプロテクチン(糞便)
		便中へモグロビン(便中Hb)	K-2				尿・位		糞便中へモグロビン定性 **煙中へモグロビン:
		便中へモグロビン(便中Hb)《定量》	K-2				尿・位		糞便中へモグロビン ペー・ピロリ共原学性
		便中へリコバクター・ピロリ抗原	F-3	, ,		D012-24	兄 ?	艾	ヘリコバクター・ピロリ抗原定性
		便培養(2菌種) (シゲラ・サルモネラ) 便培養(3菌種) (シゲラ・サルモネラ・O-157)	J-4		_				
		使培養(4菌種)(シゲラ・サルモネラ・0-157・ビブリオ/コレラ・腸炎ビブリオ)			_				
		扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)	J-4 C-2			D009-4	生化		扁平上皮癌関連抗原(SCC)
赤		放線菌 (アクチノミセス)(培養・目的菌)	J-2		-				
		ホモシステイン	A-7			D010-4	生化		アミノ酸 イ 1種類につき
	3948 2511 4532	ホモバニリン酸(HVA)〈血漿〉〈蓄尿〉、《クレアチニン補正》	B-5	(19)	69	D008-3	生化	II	ホモバニリン酸(HVA)

	コードNo.	検 査 項 目 名	百数(2	本文頁)	実施料	区分番号	判断		保険収載名称
							区分		
~		マイクロゾームテスト		(16)		D014-3		夏	抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量
		マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー(MAC)核酸同定/リアルタイムPCR		(72)		D023-14	微生物		マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー (MAC) 核酸検出
		マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー (MAC)核酸同定		(72)		D023-14	微生物		マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー (MAC) 核酸検出
		マイコプラズマ抗体《CF》	F-1	(45)		D012-4		克	マイコプラズマ抗体半定量
		マイコプラズマ抗体《PA》	F-1	(45)		D012-4		克 -	マイコプラズマ抗体半定量
	2731	マイコプラズマニューモニエDNA同定	F-1	(45)	291	D023-6	微生物	7 0	マイコプラズマ核酸検出
	0050	マイコプラズマ(培養・目的菌)		(71)		D007.4	4-71.		_ #`_ ` /
	0127	マグネシウム(Mg)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10			D007-1	生化		マグネシウム
	4111	麻疹《NT》	E-4	(36)		D012-11		克	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
		麻疹IgG《EIA》	E-9	(41)		D012-42		克	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	4113	麻疹IgM《EIA》	E-9	(41)		D012-42		夏	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	3835	末梢血好中球 BCR-ABL 1t (9;22)転座	H-2			D006-5-1+注			染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
		マラリア原虫	I-2	(66)		D005-7		夜	血中微生物検査
	0361	マルク(骨髄像)	I-2	(66)		D005-14		夜 r □	骨髄像 スンボン (Ma)
	2918 2919	マンガン(Mn)〈血液〉〈血清〉〈尿〉	A-11	(11)	21	D007-8	生化	I 📙	マンガン(Mn)
	0589	> + # p / m /	Г 1	(40)	105	D007 00	# //-	т	오구선다다시하므
=	1473	ミオグロビン〈血清〉〈尿〉		(48)			生化		ミオグロビン定量
	0187	ミトコンドリアーAST (m-AST)	A-3	(3)	49	D007-15	生化	L	ASTアイソザイム
,	0049	無機リン(P)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10	(10)	17	D007-3	生化	т П	無機リン及びリン酸
4	0126 0642	ムラミダーゼ(リゾチーム)〈血清〉〈尿〉	A-2	, ,		D007 0	<u> </u>	<u>.</u>	MIRE 7 - X O 7 - HX
	2741 1030	ムンプス《CF》	E-7	(39)	79	D012-11	免 打	支	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0238	ムンプス《HI》	E-8	(40)		D012-11		文	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (1項目当たり)
		ムンプス《NT》	E-4	(36)		D012-11		支	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
		ムンプスIgG《EIA》	E-9	(41)		D012-42		文	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	-	ムンプスIgM《EIA》	E-9	(41)		D012-42		~ 支	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
				(,		2012 12	,	~	VIII VIII VIII VIII VIII VIII VIII VII
×	1215	メキシレチン	D-2	(28)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	1216 4381	メタネフリン2分画〈尿〉〈蓄尿〉	B-5			D008-45	生化	I	メタネフリン・ノルメタネフリン分画
		メタノール	A-14		_				
	1079	メチル馬尿酸	A-13		_				
	2655	メトトレキサート	D-3		得	B001-2			特定薬剤治療管理料
	3756	免疫グロブリンH鎖Cμ再構成	H-2		2373	D006-6	遺・シ	九 长	免疫関連遺伝子再構成
		免疫グロブリンH鎖J _H 再構成	H-2		2373	D006-6	遺・シ	九	免疫関連遺伝子再構成
	3758	免疫グロブリンL鎖Cκ再構成	H-2	(62)	2373	D006-6	遺・シ	九 长	免疫関連遺伝子再構成
	3759	免疫グロブリンL鎖Cλ再構成	H-2	(62)	2373	D006-6	遺・シ	九 长	免疫関連遺伝子再構成
	3757	免疫グロブリンL鎖Jκ再構成	H-2	(62)	2373	D006-6	遺・シ	杂	免疫関連遺伝子再構成
	4257	免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比	F-10	(54)	388	D015-29	免 打	支	免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比
	0801	免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	F-10		170	D015-17	免	变	免疫電気泳動法(同一検体に対して一連につき)
	0802	免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	F-10	(54)	218	D015-24	免 指	变	免疫電気泳動法(同一検体に対して一連につき)
Ŧ	0381	網状赤血球数(Ret)	I-1	(65)	12	D005-2	血	夜	網赤血球数
	4801他	モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	G-1	(58)	_				
ヤ	4991他	薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)	G-1	(58)	345	D016-7	免 指	变	リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤
ュ	3944 4383	遊離カテコールアミン3分画〈尿〉〈蓄尿〉	B-5	(19)	165	D008-33	生化]	I	カテコールアミン分画
	0029	遊離コレステロール(F-Cho)	A-4	(4)	11	D007-1	生化	Ι 🗆	遊離コレステロール

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(本文頁)	実施料	区分番号	判断料 包括	保険収載名称		
	0242	遊離サイロキシン(FT4)	B-2	(16)	124	D008-15	生化Ⅱ ■	遊離サイロキシン(FT4)		
	2534	遊離テストステロン	B-7	(21)	159	D008-29	生化Ⅱ ■	遊離テストステロン		
	0563	遊離トリヨードサイロニン(FT ₃)	B-2	(16)	124	D008-15	生化Ⅱ ■	遊離トリヨードサイロニン(FT3)		
	0705	***** (1: 6 > > AA)	4.0	(0)	450	D007 44	4 - //. T	* ≖		
	0/65	葉酸(ビタミンM)	A-9	(9)	150	D007-41	生化I	葉酸		
5	2661	ラモトリギン	D-1	(27)	特	B001-2		特定薬剤治療管理料		
	0703	卵胞刺激ホルモン(FSH)	B-1	(15)	108	D008-13	生化Ⅱ ■	卵胞刺激ホルモン(FSH)		
	2665	乱用薬物スクリーニング	D-3	(29)	_					
リ	0203	リウマトイド因子(RF)《定性》	F-6	(50)	_					
	0263	リウマトイド因子(RF)《定量》	F-6	(50)	30	D014-2	免 疫	リウマトイド因子(RF)定量		
		リストセチンコファクター(フォン・ウィルブランド因子活性)	I-5	(69)	129	D006-16	血液▽	von Willebrand因子(VWF)活性		
	0642 2741	リゾチーム(ムラミダーゼ)〈血清〉〈尿〉	A-2	(2)	_					
	0859	リチウム(Li)	D-1	(27)	特	B001-2		特定薬剤治療管理料		
	1252	リドカイン	D-2	(28)	特	B001-2		特定薬剤治療管理料		
	0808	リパーゼ	A-2	(2)	24	D007-6	生化I 🗆	リパーゼ		
	1238	リポ蛋白 (a)(Lp (a))	A-4	(4)	107	D007-26	生化 I	リポ蛋白(a)		
	0750	リポ蛋白分画	A-4	(4)	49	D007-15	生化I	リポ蛋白分画		
	0762	リボフラビン(ビタミンB2)	A-9	(9)	242	D007-54	生化 I	ビタミンB2		
	1922他	淋菌/リアルタイムPCR	F-2	(46)	204	D023-3	微生物	淋菌核酸検出		
	1923他	淋菌・クラミ同時測定/PCR	F-2	(46)	270	D023-5	微生物	淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出		
	5211	淋菌(培養・目的菌)	J-2	(71)	_					
	0033	リン脂質(PL)	A-3	(3)	15	D007-2	生化I 🗆	リン脂質		
				()			.			
ル	1893	ループスアンチコアグラント	I-3	(67)	273	D014-35	免疫	ループスアンチコアグラント定量		
	5231	レジオネラ(培養・目的菌)	J-2	(71)	_					
	1144	レチノール(ビタミンA)	A-9	(9)	_					
	1270	レチノール結合蛋白(RBP)		(9)	136	D015-15	免疫	レチノール結合蛋白(RBP)		
		レニン定量		(17)		D008-11	生化Ⅱ	レニン定量		
		レプトスピラ(培養・目的菌)		(71)	_					
		レベチラセタム		(27)	特	B001-2		特定薬剤治療管理料		
		レムナント様リポ蛋白ーコレステロール(RLPーコレステロール)				D007-43	生化I	レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)		
	0023	ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	A-2	(2)	11	D007-1	生化I 🗆	ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)		
	4540	ロイシンリッチα₂グリコプロテイン(LRG)	F-5	(49)	276	D007-57	生化 I	ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン		
	2972	ロタウイルス抗原	E-3	(35)	65	D012-8	免疫	ロタウイルス抗原定性 (糞便)		
A		A/G (アルブミン/グロブリン比)		(1)	_					
		ABC検診		(14)	_					
		ABCD検診		(14)	_					
		ABO式血液型		(53)		D011-1	免疫	ABO血液型		
		ACE(アンジオテンシン I 転換酵素)		(17)		D007-38	生化I	アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)		
		ACTH (副腎皮質刺激ホルモン)	B-1	(15)		D008-38		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)		
	0676 1414	ADA(アデノシンデアミナーゼ)〈血清〉〈胸水〉				D007-11	生化Ⅰ	アデノシンデアミナーゼ(ADA)		
		AFP (αーフェトプロテイン)		(23)		D009-3		$\alpha - 7 \pm 1 + 7 + 1 + 2 + 3 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4$		
	1810	AFPレクチン分画/LBA	C-1	(23)	190	D009-23	生化Ⅱ◇	αーフェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%)		

	⊐−ドNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	本文頁)	実施料	区分番号	判断料区分	包括	保険収載名称
Δ	1065	AI(アルミニウム)	A-11	(11)	112	D007-29	生化I		アルミニウム(AI)
	0002	Alb (アルブミン)	A-1	(1)	11	D007-1	生化I		アルブミン
	0027	ALD(アルドラーゼ)	A-2	(2)	11	D007-1	生化I		アルドラーゼ
	0016	ALP(アルカリフォスファターゼ)	A-1	(1)	11	D007-1	生化I		アルカリホスファターゼ(ALP)
	0756	ALPアイソザイム	A-3	(3)	48	D007-14	生化I		ALPアイソザイム
	0471	ALP染色〈血液〉	I-2	(66)	27	D005-6(注)	血液		末梢血液像(鏡検法) (注)特殊染色を併せて行った場合の加算(特殊染色ごとに)
	0466	ALP染色〈骨髄液〉	I-2	(66)	40	D005-14(注)	血液		骨髄像 (注)特殊染色を併せて行った場合の加算 (特殊染色ごとに)
	0018	ALT (GPT)	A-1	(1)	17	D007-3	生化I		アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)
	4424	AMH(抗ミュラー管ホルモン)	B-6	(20)	600	D008-52	生化Ⅱ		抗ミュラー管ホルモン(AMH)
	0042 0074	Amy(アミラーゼ)〈血清〉〈尿〉	A-2	(2)	11	D007-1	生化I		アミラーゼ
	0757 1460	Amyアイソザイム(アミラーゼアイソザイム)〈血清〉〈尿〉	A-3	(3)	48	D007-14	生化I		アミラーゼアイソザイム
	0806	ANA(抗核抗体)	F-6	(50)	102	D014-5	免 疫		抗核抗体(蛍光抗体法)半定量
	4202	APRスコア	F-5	(49)	191	D015-20	免 疫		APRスコア定性
	0340	APTT(活性化部分トロンボプラスチン)	I-3	(67)	29	D006-7	血液		活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)
	0558	ASA(抗皮膚抗体)	F-8	(52)	_				
	0204	ASK(抗ストレプトキナーゼ)	F-1	(45)	29	D012-3	免 疫		抗ストレプトキナーゼ(ASK)半定量
	0281	ASO (ASLO)	F-1	(45)	15	D012-1	免 疫		抗ストレプトリジンO(ASO)定量
	0017	AST (GOT)	A-1	(1)	17	D007-3	生化I		アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)
	1162	AT(アンチトロンビン)《活性》	I-4	(68)	70	D006-10	血液		アンチトロンビン活性
	0578	ATLA(HTLV- I 抗体)《CLIA》	E-2	(34)	163	D012-31	免 疫		HTLV- I 抗体
	2687	ATLA(HTLV- I 抗体)《PA》	E-2	(34)	85	D012-13	免 疫		HTLV- I 抗体半定量
	2527	ATLA(HTLV-I抗体)《確認試験》	E-2	(34)	425	D012-56	免 疫		HTLV- I 抗体(ウエスタンブロット法及びラインブロット法)
	0709	AVP(バゾプレシン)(抗利尿ホルモン)	B-1	(15)	230	D008-47	生化Ⅱ		抗利尿ホルモン(ADH)
В	1892	BAP(骨型アルカリフォスファターゼ)	A-1	(1)	161	D008-30	生化Ⅱ		骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)
		BCA225	C-1			D009-17			
	4983	BCR-ABL 1t(9;22)転座	H-2	(62)2	553+397	D006-5-1+注	遺・染		染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
	1078	BFP(塩基性フェトプロテイン)	C-1	(23)	150	D009-16	生化Ⅱ	\Diamond	塩基性フェトプロテイン(BFP)
	2510	BGP(オステオカルシン)	B-3	(17)	157	D008-28	生化Ⅱ		オステオカルシン(OC)
		BJP定性(ベンス・ジョーンズ蛋白定性)	K-1	(79)	_				
	0790	BJP同定(ベンス・ジョーンズ蛋白同定)	F-10	(54)	201	D015-22	免 疫		Bence Jones蛋白同定(尿)
	1764	BNP(脳性Na利尿ペプチド)	B-8	(22)	133	D008-20	生化Ⅱ		脳性Na利尿ペプチド(BNP)
		BTR(総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比)	A-7	(7)	283	D010-5	生化Ⅱ		総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)
	0037 0063	BUN(尿素窒素)〈血清〉〈蓄尿〉	A-6	(6)	11	D007-1	生化I		尿素窒素
	1200他	B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig)	G-1	(58)	157	D016-1	免 疫		B細胞表面免疫グロブリン
C		C1インアクチベーター活性 (C1エステラーゼインヒビター)			260	D015-25	免疫		C1インアクチベータ
		C ₃ (β ₁ C / β ₁ A グロブリン)	F-5			D015-8	免疫		С3
		C ₄ (β ₁ Εグロブリン)	F-5		70	D015-8	免疫		C4
		C7-HRP(サイトメガロウイルスpp65抗原)					免疫		サイトメガロウイルスpp65抗原定性
		Ca(カルシウム)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10			D007-1			カルシウム
		CA125	C-1			D009-11	生化Ⅱ		
		CA15-3	C-1			D009-6			CA15-3
		CA19-9	C-1			D009-9		-	CA19-9
		Ca ²⁺ (イオン化カルシウム)	A-10			D007-7			イオン化カルシウム
		CA54/61 (CA546)	C-1						CA54/61
		CA602	C-1				生化Ⅱ		
	1070	CA72-4	C-1	(23)	146	D009-15	生化Ⅱ	\Diamond	CA72-4

	⊐-FNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	太 (真文本	実施料	区分番号	判断区分	料包括	保険収載名称
	1193	c-AMP(サイクリックAMP)〈血漿〉〈尿〉	B-8	(22)	170	D008-35	, – ,,		サイクリックAMP(cAMP)
	3971 1788	C-ANCA(抗好中球細胞質抗体)(PR3-ANCA)		(52)		D014-31	_	· —	抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体(PR3-ANCA)
		CARF(抗ガラクトース欠損IgG)	F-6			D014-7	免		抗ガラクトース欠損IgG抗体定量
	2915	Cd (カドミウム)〈血液〉〈尿〉	A-11		_	2011	,	~	more of the community o
	2916	CEA(癌胎児性抗原)	C-1		99	D009-2	生化:	П 🔷	癌胎児性抗原(CEA)
		CH ₅₀ (血清補体価)	F-5	(49)		D015-4	免		血清補体価 (CH50)
	0022	Ch-E (コリンエステラーゼ)	A-2	(2)	11	D007-1	生化	I 🔲	コリンエステラーゼ(ChE)
	0024	CK(クレアチンキナーゼ)	A-2		11	D007-1	生化	I 🗆	クレアチンキナーゼ(CK)
	3815	c-kit遺伝子変異解析(GIST)	H-3	(63)	2100	D004-2-1	遺・	杂	悪性腫瘍遺伝子検査
	0682	CK-MB	A-3	(3)	90	D007-22	生化	Ι	CK-MB(蛋白量測定)
	0759	CKアイソザイム	A-3	(3)	55	D007-17	生化	I	CKアイソザイム
	0047 0177	CI(クロール)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10	(10)	11	D007-1	生化	Ι 🗆	ナトリウム及びクロール
	0424	CI(クロール)〈髄液〉	K-2	(80)	11	D007-1	生化	Ι 🗆	ナトリウム及びクロール
	0653	CMV (サイトメガロ)《CF》	E-7	(39)	79	D012-11	免	变	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0683	CMV (サイトメガロ)IgG《CLIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免	变	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	0684	CMV(サイトメガロ)IgM《CLIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免	变	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	0819	Con-Aによるリンパ球幼若化検査	G-1	(58)	345	D016-7	免	变	リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤
	0626	Cp(セルロプラスミン)	F-4	(48)	90	D015-9	免	变	セルロプラスミン
	0745 0654	CPR(Cーペプチド)〈血清〉〈尿〉	B-6	(20)	108	D008-13	生化	II 🔳	Cーペプチド (CPR)
	2912 2913 2914	Cr (クロム)〈血液〉〈血清〉〈尿〉	A-11	(11)	_				
	0039 0064	Cre(クレアチニン)〈血清〉〈蓄尿〉	A-6	(6)	11	D007-1	生化	Ι 🗆	クレアチニン
	0040 0073	Cret (クレアチン)〈血清〉〈蓄尿〉	A-6	(6)	11	D007-1	生化	Ι 🗆	クレアチン
	0202	CRP《定性》	F-4	(48)	16	D015-1	免	变	C反応性蛋白(CRP)定性
	0262	CRP《定量》	F-4	(48)	16	D015-1	免	变	C反応性蛋白(CRP)
		CT (カルシトニン)	B-3	(17)	133	D008-20	生化		カルシトニン
	0051 1951	Cu(銅)〈血清〉〈尿〉	A-11	(11)	23	D007-5	生化	Ι 🗆	銅(Cu)
	1268	CYFRA (シフラ)(サイトケラチン19フラグメント)	C-2	(24)	158	D009-17	生化		サイトケラチン19フラグメント(シフラ)
	5246	C・ディフィシル (クロストリジオイデス・ディフィシル)(培養・目的菌)	J-2	(71)	_				
		C・ディフィシル毒素(クロストリジオイデス・ディフィシル毒素)	J-4	(73)	80	D012-12	免	变	クロストリジオイデス・ディフィシル抗原定性
	0745 0654	Cーペプチド(CPR)〈血清〉〈尿〉	B-6	(20)	108	D008-13	生化		Cーペプチド(CPR)
D	0009	D-Bil(直接ビリルビン)	A-1	(1)	11	D007-1	生化	I 🗆	直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン
	1635	DHEA-S(デハイドロエピアンドロステロンサルフェート)	B-4	(18)	169	D008-34	生化	I I	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)
	4991他	DLST(薬剤によるリンパ球刺激試験)	G-1	(58)	345	D016-7	免	变	リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤
	1034	DUPAN-2	C-1	(23)	118	D009-7	生化	П ♦	DUPAN-2
	1895	DPD(デオキシピリジノリン)	B-3	(17)	191	D008-39	生化		デオキシピリジノリン(DPD)(尿)
	1136	D-ダイマー《定量》	I-3	(67)	130	D006-17	血	夜 ▽	Dダイマー
Е	0736	E ₂ (エストラジオール)	B-6	(20)	172	D008-36	生化	II 🔳	エストラジオール (E2)
		EBV-DNA定量	E-3			D023-8	微生物		EBウイルス核酸定量
		EBV-EADR-IgA 《FA》	E-8			D012-11	免		ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
		EBV-EADR-IgG 《FA》	E-8			D012-42	免	变	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	0655	EBV-EADR-IgM 《FA》	E-8	(40)	_				
	0636	EBV-EBNA 《FA》	E-8	(40)	79	D012-11	免	变	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0697	EBV-VCA-IgA 《FA》	E-8	(40)	79	D012-11	免	变	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	0698	EBV-VCA-IgG 《FA》	E-8	(40)	206	D012-42	免	变	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	0696	EBV-VCA-IgM 《FA》	E-8	(40)	206	D012-42	免	变	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	2864	eGFR(推算糸球体濾過量)	A-6	(6)	_				

							A daylater dayl		
	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(本文頁)	実施料	区分番号	判断料 区分	包括	保険収載名称
Е	0876	EPO (エリスロポエチン)	B-8	(22)	209	D008-41	生化Ⅱ		エリスロポエチン
	0355	ESR(血沈・赤沈)	I-1	(65)	_				
F	0029	F-Cho(遊離コレステロール)	A-4	(4)	11	D007-1	生化I		遊離コレステロール
	0353	FDP〈血漿〉	I-3	(67)	80	D006-11	血液		フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)定量
	0354	FDP〈尿〉	I-3	(67)	72	D001-7	尿・便		フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)(尿)
	0052	Fe (鉄)	A-10	(10)	11	D007-1	生化 I		鉄(Fe)
	0338	FIB(フィブリノーゲン)	I-3	(67)	23	D006-4	血液		フィブリノゲン定量
	0703	FSH(卵胞刺激ホルモン)	B-1	(15)	108	D008-13	生化Ⅱ		卵胞刺激ホルモン(FSH)
	0563	FT3(遊離トリヨードサイロニン)	B-2	(16)	124	D008-15	生化Ⅱ		遊離トリヨードサイロニン(FT ₃)
	0242	FT4(遊離サイロキシン)	B-2	(16)	124	D008-15	生化Ⅱ		遊離サイロキシン(FT4)
	0224	FTA一ABS《定性》	F-1	(45)	134	D012-21	免 疫		梅毒トレポネーマ抗体(FTAーABS試験)定性
	4162	FTA一ABS《定量》	F-1	(45)	134	D012-21	免疫		梅毒トレポネーマ抗体(FTA-ABS試験)半定量
	0692	FTA-ABS-IgM《定性》	F-1	(45)	134	D012-21	免 疫		梅毒トレポネーマ抗体(FTA-ABS試験)定性
	4164	FTA-ABS-IgM《定量》	F-1	(45)	134	D012-21	免 疫		梅毒トレポネーマ抗体(FTA-ABS試験)半定量
G	1278	GA(グリコアルブミン)	A-6	(6)	55	D007-17	生化I		グリコアルブミン
	0701	GH(成長ホルモン)	B-1	(15)	108	D008-13	生化Ⅱ		成長ホルモン(GH)
	0055	GLU (血糖) (グルコース)	A-6	(6)	11	D007-1	生化I		グルコース
	0017	GOT (AST)	A-1	(1)	17	D007-3	生化 I		アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)
	0018	GPT (ALT)	A-1	(1)	17	D007-3	生化I		アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)
н	1108	hANP(ヒト心房性Na利尿ポリペプチド)	B-8	(22)	221	D008-46	生化Ⅱ		心房性Na利尿ペプチド(ANP)
	0303	Hb(血色素量)	I-1	(65)	21	D005-5	血液		末梢血液一般検査
		HbA1c(ヘモグロビンA1c)	A-6	(6)	49	D005-9	血液		ヘモグロビンA1c(HbA1c)
	3985 0847	HBc抗体《PHA》《CLIA》	E-1	(33)	133	D013-6	免疫	\triangle	HBc抗体半定量・定量
	0845	HBe抗原	E-1	(33)	101	D013-4	免疫	\triangle	HBe抗原
	0846	HBe抗体	E-1	(33)	101	D013-4	免疫	\triangle	HBe抗体
	0843	HBs抗原	E-1	(33)	88	D013-3	免疫	\triangle	HBs抗原
	0844	HBs抗体	E-1	(33)	88	D013-3	免 疫	\triangle	HBs抗体
	0209	HBs抗原《定性》	E-1	(33)	29	D013-1	免 疫		HBs抗原定性・半定量
	0210	HBs抗体《定性》	E-1	(33)	32	D013-2	免 疫		HBs抗体定性
	3987	HBVゲノタイプ《EIA》	E-2	(34)	340	D013-14	免 疫	\triangle	HBVジェノタイプ判定
	2698	HBVプレコア変異及びコアプロモーター変異	E-1	(33)	450	D023-16	微生物		HBV核酸プレコア変異及びコアプロモーター変異検出
		HBV-DNA定量/リアルタイムPCR(IU)	E-2	(34)	263	D023-4	微生物		HBV核酸定量
	3964 3965	HCG(ヒト絨毛性ゴナドトロピン)〈血清〉〈尿〉	B-6	(20)	134	D008-21	生化Ⅱ		ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量
	0672	HCG ー β サブユニット〈血清〉	B-6	(20)	132	D008-19	生化Ⅱ		ヒト絨毛性ゴナドトロピンー β サブユニット($HCG-\beta$)
	1805	HCV-RNA定量/リアルタイムPCR	E-2	(34)	424	D023-15	微生物		HCV核酸定量
	1811	HCVコア蛋白-HS	E-2	(34)	105	D013-5	免 疫	\triangle	HCVコア蛋白
	1281	HCV抗体	E-2	(34)	105	D013-5	免 疫	\triangle	HCV抗体定性・定量
	1247	HCVサブタイプ解析(HCV-RNAジェノタイプ)	E-2	(34)	_				
	1374	HCV群別(グループ分類)	E-2	(34)	221	D013-11	免 疫	\triangle	HCV血清群別判定
	0036	HDLコレステロール (HDL-Cho)	A-4	(4)	17	D007-3	生化I		HDLーコレステロール
	9992	HER2蛋白定量〈血清〉	C-2	(24)	320	D009-29	生化Ⅱ	\Diamond	HER2蛋白
	9991	HER2蛋白定量〈組織〉	L-1	(82)	690	N002-3	病 理		免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製 HER2タンパク
	4531	H-FABP(ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白)	F-5	(49)	135	D007-36	生化 I		心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定量
	0780 1427	Hg(水銀)〈血液〉〈尿〉	A-11	(11)	_				
	1372	HGF(肝細胞増殖因子)	B-8	(22)	227	D007-52	生化I		肝細胞増殖因子(HGF)

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	(頁文本	実施料	区分番号	判断区域	料包括分	保険収載名称
н	0560	HIV一抗原・抗体	E-2	(34)	127	D012-19	免	疫	HIV-1, 2抗原・抗体同時測定定量
•	0559	HIV-1/2抗体確認検査	E-2	(34)	660	D012-58	免	疫	HIV-1特異抗体・HIV-2特異抗体
	1806	HIV-1RNA定量/リアルタイムPCR	E-2	(34)	520	D023-17	微生	物	HIV-1核酸定量
	2959	HLAーA,B(血清対応型タイピング)	H-4	(64)	_				
	2960	HLA-DR(血清対応型タイピング)	H-4	(64)	_				
	0710	Hp (ハプトグロビン)	F-5	(49)	132	D015-14	免	疫	ハプトグロビン(型補正を含む。)
	1250	HPV-DNA同定《中~高リスク型》	E-3	(35)	350	D023-10	微生	物	HPV核酸検出
	4159	HPV-DNA同定《低リスク型》	E-3	(35)	_				
	0821	HSV (単純ヘルペス)《CF》	E-7	(39)		D012-11	免	疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	1028 1029	HSV(単純ヘルペス)1型・2型《NT》	E-4	(36)	79	D012-11	免	疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
	1172	HSV(単純ヘルペス)IgG《EIA》	E-9	(41)	206	D012-42	免	疫	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	1173	HSV(単純ヘルペス)IgM《EIA》	E-9	(41)		D012-42	免	疫	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
	0304	Ht(ヘマトクリット値)	I-1	(65)		D005-5		液	末梢血液一般検査
	0578	HTLV-I抗体 (ATLA)《CLIA》	E-2	(34)		D012-31	免	疫	HTLV-I抗体
		HTLV-I抗体(ATLA)《PA》		(34)		D012-13		疫	HTLV-I抗体半定量
	2527 3948	HTLV-I 抗体(ATLA)《確認試験》	E-2	(34)		D012-56		疫	HTLV-I抗体(ウエスタンブロット法及びラインブロット法)
	3948 2511 4532	HVA(ホモバニリン酸)〈血漿〉〈蓄尿〉、《クレアチニン補正》	B-5	(19)	69	D008-3	生化	; II	ホモバニリン酸(HVA)
	0700		E 40	(5.4)	00	D045 4	<i>h</i>	. 	
	0792		F-10			D015-4		疫	免疫グロブリン
		IgE(特異的IgE/シングルアレルゲン)	F-11			D015-13	免	疫	特異的IgE半定量・定量
		IgE(特異的IgE/マルチアレルゲン)	F-11			D015-13	免	疫	特異的IgE半定量・定量
		IgE(非特異的IgE)	F-11			D015-10 D015-4	免	疫	非特異的IgE定量 免疫グロブリン
	0791 4701	IgG IgG-FcR ⁺ ・T細胞百分率	F-10 G-1			D015-4	免免	疫疫	T細胞・B細胞百分率
	1709	IgG型リウマチ因子(IgG-RF)	F-6	(50)		D010-3	免	疫	IgG型リウマトイド因子
	1912	IgG4	F-10			D014-39	免	疫	IgG4
	0793		F-10			D015-4		疫	免疫グロブリン
		IgG·HA抗体	E-1			D013-8			HA抗体
		IgM·HA抗体	E-1			D013-8			HA一IgM抗体
		IgM・HBc抗体	E-1			D013-8			HBc-IgM抗体
		IRI(インスリン)	B-6						インスリン(IRI)
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		, -,					
K	0046 0176	K(カリウム)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10	(10)	11	D007-1	生化	:I 🗆	カリウム
		KL-6	A-6		111	D007-28	生化	; I	KL-6
	0023	LAP(ロイシンアミノペプチダーゼ)	A-2	(2)	11	D007-1	生化	ΙI	ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)
	0089	LD〈穿刺液〉	K-3	(81)	11	D007-1	生化	:I 🗆	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)
	0019	LD(乳酸脱水素酵素)	A-1	(1)	11	D007-1	生化	ΙI	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)
	0755	LDアイソザイム	A-3	(3)	48	D007-14	生化	Ι	LDアイソザイム
	1166	LDL/HDL比	A-4	(4)	_				
	1161	LDLコレステロール(LDLーCho)	A-4	(4)	18	D007-4	生化	Ι 🗆	LDLーコレステロール
	0702	LH (黄体形成ホルモン)	B-1	(15)	108	D008-13	生化	I	黄体形成ホルモン(LH)
	0859	Li(リチウム)	D-1	(27)	特	B001-2			特定薬剤治療管理料
	4237	LMAb(抗肝細胞膜抗体)	F-8	(52)	_				
	1238	Lp (a)(リポ蛋白 (a))	A-4	(4)	107	D007-26	生化	; Ι	リポ蛋白(a)
	4540	LRG (ロイシンリッチ α_2 グリコプロテイン)	F-5	(49)	276	D007-57	生化	Ί	ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン
	2506	Lードーパ	D-2	(28)	_				

5903 MAC同定		⊐-ドNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	本文頁)	実施料	区分番号	判断料 区分	包括	保険収載名称
4466 Mac-2結合蛋白糖酸酸無理性体 P-5 (49) 194 D007-48 生化I Mac-2結合蛋白糖酸類異性体 4886 Major BCR-ABL1 mRNA (IS) H-2 (62) 2520 D006-3-1 遠・泉 Major BCR-ABL1 Major BCR-ABL1 (IS) H-30 D015-13 免 疫 4累間のほど用である。	M	5907	MAC/リアルタイムPCR	J-3	(72)	421	D023-14	微生物	J	マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー(MAC)核酸検出
4986 Major BCR—ABLI mRNA(IS) H.2(62) 2520 D006-3-1 道・染 Major BCR—ABLI 333 MAST 36 F.11(65) 1430 D015-13 免 疫 核 特質的医子上型 ・定量 2030 MCH(平均赤血球血色素質) I-1(65) - 0007 MCH(平均赤血球血色素質) I-1(65) - 0007 MCH(平均赤血球血色素質) I-1(65) - 0007 MCH(平均赤血球血色素質) I-1(65) - 0008 MCV(平均赤血球血色素質) I-1(65) - 0009 MG(マグネシウム)(曲清)〈需放 A-10(10) 11 D007-1 生化 I マグネシウム (137 イン・フィン・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード		5903	MAC同定	J-3	(72)	421	D023-14	微生物	J	マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー(MAC)核酸検出
3933 MAST 36 F-11 (55) 1430 DO15-13 免 夜 特異的担手業量・定量 0307 MCH(平均赤血球血色素養) 1 (65) - 0307 MCH(平均赤血球血色素濃) 1 (65) - 0308 MCV(平均赤血球血色素濃) 1 (65) - 0309 Mg(マグネシウム)(血清)(嚢尿) 1 (65) - 0317 m—AST(ミトコンドリア—AST) A-3 (3) 49 DO7-15 生化1 □ マグネシウム 0318 mm (マンガン)(血清)(歯溶)(歯溶) A-10 (10) 11 D007-1 生化1 □ マグネシウム 0318 mm (マンガン)(血溶)(血清)(尿) A-11 (11) 27 D007-8 生化1 □ マンガン (Mm) 1004 MP0—AMA (P-MAX)(単析経療法14円ペオキジチ・批制 F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 日本性に □ マンガン (Mm) 1004 MP0—AMA (P-MAX)(単析経療法14円ペオキジチ・批制 F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 日本性に □ マンガン (Mm) 1048 MCO—ST - 439 A-10 (10) 11 D007-1 生化1 □ アンモニア 1048 MCO —ST - 439 A-10 (10) 11 D007-1 生化1 □ アンモニア 1048 MCO —ST - 439 A-10 (10) 11 D007-1 生化1 □ アンモニア 2221 Ni (ニッケル) A-11 (11) - 2589 Ni (細胞活性 G-1 (58) - 0674 NIS(学経時限エノラーゼ) C-2 (24) 142 D009-12 生化1 □ 対路検察エノラーゼ (NSE) 1665 Ni ¬µcBNP (病性病程ペブチャ育収制をフラケント Ni ¬µcBNP (病性病程ペブチャカルカルフミド		4466	Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体	F-5	(49)	194	D007-48	生化I		Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体
0306 MCH(平均赤血球血色素量)		4986	Major BCR-ABL1 mRNA (IS)	H-2	(62)	2520	D006-3-1	遺・染	į	Major BCR-ABL1
0307 MCHC (平均赤血球色色素濃度)		3933	MAST 36	F-11	(55)	1430	D015-13	免疫	2	特異的IgE半定量・定量
0305 MCV (平均赤血球容積)		0306	MCH(平均赤血球血色素量)	I-1	(65)	_				
0050 Mg(マグネシウム)(血清)(需尿)		0307	MCHC(平均赤血球血色素濃度)	I-1	(65)	_				
10127 Mg イン・アンダン Mg Mg Mg Mg Mg Mg Mg M		0305	MCV(平均赤血球容積)	I-1	(65)	_				
2953 MMP-3		0050 0127	Mg(マグネシウム)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10	(10)	11	D007-1	生化 I		マグネシウム
1804 MPO-MICA (P-MICA (原存) (原介) A-11 (11) 27 D007-8 生化1 □ マンガン (Min) 1804 MPO-MICA (P-MICA (原存) を持続 (原介) - MICA (アーMICA (原存) を持続 (原介) - MICA (アーMICA (原存) を持続 (原介) - MICA (アーMICA (原介) を持続 (原介) - MICA (アーMICA (原介) を持続 (原介) - MICA (アーMICA (原介) - MICA (原介) - MICA (RE 文 (原介) - MICA (RE 文 (RE X (RE		0187	m-AST (ミトコンドリア-AST)	A-3	(3)	49	D007-15	生化 I		ASTアイソザイム
1804 MPO-ANCA (P-ANCA (IRP-ANCA (IRP-ANCA) (IRPOFARER): IDベルオキッダーゼ以外 (アン) 1905 MRSA (2019 ーニング			MMP-3	F-6	(50)	116	D014-8	免 疫	Ž	マトリックスメタロプロテイナーゼー3 (MMP-3)
5304 MRSAスクリーニング		2917 2918 2919	Mn(マンガン)〈血液〉〈血清〉〈尿〉	A-11	(11)	27	D007-8	生化I		マンガン(Mn)
N 8046 Na (ナトリウム)(血清)(薔尿) A-10 (10) 11 D007-1 生化 I フトリウム及びクロール 1048 NCCーSTー439 C-1 (23) 115 D009-6 生化 I フトリウム及びクロール 2921 Ni (ニッケル) A-11 (11) ー 2589 NK細胞活性 G-1 (58) ー 0674 NSE (神経特異エノラーゼ) C-2 (24) 142 D009-12 生化 I ● 計画版でが下間散解でプラバント NIT-posPの (28性制限でプラド)を解析でプラバント NIT-posPの (28性) NI (1型コラーゲン解析・アラバント NIT-posPの (28性) NI (1型コラーゲン解析・アラバント NIT-posPの (28性) NI (1型コラーゲン解析・アラバント NIT-posPの (28性) NI NI NI NIT-posPの (28性) NI NI NIT-posPの (28性) NI NI NI NIT-posPの (28th) NI		1804	MPO-ANCA(P-ANCA)(抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体)	F-8	(52)	258	D014-30	免疫	Ž	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)
N 0045 Na (ナトリウム) (血清) 〈蓄尿〉 A-10 (10) 11 D007-1 生化 I □ ナトリウム及びクロール 1048 NCC - ST - 439 C-1 (23) 115 D009-6 生化 I ○ NCC - ST - 439		5304	MRSAスクリーニング	J-4	(73)	_				
10175 NB (アラウム/ Lam / Y Brown of State of S		0531	MRSA(培養・目的菌)	J-2	(71)	-				
10175 NB (アラウム/ Lam / Y Brown of State of S		0045								
0043 NH3 (アンモニア)	Ν		Na(ナトリウム)〈血清〉〈蓄尿〉	A-10	(10)	11	D007-1	生化I		ナトリウム及びクロール
2921 Ni (ニッケル) A-11 (111) — 2589 NK細胞活性 G-1 (58) — 0674 NSE (神経特異エノラーゼ) C-2 (24) 142 D009-12 生化Ⅱ ◆ 神経特異エノラーゼ (NSE) 1765 NT-proBNP (編性NaNgペブチド前駆体端フラヴメント) B-8 (22) 136 D008-22 生化Ⅱ ■ Mth/Nikペブチド前駆内端フラヴメント (NT-poBNP) 3997 NTX (I型コラーゲン架橋Nーテロペブチド)(血清)(尿) B-3 (17) 156 D008-27 生化Ⅱ ■ I型コラーゲン架橋Nーテロペブチド (NTX) 0118 Nーアセチルβーローグルコサミニダーゼ (尿NAG) A-2 (2) 41 D001-5 尿・便 Nーアセチルグルコサミニダーゼ (NAG)(尿) 1081 Nーメチルホルムアミド A-13 (13) — P 0049 P (無機リン)(血清)(蓄尿) A-10 (10) 17 D007-3 生化Ⅱ ■ ブレグナンジオール 3969 P2 (ブレグナンジオール) B-6 (20) 213 D008-43 生化Ⅱ ■ ブレグナンジオール 3970 P3 (ブレグナントリオール) B-6 (20) 232 D008-48 生化Ⅱ ■ ブレグナントリオール 1039 P-Ⅲ-P (プロコラーゲン皿ペブチド) F-5 (49) 136 D007-37 生化Ⅰ ブロコラーゲンー皿ペブチド (P-Ⅲ-P) 0878 PABA排泄率 (PFDテスト) A-12 (12) (100) D289-1 — その他の機能テスト 膵機能テスト 1134 PA-IgG (血小板表面IgG) F-7 (51) 193 D011-6 免 疫 血小板関連IgG (PA-IgG) 1804 P-ANCA 以前中球組度ミエロペルオキンダーゼは外(MPO-ANCA) F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 超が規算国保 (PFD・系金の値) 1-2 (66) 27 D005-6(注) 血 液 規2 機能 図 物験性様で形と熱が腫 物験を定む (0467 PAS染色 (骨髄液) 1-2 (66) 40 D005-14(注) 血 液 開酸 図 物験性様で形と熱が腫 物験を定む (0467 PAS染色 (骨髄液) 1-2 (66) 284 D007-58 生化 I プロカルシトニン (PCT) 定量 (0346 PF-4 (四小板第4因子) 1-4 (68) 178 D006-26 血 液 Φ 血小板第4因子 (PF4) (PF4						115	D009-6	生化Ⅱ	\Diamond	NCC-ST-439
2589 NK細胞活性 G-1 (58)						50	D007-16	生化I		アンモニア
P		-	, , ,			_				
1765 NT-proBNP 圏性N利尿ペブチド前駆体地端フラヴメント)B-8 (22) 136 D008-22 生化Ⅱ ■ 間や利尿ペブチド前駆体域フラヴメント (NT-proBNP) 3987 NTX (I型コラーゲン架橋Nーテロペブチド)(血清)(尿) B-3 (17) 156 D008-27 生化Ⅲ ■ I型コラーゲン架橋Nーテロペブチド (NTX) 0118 NーアセチルβーDーグルコサミニダーゼ (尿NAG) A-2 (2) 41 D001-5 尿・便 Nーアセチルグルコサミニダーゼ (NAG)(尿) 1081 Nーメチルホルムアミド A-13 (13) - P 0049 P (無機リン)(血清)(蓄尿) A-10 (10) 17 D007-3 生化Ⅱ ■ 無機リン及びリン酸 3969 P2 (プレグナンシオール) B-6 (20) 213 D008-43 生化Ⅲ ■ プレグナントリオール 1039 PーⅢーP (プロコラーゲン皿ペプチド) F-5 (49) 136 D007-37 生化Ⅰ プロコラーゲンー皿ペブチド (PーⅢーP) 0878 PABA排泄率 (PFDテスト) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 1134 PAーIgG (血小板表面IgG) F-7 (51) 193 D011-6 免 疫 血小板関連IgG (PAーIgG) 1804 P-ANCA (旅子中華服育ミロペルオキシダーゼ拡射 (MPO-ANCA) F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 旅井中華服育ミロペルオキシダーゼ拡射 (MPO-ANCA) 0472 PAS染色 (血液) I-2 (66) 27 D005-6(注) 血 液 減血腫 (服剤 1 服験性保行のた場合の順 (精験性とどに) 0781 Pb (鉛) A-11 (11) - 0893 PCT (プロカルシトニン) F-2 (46) 284 D007-58 生化Ⅰ プロカルシトニン (PCT) 定量 0346 PF-4 (血小板第4因子) I-4 (68) 178 D006-26 血 液 ▽ 血小板第4因子 (PF4) 0878 PFDテスト (PABA排泄率) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 様能をととに 0878 PFDテスト (PABA排泄率) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト PG (ペプシノゲン) A-14 (14) - 0818 PHAによるリンパ球効若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST) イ 1 薬剤 1139 PIC (ロアラスミンインヒビター・プラスミン検合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ブラスミン・プラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKA - II 《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化 II ◇ PIVKA - II 定量										
3997 NTX (I型コラーゲン架橋Nーテロペブチド)(血清)(尿) B-3 (17) 156 D008-27 生化Ⅱ ■ I型コラーゲン架橋Nーテロペブチド (NTX) (118 NーアセチルβーDーグルコサミニダーゼ (尿NAG) A-2 (2) 41 D001-5 尿・便 Nーアセチルグルコサミニダーゼ (NAG)(尿) 1081 Nーメチルホルムアミド A-13 (13) ー			- (11.1=127)							
1891 NIX (1空コ) ラクスを備Nーナロベクチド (園屋) A-2 (2) 41 D001-5 尿・便 NーアセチルβーDーグルコサミニダーゼ (NAG) (尿) 1081 Nーメチルホルムアミド A-13 (13) ー										
P 0049 P (無機リン)(血清)(蓄尿) A-10 (10) 17 D007-3 生化 I 無機リン及びリン酸 3969 P2 (プレグナンジオール) B-6 (20) 213 D008-43 生化 I プレグナンジオール 3970 P3 (プレグナンドリオール) B-6 (20) 232 D008-48 生化 I プレグナンドリオール 1039 P-III-P (プロコラーゲンIIIペプチド) F-5 (49) 136 D007-37 生化 I プロコラーゲン-III-ペプチド (P-III-P) 0878 PABA排泄率 (PFDテスト) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 1134 PA-IgG (血小板表面IgG) F-7 (51) 193 D011-6 免 疫 血小板関連IgG (PA-IgG) 1804 P-ANCA (協計財産職員ミロペルオキッダーゼ拡体)(MPO-ANCA) F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協計財産服員ミロペルオキッダーゼ拡体 (MPO-ANCA) 0472 PAS染色 (血液) I-2 (66) 27 D005-6(注) 血 液 精血腫 (能) 根族社能性で行った場合の腫 (精験社どに) 0781 Pb (鉛) A-11 (11) - 0893 PCT (プロカルシトニン) F-2 (46) 284 D007-58 生化 I プロカルシトニン (PCT) 定量 0346 PF-4 (血小板第4因子) I-4 (68) 178 D006-26 血 液 血小板第4因子 (PF4) 0878 PFDテスト (PABA排泄率) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG (ペプシノゲン) A-14 (14) - 0818 PHAによるリンバ球効若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンバ球刺激試験(LST) イ 1薬剤 1139 PIC (02プラスミンインヒビター・プラスミン検合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ブラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKA-II (CLIA) C-2 (24) 135 D009-10 生化 I ◇ PIVKA-II 定量		1891								
P 0049 P (無機リン) (血清) (蓄尿) A-10 (10) 17 D007-3 生化 I □ 無機リン及びリン酸 3969 P2 (プレグナンジオール) B-6 (20) 213 D008-43 生化 I ■ プレグナンジオール 3970 P3 (プレグナントリオール) B-6 (20) 232 D008-48 生化 I ■ プレグナントリオール 1039 P □ III ¬ P (プロコラーゲンIII ペプチド) F-5 (49) 136 D007-37 生化 I ブロコラーゲン □ ー ペプチド (P □ II ¬ P) 0878 PABA排泄率 (PFDテスト) A-12 (12) (100) D289-1 ¬ その他の機能テスト 膵機能テスト I134 PA ¬ II Q (血小板表面 Ig G) F-7 (51) 193 D011-6 免 疫 血小板関連 Ig G (PA ¬ Ig G) 1804 P ¬ ANCA (協計中採職際 I I ロペルオネジダーゼ抗体) (MPO ¬ ANCA) F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職際 i II ペルオネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職際 i II ペルオネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職際 i II ペルオネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職際 i II ペルオネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職際 i II ペルオネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職際 i II ペルオネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職際 i II 株 II トロペルオネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II 株 II トロペルネネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II 株 II トロペルスネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (52) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II 株 II トロペルスネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (20) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II 体 II トロペルスネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (20) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II 体 II トロペルスネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (20) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II に II トロペルスネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (20) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II に II トロペルスネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (20) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II II トロペルスネジダーゼ抗体 (MPO ¬ ANCA) P-8 (20) 258 D014-30 免 疫 協が中採職をi II						41	D001-5	灰・1	-	Nーアセナルグルコサミニダーセ(NAG)(尿)
P 0126 P (無機サン人のよう) (証清/ 信族/ A-10 (10)		1001	Nーメテルホルムアミト	A-13	(13)	_				
3969 P2(プレグナンジオール) B-6(20) 213 D008-43 生化Ⅱ ■ プレグナンジオール 3970 P3(プレグナントリオール) B-6(20) 232 D008-48 生化Ⅱ ■ プレグナントリオール 1039 P-Ⅲ-P(プロコラーゲンⅢペプチド) F-5(49) 136 D007-37 生化Ⅰ プロコラーゲンーⅢーペプチド(P-Ⅲ-P) 0878 PABA排泄率(PFDテスト) A-12(12)(100)D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 1134 PA-IgG(血小板表面IgG) F-7(51) 193 D011-6 免 疫 血小板関連IgG(PA-IgG) 1804 P-ANCA(協評時細胞質ミロペルオキシダーゼ旅幣)(MPO-ANCA) F-8(52) 258 D014-30 免 疫 協評時細胞質ミロペルオキシダーゼ旅幣(MPO-ANCA) O472 PAS染色(血液) I-2(66) 27 D005-6(注)血 液 精血糖(強制)は 機験免性で行った場合の順(機験色ごと) 0467 PAS染色(骨髄液) I-2(66) 40 D005-14(注)血 液 骨髄像(注) 精染免を併せて行った場合の順(機験色ごと) 0781 Pb(鉛) A-11(11) - 0893 PCT(プロカルシトニン) F-2(46) 284 D007-58 生化Ⅰ プロカルシトニン(PCT)定量 0346 PF-4(血小板第4因子) I-4(68) 178 D006-26 血 液 ▽ 血小板第4因子(PF4) 0878 PFDテスト(PABA排泄率) A-12(12)(100)D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG(ペプシノゲン) A-14(14) - 0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1(58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ1薬剤 1139 PIC(ロ2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)I-4(68) 154 D006-22 血 液 ▽ ブラスミン・ブラスミンインヒビター複合体(PIC) 1043 PIVKAーⅡ(CLIA) C-2(24) 135 D009-10 生化Ⅱ ◇ PIVKAーⅡ定量	В		P (無機リン)(血清)(薬尿)	Δ-10	(10)	17	D007-3	生化 T		無機リン及びリン酸
3970 P3 (プレグナントリオール) B-6 (20) 232 D008-48 生化Ⅱ ■ プレグナントリオール 1039 P-Ⅲ-P (プロコラーゲンⅢペプチド) F-5 (49) 136 D007-37 生化Ⅰ プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド (P-Ⅲ-P) 0878 PABA排泄率 (PFDテスト) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 1134 PA-IgG (血小板表面IgG) F-7 (51) 193 D011-6 免 疫 血小板関連IgG (PA-IgG) 1804 P-ANCA (旅好中球機関ミェロペルオキシダーゼ旅体) (MPO-ANCA) F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 旅好中球機関ミュロペルオキシダーゼ旅体 (MPO-ANCA) 0472 PAS染色 (血液) I-2 (66) 27 D005-6(注) 血 液 精血線 (注) 特殊給毛性で行った場合の加算 (構築金ごとに) 0467 PAS染色 (骨髄液) I-2 (66) 40 D005-14(注) 血 液 骨髄像 (注) 特殊給毛性で行った場合の加算 (構築金ごとに) 0781 Pb (鉛) A-11 (11) - 0893 PCT (プロカルシトニン) F-2 (46) 284 D007-58 生化 I プロカルシトニン (PCT) 定量 0346 PF-4 (血小板第4因子) I-4 (68) 178 D006-26 血 液 □小板第4因子 (PF4) 0878 PFDテスト (PABA排泄率) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG (ペプシノゲン) A-14 (14) - 0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験 (LST)イ 1薬剤 1139 PIC (α₂プラスミンインヒビター・プラスミン複合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ▽ ブラスミン・ブラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKA-Ⅱ 《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化Ⅱ ◇ PIVKA-Ⅱ 定量	Р									
1039 P-Ⅲ-P(プロコラーゲンⅢペプチド) F-5 (49) 136 D007-37 生化 I プロコラーゲンーⅢ-ペプチド (P-Ⅲ-P) 0878 PABA排泄率 (PFDテスト) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト I134 PA-IgG (血小板表面IgG) F-7 (51) 193 D011-6 免 疫 血小板関連IgG (PA-IgG) 1804 P-ANCA (抗好中球細胞質ミロベルオキシダーゼ抗伸)(MPO-ANCA) F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 抗好中球細胞質ミロベルオキシダーゼ抗伸 (MPO-ANCA) 0472 PAS染色 〈血液〉 I-2 (66) 27 D005-6(注) 血 液 精血糖 (維養) (注) 根験会を作せて行った場合の順 (構験会ごとに) 0467 PAS染色 〈骨髄液〉 I-2 (66) 40 D005-14(注) 血 液 骨髄像 注) 精験会を作せて行った場合の順 (構験会ごとに) 0781 Pb (鉛) A-11 (11) - 0893 PCT (プロカルシトニン) F-2 (46) 284 D007-58 生化 I プロカルシトニン (PCT) 定量 0346 PF-4 (血小板第4因子) I-4 (68) 178 D006-26 血 液 ▽ 血小板第4因子 (PF4) 0878 PFDテスト (PABA排泄率) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG (ペプシノゲン) A-14 (14) - 0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤 1139 PIC (②2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ▽ ブラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKA - II 《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化 II ◇ PIVKA - II 定量										
0878 PABA排泄率(PFDテスト)										
1134 PA-IgG(血小板表面IgG) F-7(51) 193 D011-6 免 疫 血小板関連IgG(PA-IgG) 1804 P-ANCA(協好中球細胞質ミエロベルオキシダーゼ抗体)(MPO-ANCA) F-8(52) 258 D014-30 免 疫 抗好中球細胞質ミエロベルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA) 0472 PAS染色〈血液〉 I-2(66) 27 D005-6(注)血 液 精血糖(維維)は 精染色を併せて行った場合の順(精染色ととし 0467 PAS染色〈骨髄液〉 I-2(66) 40 D005-14(注)血 液 骨髄像(注) 精染色を併せて行った場合の順(特殊色ととし 0781 Pb(鉛) A-11(11) — 0893 PCT(プロカルシトニン) F-2(46) 284 D007-58 生化 I プロカルシトニン(PCT) 定量 0346 PF-4(血小板第4因子) I-4(68) 178 D006-26 血 液 如小板第4因子(PF4) 0878 PFDテスト(PABA排泄率) A-12(12)(100) D289-1 — その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG(ペプシノゲン) A-14(14) — 0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1(58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤 1139 PIC(α₂プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)I-4(68) 154 D006-22 血 液 ▽ ブラスミン・ブラスミンインヒビター複合体(PIC) 1043 PIVKAーII 《CLIA》 C-2(24) 135 D009-10 生化 II ◇ PIVKAーII 定量										
1804 P-ANCA (旅好中球細胞質ミエロベルオキシダーゼ旅体) (MPO-ANCA) F-8 (52) 258 D014-30 免 疫 旅好中球細胞質ミエロベルオキシダーゼ旅体 (MPO-ANCA) 0472 PAS染色 〈血液〉 I-2 (66) 27 D005-6(注) 血 液 精血線 (維) 保験色を併せて行った場合の加算 (特殊色ととに) 0467 PAS染色 〈骨髄液〉 I-2 (66) 40 D005-14(注) 血 液 骨髄像 (注) 特殊色を併せて行った場合の加算 (特殊色ととに) 0781 Pb (鉛) A-11 (11) — 8933 PCT (プロカルシトニン) F-2 (46) 284 D007-58 生化 I プロカルシトニン (PCT) 定量 0346 PF-4 (血小板第4因子) I-4 (68) 178 D006-26 血 液 ▽ 血小板第4因子 (PF4) 0878 PFDテスト (PABA排泄率) A-12 (12) (100) D289-1 — その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG (ペプシノゲン) A-14 (14) — 818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤 1139 PIC (ロ2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ▽ ブラスミン・ブラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKAーII 《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化II ◇ PIVKAーII 定量										
0472 PAS染色〈血液〉										
0781 Pb (鉛) A-11 (11) - 0893 PCT (プロカルシトニン) F-2 (46) 284 D007-58 生化 I プロカルシトニン (PCT) 定量 0346 PF-4 (血小板第4因子) I-4 (68) 178 D006-26 血 液 ▽ 血小板第4因子 (PF4) 0878 PFDテスト (PABA排泄率) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG (ペプシノゲン) A-14 (14) - 0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤 1139 PIC (②2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ▽ プラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKAーⅡ《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化Ⅱ ◇ PIVKAーⅡ定量		0472	PAS染色〈血液〉	I-2	(66)	27	D005-6(注)	血液	Ī	末梢血液像(鏡検法) (注)特殊染色を併せて行った場合の加算(特殊染色ごとに)
0893 PCT(プロカルシトニン) F-2(46) 284 D007-58 生化 I プロカルシトニン(PCT)定量 0346 PF-4(血小板第4因子) I-4(68) 178 D006-26 血 液 ▽ 血小板第4因子(PF4) 0878 PFDテスト(PABA排泄率) A-12(12)(100)D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG(ペプシノゲン) A-14(14) - 0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1(58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤 1139 PIC(α₂プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)I-4(68) 154 D006-22 血 液 ▽ プラスミン・プラスミンインヒビター複合体(PIC) 1043 PIVKAーII《CLIA》 C-2(24) 135 D009-10 生化 II ◇ PIVKAーII 定量		0467	PAS染色〈骨髄液〉	I-2	(66)	40	D005-14(注)	血液	Ī	骨髄像 (注)特殊染色を併せて行った場合の加算(特殊染色ごとに)
0346 PF-4 (血小板第4因子)		0781	Pb(鉛)	A-11	(11)	_				
0878 PFDテスト (PABA排泄率) A-12 (12) (100) D289-1 - その他の機能テスト 膵機能テスト 4457 PG (ペプシノゲン) A-14 (14) - 0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤 1139 PIC (ロ₂プラスミンインヒビター・プラスミン複合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ▽ プラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKA-II 《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化Ⅱ ◇ PIVKA-II 定量		0893	PCT (プロカルシトニン)	F-2	(46)	284	D007-58	生化I		プロカルシトニン(PCT)定量
4457 PG (ペプシノゲン) A-14 (14) - 0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤 1139 PIC (②プラスミンインヒビター・プラスミン複合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ▽ プラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKA-Ⅱ《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化Ⅱ ◇ PIVKA-Ⅱ定量		0346	PF-4(血小板第4因子)	I-4	(68)	178	D006-26	血液	₹ ▽	血小板第4因子(PF4)
0818 PHAによるリンパ球幼若化検査 G-1 (58) 345 D016-7 免 疫 リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤 1139 PIC (α₂プラスミンインヒビター・プラスミン複合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ▽ プラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKAーⅡ《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化Ⅱ ◇ PIVKAーⅡ定量		0878	PFDテスト(PABA排泄率)	A-12	(12)	(100)	D289-1	_		その他の機能テスト 膵機能テスト
1139 PIC (α₂プラスミンインヒビター・プラスミン複合体) I-4 (68) 154 D006-22 血 液 ▽ プラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (PIC) 1043 PIVKA-II 《CLIA》 C-2 (24) 135 D009-10 生化Ⅱ ◇ PIVKA-II 定量		4457	PG(ペプシノゲン)	A-14	(14)	_				
1043 PIVKA—Ⅱ《CLIA》 C-2(24) 135 D009-10 生化Ⅱ ◇ PIVKA—Ⅱ定量		0818	PHAによるリンパ球幼若化検査	G-1	(58)	345	D016-7	免疫	Ē.	リンパ球刺激試験(LST)イ 1薬剤
		1139	PIC (α₂プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)	I-4	(68)	154	D006-22	血液	$\bar{i} \bigtriangledown$	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体(PIC)
0033 PL(リン脂質) A-3 (3) 15 D007-2 生化 I □ リン脂質		1043	PIVKA-II 《CLIA》	C-2	(24)	135	D009-10	生化Ⅱ	\Diamond	PIVKA-II定量
		0033	PL(リン脂質)	A-3	(3)	15	D007-2	生化 I		リン脂質
0349 PLG(プラスミノーゲン)《活性》 I-4 (68) 100 D006-13 血 液 プラスミノゲン活性		0349	PLG(プラスミノーゲン)《活性》	I-4	(68)	100	D006-13	血液	Ī	プラスミノゲン活性
2674 PLG(プラスミノーゲン)《抗原量》 I-4 (68) 100 D006-13 血 液 プラスミノゲン抗原		2674	PLG(プラスミノーゲン)《抗原量》	I-4	(68)	100	D006-13	血液	Ī	プラスミノゲン抗原
0308 PLT(血小板数) I-1 (65) 21 D005-5 血 液 末梢血液一般検査		0308	PLT(血小板数)	I-1	(65)	21	D005-5	血液	Ī	末梢血液一般検査

	⊐-FNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	(頁文本	実施料区分番号	判断料 包括	保険収載名称
Р	1788	PR3-ANCA(C-ANCA)(抗好中球細胞質抗体)	F-8	(52)	259 D014-31	免疫	抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体(PR3-ANCA)
	0722	PRA(血漿レニン活性)	B-3	(17)	100 D008-8	生化Ⅱ	レニン活性
	0069	PR-F(蛋白分画)	A-1	(1)	18 D007-4	生化I 🗌	蛋白分画
	0706	PRL(プロラクチン)	B-1	(15)	98 D008-6	生化Ⅱ	プロラクチン(PRL)
	1768	Pro-GRP(ガストリン放出ペプチド前駆体)	C-2	(24)	175 D009-21	生化Ⅱ ◇	ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)
	0569	PSA(前立腺特異抗原)	C-2	(24)	124 D009-9	生化Ⅱ ◇	前立腺特異抗原(PSA)
	2723	PSA-ACT	C-2	(24)	124 D009-9	生化Ⅱ ◇	前立腺特異抗原(PSA)
	4520	PSAフリー/トータル比	C-2	(24)	150 D009-16	生化Ⅱ ◇	遊離型PSA比(PSA F/T比)
	0336	PT(プロトロンビン時間)	I-3	(67)	18 D006-2	血液	プロトロンビン時間(PT)
	1787	PTH-intact (副甲状腺ホルモン-intact)	B-2	(16)	165 D008-33	生化Ⅱ ■	副甲状腺ホルモン(PTH)
	1253	PTHrP-intact(副甲状腺ホルモン関連蛋白-intact)	B-2	(16)	189 D008-38	生化Ⅱ ■	副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)
	0183 0184	P型アミラーゼ(膵型アミラーゼ)〈血清〉〈尿〉		(3)	48 D007-14	生化I	アミラーゼアイソザイム
	0104			, - ,			
R	3821	RAS・BRAF 遺伝子変異解析	H-3	(63)	4000 D004-2(注1)	遺・染	悪性腫瘍組織検査(注1)
ח		RF(リウマトイド因子)定性		(50)	_		
		RF(リウマトイド因子)定量	F-6		30 D014-2	免疫	リウマトイド因子(RF)定量
		RBC(赤血球数)	I-1	(65)	21 D005-5	血液	末梢血液一般検査
		RBP(レチノール結合蛋白)		(9)	136 D015-15	免疫	レチノール結合蛋白(RBP)
	0381	Ret(網状赤血球数)	I-1	(65)	12 D005-2	血液	網赤血球数
		Rh (D)因子	F-9	(53)	24 D011-1	免疫	Rh(D)血液型
		R-Hg(赤血球像)	I-2	(66)	_	<i>70 1</i> 2	111 (5) 11/101
	0257	Rh一Hr式血液型	F-9	(53)	148 D011-3	免疫	Rh(その他の因子)血液型
		RLP-コレステロール(レムナント様リポ蛋白-コレステロール)		(4)	179 D007-43	生化Ⅰ	レムナント様リポ蛋白コレステロール (RLP-C)
		RPR定性(梅毒定性)	F-1	(45)	15 D012-1	免疫	梅毒血清反応(STS)定性
		RPR定量(梅毒定量)	F-1		34 D012-5	免疫	梅毒血清反応(STS)定量
		RS (CF)	E-7		79 D012-11	免疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
		RS (NT)	E-4		79 D012-11	免疫	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(1項目当たり)
				(,		,,,	
S	1809	SAAP(血清アミロイドA蛋白)	F-4	(48)	47 D015-6	免疫	血清アミロイドA蛋白(SAA)
3	4552 4553	SARS-CoV-2核酸同定〈ぬぐい液〉〈唾液〉			700 D023	微生物	SARS-CoV-2核酸検出
		SCC抗原(扁平上皮癌関連抗原)	C-2		104 D009-4		扁平上皮癌関連抗原(SCC)
		Se (セレン)	A-11		144 D007-39	生化Ⅰ	セレン
		sIL-2R(可溶性インターロイキン-2レセプター)			438 D009-30		可溶性インターロイキンー2レセプター(sIL-2R)
		SLX(シアリルLe ^x ーi抗原)	C-1		144 D009-14	•	シアリルLe ^X ーi抗原(SLX)
		Sm-Ig(B細胞表面グロブリン)	G-1		157 D016-1	免疫	B細胞表面免疫グロブリン
		SP-A(肺サーファクタントプロテインA)			130 D007-35	生化Ⅰ	肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)
		SP-D (肺サーファクタントプロテインD)			136 D007-37		肺サーファクタント蛋白-D (SP-D)
		SPan1	C-1		144 D009-14		
		STN(シアリルTn-抗原)	C-1			•	シアリルTn抗原(STN)
	1210	City (2.2.2.111 Mana)		(20)	110 2000 10	⊥ 10 ± ∨	J. J. Hilliam (CHA)
Т	0171	T3 (トリヨードサイロニン)	B-2	(16)	99 D008-7	生化Ⅱ	トリヨードサイロニン (T3)
		T4 (総サイロキシン)	B-2		108 D008-12	生化Ⅱ	サイロキシン (T4)
		TAP-18	F-11		1430 D015-13	免疫	特異的IgE半定量・定量
		TARC	F-11			免疫	TARC
		TAT(トロンビン・アンチトロンビン複合体)		(68)	176 D006-25		トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)
		TBA(総胆汁酸)	A-4			生化Ⅰ	胆汁酸
		TBG(サイロキシン結合グロブリン)	B-2		130 D008-17		サイロキシン結合グロブリン(TBG)
		T-Bil (総ビリルビン)	A-1		11 D007-1		総ビリルビン
	0000		M- I	(1)	11 0007-1	エルエ	心にフルビン

٠	1-FNo.	検 査 項 目 名	頁数(本文頁)	実施料区分番号	判断料 包括	保険収載名称
T 0	0028	T-Cho(総コレステロ-ル)	A-4	(4)	17 D007-3	生化I 🗆	総コレステロール
0	0766	Tf(トランスフェリン)〈血清〉	F-4	(48)	60 D015-7	免疫	トランスフェリン(Tf)
1	1242	Tf(トランスフェリン)〈尿〉	F-4	(48)	101 D001-9	尿・便	トランスフェリン(尿)
0	0639	Tg (サイログロブリン)	B-2	(16)	131 D008-18	生化Ⅱ ■	サイログロブリン
0	0032	TG(中性脂肪)	A-3	(3)	11 D007-1	生化I 🗆	中性脂肪
1	1031	Tg-Ab(抗サイログロブリン抗体)	B-2	(16)	140 D014-9	免 疫 ▲	抗サイログロブリン抗体
0	0053	TIBC(総鉄結合能)	A-10	(10)	11 D007-1	生化I 🗆	総鉄結合能(TIBC)(比色法)
1	1793	TK(チミジンキナーゼ活性)	A-2	(2)	233 D005-12	血液	デオキシチミジンキナーゼ(TK)活性
2	2559 2560	TM(トロンボモジュリン)〈血清〉〈血漿〉	I-4	(68)	204 D006-28	血液▽	トロンボモジュリン
4	1463	total P1NP(I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド)	B-3	(17)	164 D008-32	生化Ⅱ ■	I 型プロコラーゲンーNープロペプチド(P1NP)
0	0001	TP(総蛋白)	A-1	(1)	11 D007-1	生化I 🗌	総蛋白
0	0646	TPA(組織ポリペプチド抗原)	C-2	(24)	110 D009-5	生化Ⅱ ◇	組織ポリペプタイド抗原(TPA)
0)268	TP抗体定性(梅毒定性)	F-1	(45)	32 D012-4	免疫	梅毒トレポネーマ抗体定性
0)270	TP抗体定量(梅毒定量)	F-1	(45)	53 D012-6	免疫	梅毒トレポネーマ抗体定量
1	1258	TPO-Ab(抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体)	B-2	(16)	142 D014-10	免 疫 ▲	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体
1	1021	TRAb(TSHレセプター抗体)(第3世代)	B-2	(16)	220 D014-26	免疫	抗TSHレセプター抗体(TRAb)
2	2996	TRACP-5b(酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ5b)	B-3	(17)	156 D008-27	生化Ⅱ ■	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)
1	1792	TSAb(甲状腺刺激抗体)(TSH刺激性レセプター抗体)	B-2	(16)	340 D014-38	免疫	甲状腺刺激抗体(TSAb)
0	0173	TSH(甲状腺刺激ホルモン)	B-1	(15)	101 D008-9	生化Ⅱ	甲状腺刺激ホルモン(TSH)
1	1021	TSHレセプター抗体(TRAb)(第3世代)	B-2	(16)	220 D014-26	免疫	抗TSHレセプター抗体(TRAb)
48	841他	Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査	G-1	(58)	_		
0	0813	T細胞・B細胞百分率	G-1	(58)	198 D016-3	免疫	T細胞・B細胞百分率
3	3760	T細胞レセプター $β$ 鎖C $β$ 1再構成	H-2	(62)	2373 D006-6	遺・染	免疫関連遺伝子再構成
3	3761	T細胞レセプター $β$ 鎖J $β$ 1再構成	H-2	(62)	2373 D006-6	遺・染	免疫関連遺伝子再構成
3	3762	T細胞レセプターβ鎖Jβ2再構成	H-2	(62)	2373 D006-6	遺・染	免疫関連遺伝子再構成
3	3763	T細胞レセプターγ鎖Jγ再構成	H-2	(62)	2373 D006-6	遺・染	免疫関連遺伝子再構成
3	3764	T細胞レセプターδ鎖Jδ1再構成	H-2	(62)	2373 D006-6	遺・染	免疫関連遺伝子再構成
0	0041	UA(尿酸)〈血清〉〈蓄尿〉	A-6	(6)	11 D007-1	生化I 🗆	尿酸
		UIBC (不飽和鉄結合能)	A-11	(11)	11 D007-1	生化I 🗆	不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)
V 3	3941	View アレルギー39	F-11	(55)	1430 D015-13	免疫	特異的IgE半定量・定量
3 0 0	3993 0720 0849	VMA(バニリルマンデル酸)〈血漿〉〈蓄尿〉 《クレアチニン補正》	B-5	(19)	90 D008-4	生化Ⅱ	バニールマンデル酸(VMA)
		VZV(水痘・帯状ヘルペス)《CF》	E-7	(39)	79 D012-11	免疫	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)(1項目当たり)
1	1019	VZV(水痘・帯状ヘルペス)IgG《EIA》	E-9	(41)	206 D012-42	免 疫	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
1	1020	VZV(水痘・帯状ヘルペス)IgM《EIA》	E-9	(41)	206 D012-42	免疫	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1項目当たり)
W 0	0301	WBC(白血球数)	I-1	(65)	21 D005-5	血液	末梢血液一般検査
0	0318	W-Hg(白血球像)	I-2	(66)	15 D005-3	血液	末梢血液像(自動機械法)
0)715	whole PTH(副甲状腺ホルモンwhole)	B-2	(16)	165 D008-33	生化Ⅱ ■	副甲状腺ホルモン(PTH)
y 3	3737	X染色体〈先天異常〉	H-1	(61)	2553+397 D006-5-1+	注遺・染	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
3	3752	X染色体〈血液疾患〉	H-2	(62)	2553+397 D006-5-1+	注遺・染	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
Y 4	1951	Y染色体〈先天異常〉	H-1	(61)	2553+397 D006-5-1+	注遺・染	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
3	3753	Y染色体〈血液疾患〉	H-2	(62)	2553+397 D006-5-1+	注遺・染	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
Z 0	0573 2908	Zn(亜鉛)〈血清〉〈尿〉	A-11	(11)	136 D007-37	生化 I	亜鉛 (Zn)

21

	コードNo.	検 査 項 目 名	頁数(2	本文頁)	実施料	区分番号	判断区分	料包括	保険収載名称
a	2548	α_1 アシドグリコプロテイン(α_1 AG)	F-4	(48)	_				
a		$\alpha_1 \mathcal{P} \mathcal{V} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{V} \mathcal{V} \mathcal{V} \mathcal{V} \mathcal{V} \mathcal{V} \mathcal{V} V$	F-4	(48)	80	D006-11	ш	液	α ₁ ーアンチトリプシン
	1171 4198	α_1 マイクログロブリン(α_1 MG)〈血清〉〈尿〉	F-4	(48)	132	D015-14	免	疫	α ₁ -マイクログロブリン
		α_2 PI(α_2 プラスミンインヒビター)(アンチプラスミン)《活性》	I-4	(68)	128	D006-15	ш	液 ▽	プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)
	1139	α2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PIC)	I-4	(68)	154	D006-22	ш́	液 ▽	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体(PIC)
	2549	α2マクログロブリン	F-4	(48)	138	D006-18	ш	液 ▽	α2-マクログロブリン
	0169	αーフェトプロテイン(AFP)	C-1	(23)	101	D009-3	生化		αーフェトプロテイン(AFP)
ß	0804	β ₁ C/β ₁ Aグロブリン(C ₃)	F-5	(49)	70	D015-8	免	疫	C ₃
	0852	β ₁ Εグロブリン(C ₄)	F-5	(49)	70	D015-8	免	疫	C4
	0771 0772	eta2マイクログロブリン(eta 2MG)〈血清〉〈尿〉	F-4	(48)	101	D015-11	免	疫	β2-マイクログロブリン
	1236	etaートロンボグロブリン(eta ーTG)	I-4	(68)	176	D006-25	Ш	液 ▽	β ートロンボグロブリン(β ーTG)
V	0020	γ-GT(γ-グルタミルトランスペプチダーゼ)	A-1	(1)	11	D007-1	生化	Ι	γーグルタミルトランスフェラーゼ(γーGT)
	0597	γ-Sm(γーセミノプロテイン)	C-2	(24)	194	D009-24	生化		γーセミノプロテイン(γーSm)
δ	0708	δ-ALA(δ-アミノレブリン酸)	A-10	(10)	109	D001-11	尿・	便	るアミノレブリン酸(δ-ALA)(尿)
1		I 型コラーゲンCテロペプチド(ICTP)		(24)		D009-20	生化		I 型コラーゲンーCーテロペプチド(I CTP)
	3997 1891	I 型コラーゲン架橋Nーテロペプチド(NTX)〈血清〉〈尿〉		(17)		D008-27		II	I 型コラーゲン架橋Nーテロペプチド(NTX)
		I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)		(17)		D008-32			I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(P1NP)
		1α,25- (OH) ₂ ビタミンD		(9)		D007-62			1,25-ジヒドロキシビタミンD3
	2700	(1→3) − β−D−グルカン		(46)		D012-41	免		(1→3) − β − D − グルカン
		1,5-AG (1,5-アンヒドログルシトール)	A-6	(6)		D007-21			1,5-アンヒドローDーグルシトール (1,5AG)
		12染色体〈血液疾患〉				D006-5-1+			染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
		13染色体〈先天異常〉				D006-5-1+			染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
		15染色体(アンジェルマン症候群)				D006-5-1+			染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
		15染色体(プラダーウイリ症候群)				D006-5-1+			染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
		17-ケトステロイド分画(17-KS分画) 3分画							17ーケトステロイド分画(17-KS分画) 17ーケトステロイド分画(17-KS分画)
		17ーケトステロイド分画(17-KS分画)7分画 17染色体(ミラーディカー症候群)				D006-5-1+			染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
		18染色体〈先天異常〉							染色体検査(すべての費用を含む。) +分染法加算
	3733	10朱色体《尤入共市/	III-1	(01)	2000 + 091	D000-5-1+	工 思 。	*	木凸仲快且(リ・・・(の貝用を占り。) 下刀木広川昇
2	1082	2,5ーヘキサンジオン	A-13	(13)	_				
_		21染色体〈先天異常〉				D006-5-1+	注遺・	染	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
		22染色体(22q11欠失)				D006-5-1+			染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
		25-OHビタミンD(くる病)		(9)		D007-31			25-ヒドロキシビタミンD
	1190	25-OHビタミンD(骨粗鬆症)	A-9	(9)	117	D007-31	生化	Ι	25-ヒドロキシビタミンD
4	4199	Ⅳ型コラーゲン	F-5	(49)	135	D007-36	生化	Ι	Ⅳ型コラーゲン
5	0721	5ーハイドロキシインドール酢酸(5ーHIAA)〈蓄尿〉	B-5	(19)	95	D008-5	生化	II	5ーハイドロキシインドール酢酸(5ーHIAA)
7	3739	7染色体(ウイリアムス症候群)	H-1	(61)	2553+397	D006-5-1+	注遺・	染	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
8	3750	8染色体〈血液疾患〉	H-2	(62)	2553+397	D006-5-1+	注遺・	染	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算

⊐-FNo.	検	1	查	項	目	名	頁数(本文頁)	実施料	区分番号	区分包括	保険収載名称	



□取引のお申込み

ご利用に際し、ご連絡頂ければ担当者がお伺いしご説明、ご相談申し上げます。 (ご連絡の際は、最終頁をご参照ください。)

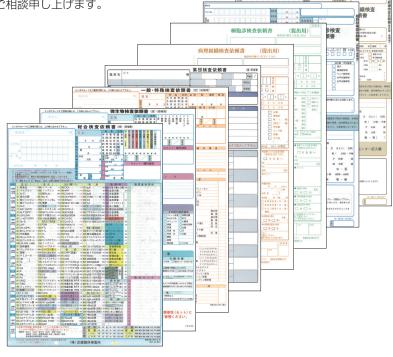
□検査のご依頼

[検査依頼書]

検査依頼書は検査の種類により分類されておりますので 目的に応じたそれぞれの依頼書をご利用ください。 詳細につきましては担当者までお問い合わせください。

[依頼書の種類]

- ① 総合検査依頼書
- ② 微生物検査依頼書
- ③ 一般·特殊検査依頼書
- ④ 集団検査依頼書
- ⑤ 病理組織検査依頼書
- ⑥ 細胞診検査依頼書



[依頼書の記入要領]

- ●氏名、主治医名は必ずカタカナでご記入ください。誤読しやすい文字がありますので、明確に分かる様にご記入ください。例: 『ア、マ、ヤ、セ』、『カ、サ』、『ク、ワ』、『コ、ユ』、『シ、ツ、フ』、『シ、ミ』、『ス、ヌ』、『チ、テ』
- ●生年月日、年齢、カルテNo.、採取日・時間、病棟は英数字またはカタカナでご記入ください。
- ●至急の有無、性別、入院・外来、科名は該当するものを○で囲んでください。
- ●身長・体重、尿量、透析情報、輸血歴の有無、妊娠の有無、妊娠週は必要に応じてご記入もしくは○で囲んでください。
- ●ご依頼項目は、該当項目を○で囲んでください。記載されていない項目はコメント・欄外項目欄にご記入ください。また取消しの際は×印で抹消してください。
- ●施設側で院内セットを組まれている場合は、付番されている番号を○で囲んでください。
- ●総合検査依頼書に付いているラベルは必ず同じセットで使用し、他の依頼書のものは使用しないようにしてください。 (バーコードが違うと受付できない為)
- ●受付処理をコンピュータで行いますので折れ曲がったり、破れたりしないようにお願いいたします。
- ●依頼書は数枚の複写式になっておりますのでボールペンで強くお書きください。なお、一部を貴院様控とし、併せて検体受領書とさせていただきます。
- ●他の依頼書についても基本的な記入要領は同じです。

[検体ラベル]

●検体ラベルに貴院名・患者名・採取日・採取時刻・材料・検査項目等をご記入の上、採取容器にお貼りください。また総合検査依頼書、微生物検査依頼書及び、一般・特殊検査依頼書をご利用の際は必ず添付されている 検体ラベルをご使用ください。

このラベルは依頼書と対になっておりますので、必ず当該検体のみにご使用ください。



[採取容器及び採取]

- ●本案内書の下欄及び巻末の「容器一覧」(N-1~N-5頁)をご参照の上、所定の容器に必要量を採取してください。 また、採取時に使用した器具等は貴院側での法令に応じた安全廃棄をお願いいたします。
- ●本案内書には、およその採取量を記載してあります。検体量不足にならないように十分に採取してください。(本案内書には再検 査分を考慮して設定してあります)
- ●抗凝固剤入り容器(血液、血漿)の場合、規定量を外れると検査値に影響が生じます。抗凝固剤のない容器(血清)においても 採取量が少ないと真空圧がかかり溶血の原因となります。
- 検査項目により専用容器と指定があるものについては指定の容器を必ずご使用ください。
- ●培養を伴う検査の場合は、所定の容器に無菌的に採取してください。

[検体の提出条件]

- ●血清分離の要否など、適切な検査・測定を行うために必要な事項です。本案内書の「採取量・検体量」、「採取容器」、「備考」の 各欄を併せてご参照ください。
- ●同一の容器で「単独検体」と他の検査があった場合には、必ずもう1本別に採取いただきますようお願いいたします。検体が1本しか無い場合はどちらか一方しか検査が出来ませんのでご了承ください。

[検体の保存]

- ●検体のご提出は検査項目によって室温保存、冷蔵保存、冷凍保存等に区別されます。検査精度を維持するために、検体採取後、 指定の保存条件を遵守してください。詳細は各ページの「採取量⇒検体量|欄をご参照ください。
- ●本案内書をご参照の上、凍結検体の場合は-10℃以下になるよう冷凍庫内、又はドライアイス中での保存を、また冷蔵検体の場合は $4\sim15$ ℃での保存を、常温検体は $16\sim28$ ℃での保存をお願いいたします。

□検体の受領・搬送

- ●ご依頼の検体は貴院指定の場所()に当社営業員がご指定の日時にお伺いします。貴院より検体を受領してから当社までの平均搬送時間は約()時間()分を要します。
 - 一部の検査につきましては、当社責任管理の下に他施設に再委託いたします。
- ●検体は検査依頼書とともにお預かりいたします。

ただし、自然災害等により検体の受領・搬送に変更が生じた場合、速やかに貴院へご連絡を行い対応いたします。

(主要参考文献欄中に下記の記号で明示してあります。)

NO.	外部委託施設名	外部委託先への平均搬送時間
% 1	LSIメディエンス	約2時間
*2	エス・アール・エル	約2時間
% 5	ビー・エム・エル	約0.5時間
% 6	東京セントラルパソロジー	約1時間
%O	千葉細胞病理検査センター	約2時間

(記号※0は、武蔵臨床検査所にて実施しております。)

□所要日数

- ●検体をお預かりした翌日を起算日とし、検査結果をお手元にお届けするまでの日数です。
- ●再検査の場合は更に若干の日数を要する事があります。予めご了承ください。 なお、検体の不備、気象状況や交通事情により掲載の所要日数より遅れる場合があります。

□再検査

- ●当社再検査基準に基づき、再検査をいたします。
- ●最少必要検体量にてご依頼の場合、量不足のため再検査に応じられないことがあります。

□検査結果のご報告

- ●検査結果は当社指定の報告書にてお届けいたします。
- ●至急報告を希望されるときには検査依頼時に予めご指示ください。検査結果が判明次第、電話又はFAXにてご連絡させていただきます。 下記検査項目で緊急報告値を示した場合は、速やかにご報告させていただきます。

検 査 項 目	緊急報告範囲
白 血 球 数	1000/4以下、25000/4以上
血 色 素	5.0g/dL以下*1
血小板数	3万以下、100万/μL以上*1
白 血 球 像	芽球様細胞出現**2
総ビリルビン	12.0mg/dL以上**3
AST (GOT)	500U/L以上
ALT (GPT)	500U/L以上
LD(LDH)	1000U/L以上
CK (CPK)	1000U/L以上
尿素窒素	80mg/dL以上*1
アミラーゼ〈血清〉	1000U/L以上
アミラーゼ〈尿〉	3000U/L以上
血 糖(空腹時)	50以下、500mg/dL以上**4
ナトリウム(Na)	110以下、170mEq/L以上
カリウム(K)	2.5以下、6.5mEq/L以上*1
カルシウム (Ca)	6.0以下、14.0mg/dL以上
血中アンモニア	400µg/dL以上** ⁵

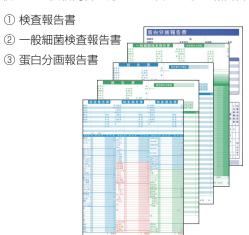
検 査 項 目	緊急報告範囲
血 液 型	表裏不一致
直接クームス	陽性*6
プロトロンビン時間	INR3.0以上
細菌塗抹・培養	血液、髄液からの菌の検出
細菌培養	1、2、3類感染症原因菌の検出
フェノバルビタール	60µg/mL以上
フェニトイン	30µg/mL以上
プリミドン	15µg/mL以上
カルバマゼピン	12µg/mL以上
バルプロ酸ナトリウム	150µg/mL以上
エトスクシミド	120µg/mL以上
リチウム	2.0mEq/L以上
テオフィリン	25μg/mL以上
リドカイン	6.0µg/mL以上
プロカインアミド	12μg/mL以上
サリチル酸	400μ g/mL以上
ジゴキシン	2.5ng/mL以上

- ※1 透析患者検体を除く
- ※2 初診時のみ
- ※3 新生児を除く
- ※4 血糖の低値はNaF入り 専用採血管使用検体のみ
- ※5 除蛋白不良が考えられる 場合は除く
- ※6 新生児のみ

ご利用の手引き

□報告書

検査のご依頼内容に応じて、次のような報告書にてご報告いたします。



- 4 肝炎関連検査報告書
 5 甲状腺関連報告書
 6 負荷試験検査報告書
 7 TUMOR MAKER 検査報告書
 8 TDM検査報告書
 9 アレルゲン検索報告書
- ① Personal · Report
- ① 検査成績証明書



□検体の保管

- ●検査実施後の検査材料は、原則として血清検体は検体受領後2週間、その他の血液検体につきましては1週間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。その後、保管期間を経過した検査材料は廃棄させていただきます。
- ●ただし、腐敗、変性の著しい検査材料は、検査実施後速やかに適正な方法にて廃棄させていただきます。一方、プール化及び匿名化が可能なものについては、個人情報保護法その他関係法規及びガイドラインを遵守した上で検査精度維持、向上等の為に使用することがありますが、委託された医療機関以外または医師個人から学術研究等の目的で検査済みの検査材料の提供を求められたとしても、第三者への提供は行いません。

□検査についてのお問い合わせ

●検査案内等のお問い合わせ、ご意見、ご指摘につきましては、当社営業担当者にお申し付けください。

□料金の請求とお支払い方法

- ●請求書は1ヶ月分まとめてご請求申し上げますので、ご契約に従ってお支払いください。
- ●お支払いは原則として銀行振込又は自動引き落しでお願いいたします。 (振込先は請求書にて指定させていただいております。)

□免責

●ご依頼いただきました各検査は、弊社が定める品質方針に基づき実施しますが、お預かりした検体の状態、または検査技術の限界等により期待された検査結果をご報告できない場合があります。このような場合の検査結果につきましては免責とさせていただきます。

□基準値の単位

L	liter(=1,000mL)
dL	deciliter(=100mL)
mL	milliliter
μL	microliter(=0.001mL)
mm ³	cubicmillimeter
fL	femtoliter
μ3	cubicmicron
kg	Kilogram
g	gram
mg	milligram(=0.001g)
μg	microgram(=0.001mg)
ng	nanogram(=0.001 μg)
pg	picogram(=0.001ng)
ppm	part per million(=µg/mL)

Allergen Unit
milli Unit(=0.001U)
milli International Unit
micro Unit(=0.001mU)
International Unit
International Standard Unit
Arbitrary Unit
millimole(=0.001 mol)
micromole(=0.001mmol)
nanomole(=0.001 μmol)
picomole(=0.001nmol)
femtomole(=0.001pmol)

mEq	milliequivalent
Meq	megaequivalent
FE	Fibrinogen Equivalent
mOsm	milliosmole
sec	second
min	minute
h	hour
%	percent
%	permill
SI	Stimulation Index
cpm	count per minute
RBC	Red Blood Cell
d	day
W	week

大分類

[検査項目一覧表]

検査項目名 略称・別称 小分類

生化学検査 A-1



●「採取容器」および「採取量⇨検体量」欄に関して

・検査材料は保存条件別に色分けしてあります。検査精度に影響を与えることもありますので所定の保存条件を遵守してください。

1) 水色……冷蔵保存(4~15℃)

2) 青色………凍結保存 (-10℃以下)

3) 緑色……常温保存 (16~28℃)

A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	A: 汎用容器(分離剤入り)に血液2.0mL採取し、常温で保存。 遠心分離後、血清0.5mLを別の容器に分注し、冷蔵で保存。
Ι	血液 (小川) / 山瀬 6.0 (2.0)	I:ヘパリン容器に血液6.0mL採取し、常温で保存。遠心分離後、ヘパリン血漿2.0mLを別の容器に分注し、凍結で保存。
A	血液 血清 2.0 0.5	A: 汎用容器(分離剤入り)に血液2.0mL採取し、常温で保存。 遠心分離後、血清0.5mLを別の容器に分注し、常温で保存。
G	<u>血液</u> クエン酸血酸 1.8 0.5	G:血液凝固容器に血液1.8mL採取し、冷蔵で保存。遠心分離後、クエン酸血漿0.5mLを別の容器に分注し、凍結で保存。
Е	EDTA加血液 2.0	E:血液学容器に血液2.0mL採取し、冷蔵で保存。
e	尿5.0	e:滅菌スピッツ管に尿5.0mL採取し、凍結で保存。

●「備考」欄に関して

○ : 予約検査項目…ご提出前に必ず採血日等を当社にご連絡ください。

月:曜日指定項目…受付可能曜日を必ず確認の上、ご提出ください。

★ : 絶対凍結項目…必ず凍結保存してください。温度指定のある項目は、その旨記載いたします。

💢: 遮光保存項目…直射日光または蛍光灯・紫外線を避けて保存してください。

ご利用の手引き

□検体検査料

●検体検査判断料

検体検査料は検体検査実施料と検体検査判断料に区分されております。

実施料

93

数実施料

検体検査判断料は各項目ごとに実施料の下に尿・便から病理の略号で表記しております。

検体検査判断料		本文中略号
1. 尿·糞便等検査判断料	34点	尿·便
2. 遺伝子関連·染色体検査判断料	100点	遺·染
3. 血液学的検査判断料	125点	血液
4. 生化学的検査(I)判断料	144点	生化 I
5. 生化学的検査(Ⅱ)判断料	144点	生化Ⅱ
6. 免疫学的検査判断料	144点	免疫
7. 微生物学的検査判断料	150点	微生物
NO07 病理判断料	130点	病理

[★]保険点数は2020年4月1日改定によるものです。

●包括項目

患者から1回に採取した血液等を用いて下記に掲げる検査を複数項目行った場合は、所定点数にかかわらず、項目数に応じて点数を 算定する。

8項目又は9項目

実施料

99

数

10項目以上

項目

実施料

106

実施料

■生化学的検査 I (血液化学検査) 項 目 数 □

5項目以上7項目以下

(注) 入院中の患者について算定した場合は、初回に限り20点を加算する。						
総ビリルビン	マグネシウム	総鉄結合能(TIBC)(比色法)				
直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン	クレアチン	リン脂質				
総蛋白	グルコース	HDL-コレステロール				
アルブミン(BCP改良法・BCG法)	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	無機リン及びリン酸				
尿素窒素	アミラーゼ	総コレステロール				
クレアチニン	ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)				
尿酸	クレアチンキナーゼ(CK)	アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)				
アルカリホスファターゼ(ALP)	アルドラーゼ	LDL-コレステロール				
コリンエステラーゼ (ChE)	遊離コレステロール	蛋白分画				
γ-グルタミルトランスフェラーゼ(γ-GT)	鉄 (Fe)	銅 (Cu)				
中性脂肪	血中ケトン体・糖・クロール検査	リパーゼ				
ナトリウム及びクロール	(試験紙法・アンプル法・固定化酵素電極による	イオン化カルシウム				
カリウム	もの)	マンガン (Mn)				

目 数 実施料

不飽和鉄結合能 (UIBC)(比色法)

項

■内分泌検査

項目

カルシウム

英 占 数 天旭行	英 占 数 天旭村	英 占 数 大旭行
3項目以上5項目以下 410	6項目又は7項目 623	8項目以上 900
成長ホルモン(GH)	プロゲステロン	副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP)
卵胞刺激ホルモン(FSH)	I 型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)	デオキシピリジノリン(DPD)(尿)
C-ペプチド (CPR)	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)	副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)
黄体形成ホルモン(LH)	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC) 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	
アルドステロン	骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	カテコールアミン
テストステロン	オステオカルシン(OC)	17-ケトジェニックステロイド(17-KGS)
遊離サイロキシン(FT4)	遊離テストステロン	エリスロポエチン
遊離トリヨードサイロニン(FT3)	インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)	17-ケトステロイド分画(17-KS分画)
コルチゾール	低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	17α -ヒドロキシプロゲステロン(17α -OHP)
サイロキシン結合グロブリン(TBG)	I型コラーゲン架橋 C -テロペプチド- $β$ 異性体 $(β$ -CTX $)$ (尿 $)$	抗IA-2抗体
サイログロブリン	I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)	プレグナンジオール
抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)	セクレチン	メタネフリン
脳性Na利尿ペプチド(BNP)	I 型コラーゲン架橋 C -テロペプチド- $β$ 異性体($β$ -CTX)	ソマトメジンC
脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	副甲状腺ホルモン(PTH)	17-ケトジェニックステロイド分画(17-KGS分画)
ヒト絨毛性ゴナドトロピン- β サブユニット($HCG-\beta$)	カテコールアミン分画	メタネフリン・ノルメタネフリン分画
カルシトニン	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)	心房性Na利尿ペプチド(ANP)
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量	サイクリックAMP (cAMP)	プレグナントリオール
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	エストラジオール (E₂)	抗利尿ホルモン(ADH)
サイロキシン結合能(TBC)	エストリオール(E₃)	ノルメタネフリン
ヒト胎盤性ラクトーゲン(HPL)	エストロゲン半定量	インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3)
グルカゴン	エストロゲン定量	遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画

■腫瘍マーカー

項 目 数 実施料	項 目 数 実施料	項 目 数 実施料
2項目 230	3項目 290	4項目以上 396
癌胎児性抗原(CEA)	シアリルTn抗原 (STN)	CA54/61
α-フェトプロテイン (AFP)	神経特異エノラーゼ(NSE)	癌関連ガラクトース転移酵素(GAT)
扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)	核マトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿)	CA602
組織ポリペプタイド抗原(TPA)	核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿)	α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%)
DUPAN-2	シアリルLe ^x -i抗原(SLX)	γ-セミノプロテイン (γ-Sm)
NCC-ST-439	塩基性フェトプロテイン(BFP)	ヒト精巣上体蛋白4(HE4)
CA15-3	遊離型PSA比(PSA F/T比)	可溶性メソテリン関連ペプチド
エラスターゼ1	サイトケラチン8・18(尿)	癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液)
前立腺特異抗原(PSA)	BCA225	癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液)
CA19-9	サイトケラチン19フラグメント(シフラ)	HER2蛋白
PIVKA-Ⅱ半定量、PIVKA-Ⅱ定量	抗p53抗体	可溶性インターロイキン-2レセプター (sIL-2R)
CA125	シアリルLe×抗原(CSLEX)	組織因子経路インヒビター2(TFPI2)
CA72-4	I 型コラーゲン-C-テロペプチド(I CTP)	プロステートヘルスインデックス(phi)

ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)

■肝炎ウイルス関連検査

SPan-1

項 目 数 実施料	項	目	数	実施料	項	目	数	実施料
3項目 290		4項目 360		5	5項目以上		425	
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
HBs抗原	HCVコア抗	体			HE-IgA抗体定性	<u> </u>		
HBs抗体	HA-IgM抗f	本			HCV血清群別判定			
HBe抗原	HA抗体	HA抗体			HBVコア関連抗	HBVコア関連抗原(HBcrAg)		
HBe抗体	HBc-lgM抗	HBc-IgM抗体			デルタ肝炎ウイル	デルタ肝炎ウイルス抗体		
HCV抗体定性·定量	HCV構造蛋	HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体定性			HCV特異抗体価	HCV特異抗体価		
HCVコア蛋白	HCV構造蛋	HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体半定量			HBVジェノタイプ判定			
HBc抗体半定量·定量								

■自己抗体検査

項 目

数

実施料

2項目	320	3項目以上	490	
抗Jo-1抗体定性		抗Sm抗体定性		抗ScI-70抗体定性
抗Jo-1 抗体半定量		抗Sm抗体半定量		抗ScI-70抗体半定量
抗Jo-1抗体定量		抗Sm抗体定量		抗ScI-70抗体定量
抗サイログロブリン抗体		Ciq結合免疫複合体		抗SS-A/Ro抗体定性
抗RNP抗体定性		抗SS-B/La抗体定性		抗SS-A/Ro抗体半定量
抗RNP抗体半定量		抗SS-B/La抗体半定量		抗SS-A/Ro抗体定量
抗RNP抗体定量		抗SS-B/La抗体定量		抗ARS抗体
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体		抗TIF-1γ抗体		抗MDA5抗体
抗RNAポリメラーゼⅢ抗体		抗Mi-2抗体		

実施料

項

目

■出血・凝固検査

項目数 実施料 3項目又は4項目 530	項 目 数 実施料 5項目以上 722		
Dダイマー定性	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体(PIC)	凝固因子	
プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)	プロテインS抗原	(第II、第V、第VII、第VIII、第IX、第X、第XI、	
Dダイマー半定量	プロテインS活性	第XII、第XIII因子)	
von Willebrand因子 (VWF) 活性	β-トロンボグロブリン($β$ -TG)	フィブリンモノマー複合体	
Dダイマー	血小板第4因子(PF4)	プロテインC抗原	
α 2-マクログロブリン	トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)	tPA·PAI-1複合体	
PIVKA-II	プロトロンビンフラグメントF1+2	プロテインC活性	
凝固因子インヒビター	トロンボモジュリン		
von Willebrand因子 (VWF) 抗原			

コード No	検査項目	採取容器	採取量 (mL) ⇒ (mL)	検査方法	基 準 値	実施料 判断料	備考	所要 日数
0001	総蛋白 (TP)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ビューレット法	g/dL 6.7~8.3	11 * ¹ 生化 I	溶血血清では高値を示す 場合があります。	1 2
0002	アルブミン (Alb)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	BCP改良法	g/dL 3.8~5.3	11 *1 生化 I		1 2
0003	アルブミン/グロブリン比 (A/G)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ビューレット・ BCP改良法	1.3~2.2			2
0069	蛋白分画 (PR-F)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	電気泳動法	% 下表参照	18 * ¹ 生化 I		2
			色		素			
0008	総ビリルビン (T-Bil)	A	血液 2.0 © 0.5	バナジン酸酸化法	mg/dL 0.2∼1.2	11 生化 I	溶血、乳ビ血清は検査不可に なる場合があります。	1 2
0009	直接ビリルビン (D-Bil)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	バナジン酸酸化法	$ m mg/dL$ 0.0 \sim 0.4	11 生化 I	溶血、乳ビ血清は検査不可に なる場合があります。	-
			酵		素			
0016	アルカリフォスファターゼ (A L P)	A	血液 2.0 ^{血清}	IFCC標準化対応法	U/L 38∼113	11 生化 I		1 2
1892	骨型アルカリフォスファターゼ (BAP)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	μg/L M 3.7~20.9 F (閉経前) 2.9~14.5 (閉経後) 3.8~22.6	161 *² 生化Ⅱ		3 4
0017	AST (GOT)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	JSCC標準化対応法	U/L 8~38	17 生化 I	溶血血清では高値を示す 場合があります。	2
0018	ALT (GPT)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	JSCC標準化対応法	U/L 4~43	生化 I		2
0019	乳酸脱水素酵素 (LD)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	IFCC標準化対応法	U/L 124~222	生化 I	溶血血清では高値を示す 場合があります。	1
0020	γ ーグルタミルトランスペプチダーゼ (γ $-$ G T)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	JSCC標準化対応法	U/L M 79以下 F 48以下	11 生化 I		2

%1

蛋白分画、総蛋白及びアルブミン(BCP改良法・BCG法)を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。 骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)、インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact P I NP)、I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(P I NP)及びALPアイソザイム(PAG電気泳動法)のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

		蛋白	分画		(%)
ALB	α1	α2	β	γ	A/G
60.2~71.4	1.9~3.3	57~97	6.9~10.7	10.5~20.3	151~250



コード No	検 査 項	目		採取量 (mL) (mL)	検査方法	基準値	実施料判断料	備考	所要 日数
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
0022	コリンエステラ (Ch-E		Α	血液 2.0 [©] 0.5	JSCC標準化対応法	U/L M 235∼494 F 196∼452	生化 I		1 2
0023	ロイシンアミノペフ (L A P		Α	血液 2.0 [◎] 0.5	L-ロイシン-P-ニト ロアリニド基質法	U/L 30∼70	生化 I	 	1 2
0024	クレアチンキナ (CK)		Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	JSCC標準化対応法	U/L M 56~244 F 43~165	生化 I		1 2
0042	アミラーゼ	〈血清〉	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	JSCC標準化対応法	U/L 37∼125	生化 I		1 2
0074	(Amy)	〈尿〉	e	尿0.5	JSCC標準化対応法	U/L 50∼500	生化 I	 	1 2
0808	リパーゼ		Α	血液 2.0 © 0.5	比色法		生化 I		3~5
1233	膵ホスホリパー (膵PLA		Α	血液 血清 2.0 © 0.5	RIA (固相法)	ng/dL 130∼400	生化 I		3~6
0592			A	血液 2.0 © 0.5	LA		生化 I	 	3~6
0027	アルドラーゼ (ALD)	Α	血液 血清 2.0 🕸 0.5	UV法		生化 I	溶血血清では高値を示す 場合があります。	2~3
0118	尿NAG (N-アセチルβ-D-グルコ	サミニダーゼ)	e	尿0.5	比色法 (合成基質法)	U/L 11.3以下	41 尿·便		1 2
0642	リゾチーム	〈血清〉	Α	血液 血清 2.0 © 0.5	 	μg/mL 4.2~11.5	 	 	14 7
2741	(ムラミダーゼ)	〈尿〉	е	尿1.0	比濁法	μg/mL 1.O未満 (検出限界値)	 		4 7
0676	アデノシンデ	〈血清〉	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	酵素法	U/L 5.0∼20.0	生化 I		4
1414	アミナーゼ (ADA)	〈胸水〉	е	胸水0.5	时术/A	U/L	生化 I		4 6
1793	チミジンキナー (TK)		Α	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLIA	7.5以下	233 *1 血液		3~6
1040	グアナーゼ		Α	血液 血清 2.0 © 0.5	酵素法	IU/L 0.4∼1.1	35 生化 I		5~6

^{※1} デオキシチミジンキナーゼ(TK)活性は、造血器腫瘍の診断又は治療効果判定のために行った場合に算定する。



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 判断料 所要 日数 検査方法 検 査 項 目 備 基準値

アイソザイム関連

0755	LDアイソザイ	. 7	A	血液 2.0 © 0.5	アガロース電気泳動法	LDH1 LDH2 LDH3 LDH4 LDH5	% 21~31 28~35 21~26 7~14 5~13		溶血でのご依頼は避けてください。 (溶血の場合LDH1,2,3の上昇 が考えられます。)	3~5
0756	ALPアイソサ	「イム	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	アガロース 電気泳動法		% 0.0~5.3 36.6~69.2 25.2~54.2 0.0~18.1			3~5
0757	アミラーゼ	〈血清〉	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	アガロース	Total-S Total-P	% 36.0~84.3 15.7~64.0	48 生化 I	; 1 1 1 1	3
1460	アイソザイム (Amyアイソザイム)	〈尿〉	e	尿0.5	電気泳動法	Total-S Total-P	% 17.7~61.3 38.7~82.3	48 生化 I	1 1 1 1 1	5
0183	P型アミラーゼ	〈血清〉	Α	血液 2.0 © 0.5	免疫阻害法	18	U/L 3~53	生化 I		2
0184	(膵型アミラーゼ)	〈尿〉	e	尿0.5	,尤及阻吉丛	U/L 33∼407		48 生化 I		2
0759	CKアイソザイ	' ム	A	血液 2.0 🕸 0.5	アガロース 電気泳動法	B B MB MM	% 2以下 6以下 93~99	生化 I	♪:分離後 採血後、すみやかに血清 分離してください。	3~5
0682	CK-MB		A	血液 血清 2.0 © 0.5	LA	5.	ng/mL .0以下	生化 I	☆:分離後	2
0187	m-AST (ミトコンドリア	-AST)	A	血液 2.0 [©] 0.5	プロテアーゼ法	7	IU/L 7以下	49 生化 I		3 4

0032	中性脂肪 (TG)	A	血液 血清 2.0 © 0.5	酵素法 (遊離グリセロール消去法)	mg/dL 11 乳ビ血清では高値を示す $30{\sim}149$ 生化 I 場合があります。] 2
0033	リン脂質 (PL)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	酵素法	mg/dL ₁₅ 150~250 生化 I	1 2

3

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 コード 実施料 判断料 検査項目 検査方法 基準値 備 考 No

					ii	質			
0750	リポ蛋白分画		A	血液 2.0 [◎] 0.5	アガロースゲル 電気泳動法	% 次頁参照	49 生化 I	食事による影響が大きいため 早朝空腹時採血を厳守してく ださい。凍結不可。	3~5
1238	リポ蛋白(a) (Lp(a))	Α	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	LA	mg/dL 40以下	107 *1 生化 I		3~5
1230	レムナント様リポ蛋白-コ (RLP-コレステ		A	血液 2.0 © 0.5	酵素法	mg/dL 7.5以下	179 ^{*2} 生化 I	糖尿病、冠動脈疾患等の動脈 硬化高リスク症例においては、 空腹時5.2mg/dL以上をハイ リスクとする。凍結不可。	2~3
1096		A – I				mg/dL M 119∼155 F 126∼165	1	· 	
1097		A-II				mg/dL M 25.9∼35.7 F 24.6∼33.3	1項目	 	
1098	アポ蛋白	В	A	血液 <u>血清</u> 各2.0 各0.5	TIA	mg/dL M 73~109 F 66~101	· 2項目 62点	 	2~4
1099	/ 小虫口	C-II	11	B2.0 7 B0.5		mg/dL M 1.8~4.6 F 1.5~3.8	¦ 3項目以上 ₹94点		4
1100	 	C-II				mg/dL M 5.8~10.0 F 5.4~ 9.0	¦ ¦生化 I		
1101		E				mg/dL M 2.7~4.3 F 2.8~4.6			
0028	総コレステロ- (T-Ch		A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	酵素法	mg/dL 130∼219	生化 I		1 2
0029	遊離コレステI (F-Ch		Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	酵素法	$ m mg/dL$ $40{\sim}80$	生化 I		1 2
0036	HDLコレス (HDL-0		Α	血液 2.0 [◎] 0.5	直接酵素法	mg/dL M 40∼86 F 40∼99	生化 I		1 2
1161	LDLコレス・ (LDL-0		Α	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	直接酵素法	mg/dL 70∼139	18 * ³ 生化 I	採血してください。	1 2
1166	LDL/HDL比				計算法		1	LDLコレステロールとHDLコレ ステロールより算出するため両 検査を同時にご依頼ください。	1 2
0191	総胆汁酸 (TBA)		Α	血液 2.0 © 0.5	酵素法	μ mol/L 10.0以下	生化 I		3 4
2503	全脂質構成脂肪	仿酸分画	Α	血液 3.0 [©] 1.0	LC-MS/MS	μg/mL, weight % 次頁参照	生化Ⅱ	血漿も検査可。 脂肪酸名は次頁参照	15
4406	脂肪酸分画(4	4成分)	Ι	血液 <u>血漿</u> 2.0 ◎ 0.5	GC	μg/mL 次頁参照	405 生化 I	血清も検査可。	5~8

- ※1 リポ蛋白 (a) は、3月に1回を限度として算定できる。 ※2 レムナント様リポ蛋白コレステロール (RLP-C) は、3月に1回を限度として算定できる。 ※3 HDL-コレステロール、総コレステロール及びLDL-コレステロールを併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。



リポ蛋白分画 (%)

	男性	女性
α	26.9~50.5	32.6~52.5
preβ	7.9~23.8	6.6~20.8
β	35.3~55.5	33.6~52.0

リ ポ 蛋 白 分 画《PAG》 (%)

	男性	女性
HDL	22~50	26~53
LDL	44~69	42~65
VLDL	5~20	4~17

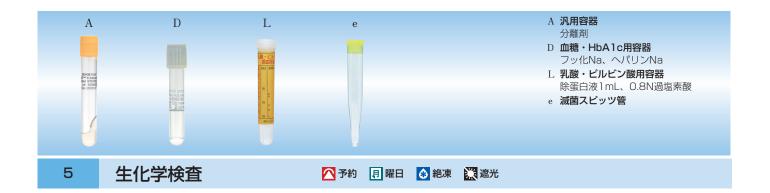
全脂質構成脂肪酸分画

NIa	마나프에스	mb 🗆	基	集値
No.	脂肪酸名	略号	濃度(µg/mL)	成分比(weight %)
1	ラウリン酸	C12:0	4.2 以下	0.16 以下
2	ミリスチン酸	C14:0	8.2~40	0.33~1.17
3	ミリストレイン酸	C14:1ω5	3.4 以下	0.10 以下
4	パルミチン酸	C16:0	451~898	18.38~22.80
5	パルミトレイン酸	C16: 1ω7	25~112	0.90~3.05
6	ステアリン酸	C18:0	164~306	6.30~9.10
7	オレイン酸	C18: 1ω9	432~1069	17.53~26.82
8	リノール酸	C18:2ω6	697~1280	25.30~37.02
9	γ-リノレン酸	C18:3ω6	3.6~22	0.14~0.71
10	リノレン酸	C18:3ω3	10~41	0.31~1.06
11	アラキジン酸	C20 : 0	1.2~2.7	0.07 以下
12	エイコセン酸	C20 : 1ω9	3.2~8.2	0.12~0.23
13	エイコサジエン酸	C20 : 2ω6	3.6~10	0.17~0.29
14	5-8-11 エイコサトリエン酸	C20 : 3ω9	1.2~5.4	0.17 以下
15	ジホモ-γ-リノレン酸	C20 : 3ω6	23~72	0.92~2.24
16	アラキドン酸	C20 : 4ω6	142~307	4.86~9.42
17	エイコサペンタエン酸	C20 : 5ω3	12~112	0.36~3.42
18	ベヘニン酸	C22 : 0	1.3~2.6	0.08 以下
19	エルシン酸	C22:1ω9	1.4 以下	0.04 以下
20	ドコサテトラエン酸	C22 : 4ω6	2.9~7.6	0.11~0.23
21	ドコサペンタエン酸	C22:5ω3	26~60	0.98~1.79
22	リグノセリン酸	C24:0	1.6~2.9	0.09 以下
23	ドコサヘキサエン酸	C22:6ω3	51~185	1.69~5.55
24	ネルボン酸	C24:1ω9	2.1~4.0	0.13 以下
T/T]	戈 (C20:3ω9/C20:4ω6)		0.02以下*	
EPA/	'AA 比 (C20:5ω3/C20:4ω6)		0.06~0.44*	

^{*:}単位なし

脂肪酸分画(4成分) (μg/mL)

ジホモ-γ-リノレン酸	22.6~72.5
アラキドン酸	135.7~335.3
エイコサペンタエン酸	10.2~142.3
ドコサヘキサエン酸	54.8~240.3
EPA/AA 比	0.05~0.61
DHA/AA 比	0.27~1.07
(EPA+DHA)/AA 比	0.32~1.66



コード

0055	血糖 (グルコース)((GLU)	D	血漿2.0	酵素法		生化 I		2
1146	1,5-アンヒドログル (1,5-A(/シトール 3)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	酵素法	I .	生化 I		3~5
0189	ヘモグロビン A (HbAl		D	血液2.0	酵素法	4.6~6.2	49 *1 血液	1 	1 2
1278	グリコアルブミ (GA)	ン	Α	血液 2.0 [©] 0.5	酵素法		55 *1 生化 I		1 2
1012	ヒアルロン酸	 	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LA	ng/mL 50.0以下	179 *² 生化 I	肝硬変の判定基準 130ng/mL以上 (50~130ng/mLの 場合、肝の線維化が疑われます)	3~5
2811	KL-6		A	血液 1.0 [∞] 0.5	LA	1	生化 I	1 1 1 1 1	2~4
0858	乳酸		L	血液 解止清 1.0 0.5	酵素法	3.7~16.3 (空腹安静時)	47 生化 I	専用容器(0.8N過塩素酸入り) は予めご依頼ください。 注 1	3~5
1093	ピルビン酸		L	血液 解止清 1.0 0.5	酵素法	mg/dL 0.30~0.90 (空腹安静時)	47 生化 I	専用容器(0.8N過塩素酸入り) は予めご依頼ください。 注 1	3~5
2821	クエン酸 -	〈血清〉	A	血液 4.5 ^{血清} 1.5	・酵素法	mg/dL 1.3∼2.6			4
2822		〈尿〉	e	尿0.5	· 野杀/広	mg/L 138~1010			10

低分子窒素化合物

尿素窒素	〈血清〉	A	血液 2.0 [©] 0.5	ウレアーゼ	mg/dL 11 8.0∼20.0 生化 I	1
(BUN)	〈蓄尿〉	e	蓄尿0.5	·UV法	g/day 1 7.0~14.0 生化 I	部分尿: コード0067 報告単位: mg/dL 注2
クレアチニン (Cre)	〈血清〉	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	酵素法	mg/dL M 0.61~1.04 F 0.47~0.79 生化 I	1
	〈蓄尿〉	e	蓄尿0.5		g/day l l 0.5~1.5 生化 I	部分尿: コード0072 報告単位: mg/dL 注2
eGFR (推算糸球体濾過	量)			計算法	mL/min/1.73m²	血清クレアチニンのご依頼があり、同 1
クレアチン (Cret)	〈血清〉	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5		mg/dL リリ 0.2~1.0 生化I	3
	〈蓄尿〉	e	蓄尿0.5	,	mg/day 1 M 170以下 生化 I F 290以下 生化 I	4 注2
尿酸 (UA)	〈血清〉	A	血液 2.0 [©] 0.5	 - -	mg/dL 11 M 3.6~7.0 F 2.5~7.0 生化 I	注3]
	〈蓄尿〉	e	蓄尿0.5	・ソリカーで法(g/day 1 0.4~1.2 生化 I	部分尿: コード0099 報告単位: mg/dL 注2
	(BUN) クレアチニン (Cre) eGFR (推算糸球体濾過 クレアチン (Cret)		R	(BUN) (蓄尿) e 蓄尿O.5 クレアチニン (血清) A 血液 血清 2.0 © 0.5 (Cre) (蓄尿) e 蓄尿O.5 eGFR (推算糸球体濾過量) クレアチン (血清) A 血液 ② 血清 2.0 © 0.5 (Cret) (蓄尿) e 蓄尿O.5 尿酸 (山ム)	(BUN)	R

^{※1} ヘモグロビンA1c(HbA1c)又はグリコアルブミン、1,5AGのうちいずれかを同一月中に併せて2回以上実施した場合は、月1回に限り主たるもののみ算定する。ただし、妊娠中の患者、1型糖尿病患者、経口血糖降下薬の投与を開始して6月以内の患者、インスリン治療を開始して6月以内の患者等については、いずれか1項目を月1回に限り別に算定できる。また、クロザビンを投与中の患者について、ヘモグロビンA1c(HbA1c)を月1回に限り別に算定できる。

※2 ヒアルロン酸は、慢性肝炎の患者に対して、慢性肝炎の経過観察及び肝生検の適応の確認を行う場合に算定できる。

※3 KL-6、肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)及び肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

注1 0.8 N過速素酸と血液を等量混合し、3000rpm5分間遠心分離、その上清液を提出してください。

注2. 24時間蓄尿し全尿量を記入のうえ必要量を提出してください。

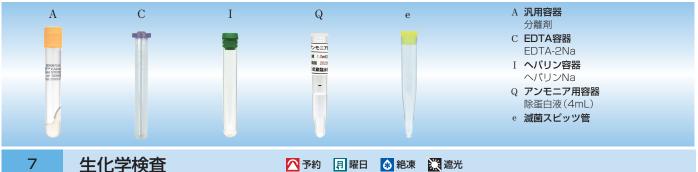
注3. 基準値上限は、日本痛風・核酸代謝学会「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」における高尿酸血症の定義に準拠したものです。

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 実施料 判断料 コード 検査項目 検査方法 基準値 備 考 No

低分子窒素化合物

	シスタチンC		Α	血液 2.0 [◎] 0.5	ラテックス 凝集比濁法	F 0.51~0.62	生化 I		1 3
0043	アンモニア (NH ₃)	Q	血液 解白上清 1.0 2.0	藤井・奥田変法	μ g/dL 30~86 (採血直後測定)	50 生化 I	 専用容器 (除蛋白液入り) に正確に 1.0mLの血液を加え十分混和する。 	2
1044	アミノ酸分画	〈血漿〉	Ι	血液 へパリン血漿 2.0 © 0.5	LC-MS/MS	次頁参照	1141 生化Ⅱ	1 	6
1045	ノミノ酸刀画	〈尿〉	e	尿0.5	LU-IVIO/IVIO		1141 生化Ⅱ	早朝2番尿を直ちに凍結して ください(トルエン、塩酸は 加えないでください。)	8
0598	アミノ酸11分画	〈血漿〉	Ι	血液 へパリン血漿 2.0 © 0.5	LC-MS/MS	次頁参照	1141 生化Ⅱ		5~6
1832	総分岐鎖アミンチロシンモルb	ノ酸/ 比(BTR)	Α	血液 2.0 © 0.5	酵素法		283 生化 II	 溶血検体は不適。 	3
2968	ホモシステイン	,	С	血液 EDTA 1.5 0.5	HPLC	$M = 6.3 \sim 18.9$	279 生化 II		6

シスタチンCは、尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できる。ただし、ペントシジンを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。





アミノ酸分画・アミノ酸11分画

特に指定がない場合は非蛋白態アミノ酸を分画いたします。加水分解を必要とする場合はご指示ください。また、トリプトファンは塩酸加水**分解**るため検出不能となります。 〈血漿〉抗凝固剤はヘパリンが適していますが、短時間保存の場合はEDTA血漿でも有意差はありません。溶血血漿ではAsp,Gluが著しい高値を、Ćys Ċys、Trpが低値を示し ます。血清では分離前放置時間内に血球成分により代謝が進行し、一部のアミノ酸(Asp,Glu,Ala,Lys)が増加をきたします。

〈 \mathbf{k} 〉 蓄尿の場合は、細菌繁殖、分解等によりアミノ酸が変化することがありますので、早朝2番尿による測定をお勧めいたします。

/\ A	m/a 🖂	u_ / _ I / _ I \	
成 分 名	略 号	血漿 (nmol/mL)	尿(µmol/L)
タウリン	Tau	34.5~80.6	23.3~2349
ホスフォエタノールアミン	PEA	5.0以下	65.5以下
アスパラギン酸	Asp	5.7以下	13.8以下
ハイドロキシプロリン	Нур	19.7以下	20.2以下
トレオニン	Thr	89.2~241.6	28.7~788.8
セリン	Ser	78.4~200.1	56.4~1062
アスパラギン	Asn	37.7~78.5	20.6~361.8
グルタミン酸	Glu	13.3~86.7	33.6以下
グルタミン	Gln	503.4~851.4	57.8~1439
サルコシン	Sarco	5.0以下	12.7以下
α-アミノアジピン酸	α-ΑΑΑ	5.0以下	117.2以下
プロリン	Pro	89.8~304.7	42.0以下
グリシン	Gly	136.8~397.7	277.7~4443
アラニン	Ala	253.6~601.9	38.4~956.7
シトルリン	Cit	18.2~50.1	34.4以下
α-アミノ-n-酪酸	α-AnBA	11.2~40.1	33.7以下
バリン	Val	162.9~351.4	5.1~94.4
シスチン	Cys Cys	34.9~77.7	221.8以下
メチオニン	Met	18.1~43.5	
シスタチオニン	Cysthio	5.0以下	
	Ile		
イソロイシン		44.9~120.3	
ロイシン	Leu	84.4~200.2	
チロシン	Tyr	46.7~103.6	10.0~263.6
β-アラニン	β-Ala	8.0以下	84.6以下
フェニルアラニン	Phe	49.0~90.8	7.9~135.5
β-アミノイソ酪酸	BAIBA	6.7以下	7.8~3013
ホモシスチン	Homocys	5.0以下	5.0以下
γ-アミノ酪酸	GABA	5.0以下	5.0以下
モノエタノールアミン	MEA	6.7~12.2	73.6~1076
ハイドロキシリジン	Hyl	5.0以下	46.0以下
オルニチン	Orn	50.8~137.4	76.1以下
1-メチルヒスチジン	1-Me-His	26.5以下	23.2~1990
ヒスチジン	His	68.0~116.6	86.1~2375
リジン	Lys	138.6~294.2	20.2~1500
3-メチルヒスチジン	3-Me-His	7.2以下	26.2~755.8
トリプトファン	Trp	46.7~92.0	8.4~186.7
アンセリン	Ans	5.0以下	85.4以下
カルノシン	Carno	5.0以下	51.9以下
アルギニン	Arg	44.1~115.2	77.4以下
アロイソロイシン	allo-Ile	5.0以下	5.0以下
グリシルプロリン	Gly-Pro	5.0以下	32.8以下
ホモシトルリン	hCit	5.0以下	43.0以下
S-スルホシステイン	SSC	5.0以下	27.0以下
キヌレニン	Kyn	5.0以下	16.9以下
- イメレニノ アルギニノコハク酸	ASA	5.0以下	22.8以下
ブルヤーノコハラ酸 フィッシャー比※1	AUA	2.36~4.69* ²	
成分表	略号	血漿 (nmol/ml)	
バリン	Val	162.9~351.4	

	成 分 表	略号	血漿 (nmol/ml)
バリン	バリン	Val	162.9~351.4
ーア	メチオニン	Met	18.1~43.5
, E	イソロイシン	Ile	44.9~120.3
-,	ロイシン	Leu	84.4~200.2
	チロシン	Tyr	46.7~103.6
酸	フェニルアラニン	Phe	49.0~90.8
111	オルニチン	Orn	50.8~137.4
分	ヒスチジン	His	68.0~116.6
	リジン	Lys	138.6~294.2
画	トリプトファン	Trp	46.7~92.0
	アルギニン	Arg	44.1~115.2
	フィッシャー比*1		2.36~4.69*2

※1 フィッシャー比: バリン+イソロイシン+ロイシン チロシン+フェニルアラニン

※2 単位なし

総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(µmol/L)

BTR	4.41~10.05
BCAA	344~713
チロシン	51~ 98

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 コード 実施料 検査項目 検査方法 基準値 備 判断料 No 日数

			٢	タ :	ミン			
1144	ビタミンA (レチノール)	A ↓ Z	血液 血清 2.0 [©] 0.5	HPLC	μg/dL 27.2~102.7		:分離後	7
1270	レチノール結合蛋白 (RBP)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LA	mg/dL M 2.7∼6.0 F 1.9∼4.6	免疫		4~6
0761	ビタミンB 1 (サイアミン)	47	EDTA加血液 1.O	LC-MS/MS	μ g/dL 2.6~5.8	生化 I	ガラス管の場合は、プラス チック容器に移してから凍 結してください。	4~5
0762	ビタミンB 2 (リボフラビン)	47	EDTA加血液 1.O	HPLC	μ g/dL 12.8~27.6	242 生化 I	ガラス管の場合は、プラス チック容器に移してから凍 結してください。	4 5
1137	ビタミンB 6	A ↓ Z	血液 3.0 ^{血清} 1.0	HPLC	ng/mL 下表参照		:分離後	7
0763	ビタミンB12 (シアノコバラミン)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLIA	pg/mL 233∼914	生化 I		3~5
2857	カルニチン (ビタミンBt)	A	血液 血清 2.0 🕸 0.5	酵素サイクリング法	#mol/L 総カルニチン 45.0~91.0 遊離カルニチン 36.0~74.0 アシルカルニチン 6.0~23.0	95+95		5~8
0765	葉酸 (ビタミンM)	A	血液 血清 2.0 [©] 0.5	CLIA	ng/mL 3.6∼12.9	150 生化 I	溶血検体では測定値が上昇す る場合があります。	3~5
0764	ビタミンC (アスコルビン酸)	A P P Z	血液 除蛋白上清 3.0 0.5	HPLC	μg/mL 5.5~16.8	305 生化 I	※ ○ :分離後単独検体注1	7 10
1188	25-OHビタミンD ^(くる病)	A	血液 2.0 🕸 0.5	ECLIA	ng/mL ビタミンD欠乏 ・20ng/mL以下 ・15ng/mL以下 であればより確実	*2 117 生化 I	本基準値は日本小児内分泌学会の「ビタミンロ欠乏性くる病・低カルシウム血症の診断の手引き」に準拠しています。	3~4
1190	25-0HビタミンD(骨粗鬆症)	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	ng/mL 下表参照	生化 I		3
1033	1α,25-(OH)2 ビタミンD	A	血液 <u>血清</u> 3.0 ^{1.0}	RIA (二抗体法)	pg/mL 20~60	388 ** ³ 生化 I		5~8
2505	ビタミンE (トコフェロール)	A ↓ Z	血液 血清 2.0 © 0.5	蛍光法	mg/dL 0.75∼1.41		:分離後	6 10

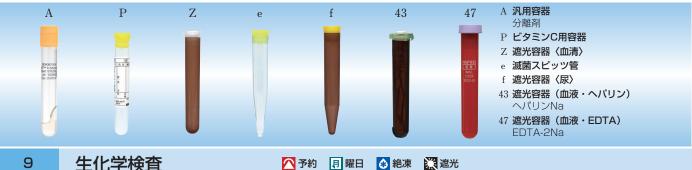
- 総カルニチン及び遊離カルニチンは、関係学会の定める診療に関する指針を遵守し、本検査を先天性代謝異常症の診断補助又は経過観察のために実施する場合は、 月に1回を限度として算定する。また、静脈栄養管理若しくは経腸栄養管理を長期に受けている筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症若しくは小児の患者、人工乳若 しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者、バルプロ酸ナトリウム製剤投与中の患者、Fanconi症候群の患者又は慢性維持透析の患者におけるカルニチン 欠乏症の診断補助若しくは経過観察のために、本検査を実施する場合は、6月に1回を限度として算定する。なお、同一検体について、本検査と先天性代謝異常症検 **※**1
- **%**2
- 査を併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。 25ーヒドロキシビタミンD ア 25ーヒドロキシビタミンDは、原発性骨粗鬆症の患者に対して、測定した場合は、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回に限り算定できる。なお、本検査を実施
 - する場合は関連学会が定める実施方針を遵守すること。 25-ヒドロキシビタミンDは、ビタミンD欠乏性くる病若しくはビタミンD欠乏性骨軟化症の診断時又はそれらの疾患に対する治療中に測定した場合は、診断時 においては1回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定できる。
- 1,25-ジヒドロキシビタミンD3は、慢性腎不全、特発性副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、ビタミンD依存症I型若しくは低リン血症性ビタミンD抵抗 性くる病の診断時又はそれらの疾患に対する活性型ビタミンD。剤による治療中に測定した場合に限り算定できる。ただし、活性型ビタミンD。剤による治療開始後 1月以内においては2回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定する。
- 注1. 正確に血清0.5mLを専用容器(P)に加え、混和後、遠心分離し、その上清を遮光容器(Z)に移し、ただちに、凍結してください。

	ビタミンB ₆	(ng/mL)	
	男性	女性	ビタミ
ピリドキサミン(PAM)	0.6以下	0.6以下	ビタミ
ピリドキサール(PAL)	6.0~40.0	4.0~19.0	ビタミ
ピリドキシン (PIN)	3.0以下	3.0以下	

ビタミンD欠乏症	20.0未満
ビタミンD不足	20.0~29.9
ビタミンD充足状態	30.0以上

25-0HビタミンD(骨粗鬆症)

(ng/mL)



所要

No	横置項	目	容器	(mL) (mL)	検査万法	基準値	判断料	偏 考 	日数
				ポル	フィリ	ン関連			
0708	δーアミノレブ (δ-ALA		f	尿1.0	HPLC	mg/L 2.2以下(参考値)	109 尿·便	※ A-13頁参照	5~8
2851	1		43	ヘパリン加血液 1.5		μg/dL RBC 1.0以下		🔀 速やかに出検。	
1051	ウロポルフィリン	〈尿〉	f	尿3.0	HPLC	μg/g・Cr 36以下	105 尿·便		5~12
0776	· 	〈血液〉	43	ヘパリン加血液 1.5	LIDLO	μg/dL RBC 1.0以下	210 生化 I	X	6
0777	コプロポルフィリン	〈尿〉	f		HPLC	μg/g·Cr 170以下	131 尿·便	X	6~12
1083	赤血球プロトポルフ	フィリン	43	ヘパリン加血液 0.5	HPLC	μg/dL 全血 A-13頁参照	272 生化 I	凍結不可。	5~12
				電解	質・微	量金属			
0045	ナトリウム	〈血清〉	Α	血液 2.0 © 0.5	□ 15.+	mEq/L 135~147]] * []] 生化 I		 - - -
0175	(Na)	〈蓄尿〉	е	蓄尿0.5	電極法	g/day 1.6∼5.8	ll *1 生化 I	部分尿:コード0075 報告単位:mEq/L]
0047	クロール	〈血清〉	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	電板:	mEq/L 96∼108	11 *1 生化 I	 	
0177	(CL)	〈蓄尿〉	е	蓄尿0.5	電極法	g/day 2.5~8.9	生化 I	部分尿:コード0077 報告単位:mEq/L	-
0046	カリウム	〈血清〉	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	電極法	$^{ extsf{mEq/L}}$ 3.6 \sim 5.0	生化 I	溶血血清では高値になります。	1
0176	(K)	〈蓄尿〉	e	蓄尿0.5		g/day 1.0∼3.9	生化 I	部分尿:コード0076 報告単位:mEq/L	2
0048	カルシウム	〈血清〉	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	アルセナゾ Ⅲ 法:	mg/dL 8.5∼10.2	生化 I		1
0125	(Ca)	〈蓄尿〉	е	蓄尿0.5	7 / C / J II/A	g/day 0.1∼0.3	生化 I	部分尿:コード0129 報告単位:mg/dL 	
1181	イオン化カルシ (C a ²⁺)		A	血液 3.0 上 1.0	イオン電極法		生化 I	 	7 10
0049	無機リン	〈血清〉	A	血液 2.0 © 0.5	 - モリブデン酸直接法	mg/dL 2.5~4.5	生化 I		1
0126	(P)	〈蓄尿〉	е	蓄尿0.5		g/day 0.5~1.0	生化 I	部分尿:コード0130 報告単位:mg/dL	2
0050	マグネシウム	〈血清〉	A	血液 2.0 © 0.5	キシリジルブルー法	mg/dL 1.7~2.7	生化 I	 	- - - - - - - - -
0127	(Mg)	〈蓄尿〉	е	蓄尿0.5		g/day 0.02~0.13	生化 I	 	 - - - - -
0052	鉄 (Fe)		A	血液 2.0 © 0.5	比色法	μg/dL M 60~200 F 50~160	生化 I	 	2
0053	総鉄結合能		A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	比色法	μg/dL 250~450	1 **3 生化 I	 	1 2

⁽TIBC)

^{※1} ナトリウム及びクロールについては、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。 ※2 カルシウム及びイオン化カルシウムを同時に測定した場合には、いずれか一方についてのみ所定点数を算定する。 ※3 総鉄結合能(TIBC)(比色法)と不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)を同時に実施した場合は、不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)又は総鉄結合能(TIBC)(比色法)

^{※3} 総域結合形(TIDO)(仏出法)と介護行動が自己形(OIDO)(弘出法)を持ちられる。 の所定点数を算定する。 注1. 血液凝固後、できるだけ速やかに血清分離。血清分離ができない場合は、室温にて保存してください。 全血のままでの冷蔵保存や血清分離までの時間が長い場合、高値傾向を示します。

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 判断料 所要 コード 検査方法 基準値 備 考 検査項目 日数 No

電解質・微量金属

							ı		
0054	不飽和鉄結合能 (UIBC		A	血液 2.0 [□] 0.5	比色法	μg/dL 190~270	生化 I		2
0051	銅	〈血清〉	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	比色法	μg/dL Μ 80~130 F 100~150	23 生化 I	1 1 1 1 1	1 2
1951	(C u)	〈尿〉	20	尿5.0	原子吸光法	濃度 18以下 µg/L 1日量 13以下 µg/day		¦ 必ず指定容器使用 	5~8
0573	亜鉛	〈血清〉	V	血液 血清 2.0 [©] 0.5		μg/dL 80~130	136 生化 I	 必ず指定容器使用 注 1	4 6
2908	(Z n)	〈尿〉	20	尿5.0	原子吸光法	μg/L 64~947	136 生化 I	 	5-7
2909	セレン (Se)		V	血液 血清 2.0 [©] 0.5	ICP-MS	10.0~16.0	144 ^{*2} 生化 I	 	4 6
1065	アルミニウム (AI)		V	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	原子吸光法	μg/dL 0.9以下	112 生化 I	必ず指定容器使用	5 7
0781	鉛 (Pb)		I	ヘパリン加血液 1.O	原子吸光法	μg/dL 1.0以下	 	 A-13頁参照 	5 8
0780	水銀	〈血液〉	Ι	ヘパリン加血液 O.5	· · 原子吸光法	μg/dL 5.0以下	1 1 1 1	1 1 1 1 1	6
1427	(Hg)	〈尿〉	20	尿1.0	; 凉丁吸儿/云 ; ;	μg/L 25.0以下	 		12
2912	 	〈血液〉	I	ヘパリン加血液 O.5	 	μg/dL	 	 	
2913	クロム (Cr)	〈血清〉	V	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	原子吸光法	μg/dL	1	 必ず指定容器使用	7 13
2914	, 	〈尿〉	20	尿1.0	, 	μg/L	 	 	-
2915	カドミウム	〈血液〉	Ι	ヘパリン加血液 O.5	ICP-MS	μg/dL 0.5以下	 	 	5~8
2916	(Cd)	〈尿〉	20	尿1.0	TOP-IVIO	μg/L 3.8以下	 		8
2917	 	〈血液〉	I	ヘパリン加血液 O.5	 	μ g/dL 0.4 \sim 2.0	生化 I	 	
2918	マンガン (Mn)	〈血清〉	V	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	原子吸光法	μg/dL 0.7以下	生化 I	必ず指定容器使用	7 12
2919		〈尿〉	20	尿0.5	- - 	μg/L 2.0未満	27 *3 生化 I	 	
2921	ニッケル (N i)		V	血液 血清 2.0 [©] 0.5	原子吸光法	μg/dL 0.6以下	 	必ず指定容器使用	7 12

総鉄結合能(TIBC)(比色法)と不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)を同時に実施した場合は、不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)又は総鉄結合能(TIBC)(比色法) **%**1

11

総政権 可能(TIBC)(比巴法)と不認和政権 可能(TIBC)(比巴法)を向時に実施した場合は、不認和政権 可能(TIBC)(比巴法)とは総政権 可能(TIBC)(比巴法)の所定点数を算定する。 セレンは、長期静脈栄養管理若しくは長期成分栄養剤を用いた経腸栄養管理を受けている患者、人口乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者又は重症心身障害児(者)に対して、診察及び他の検査の結果からセレン欠乏症が疑われる場合の診断及び診断後の経過観察を目的として実施した場合に限り算定する。マンガン(Mn)は、1月以上(胆汁排泄能の低下している患者については2週間以上)高カロリー静脈栄養法が行われている患者に対して、3月に1回に限り算定で

ж3

注1. 基準値は朝食前の採血により得られたデータです。食物の採取により血中の濃度が低下しますので、朝食前の午前中に採血してください。

	脚料	備	考
--	----	---	---

能 mL/min 血液 2.0 0.5 Α M 78.4~144.7 0070 クレアチニンクリアランス 酵素法 および 2 F 63.4~153.1 e 尿0.5 L/day 血液 2.0 🕸 🛄 70.5 A 血清・尿を必ずペアで提出。 クレアチニンクリアランス M 112.9~208.3 0071 酵素法 年齢・身長・体重・採尿時間・ および (24時間) 91.3~220.5 尿量を必ず明記してください。 e 尿0.5 採取方法は、N-6頁をご参照ください。 % 血液 3.0 [◎] 1.0 Α ウレアーゼ 6 70~130 2865 尿素クリアランス および ·UV法 Ŕ e 尿3.0 **PFDテスト** 4 注1 (100)0878 尿各5.0 ジアゾカップリング法 e 73.4以上 (PABA排泄率) 採取方法は、N-6頁をご参照ください。 5 採尿時間を明記し各々一部 尿を提出してください。 フィッシュバーグ 1 3回のうち少なくとも1 つの比重が1.022以上 尿各3.0 (100)0405 屈折計 e 濃縮試験 2 採取方法は、N-6頁をご参照ください。 mOsm/kg·H₂O 3~5 血液 3.0 [▲] 1.0 0451 〈血清〉 A 275~290 血液 3~5 m0sm/kg · H₂0 : 16 浸透圧 尿1.0 〈尿〉 氷点降下法 0452 e 50~1300 尿・便 m0sm/L 3 透析液1.0 **〈透析液〉** e 0453 5

注1. PFD内服前に対象尿を採取し、内服後6時間蓄尿してください。尿量測定後、各5.0mLを提出してください。6時間尿量を必ず明記してください。

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 コード No 実施料 判断料 検査方法 検査項目 基 準 値 備

産業衛生関連

0595	馬尿酸	e	尿1.0	LC-MS	g/L	下表参照	之 注1: 6
1079	メチル馬尿酸	e	尿1.0	LC-MS	g/L	下表参照	5 注1 :6
0591 2886 2889	総三塩化物	e	尿1.0	GC	mg/L	下表参照	5 注1 8
1067 2872 2875	トリクロル酢酸	e	尿1.0	GC	mg/L	下表参照	5 注1 8
1081	N-メチルホルムアミド	e	尿2.0	GC	mg/L	下表参照	5 注1:6
1082	2,5ーヘキサンジオン	e	尿3.0	GC	mg/L	下表参照	注1:6

注1. 「産業衛生関連検査」を複数項目ご依頼の場合は、尿10.0mLをご提出ください。

「特殊健診項目」名称および分布区分

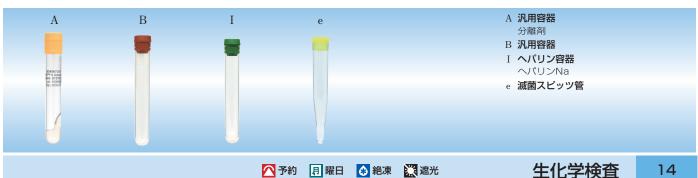
コード	 対象物質名	 検査項目名	単位	分布			
No		快直块日石	中 1世	1	2	3	
0781		鉛	μg/dL	≦20	20<,≦40	40<	
0708	鉛	δ-アミノレブリン酸	mg/L	≦5	5<,≦10	10<	
1083		赤血球プロトポルフィリン	μg/dL全血	≦40	40<,≦100	100<	
0595	トルエン	馬尿酸	g/L	≦1	1<,≦2.5	2.5<	
1079	キシレン	メチル馬尿酸	g/L	≦0.5	0.5<,≦1.5	1.5<	
1087	スチレン	スチレン代謝物	g/L				
1081	N,N-ジメチルホルムアミド	N-メチルホルムアミド	mg/L	≦10	10<,≦40	40<	
1082	ノルマルヘキサン	2,5-ヘキサンジオン	mg/L	≦2	2<,≦5	5<	
0591	1.1.1-トリクロルエタン	総三塩化物(ET)	mg/L	≦10	10<,≦40	40<	
1067	1,1,1-トリンロルエタフ 	トリクロル酢酸(ET)	mg/L	≦3	3<,≦10	10<	
2886	トリクロルエチレン	総三塩化物(3-E)	mg/L	≦100	100<,≦300	300<	
2872	1 1990UNITUJ	トリクロル酢酸(3-E)	mg/L	≦30	30<,≦100	100<	
2889	・テトラクロルエチレン	総三塩化物(4-E)	mg/L	≦3	3<,≦10	10<	
2875	/ トンツロルエテレノ 	トリクロル酢酸(4-E)	mg/L	≦3	3<,≦10	10<	

出典: 鉛健康診断結果報告書(鉛中毒予防規則、様式第3号) 有機溶剤など健康診断結果報告書(有機溶剤中毒予防規則、様式第3号の2)

コード No	検 査 項	目	採取容器		検査方法	基 準 値	実施料 判断料	備考	所要 日数
				そ	の	他			
2923	アセトン	〈血清〉	В	血液 血清 2.0 © 0.5	.00	μg/mL 5未満	 	, 分離剤入り容器は使用しないで ください。 検出限界未満を基準値とする。	5
1431	アセトン	〈尿〉	e	尿1.0	GC	μg/mL 5未満	1	 検出限界未満を基準値とする。 	8
0568	ケトン体分画	〈静脈血〉	Α	血液 血清 2.0 🕸 0.5	酵素法	#mol/L 総ケトン体 26~122 アセト酢酸 13~69 3-ハイドロキシ酪酸 76以下	59 生化 I	☆:分離後総ケトン体にアセトンは 含まれません。	4 5 7
3706	ケトン体分画	〈動脈血〉	A	血液 血清 2.0 © 0.5	i 酵素法	AcAc/3-0HB 0.7以上	59 生化 I	☆ :分離後 注 1	14 7
0778	エタノール		Ι	ヘパリン加血液 1.0	GC	mg/mL 0.1未満	108 生化 I	ガラス管の場合は、ブラスチック容器 に移してから凍結してください。 検出限界未満を基準値とする。	7
0779	メタノール		е	尿2.0	GC	mg/L 3未満		検出限界未満を基準値とする。	6
4457	ペプシノゲン (PG)		A	血液 2.0 ^{企清} 0.5	LA	ng/mL PGI 70.1以上 PGI/PGI比 3.1以上		判定基準(参考値) 萎縮性胃疾患患者として PG I 70ng/mL以下かつ PG I / PG II 比3.0以下	3
4459	ABC検診		A	血液 ≥.0 [◎] 0.5	ペプシノゲン:LA H·ピロリ抗体定量:LA	下表参照	 	イズシノゲンとヘリコバクター・ピロリ抗体定量を 実施し、両検査の結果とABC分類をご報告いたします。 (胃がんリスク分類)	1 2
4460	ABCD検診		A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ペプシノゲン:LA H·ピロリ抗体定量:LA	下表参照	 	ベブシノゲンとヘリコパクター・ピロリ抗体定量を 実施し、両検査の結果とABCD分類をご報告いたします。 (胃がんリスク分類)	1 2
2939	/ 7 1157	〈血清〉	Α	血液 3.0 ^血 清 1.0	7.77.4	mg/dL	120 ^{※1} 生化 I	 	8
2940	イヌリン	〈尿〉	e	尿5.0	アンスロン法	mg/dL	120 *1 生化 I		18
0775	結石鑑別	《定量》	e	結石5mg	赤外線吸収 スペクトル法	%	117 生化Ⅱ	乾燥した状態で提出してください。 血液などが付いた検体は蒸留水で 洗浄し乾燥させて提出してください。 含有主成分の比率で報告。	4 6

ABC検診・ABCD検診 判定(分類)基準

		ヘリコバクター・	・ピロリ抗体定量	
		(-)	(+)	
° = 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(-)	A群	B群	
ペプシノゲン(PG)	(+)	C群 (D群) (C群)		



^{※1} イヌリンは、尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、6月に1回に限り算定できる。ただし、クレアチニン(腎クリアランス測定の目的で行い、血清及び尿を同時に測定する場合に限る。)を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
注1. ブドウ糖投与または食後(血糖120mg/dL以上)に動脈採血してください。採血後は、すみやかに冷却遠心して血清分離し、必ず凍結でご提出ください。

コード No 採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 実施料 判断料 検査項目 検査方法

-	_	工	1_	_
		##	17	\mathbf{r}
		#	14	₽

0701	成長ホルモン (GH)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA	ng/mL M 2.47以下 F 0.13∼9.88	生化Ⅱ	負荷前安静時。 へパリン血漿およびEDTA 血漿も検査可。	4 ~60
1069	ソマトメジン一C	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA	ng/mL 下表参照	212 生化 II	性別、年齢を必ずご記入ください。 く 血漿も検査可。	3 4
0702	黄体形成ホルモン (LH)	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	mIU/mL 下表参照	108 生化Ⅱ		3
0703	卵胞刺激ホルモン (FSH)	Α	血液 2.0 © 0.5	ECLIA		生化Ⅱ		3
0706	プロラクチン (PRL)	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	ng/mL 下表参照	98 生化 I		3
0173	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	μ IU/mL $0.50{\sim}5.00$	101 生化Ⅱ		2
0704	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	С	血液 3.0 EDTA雌 1.0	ECLIA		生化Ⅱ	☆ :分離後 早朝安静時。	3 4
0709	バゾプレシン (AVP) (抗利尿ホルモン)	С	血液 EDTA 嫌 6.0 2.2	RIA (二抗体法)	pg/mL 水制限 4.0以下 自由飲水 2.8以下	230 生化 II	「オス可能性がちります」	6 8 8

ソマトメジン-C (ng/mL)	

年齢	男性	女 性	年齢	男性	女 性	年齢	男性	女 性
0	11~149	15~154	26	119~329	146~336	52	86~242	78~213
1	14~148	23~186	27	116~322	141~328	53	85~240	77~212
2	18~154	32~213	28	114~315	137~320	54	84~239	76~211
3	24~164	40~227	29	111~309	133~312	55	84~238	75~210
4	32~176	48~238	30	109~303	129~304	56	83~237	74~208
5	44~193	56~252	31	107~297	126~297	57	82~236	73~207
6	55~215	69~287	32	105~292	122~290	58	81~235	72~205
7	63~247	89~357	33	103~287	119~283	59	80~233	71~203
8	72~292	111~438	34	102~283	115~277	60	79~232	70~201
9	84~350	133~517	35	100~279	112~271	61	77~230	69~198
10	99~423	155~588	36	99~275	109~265	62	76~228	68~196
11	113~499	175~638	37	97~272	106~260	63	75~226	66~194
12	125~557	188~654	38	96~269	103~254	64	73~224	65~191
13	133~579	193~643	39	95~266	100~250	65	72~221	64~188
14	138~570	193~625	40	94~263	98~245	66	70~219	62~186
15	141~552	192~614	41	94~261	95~240	67	68~216	61~183
16	142~543	192~611	42	93~259	93~236	68	66~213	60~180
17	142~540	191~599	43	92~257	90~233	69	65~209	59~177
18	142~526	188~574	44	92~255	88~229	70	63~206	57~175
19	143~501	182~539	45	91~253	87~226	71	61~202	56~172
20	142~470	175~499	46	90~250	85~224	72	58~198	55~170
21	139~436	168~459	47	90~250	83~221	73	56~194	54~167
22	135~405	161~425	48	89~248	82~219	74	54~190	53~165
23	131~379	155~397	49	88~246	81~218	75	52~185	52~163
24	128~356	151~375	50	87~245	80~216	76	50~181	50~160
25	125~337	147~358	51	87~243	79~215	77	48~177	49~158

LH·FSH (mIU/mL)

na/	m 1
112/	mL)

			LH	FSH
男性			2.21~ 8.41	1.80~ 12.01
女性	卵胞期	1.46~14.66	2.94~ 9.25	
	иН	排卵期	8.09~99.29	5.41~ 23.39
	仕	黄体期	0.59~13.39	1.34~ 6.21
		閉経後	11.00~50.00	26.00~120.00

			PRL		
	男	性	4.29~13.69		
女	性	閉経前	4.91~29.32		
		閉経後	3.12~15.39		

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 判断料 コード 所要 検査項目 検査方法 基 準 値 備 考 日数 No

状 腺 甲

0171	トリヨードサイロニン (T3)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA	ng/mL 0.80~1.60	99 生化 I	1 } 2
0563	遊離トリヨードサイロニン (FT3)	Α		ECLIA	pg/mL 2.3 \sim 4.0	124 生化Ⅱ	1
0172	総サイロキシン (T4)	Α	血液 <u>血清</u> 2.0 0.5	ECLIA	μg/dL 6.1∼12.4	108 生化Ⅱ	1
		Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA	I .	生化Ⅱ	1
0712	サイロキシン結合グロブリン (TBG)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	I .	生化Ⅱ	3 6
0639	サイログロブリン (Tg)	Α	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 © 0.5	ECLIA	ng/mL 33.70以下	131 生化Ⅱ	2~3
0235	サイロイドテスト	A	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 © 0.5	PA		37 免疫	3
0234	マイクロゾームテスト	Α	<u>血液</u> 2.0 © 0.5	PA	· TUU借木油	37 *1 免疫	3
1031	抗サイログロブリン抗体 (Tg-Ab)	Α	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 0.5	ECLIA	i company and a second a second and a second a second and	免疫	2
1258	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (TPO-Ab)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA		免疫	2
1021	TSHレセプター抗体 (TRAb) (第3世代)	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	2.0未満 IU/L 未治療パセドウ病における 推奨カットオフ値	220 ^{※2} 免疫	2
1792	甲状腺刺激抗体 (TSAb) (TSH刺激性レセブター抗体)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.6	EIA	%	340 * ² 免疫	6

副	田	状	腺
H.)		1/\	

1787	副甲状腺ホルモンーintact (PTH-intact)	血液 血清 2.0 © 0.5	ECLIA	pg/mL 165 10~65 生化II	血漿も検査可。 2
0715	副甲状腺ホルモンwhole (whole PTH)	血液 血清 2.0 © 0.5	ECLIA	pg/mL 165 14.9~56.9 生化I	血漿も検査可。 3 4
1253	副甲状腺ホルモン関連蛋白ーintact (PTHrPーintact)	血液 血漿 2.0 ○ 0.5	IRMA (ビーズ固相法)	pmol/L ₁₈₉ *3 1.1未満 生化Ⅱ	6 - 8

- %2 %3
- 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体を、抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。 抗TSHレセプター抗体(TRAb)及び甲状腺刺激抗体(TSAb)を同時に行った場合は、いずれか一方のみ算定する。 副甲状界によるとは、いずれか一方のみ算に対する治療効果の判定のために測定した場合に限り 算定する。



コード 検査項目 No

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL)

検査方法

基準値

実施料 判断料 備

所要 日数

副甲状腺(骨代謝関連)

0892	カルシトニン (CT)	Α	血液 血清 2.0 [©] 0.5	ECLIA	pg/mL M 5.15以下 F 3.91以下	133 生化Ⅱ		3~5
2510	オステオカルシン (BGP)	Α	血液 血清 2.0 © 0.5	FEIA	ng/mL 8.3~32.7	157 ※½ 生化Ⅱ		3~6
2996	TRACP-5 b (酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ5b)	Α	血液 血清 2.0 © 0.5	EIA	mU/dL M 170∼590 F (YAM)120~420	100	YAM (Young Adult Mean) :若年成人(30~44歳)平均值	3~6
3997	I 型コラーゲン架橋 (血清)	Α	血液 血清 2.0 © 0.5	EIA	M 9.5~17.7 nmol BCE/L F 閉経前7.5~16.5 閉経後10.7~24.0			4~6
1891	Nーテロペプチド(NTx)	е	尿1.5	CLEIA	M 13.0~66.2 nM BCE/mM·Cr F 閉経前9.3~54.3 閉経後14.3~89.0	; 100 %4 !#/\n	早朝第2尿 尿中NTx濃度が15.0nM BCE/L未満の場合、クレ アチニン補正値は【換算不可】でご報告いたします。	
1895	デオキシピリジノリン (DPD)	е	尿1.5	EIA	nmol/mmol · Cr M 2.1∼5.4 F 2.8∼7.6	191 ^{*2} 生化Ⅱ	早朝第2尿 濃度が3.0nmol/L未満の場合、クレアチニン 補正値は【換算不可】でご報告いたします。	4 ~6
4463	total P1NP (I型プロコラーゲン-N-プロペプチド)	Α	血液 2.0 [◎] 0.5	ECLIA	M 18.1~74.1 μg/L F 閉経前16.8~70.1 閉経後26.4~98.2	164 ^{※5} 生化Ⅱ	溶血検体では測定値が 低下傾向となります。	1

瞽 質 副 皮

0722	血漿レニン活性 (PRA)	С	血液 EDTA血漿 2.0 0.6	EIA	0.2~2.3 (队位) ng/mL/h 0.2~3.9 (座位) 0.2~4.1 (立位)	100 ^{*6} 生化Ⅱ	早朝安静状態で採血。 ヘパノ血素不可、速やかに治り高心・血漿分離してください。 溶血検体では、測定値が低下傾向となる場合があります。 分離後	3 ~ 4
2601	レニン定量	С	血液 EDTA血漿 2.0 0.5	CLEIA	pg/mL 2.21~39.49	105 ^{*6} 生化 I	早朝15分以上座位にて安静後採血。 十分混和し速やかに遠心、血漿分離 してください。 ・ 分離後	3 4
0725	アンジオテンシン I 転換酵素 (ACE)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	笠原法	IU/L 7.7~29.4	140 生化 I		3~5

- オステオカルシン(OC)は、続発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定及び原発性又は続発性の副甲状腺機能亢進症による副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 後の治療効果判定に際して実施した場合に限り算定できる。
- I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)、オステオカルシン(OC)又はデオキシピリジノリン(DPD)(尿)を併せて実施した場合は、いずれか1つのみ算定する。
- 酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)は、代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助として実施 ж3 した場合に1回、その後6月以内の治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に1回に限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回 に限り算定できる。酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)と I 型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)、オステオカルシン(OC)又はデオキシピリジノリン DPD)(尿)と併せて実施した場合は、いずれか1つのみ算定する。なお、乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために当
- の治療効果判定又は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択に際して実施された場合に算定する。なお、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の薬剤効 の日本版がよれています。 実判定時に1回に限り、また薬剤治療方針を変更したときは変更後6月以内に1回限り算定できる。 骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)、インタクト1型ブロコラーゲン・N・ブロペブチド(Intact PINP)、I型ブロコラーゲン・N・ブロペブチド(PINP)及びALPアイ
- ソザイム(PAG電気泳動法)のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- **%**6 レニン活性とレニン定量を併せて行った場合は、一方の所定点数のみ算定する。

骨代謝マーカーの判定基準のカットオフ値

	骨量低下 リスク	骨折リスク			
NTx	35.3	54.3			
〈尿〉	単位:nM BC	E/mM · Cr			
NTx	13.6 16.5				
〈血清〉	単位:nM BCE/L				
DPD	5.9	7.6			
	単位:nmol/mmol·Cr				
TRACP-5b	309	420			
THACP-SD	単位:mU/dL				

尿中I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)の判定基準

副甲状腺摘出術の適応	200nM BCE/mM·Cr以上
悪性腫瘍(乳癌、肺癌、前立腺癌) の骨転移の指標	100nM BCE/mM·Cr以上
骨吸収亢進の指標	55nM BCE/mM·Cr以上

※BCE (Bone Collagen Equivalents) : 骨コラーゲン相当量の単位。



コード

No

					m) -				
0728	コルチゾール	〈血清〉	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLIA	μg/dL 3.7~19.4 (午前10時以前)	124 生化Ⅱ	血漿も検査可。	3~5
1714	コルチゾール	〈蓄尿〉	e	蓄尿0.5	CLIA	μg/day 5.5~66.7	124 生化Ⅱ	蓄尿時は冷暗所に保管して ください。	3~6
0726		〈血清〉		2.0 → 0.5		pg/mL 4.0~82.1	125 生化I	早朝15分以上座位にて安静後 採血。血漿は十分混和し速やか	
3994	アルドステロン	〈血漿〉	С	血液 DTA	CLEIA	μg/day		に遠心分離してください。 	
0727		〈尿〉	е	蓄尿2.0		1.0~19.3	生化Ⅱ	尿量測定後、速やかに必要量 を凍結してご提出ください。	6
4446	アルドステロン 活性比(高血圧				計算法	比:200以下 (カットオフ値)	 	血漿レニン活性とアルドステロン〈血漿〉の2項目と同時にご依頼ください。 注1	4 ~5
4566	アルドステロン 活性比(アルドスラ				計算法	下記参照		血漿レニン活性とアルドステロン〈血漿〉の2項目と同時にご依頼ください。 注2	4 5
1635	デハイドロエピアンドロ サルフェート (DHE	コステロン A-S)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	μg/dL 下表参照	169 生化Ⅱ		3 -5
	17ーケト 〈 ステロイド分画 ―	(3分画〉	e	蓋尿各5.0	GC-MS/MS	mg/day 下表参照	213	 蓄尿時は冷暗所に保管してく ださい(保存剤による影響は	6
	(17-KS分画) ₍	(7分画)		⊞冰口∪.∪		1 20 0 1 1	生化Ⅱ	たさい (体行前による影響は) ありません)。	9 !

注1

アルドステロン/レニン活性比(高血圧)の基準値は「高血圧治療ガイドライン2019」に準拠したカットオフ値です。活性比のアルドステロン値はCLEIA値をRIA相当値(アルドステロンCLEIA値×1.174+42.3)として補正したデータを使用して計算いたします。 アルドステロン/レニン活性比(アルドステロン症)の基準値は、血漿アルドステロン(CLEIA法)と血漿レニン活性を測定し、活性比が≥200かつ血漿アルドステロン(CLEIA法)≥60pg/mLで陽性と判定。ただし、CLEIAによる測定値が普及、一般化し、CLEIA法による至適カットオフ値が確立するまでは、活性比100~200を境界域と位置付け、活性比100~200かつ血漿アルドステロン(CLEIA法)≥60pg/mLも暫定的に陽性と判定。

DHEA-S	(μg/dL)

	年 齢	DHEA-S	年 齢	DHEA-S
	20~29歳	159~538	20~29歳	92~399
男	30~39歳	125~475	女 30~39歳	58~327
性	40~49歳	123~422	性 40~49歳	41~218
	50~59歳	76~386	50~59歳	30~201

*:実測範囲による参考値(n=4)

17-KS分画 (mg/	day))
-----------	-----	------	---

		分画成分名	男 性	女 性
	3	アンドロステロン	1.12~4.71	0.22~2.78
	分	エチオコラノロン	0.43~3.23	0.10~2.39
7	Щ	デハイドロエピアンドロステロン	2.92 以下	1.49 以下
分		11-ケトアンドロステロン	0.50 以下	0.48 以下
画		11-ケトエチオコラノロン	0.08~0.63	0.62 以下
		11-ハイドロキシアンドロステロン	0.39~2.04	0.19~1.17
		11-ハイドロキシエチオコラノロン	0.54 以下	0.75 以下

副腎髄質·交感神経·中枢神経

1216	メタネフリン	〈尿〉	e	尿2.0	LC-MS/MS	mg/L	220 生化 I		4 6
4381	2分画	〈蓄尿〉	(蓄尿) e 酸性蓄尿 2.0			mg/day メタネフリン (MN) 0.05~0.20 ノルメタネフリン (NMN) 0.10~0.28	220 生化 II	メタネフリン総1日量(mg/day)、 メタネフリン濃度(mg/L)、ノル メタネフリン濃度(mg/L)もご 報告いたします。 注1	4 6
0717		〈血漿〉	С	血液 DTA M 3.0 1.0		ng/mL 下表参照	165 生化Ⅱ		4 5
0719	カテコールアミン 3分画	〈尿〉	e	尿1.0	HPLC	μg/L	165 生化Ⅱ		4 5
4382		〈蓄尿〉	e	酸性蓄尿 1.0	i 	μg/day 下表参照	165 生化Ⅱ	アドレナリン濃度(µg/L)、ノルアドレナリン濃度(µg/L) ドーバミン濃度(µg/L)もご報告いたします。 ドーバ」と同時依頼の場合は、尿100mlで両項目検査可。 注 1	4~5
3944	遊離カテコール	〈尿〉	e	尿1.0	HPLC	μg/L	生化Ⅱ		4 5
4383	アミン3分画	〈蓄尿〉	e	酸性蓄尿 1.0	HPLU	μg/day 下表参照	生化Ⅱ	「遊離アドレナリン濃度(μg/L) 「遊離/ルアドレナリン濃度(μg/L) 「遊離ドーパミン濃度(μg/L)もご報告いたします。 注 1	4 5
3993		〈血漿〉	С	血液 EDTA血漿 5.0 1.5	HPLC	ng/mL 3.3∼8.6	生化Ⅱ	☆:分離後	6 10
0720	バニリルマンデル酸 (VMA)	〈蓄尿〉	e	酸性蓄尿 1.0	LC-MS/MS	mg/day 1.4~4.9	90 生化Ⅱ	バニリルマンデル酸濃度(mg/L) もご報告いたします。 注 1	4 6
0849	《クレアチニ	ン補正》	е	尿1.0	LU- V 3/ V 3	μg/mg·Cr 1.2∼4.9	90 生化 II	バニリルマンデル酸濃度(mg/L) およびクレアチニン値(mg/dL) もご報告いたします。 に常児参考基準値は下表参照	4 6
3948		〈血漿〉	С	血液 DTA血漿 5.0 1.5	HPLC	ng/mL 4.4∼15.1	生化Ⅱ	☆:分離後	6 10
2511	ホモバニリン酸 (HVA)	〈蓄尿〉	e	酸性蓄尿 1.0	LC-MS/MS	mg/day 1.6∼5.5	69 生化Ⅱ	ホモバニリン酸濃度(mg/L)も ご報告いたします。 注 1	4 6
4532	《クレアチニ	ン補正》	е	尿1.0		μg/mg·Cr 1.6∼5.5	69 生化 II	ホモバニリン酸濃度(mg/L)お よびクレアチニン値(mg/dL)も ご報告いたします。 正常児参考基準値は下表参照	3~5
0888	セロトニン	〈血液〉	С	EDTA加血液 1.O	LC-MS/MS	ng/mL 52.8∼200.0		1 1 1 1 1	4
3949	ヒロドーノ	〈血漿〉	С	EDTA加加坡 多血小板血漿 3.0 3.0 1.0	 	ng/mL 623.0以下		採血後、4℃、900rpm、20分遠 心分離によりPRPを採取して ください。	4 10
0721	5−ハイドロキシインドー (5 − H I A A)	ル離 〈蓄尿〉	е	酸性蓄尿 1.0	LC-MS/MS	mg/day $0.6\sim4.1$	95 生化Ⅱ	5-HIAA濃度(mg/L)もご報告 いたします。 注 1	4 6

注1. 6N塩酸約20mL (蓄尿1リットル当り)または市販の酸性蓄尿添加剤を加え冷所に蓄尿し、よく混和後、尿量測定の上、所定量をご提出ください。

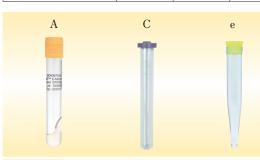
カテコールアミン3分画・遊離カテコールアミン3分画

分画成分名	カテコール	アミン3分画	遊離カテコールアミン3分画
	血漿 (ng/mL)	蓄尿(μg/day)	蓄尿(μg/day)
アドレナリン(A)	0.17以下	1.1~22.5	0.6~14.1
ノルアドレナリン(NA)	0.15~0.57	29.2~118.0	9.7~41.4
ドーパミン (DA)	0.03以下	100.0~1000.0	120.0~310.0

尿中VMA/HVA(クレアチニン補正):正常児参考基準値

(µg/mg·Cr)

月 齢	1~3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11~12ヶ月	1~12ヶ月
VMA mean±S.D	8.6±4.10	8.9±3.35	9.1±3.20	9.1±3.25	9.0±3.29	8.8±3.43	8.6±3.20	8.8±3.32	8.3±3.44	9.1±3.38
HVA mean±S.D	18.1±6.18	18.2±4.79	17.9±4.96	17.5±4.88	17.2±5.16	16.6±5.42	16.7±5.28	16.4±5.40	16.1±5.54	17.4±4.98



- A 汎用容器 分離剤
- C EDTA容器 EDTA-2Na
- e 滅菌スピッツ管

所要

コード

No

0150	インスリン (IRI))	Α	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	μU/mL 3.0∼18.7	103 生化Ⅱ	, 空腹時負荷前。	1 2
0891	インスリン抗体		Α	血液 2.0 © 0.5	RIA	 125 - R 結合率0.4%未満 濃度 125nU/mL未満	110 免疫	 空腹時負荷前。 	4 5 7
0745	C-ペプチド	〈血清〉	Α	血液 2.0 © 0.5	ECLIA		生化Ⅱ	ビオチンを投与している患者(1日5mg 以上)からの採血は、投与後、少なくとも8 時間以上経過してから実施してください。	i: ,
0654	(CPR)		е	蓄尿0.5	COLIA	μg/day 22.8~155.2	108 ^{※1} 生化Ⅱ	蓄尿は冷蔵保存しながら行うか、あらかじめ専用保存剤を蓄尿容器に1袋(10g)を入れて蓄尿を行ってください。他項目との重複依頼は避けてください。	
1767	抗GAD抗体		Α	血液 2.0 © 0.5	EIA (ブリッジ法)		134 ^{※2} 生化Ⅱ	 	3
1906	抗IA-2抗体		Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	EIA	U/mL 0.6未満	213 ^{*3} 生化Ⅱ		4

				性	腺・	胎 盤			
3964		〈血清〉	Α	血液 2.0 [∞] 0.5	ECLIA	mIU/mL 非妊婦3.0以下次頁参照		 	1
3965	ゴナドトロピン (HCG)	〈尿〉	е	尿0.5	LOLIA	mIU/mL 非妊婦3.0以下次頁参照	134 ^{※4} 生化Ⅱ	 	2
0672	HCG- <i>β</i> サブユニット	〈血清〉	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	IRMA (ビーズ固相法)	ng/mL 0.1以下	132 ¾4 生化Ⅱ	妊娠有無、妊娠週数を必ずご記入ください。	3~5
3969	プレグナンジオ (P2)	ール	e	蓄尿5.0	GC-MS/MS	I	(土)[] [[蓄尿時は冷暗所に保管してください(保存剤による影響はありません)。	8 10
3970	プレグナントリ (P₃)	オール	e	蓄尿5.0	GC-MS/MS	mg/day 次頁参照	4 / / . п	蓄尿時は冷暗所に保管してく ださい(保存剤による影響はあり ません)。	8 10
4424	抗ミュラー管ホ (AMH)	ルモン	A	血液 2.0 ^{血清} 0.6	CLEIA	ng/mL 次頁参照	600 *6 生化Ⅱ		4-6
0736	エストラジオー (E2)	ル	Α	血液 2.0 [©] 0.5	ECLIA	pg/mL 次頁参照	172 * ⁷ 生化Ⅱ	妊娠有無、妊娠週数を必ずご記 入ください。	3

- Cーペプチド(CPR)を同時に血液及び尿の両方の検体について測定した場合は、血液の場合の所定点数のみ算定する。 抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)は、すでに糖尿病の診断が確定した患者に対して1型糖尿病の診断に用いた場合又は自己免疫介在性脳炎・ 脳症の診断に用いた場合に算定できる。 **%2**
- MAI-2抗体は、すでに糖尿病の診断が確定し、かつ、抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)の結果、陰性が確認された患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合に算定する。なお、当該検査を算定するに当たっては、抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)の結果、陰性が確認された年月日を診 **%**3 療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- **%**5
- **%**6
- エストロゲン半定量又は定量については、エストリオール(E3)又はエストラジオール(E2)と同時に実施した場合は算定できない。

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 判断料 所要 コード 検査方法 基準値 検査項目 No 日数

性	腺	•	胎	盤
	17/7		731	

			-				
0733	テストステロン	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLIA		生化Ⅱ	性別、年齢を必ずご記入ください。 3 午前中(9時~12時)に採血し ~ てください。 5
2534	遊離テストステロン	Α	血液 血清 2.0 © 0.5	EIA	pg/mL 下表参照	159 生化Ⅱ	4 5
0735	プロゲステロン	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	ng/mL 下表参照		妊娠有無、妊娠週数を必ずご記 1 3
2858	癌胎児性 フィブロネクチン	01	膣分泌液	EIA		204 *1 免疫	採取方法は、N-10頁をご参照ください。 3 / 5 / 5
1835	子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	02	膣分泌液	LA	μg/mL 1.60以下	119 ^{*2} 尿·便	採取方法は、N-9頁をご参照ください。 3 / 5 / 5

癌胎児性フィブロネクチン定性 (頸管膣分泌液) は、破水の診断のために妊娠満22週以上満37週未満の者を対象として測定した場合又は切迫早産の診断のために妊娠満22週以上満33週未満の者を対象として測定した場合のみ算定する。 顆粒球エラスターゼ (子宮頸管粘液) は、絨毛羊膜炎の診断のために妊娠満22週以上満37週未満の妊婦で切迫早産の疑いがある者に対して行った場合に算定す

		HCG	(mlU/mL)
		血 清	尿
男	性	3.0 以下	3.0 以下
女	性(非妊婦)	3.0 以下	3.0 以下
	~6週	4700~87200	1100~62600
妊	7~10週	6700~202000	1800~191000
婦	11~20週	13800~68300	3100~125000
J.115	21~40週	4700~65300	1400~29400

		P2 • P3	(mg/day)
		P ₂	Рз
	男 性	0.12~0.93	0.25~1.48
4	卵 胞 期	0.16~1.28	0.07~1.24
	黄体期	0.69~4.70	0.25~1.58
性	閉経後	1.00 以下	1.00 以下

抗ミュラー管ホルモン (ng/mL)

女性	22~25歳	0.28~8.01
	26~30歳	0.29~12.20
	31~35歳	0.07~10.00
	36~40歳	9.23以下
	41~45歳	4.48以下

L 2	1		(J	p	g	m	I	_,)
				-						

	男 性	15~48
	卵胞期	29~196
女	排卵期	37~525
性	黄体期	45~491
	閉経後	47以下
奷	前期	209~4,289
. –	中期	2,808~28,700
婦	後期	9,875~31,800

テストステロン (ng/mL)

男性		1.92~8.84
女性	閉経前	0.15~0.44
	閉経後	0.12~0.31

遊離テストステロン:年齢階層参考基準値(pg/mL)

年 齢	男性	女 性
20~29歳	8.8~31.7	1.5~4.9
30~39歳	7.3~28.9	0.8~4.1
40~49歳	6.2~24.9	0.5~4.0
50~59歳	6.1~25.0	_
60~80歳	5.8~18.2	_

プロゲステロン (ng/mL)

男性		0.2以下
女性	卵胞期	0.3以下
	排卵期	5.7以下
	黄体期	2.1~24.2
	閉経後	0.3以下
	妊娠初期	13.0~51.8
	妊娠中期	24.3~82.0
	妊娠後期	63.5~174.4

コード No	検 査 項	目	採取 容器	採取量 (mL) (mL)	検査方法	基 準 値	実施料 判断料	備考	所要 日数			
	その他											
1108	ヒト心房性Na利尿ポリ (h A N P)	Jペプチド I	44	血液 血漿 2.0 © 0.5	FEIA		221 *1 生化I	注1	3~5			
1764	脳性Na利尿ペ (BNP)	プチド	С	血液 2.0 EDTA血漿 0.5	CLIA	pg/mL 18.4以下	133 ※1 生化Ⅱ※3	; ; ; ;	1 2			
1765	脳性N a 利尿ペプチ N端フラグメント(NT	ド前駆体 -proBNP)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA	pg/mL 125以下	生化Ⅱ※3	¦ ・血漿も検査可。	3			
0876	エリスロポエチ (EPO)	ン	A	血液 2.0 © 0.6	CLEIA	mIU/mL 4.2∼23.7	209 * ⁴ 生化Ⅱ		ე∽დ			
1193	サイクリックAMP	〈血漿〉	С	血液 2.0 EDTA血漿 0.5	RIA	pmol/mL 6.4~20.8	170 生化Ⅱ					
3971	(c-AMP)	〈尿〉	e	蓄尿1.0	(DCC法)	μ mol/day 3.3 \sim 6.1	170 生化Ⅱ	トルエン1〜2mLを加え、冷所に 蓄尿し、よく混和し所定量をご提 出ください。 塩酸蓄尿も可。	1,2			
0643	ヒスタミン		С	血液 EDTA血漿 2.0 0.5	EIA	ng/mL 0.15∼1.23	 	· 	15 22			
1372	肝細胞増殖因子 (HGF)		A	血液 血清 2.0 0.5	EIA	ng/mL 0.39以下	227 *5 生化 I		10			

- 脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)及び心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上をいずれかの検査を行った日から起算して1週間以内に併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。 脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)及び心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上を実施した場合は、各々の検査の実施日を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。 **%**1
- **%**2
- 脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)は、心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月1回に限り算定 ж3 する。
- エリスロポエチンは、以下のいずれかの目的で行った場合に算定する。 ア 赤血球増加症の鑑別診断 **%**4

- ※5 肝細胞増殖因子(HGF)は、肝炎にて劇症化が疑われる場合又は劇症肝炎の経過観察に用いた場合のみ算定する。
- 注1. 長時間全血のままの放置はお避けください。EDTA採血の場合は、ただちに分離の上、凍結保存してください。



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 コード 実施料 判断料 検 査 項 目 検査方法 基準値 備 No

児 性

0169	αーフェトプロテイン (AFP)	A	血液 血清 2.0 [©] 0.5	ECLIA	ng/mL 10.0以下	101 生化Ⅱ	1 2
1810	AFPレクチン分画/LBA	A	血液 3.0 ^{血清} 0.6	LBA/EATA法	L3分画 10.0未満 % 総AFP量 10.0以下 ng/mL	190 生化Ⅱ	4 5 7
0168	癌胎児性抗原 (CEA)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA		99 *¹ 生化Ⅱ	1 2
1078	塩基性フェトプロテイン (BFP)	A	血液 血清 2.0 © 0.6	EIA	ng/mL 75未満	150 生化Ⅱ	溶血不可 3

糖 绀 抗 原

			17日	业只	ひし			
1034	DUPAN-2	Α	血液 <u>血清</u> 2.0 0.5	EIA	150以下	118 *¹ 生化Ⅱ		4 5 7
0170	CA19-9	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA	l .	生化Ⅱ		1 2
1158	SPan1	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	RIA	'	生化Ⅱ		3~4
1041	シアリルLe ^x ー i 抗原 (SLX)	Α	血液 2.0 © 0.5	RIA	i .	生化Ⅱ	溶血はデータの変動要因となり ます。	4 6
1213	シアリルTn ー抗原 (STN)	Α	血液 2.0 © 0.5	RIA		生化Ⅱ		3 ~4
1070	CA72-4	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA		生化Ⅱ		3 4
1235	CA54/61 (CA546)	Α	血液 2.0 © 0.6	EIA	I .	生化Ⅱ		3 5
1048	NCC-ST-439	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.6	EIA		生化Ⅱ		3 4
1130	BCA225	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.6	CLEIA	U/mL 160.0未満	158 生化Ⅱ		3 4
0753	CA125	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	35.0以下	140 ^{※2} 生化Ⅱ	; ; ; ;	2~2
1229	CA602	A	血液 血清 2.0 [©] 0.6	EIA	63.0以下	190 *² 生化Ⅱ		3 4
0610	CA15-3	A	血液 2.0 © 0.5	CLIA		115 ^{*3} 生化Ⅱ		2~2

- 癌胎児性抗原(CEA)とDUPAN-2を併せて測定した場合は主たるもののみ算定する。 CA125及びCA602を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。また、1つを特定疾患治療管理料の悪性腫瘍特異物質治療管理料の項目とし、他の1つの 検査を腫瘍マーカーの項目として算定することはできず、いずれか一方のみ算定する。
- ※3 CA15-3とシアリルLe^x抗原(CSLEX)を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

NCC-ST-439 (U/mL)

	男性	4.5未満
女	50才以上	4.5未満
性	49才以下	7.0未満



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) コード 実施料 検査項目 検査方法 基準値 判断料 No 日数

関 連

			7	179 17				
0646	組織ポリペプチド抗原 (TPA)	A	血液 <u>血清</u> 2.0 0.6	CLIA	U/L 75.0未満	110 生化Ⅱ		3 4
0666	扁平上皮癌関連抗原 (SCC抗原)	Α	血液 2.0 [◎] 0.5	ECLIA	ng/mL 2.3以下	104 生化Ⅱ	唾液・フケ・皮膚等の混入により 高値傾向を示す場合があります。 (検体の取り扱いには十分ご注意ください。)	1 2
1268	シフラ (CYFRA) (サイトケラチン19フラグメント)	A	血液 2.0 [◎] 0.5	ECLIA	ng/mL 3.5以下	生化Ⅱ	ビオチンを投与している患者(1日の投与量 5mg以上)からの採血は、投与後、少なくと も8時間以上経過してから実施してください。	2~1
1768	ガストリン放出ペプチド前駆体 (Pro-GRP)	С	血液 2.0 DTA 0.6	CLIA	81.0未満	175 ^{*2} 生化Ⅱ		3~4
0597	γーセミノプロテイン (γ-Sm)	A	血液 2.0 © 0.6	CLEIA	I .	生化Ⅱ		5~6
1846	I 型コラーゲンCテロペプチド (1 C T P)	A	血液 2.0 [◎] 0.5	RIA (二抗体法)	4.5未満 (骨転移判定のcut off値)	土16世		4 6
0569	前立腺特異抗原 (PSA)	A	血液 2.0 © 0.5	ECLIA	4.0以下	124 ^{※4} 生化Ⅱ		1 2
1043	PIVKA-I	A	血液 2.0 ^{血清} 0.6	CLIA	mAU/mL 40未満	135 生化Ⅱ		1
0674	神経特異エノラーゼ (NSE)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ECLIA		生化Ⅱ	溶血は高値の影響があります。	3~4
0773	エラスターゼ 1	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LA	ng/dL 300以下	生化Ⅱ		3 ~ 4
1888	尿中NMP22	08	尿5.0	EIA	U/mL 12.0以下	143 ^{※5} 生化Ⅱ		4~6
4520	PSAフリー/トータル比	A	血液 2.0 [©] 0.7	CLIA	下欄参照	150 ^{※6} 生化Ⅱ		3 ~ 4
2723	PSA-ACT	A	血液 2.0 🕸 0.6	CLIA	ng/mL 3.4以下	生化Ⅱ	前立腺肥大症と前立腺癌の判 別のカットオフ値は7.0ng/mL が推奨される。	3~4
1902	抗p53抗体	A	血液 2.0 [◎] 0.5	CLEIA	U/mL 1.30以下	生化Ⅱ		4~6
0586	高感度PSA	A	血液 2.0 [©] 0.7	CLIA	ng/mL 4.000以下	124 生化Ⅱ		3~4

腫瘍関連ホルモンレセプタ

9992	HER2蛋白定量 〈血清〉	A	血液 血清 2.0 [◎] 0.5 CLIA	陰性 陽性	15.2以下 ^{ng/mL} 15.3以上	320 * 生化 II	8 判定結果において「陽性」とは、3 HER2蛋白の過剰発現を意味 { します。 6
------	------------------	---	------------------------------------	----------	-----------------------------------	----------------	--

- サイトケラチン19フラグメント(シフラ)は、悪性腫瘍であることが既に確定診断された患者については、小細胞癌を除く肺癌の場合に限り、特定疾患治療管理料の悪 **%**1 性腫瘍特異物質治療管理料を算定できる。
- **%**2
- ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)を神経特異エノラーゼ(NSE)と併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。 I型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP)、I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)又はデオキシピリジノリン(DPD)(尿)は、乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既 に確定診断された患者について骨転移の診断のために当該検査を行い、当該検査の結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に限り、特定疾患治療管理料の悪 **%**3 性腫瘍特異物質治療管理料を算定する。
- 前立腺特異抗原(PSA)は、診察、腫瘍マーカー以外の検査、画像診断等の結果から、前立腺癌の患者であることを強く疑われる者に対して検査を行った場合に、前立 腺癌の診断の確定又は転帰の決定までの間に原則として、1回を限度として算定する。ただし、前立腺特異抗原(PSA)の検査結果が4.0ng/mL以上であって前立腺 癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、検査値を診療報酬明細書 の適用欄に記載する。
- るという。 なマトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿)及び核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿)は、尿沈渣(鏡検法)により赤血球が認められ、尿路上皮癌の 患者であることが強く疑われる者に対して行った場合に限り算定する。また、尿路上皮癌の診断が確定した後に行った場合であっても、特定疾患治療管理料の悪性腫瘍 特異物質治療管理料は算定できない。
- **%**6 遊離型PSA比(PSA F/T比)は、診療及び他の検査(前立腺特異抗原(PSA)等)の結果から前立腺癌の患者であることが強く疑われる者に対して行った場合に限り算 定する。
- 抗p53抗体は、食道癌、大腸癌又は乳癌が強く疑われる患者に対して行った場合に月1回に限り算定できる。
- HER2蛋白は、悪性腫瘍が既に確定診断され、かつ、HER2蛋白過剰発現が認められている患者又は他の測定法により、HER2蛋白過剰発現の有無が確認されていな い再発癌患者に対して、当該検査の結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に限り、特定疾患治療管理料の悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定する。

フリーPSA/トータルPSA比(基準値)

前立腺癌と非癌と の鑑別	トータルPSA4.1~10.0ng F/T比26.0%以下の場合、i	g/mLのグレーゾーンにおいて、 前立腺癌の高度疑い			
	トータルPSA	4.00ng/mL以下			
基準値	フリーPSA	未設定			
	フリー/トータル比	26.1%以上			

腫瘍部位とマーカーの有用性

項目	部位	肺	膵	胃	肝	食道	胆	大腸	卵巣	子宮	乳	膀胱	前立腺	甲状腺	血液
0168	CEA	0	0	0	0	\triangle	0	0	0	\triangle	0			\triangle	
1078	BFP	0	0		0		0		0	0			0		
0169	AFP				0										
1810	AFPレクチン分画				0										
0170	CA19-9		0	\triangle	0		0	0	0						
1034	DUPAN-2		0		0		0								
1158	SPan1		0	\triangle	0		0								
1048	NCC-ST-439	0	0		0		0	0			0				
1041	SLX	0	0				0		0						
1070	CA72-4	\triangle	0	0				0	0		0				
1130	BCA225										0				
1213	STN			0					0						
0646	TPA	0	0		0		0	0	\triangle		\triangle	\triangle	\triangle		
0753	CA125		\triangle						0						
0610	CA15-3										0				
1229	CA602								0	0					
1043	PIVKA-II				0										
1268	シフラ(CYFRA)	0							\triangle		\triangle				
0666	SCC抗原	0				0				0					
0569	PSA												0		
0597	γ-Sm												0		
4520	PSAフリー/トータル比												0		
0773	エラスターゼ1		0												
0674	NSE	0													
1235	CA54/61	0	0	0				0	0	0					
1768	Pro-GRP	0													
1888	尿中NMP22											0			
1902	抗p53抗体	\triangle		\triangle		0		0	\triangle		0	\triangle	Δ		

25

検体検査実施料について

腫瘍マーカーは、悪性腫瘍の患者であることが強く疑われる者に対して検査を行った場合に、悪性腫瘍の診断の確定又は転帰の決定までの間に1回を限度に算定する。

悪性腫瘍の診断が確定し、計画的な治療管理を開始した場合、当該治療管理中に行った腫瘍マーカーの検査の費用は悪性腫瘍特異物質治療管理料(下記)に含まれ、腫瘍マーカーは、原則として、悪性腫瘍特異物質治療管理料と同一月に併せて算定できない。ただし、悪性腫瘍の診断が確定した場合であっても、次に掲げる場合においては、悪性腫瘍特異物質治療管理料とは別に腫瘍マーカーの検査料を算定できる。

- ア) 急性及び慢性膵炎の診断及び経過観察のためにエラスターゼ1を行った場合
- イ)肝硬変、HBs抗原陽性の慢性肝炎又はHCV抗体陽性の慢性肝炎の患者について、 α -フェトプロテイン(AFP)又はPIVKA- II 半定量又は定量を行った場合(月1回に限る)
- ウ)子宮内膜症の診断又は治療効果判定を目的としてCA125又はCA602を行った場合 (診断又は治療前及び治療後の各1回に限る)
- 工)家族性大腸腺腫症の患者に対して癌胎児性抗原(CEA)を行った場合

悪性腫瘍特異物質治療管理料について

悪性腫瘍特異物質治療管理料

- (1) 悪性腫瘍特異物質治療管理料は、悪性腫瘍であると既に確定診断がされた患者について、腫瘍マーカー検査を行い当該検査の結果に基づいて 計画的な治療管理を行った場合に、月1回に限り算定する。
- (2) 悪性腫瘍特異物質治療管理料には、腫瘍マーカー検査、当該検査に係る採血及び当該検査の結果に基づく治療管理に係る費用が含まれるものであり、1月のうち2回以上腫瘍マーカー検査を行っても、それに係る費用は別に算定できない。
- (3) 腫瘍マーカー検査の結果及び治療計画の要点を診療録に添付又は記載する。
- (4) 初回月加算は、適切な治療管理を行うために多項目の腫瘍マーカー検査を行うことが予想される初回月に限って算定する。ただし、悪性腫瘍 特異物質治療管理料を算定する当該初回月の前月において、腫瘍マーカーを算定している場合は、当該初回月加算はできない。
- (5) 腫瘍マーカーにおいて、併算定が制限されている項目を同一月に併せて実施した場合には、1項目とみなして、本管理料を算定する。
- (6) 当該月に悪性腫瘍特異物質以外の検査(腫瘍マーカーの項に規定する例外規定を含む。)を行った場合は、本管理料とは別に、検査に係る判断料を算定できる。
- (7) 特殊な腫瘍マーカー検査及び計画的な治療管理のうち、特に本項を準用する必要のあるものについては、その都度当局に内議し、最も近似する腫瘍マーカー検査及び治療管理として準用が通知された算定方法により算定する。

		検査項目			特異物質 管理料
		伏旦块口		同一患者月1回	加算点 初回月
精密測定	癌胎児性抗原 (CEA) 扁平上皮癌関連抗原 (SCC抗原) CA15-3 前立腺特異抗原 (PSA) CA72-4 神経特異エノラーゼ (NSE) 核マトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿)、同定性(尿) サイトケラチン8・18 (尿) サイトケラチン19フラグメント (シフラ) ガストリン放出ペプチド前駆体 (ProGRP) CA602 ヒト精巣上体蛋白4 (HE4) HER2蛋白 ※[]內は、受託中止項目です。	α-フェトプロテイン (AFP) DUPAN-2 CA19-9 SPan-1 CA125 シアリルLe ^X -i抗原 (SLX) 抗p53抗体 シアリルLe ^X 抗原 (CSLEX) CA54/61 α-フェトプロテインレクチン分画 (AFP-L3%) 可溶性メソテリン関連ペプチド 可溶性インターロイキン-2レセプター(SIL-2R) 組織因子経路インヒビター2 (TFPI2)	組織ポリペプタイド抗原 (TPA) NCC-ST-439 エラスターゼ I PIVKA-II 半定量、同定量シアリルTn抗原 (STN) 塩基性フェトプロテイン (BFP) 遊離型PSA比 (PSA F/T比) BCA225 I 型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP) [癌関連ガラクトース転移酵素 (GAT) I Y-セミノプロテイン (Y-Sm) 癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液)、同半定量(乳頭分泌液)プロステートヘルスインデックス (phi)	1項目 :360点 2項目以上 :400点	:150点

- (イ. 尿中BTAに係るもの ロ. その他のもの)
- 注1. イについては、悪性腫瘍の患者に対して、尿中BTAに係る検査を行い、その結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に、月1回に限り第1回の検査及び治療管理を行ったときに算定する。
- 注2. 口については、悪性腫瘍の患者に対して、区分番号D009に掲げる腫瘍マーカーに係る検査(注1に規程する検査を除く。)のうち1又は2以上の項目を行い、その結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に、月1回に限り第1回の検査及び治療管理を行ったときに算定する。
- 注3. 注2に規程する悪性腫瘍特異物質治療管理に係る腫瘍マーカーの検査を行った場合は、1回目の悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定すべき月に限り、150点を口の所定点数に加算する。ただし、当該月の前月に腫瘍マーカーの所定点数を算定している場合は、この限りではない。
- 注4. 注1に規程する検査及び治療管理並びに注2に規程する検査及び治療管理を同一月に行った場合にあっては、口の所定点数のみにより算定する。
- 注5. 腫瘍マーカーの検査に要する費用は所定点数に含まれるものとする。
- 注6. 注1及び注2に規程されていない腫瘍マーカーの検査及び計画的な治療管理であって特殊なものに要する費用は、注1又は注2に掲げられている腫瘍マーカーの 検査及び治療管理のうち、最も近似するものの所定点数により算定する。

コード No 採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 実施料 判断料 備 考 主な商品名 検査項目 検査方法 有効治療濃度

抗てんかん剤

0784	フェニトイン	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LA	μg/mL 成人·小児 10~20 新生児 8~15		ジフェニルヒダントイン ヒダントール アレビアチン	2 4
0783	フェノバルビタール	Α	血液 2.0 © 0.5	LA	μ g/mL $10{\sim}40$	特	フェノバール リナーセン ルミナール	2~4
0786	プリミドン	Α	血液 2.0 © 0.5	EIA	μg/mL 5.0~12.0	特	- プリムロン プリミドン	2~5
0785	カルバマゼピン	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LA	#g/mL 4~12 (他の抗てんかん剤併用時は 4~8 #g/mL)	傳	テグレトール テレスミン レキシン	4
0787	バルプロ酸ナトリウム	A	血液 2.0 [□] 0.5	LA	μ g/mL $50\sim100$	特	¦ デパケン ¦ ハイセレニン ¦ バレリン	2 4
0663	エトスクシミド	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	EIA	μg/mL 40.0~100.0	铸	ザロンチン エピレオプチマル	3~5
0882	クロナゼパム	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LC-MS/MS	ng/mL 20∼70	特	ー ランドセン リボトリール	4 6
0695	ニトラゼパム	Α	血液 2.0 © 0.5	LC-MS/MS	ng/mL 20~200	特	ネルボン ベンザリン	4~6
1084	ジアゼパム	Α	血液 2.0 © 0.5	HPLC	ng/mL 600~1000	特	セルシン、ホリゾン、ソナコン、 ジアパックス(N-デスメチルジア ゼパムも同時報告いたします。)	4~6
1064	ゾニサミド	A	血液 2.0 [©] 0.5	LA	μ g/mL $10{\sim}30$	特	 エクセグラン 	3~5
0855	クロバザム	Α	血液 2.0 © 0.5	LC-MS/MS	ng/mL	特	マイスタン (デスメチルクロバザムも 同時報告いたします。)	4~6
2660	ガバペンチン	Ι	血液 (八川) / 山脈 2.0 (三) 0.5	LC-MS/MS	μg/mL	特	 ガバペン錠 	4 6
2634	レベチラセタム	A	血液 血清 2.0 © 0.5	LC-MS	μg/mL trough 12~46	特	イーケプラ	4 5
2661	ラモトリギン	Ι	血液 (八川)/血漿 2.0 (2.5)	LC-MS/MS	μg/mL 2.5~15	特	ラミクタール	4~6

精神神経用剤

1037	ハロペリドール	Α	血液 血清 2.0 [©] 0.5	EIA	ng/mL 3.0~17.0	セレネーヌ 血漿も検査可。 (ヘパリン、EDTA2Na)	2 4
1763	ブロムペリドール	Α	血液 2.0 © 0.5	EIA	ng/mL 15.0以下	インプロメン	2 4
0859	リチウム(Li)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	比色法	mEq/L 0.30~1.20	リーマス リチオマール	3-5



所要

不整脈用剤

検査方法

ジギタリス

痙

鎮

血液 EDTA血漿 5.0 APLC

<u>血液</u> ≥ <u>血清</u> 2.0 ≥ 0.5 LA

有効治療濃度

1.2~2.2

 $0.5 \sim 1.5$

製剤

剤

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL)

С

A

コード

2506 Lードーパ

0788 ジゴキシン

検査項目

1789	プロカインアミド	A	血液 2.0 © 0.5	EIA	μ g/mL 4.0~10.0	特	アミサリン	3 5
2627	キニジン	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	EIA	μ g/mL $2.0{\sim}6.0$	特	 硫酸キニジン 	3 9
2628	アプリンジン	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LC-MS/MS	μ g/mL 0.25 \sim 1.25	特	アスペノン	4 6
1252	リドカイン	A	血液 2.0 © 0.5	EIA	μg/mL 1.2~5.0	特	キシロカイン	3~5
1017	ジソピラミド	Α	血液 2.0 © 0.5	EIA	μ g/mL 2.0 \sim 5.0	特	リスモダン、ノルペース カフィール、リスラミドR	3~5
2629	ピルシカイニド	Ι	<u>血液</u> ハバリン血漿 2.0 © 0.5	LC-MS/MS	μ g/mL 0.2 \sim 0.9	特	サンリズム	4~6
2631	プロパフェノン	Α	血液 5.0 ^{血清} 1.5	LC-MS/MS	ng/mL	特	: プロノン ソビラール	4~6
1215	メキシレチン	A	血液 2.0 © 0.5	LC-MS/MS	μ g/mL 0.5 \sim 2.0	特	╎メキシチール ╎メキシレート ╎チルミメール	4
1633	フレカイニド	A	血液 2.0 © 0.5	LC-MS/MS	ng/mL 200~1000	特	タンボコール	4
2618	シベンゾリン	Ι	<u>血液</u> ヘパリン <u>雌</u> 2.0 © 0.5	LC-MS/MS	ng/mL trough 70~250	特	シベノール	4 6
2869	アミオダロン	Ι	血液 八川ソ血漿 2.0 © 0.6	LC-MS/MS	ng/mL 500~1000	争	アンカロン	4 - 6
2652	ピルメノール	Ι	血液 ハバリン血漿 6.0 ^国 1.5	HPLC	ng/mL 400.0以上	特	ピメノール	4 7
2635	ベプリジル	Ι	血液 2.0 ⁽³⁾ 0.5	LC-MS/MS	μ g/mL $250{\sim}800$	铸	ベプリコール	¦4 - 5

抗生物質製剤

2646	ゲンタマイシン	A	血液 2.0 © 0.5	EIA	peak trough	μg/mL 15~20 1未満	铸	ゲンタシン、ルイネシン エルタシン	3~5
2647	トブラマイシン	A	血液 2.0 © 0.5	EIA	 peak trough	μ g/mL 15~20 1未満	特	 トブラシン 	3~5
2648	アミカシン	Α	血液 2.0 © 0.5	EIA	peak trough	μg/mL 50~60 4未満	特	アミカマイシン、ビクリン アルベカシンとの交差反応が あるのでご注意ください。	3~5
1658	バンコマイシン	Α	血液 2.0 © 0.5	LA	trough	μg/mL 10~15	铸	塩酸バンコマイシン	3 5
2650	アルベカシン	Α	血液 2.0 © 0.5	LA	peak trough	μg/mL 15~20 1~2未満	特	¦ハベカシン	3 -5
1659	テイコプラニン	A	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 © 0.5	LA	trough	μ g/mL 15~30	特	タゴシッド	3~5

物

2668

2669 幻覚剤検査

LC/MS/MS法(確認検査)

EMIT (スクリーニング)

LC/MS/MS法(確認検査)

尿10.0

尿10.0

g

大麻・マリファナ検査g

検出せず

検出せず

6

4

6

^{※1} アセトアミノフェンは、同一の患者につき1月以内に2回以上行った場合は、第1回目の測定を行ったときに1回に限り算定する。

	架彻快且		P	-4	
CT-44-MAI	***	+			

コード No	検 査 項	目	採取容器	採取量 (mL) (mL)	検査方法	有効治療濃度	実施料 判断料	備 考 主な商品名	所要 日数
				7	つ	他			
2578	農薬	〈血液〉	Ι	ヘパリン加血液 5.0	LC-MS/MS	検出せず		対象農薬は下表参照。	8
2579	スクリーニング	, 〈尿〉	e	尿5.0	LO-1013/1013	18田ピ9		1 	13
0587	パラコート	〈血清〉	A	血液 3.0 ^(本) 1.0	HPLC	μg/mL 0.1未満		 検出限界未満を基準値 とします。	5
2829	(グラムキソン)	〈尿〉	e	尿1.0	TIFLU	U. I 小 個			12

乱用薬物スクリーニング対象薬物

覚せい剤、アヘンアルカロイド系麻薬 (エチルモルヒネを除く) コカアルカロイド系麻薬、幻覚剤、大麻・マリファナ

農薬スクリーニング対象薬物

有機リン酸系農薬、ピレスロイド剤、トリアジン系農薬、 カーバメート系農薬、アニリン系農薬

※パラコートについては、個別の定量分析として実施 (「農薬スクリーニング」対象外薬物)



主な薬物検査の採血時期

薬剤名	採血時期			
抗てんかん剤				
フェノバルビタール	·次回投与直前(Trough濃度)			
プリミドン	7人凹坟子巨刖(TTUUgIT底皮)			
フェニトイン	経口:次回投与直前(Trough濃度) 静注:投与後2~4時間			
カルバマゼピン				
バルプロ酸	次回投与直前(Trough濃度)			
エトスクシミド				
トリメタジオン				
クロナゼパム	次回投与直前(Trough濃度)			
ニトラゼパム	次回投与直前 (Trough濃度) (ただし、			
ジアゼパム	抗てんかん剤として用いる場合)			
ゾニサミド	次回投与直前(Trough濃度)			
精神神経用剤				
リチウム	最終投与後12時間または早朝投与前 (Trough濃度)			
ハロペリドール	- 随時(ただし、採血時刻を一定とする)			
プロムペリドール				
不整脈用剤				
キニジン				
プロカインアミド	次回投与直前(Trough濃度)			
ジソピラミド				
リドカイン	静注 :終了後2時間 点滴静注:投与後6~12時間			
アプリンジン	経口:次回投与直前(Trough濃度) 投与後2~4時間(Peak濃度) 静注:次回投与直前(Trough濃度)			
ピルシカイニド	次回投与直前(Trough濃度)			
プロパフェノン				
メキシレチン	経口:次回投与直前(Trough濃度) 静注:随時			
ピルメノール	随時			
アミオダロン	次回投与直前(Trough濃度)			

薬剤名	採血時期			
ジギタリス製剤				
ジゴキシン	投与後6時間~次回投与直前 (消失相)			
鎮咳去痰剤				
テオフィリン	経口・静注: 徐放性製剤では投与後4時間、裸錠では投与後2時間(Peak濃度)、次回投与直前(Trough濃度)静注: 負荷投与後30分、点滴開始後4~6、および12~18時間			
抗生物質製剤				
ゲンタマイシン				
トプラマイシン	 点滴開始 時間後(30分で投与した 押令 終了20分後)(Pook 連度)			
アミカシン	場合、終了30分後)(Peak濃度) 投与前30分以内(Trough濃度)			
アルベカシン				
バンコマイシン	 投与前30分以内(Trough濃度)			
テイコプラニン	X 子前JOOJJ以内 (TTOUGH底反)			
解熱鎮痛消炎剤				
アセトアミノフェン				
サリチル酸	次回投与直前(Trough濃度)			
抗悪性腫瘍剤				
メトトレキサート	メトトレキサート・ロイコボリン救 護療法時24、48、72時間			
鎮痙剤/抗パーキンソン薬				
L-ドーパ	経口:次回投与直前(Trough濃度)			
免疫抑制剤				
シクロスポリン	·次回投与直前(Trough濃度)			
タクロリムス				

特定薬剤治療管理料

一—————————————————————————————————————										
薬剤名(対象疾患等)	検査項目	特定薬剤治 (同一患者		加算点(初回月)	備考					
ジギタリス製剤 (心疾患)	ジゴキシン	470点	235点		ジギタリス製剤の急速飽和を行った場合所定点数(470点)にかかわらず、 1回に限り740点を算定する。					
抗てんかん剤 (てんかん)	フェノバルビタール、プリミドン、フェニトイン、遊離フェニトイン、五ルバマゼピン、エトスクシミド、バルプロ酸、遊離バルプロ酸、ゾニサミド、トリートラゼパム、ニトラゼパム、ジアゼパム、クロバザム、レベチラセタム、トピラマート、ラモトリギン、ガバペンチン、アセタゾラミド、マコサミド、ペランパネル	470点	470点		てんかんの患者であって、2種類以上の抗てんかん剤を投与されているものについて、同一暦月に血中の複数の抗てんかん剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、当該管理を行った月において、2回に限り所定点数を算定できる。てんかん重積状態の患者に対して、抗てんかん剤の注射等を行った場合は、所定点数(470点)にかかわらず、1回に限り740点を算定する。					
テオフィリン製剤 (気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管 支炎、肺気腫又は未熟児無呼吸発作)	テオフィリン	470点	235点	280点						
不整脈用剤(不整脈)	プロカインアミド、N-アセチルプロカインアミド、ジソピラミド、キニジン、アプリンジン、リドカイン、ピルシカイニド、プロパフェノン、メキシレチン、フレカイニド、シベンゾリン、ピルメノール、アミオダロン、ソタロール塩酸塩、ベブリジル	470点	235点	(薬剤の投与を行った初回月のみ加算)						
ハロペリドール製剤(統合失調症)	ハロペリドール	470点	235点							
ブロムペリドール製剤(統合失調症)	ブロムペリドール									
リチウム製剤(躁うつ病)	リチウム	470点	235点							
バルプロ酸ナトリウム(躁うつ病又は躁病) カルバマゼピン(躁うつ病又は躁病)	バルプロ酸、遊離バルプロ酸	470点	470点							
免疫抑制剤(臓器移植後)	シクロスポリン、タクロリムス、 エベロリムス、ミコフェノール酸	470点	470点	2740点 (臓器移植を行った 日の属する月を含 め3月に限り加算)						
シクロスポリン(免疫制御剤) ベーチェット病(活動性・難治性眼症状を有するもの)、その他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る)、重度の再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎(既存治療で充分な効果が得られない患者に限る)、ネフローゼ症候群、川崎病の急性期	シクロスポリン	470点	470点							
サリチル酸系製剤(若年性関節リウマチ、リウマチ熱、関節リウマチ)	サリチル酸	470点	235点							
メトトレキサート(悪性腫瘍)	メトトレキサート	470点	235点							
タクロリムス水和物(免疫制御剤)(全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎又は間質性肺炎(多発性筋炎又は皮膚筋炎に合併するものに限る))	タクロリムス	470点	470点	280点 (薬剤の投与を行っ た初回月のみ加算) (バンコマイシン除く)						
トリアゾール系抗真菌剤 [入院中] (重症又は難治性真菌感染症又は造血幹細胞移植)	ボリコナゾール	470点	235点							
バルプロ酸ナトリウム(片頭痛)	バルプロ酸、遊離バルプロ酸	470点	235点							
イマチニブ	イマチニブ	470点	235点							
エベロリムス(結節性硬化症) スニチニブ(抗悪性腫瘍剤)(腎細胞癌)	エベロリムス スニチニブ	470点 470点	235点 235点							
スーゲーク(加悪性腫瘍剤)(育和胎盤) シロリムス製剤										
(リンパ脈管筋腫症)	シロリムス	470点	235点							
アミノ配糖体抗生物質 [入院中] グリコペプチド系抗生物質	ゲンタマイシン、トブラマイシン、アミカシン、アルベカシン	470点	235点							
[入院中]	バンコマイシン、テイコプラニン 									

[・]同一患者につき特定薬剤治療管理料を算定する目的で測定および計画的な治療管理を月2回以上行った場合においては、特定薬剤治療管理料は1回とし、第1回の測定および計画的な治療管理を行ったときに算定する。
・本管理料には、薬剤の血中濃度、当該測定に係る採血および測定結果に基づく投与量の管理に係る費用が含まれるものであり、1月のうちに2回以上血中濃度を測定した場合であっても、それに係る費用は別途算定できない。ただし、別の疾患に対して別の薬剤を投与した場合(例:てんかんに対する抗てんかん剤と心疾患に対するジギタリス製剤の両方を投与する場合)及び同一疾患について同一の区分に該当しない薬剤を投与した場合(例:発作性上室性頻脈に対してジギタリス製剤及び不整脈用剤を投与した場合)はそれぞれ算定できる。・薬剤の血中濃度、治療計画の要点を診療録に記載する。

コード 検査項目 No

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL)

検査方法

基準値

実施料 判断料

備 考 所要 日数

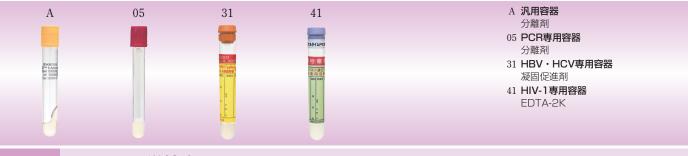
肝炎ウイルス関連検査

0842	IgG・HA抗体	A	1	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 [∞] 0.6	CLIA	_(一) S/CO 1.00未満	146 * ¹ 免疫	3 4
0841	IgM・HA抗体	A	1	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 [∞] 0.6	CLIA	_(一) S/CO 0.80未満	146 ^{※1} 免疫	3 _~ 4
0209	《定性	》	1	血液 2.0 [©] 0.5	ECLIA		29 免疫	1
0843	HBs抗原 ——	P	1	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	ECLIA	_(一) COI 1.0未満	88 ^{※2} 免疫] 2
0210	《定性	»	1	血液 2.0 [©] 0.5	ECLIA	(-)	32 免疫	1
0844	HBs抗体 ——		1	血液 2.0 [©] 0.5	ECLIA	_(一) IU/L 10.0未満	88 * ² 免疫	1 2
0845	HBe抗原	A	1	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLIA	₍₋₎ S/CO 1.O未満	101 免疫	3 · 4
0846	HBe抗体	Α	1	<u>血液</u>	CLIA	(-) % 阻害率50.0%未満	101 免疫	3 4
3985	HBc抗体	٨	1	血液 2.0 [◎] 0.5	PHA	64倍未満	133 *2	4 6
0847	п осліф		1 1	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLIA	_(一) S/CO 1.00未満	免疫	3 · 4
0656	IgM・HBc抗体	A	1 1	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLIA	(-) S/CO 1.0未満	146 ** ³ 免疫	3 4
2698	HBVプレコア変異及び コアプロモーター変異	0	5	血液 血清 2.0 [©] 0.5	PCR-ミニシーケンス法/ 特異プローブ法		450 ^{※4} 微生物	★ :分離後4 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

- ※1 HA抗体とHA-IgM抗体を同時に測定した場合は、一方の所定点数のみを算定する。 ※2 免疫抑制剤の投与や化学療法を行う患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、当該治療開始前にHBs抗原、HBs抗体及びHBc抗体半定量・定量を同時に測定 した場合は、患者1人につきそれぞれ1回に限り算定できる。
- HBc抗体半定量・定量とHBc-IgM抗体を同時に測定した場合は、一方の所定点数を算定する。 ж3
- HBV核酸プレコア変異及びコアプロモーター変異検出は、B型急性肝炎患者に対しては、劇症肝炎が疑われる場合に限り、患者1人につき1回算定できる。B型慢性 肝炎患者に対しては経過観察中にALT異常値などにより肝炎憎悪が疑われ、かつ、抗ウイルス薬等のB型肝炎治療薬の投与対象患者の選択のために行われた場合 に限り算定できる。なお、本検査実施以降は、肝炎ウイルス関連検査のうちB型肝炎に関する検査(ただし、抗ウイルス薬等のB型肝炎治療薬の治療効果判定に用いる検査を除く。)は、算定できない。

肝炎ウイルス判定基準

検査項目名		陰 性(-)	判定保留(±)	陽 性(+)
IgG·HA抗体	S/CO値	1.00未満		1.00以上
IgM·HA抗体	S/CO値	0.80未満	0.80~1.20	1.21以上
HBs抗原	カットオフ比	1.0COI未満		1.0COI以上
HBs抗体	測定値	10.0IU/I未満		10.0IU/I以上
HBe抗原	S/CO値	1.0未満		1.0以上
HBe抗体	阻害率	50.0%未満		50.0%以上
HBc抗体	S/CO値	1.00未満		1.00以上
IgM·HBc抗体	S/CO値	1.0未満		1.0以上





採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) コード 実施料 所要 検査項目 検査方法 基準値 備 考 No 判断料 日数

肝炎ウイルス関連検査

1813	HBV-DNA定量/ リアルタイムPCR(IU)	31	血液 血清 5.0 率 2.0	リアルタイムPCR	L.IU/mL 検出せず	263 *1 微生物	単独検体	4 -6
3987	HB V ゲノタイプ《EIA》	A	血液 2.0 ^{血清} 0.6	EIA		免疫	; ¦ HBs抗原量の少ない検体は、判 ¦ 定保留となる場合があります。	3~5
1281	HCV抗体	A	血液 2.0 [◎] 0.5	CLIA	S/CO 1.00未満	105 免疫		2
1811	HCVコア蛋白-HS	A	血液 3.0 [▲] 0.6	CLIA	fmol/L 3.0未満	105 免疫		3 4
1805	HCV-RNA定量/ リアルタイムPCR	31	血液 5.0 ^{血清} 2.0	リアルタイムPCR	L.IU/mL 検出せず	424 ^{※3} 微生物	単独検体	4-6
1374	HCV群別 (グループ分類)	A	血液 2.0 © 0.6	CLEIA		221 ** ⁴ 免疫		3~6
1247	HCVサブタイプ解析 (HCV-RNAジェノタイプ)	05	血液 血清 2.0 🕸 0.5	RT-PCR法	検出せず (1a,1b,2a,2b,3a,3b)	 	♪ :分離後 単独検体 注1	4 6

レトロウイルス

2687		《PA》	A	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 [©] 0.5	PA		85 免疫	3-5
0578	HTLV- I 抗体 (ATLA)	《CLIA》	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLIA	_(一) S/CO 1.00未満	163 免疫	1
2527	 	《確認試験》	A	血液 2.0 ^{血清} 0.6	ラインブロット法	会性 -	425 ** ⁵ 免疫	4 10
0560	HIV-抗原	・抗体	05	血液 2.0 ^{血清} 0.6	CLIA	陰性 S/CO 1.00未満	127 免疫	単独検体 注2 4
	H I V-1/2抗体		1 1				660 ** ⁶ 免疫	単独検体 4 5 7
1806	H	IA定量/ PCR	41	血液 EDTA血素 7.0 2.1	リアルタイムPCR	copy/mL 検出せず	520 ^{*7} 微生物	単独検体 単独検体 注3 6

- HBV核酸定量は、B型肝炎ウイルス既感染者であって、免疫抑制剤の投与や化学療法を行っている悪性リンパ腫等の患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、HB
- V核酸定量を行った場合は、当該治療中及び治療後1年以内に限り、月1回を限度として算定できる。 HBVジェノタイプ判定は、B型肝炎の診断が確定した患者に対して、B型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。 **%**2
- HCV核酸定量は、急性C型肝炎の診断、C型肝炎の治療法の選択及び治療経過の観察に用いた場合にのみ算定できる。また、治療経過の観察の場合において、 **%**3
- **%**4
- HCV核酸定量及びHCV核酸検出を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
 HCV値清群別判定は、C型肝炎の診断、C型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者 1人につき 1回に限り算定できる。
 HCV値清群別判定は、C型肝炎の診断が確定した患者に対して、C型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者 1人につき 1回に限り算定できる。
 HTLV-I 抗体(ウエスタンブロット法及びラインブロット法)は、HTLV-I 抗体定性、半定量又はHTLV-I 抗体によって陽性が確認された症例について、確定診断を目的としてウエスタンブロット法又はラインブロット法により行った場合に算定する。
 HIV-1特異体・HIV-2特異抗体・I、スクリーニング検査としてのHIV-1、2抗体定性若しくは同半定量、HIV-1、2抗原・抗体同時測定定性、HIV-1 抗体、HIV-1、1の特質としてウエスタンブロット法により行った場合に算定する。 **%**5
- 2抗体定量又はHIV-1.2抗原抗体同時測定定量によって陽性が確認された症例について、確定診断を目的として、全血、血清又は血漿を検体とし、イムノクロマト法 により測定した場合に算定する。
- HIV-1核酸定量は、HIV感染者の経過観察に用いた場合又はHIV-1、2抗体定性、同半定量、HIV-1、2抗原・抗体同時測定定性、HIV-1 抗体、HIV-1、2抗原・抗体同 時測定定量、又はHIV-1.2抗体定量が陽性の場合の確認診断に用いた場合にのみ算定する。また、当該検査とHIV-1抗体(ウエスタンブロット法)を併せて実施し た場合は、それぞれを算定することができる。
- 注1. 「HCV-RNA」の検体採取・保存に際しては、RNA分解酵素の影響及び検体相互のCross Contaminationを防ぐため、以下の点にご注意ください。
 - ①素手で採血管のゴムキャップ、スピッツ管の蓋にふれないでください。 ②真空採血管(分離剤入り:ガラス管不可)を使用し、採血してください。
- ③同一検体で他の項目との同時依頼をしないでください。
 ④遠心分離後必ず凍結し(-80°Cが望ましい)、凍結融解をしないでください。
 ⑤キャップの開封、分取などが必要な場合、必ず1検体ずつ処理してください。
 スクリーニング検査《CLIA》で「陽性」を呈した場合は、原則としてイムノクロマトグラフィー法による確認検査を実施いたします。
 「HIV-1 RNA定量」のご依頼にあたっては、他項目とは別に(HIV-1専用容器)単独検体としてご提出ください。
- - ①必ず専用採血管にて採血し、1200×g±400×g、20分間遠心分離してご提出ください。
 - ②血清は検査不可。
 - ③患者名はイニシャルまたはID番号をご使用ください。

HCV群別

11- 1 p 132	
意 義	判 定
どちらのグループも陽性で抗体価の比較が2 倍以上とならない場合で、どちらのグループか 判定できない場合	判定保留
どちらのグループの抗体も陰性の場合	判定不能 (不検出)
一方のグループの抗体が陽性で、他方のグル ープが陰性の場合	GROUP1
どちらのグループも陽性で抗体価が他方のグループの抗体価の2倍以上を示した場合、高い 抗体価のグループを報告します。	又は GROUP2

リアルタイムPCR法の結果表示

	27 77 7 T. C. ((A) 7 ((A) ((A) ((A) ((A) ((A) ((A) ((
検査項目	内 容	報告書表示
HBV-	増幅反応シグナルを検出しなかった場合	検出せず
DNA/ リアル	1.OL.IU/mL (定量下限値) 未満で、増幅反応シグナル を検出した場合	<1.0+
タイム	測定範囲内で結果を得た場合	1.0~9.0
PCR法	9.1L.IU/mL (定量上限値) を超えた場合	9.1以上
HCV-	増幅反応シグナルを検出しなかった場合	検出せず
RNA/ リアル	1.2L.IU/mL (定量下限値) 未満で、増幅反応シグナル を検出した場合	<1.2+
タイム	測定範囲内で結果を得た場合	1.2~8.0
PCR法	8.1L.IU/mL(定量上限値)を超えた場合	8.1以上

採取量 検体量 (mL) 所要 コード 実施料 検 査 項 目 検査方法 基準値 備 No 判断料 日数

ウイルス抗原の検出

4156	アデノウイルス技		i i	糞便1.0g	ICA	(-)	60 *1 免疫		3~9
4144	サイトメガロウイル 抗原 (C7一HRP	ノスpp65 ')	С	EDTA加血液 3.0	直接酵素抗体法	陰性	366 免疫	単独検体	3~5
4094	サイトメガロウイル アンチジェネミア	ノス抗原	С	EDTA加血液 5.0	間接酵素抗体法	(-)	366 免疫	単独検体	3 4
1104	単純ヘルペス ウイルス特異抗原	塗抹標本〉	09	塗抹標本	FAT	1型 陰性 2型 陰性	180 ^{※2} 免疫	 採取方法は、N-7頁をご参照ください。 	4 6
2972	ロタウイルス抗	源	i	糞便1.0g	ICA	(-)	65 *1 免疫	◆ 単独検体	4 10
1250	I) HPV-DNA同定_	(中~高リスク型) DNA 同党		ぬぐい液	ハイブリッド		350 * ³ 微生物	検体の採取・保存には専用容器を ご使用ください。 注 1	3 4
4159		低リスク型》	d	04 ₹ 0 1/1 X	キャプチャー法	Index 1.00未満		検体の採取・保存には専用容器を ご使用ください。 注2	3-9
1254	パルボウイルス B19DNA		05	血液 2.0 © 0.5	PCR	検出せず			6~8
0637	EBV-DNA定量	<u> </u>	05	血液 2.0 ^{血清} 0.5	リアルタイムPCR	コピー/mL 100未満	310 微生物	髄液でも検査可 単独検体	3~5
1901	ノロウイルス-RN/	Aマルチ	33	糞便	リアルタイムPCR	ノロウイルスGI(-) ロタウイルスC群(-) ノロウイルスGI(-) アデノウイルス40/41型(-) ロタウイルスA群(-) アストロウイルス(-)		単独検体	4 5 7
1915	ノロウイルス抗原	₹ 《EIA》	25	糞便1.0g	EIA	(-)		単独検体	3-6
4552	SARS-CoV-2	ぬぐい液〉	51	ぬぐい液	リアルタイム	検出せず	700 ** ⁴		1
4553	核酸同定		52		RT-PCR	1714 C 9	微生物		2

- アデノウイルス抗原定性(糞便)とロタウイルス抗原定性(糞便)又は定量(糞便)を同時に行った場合は、主たる検査のみ算定する。 **%** 1
- 単純ヘルペスウイルス抗原定性は、ヘルペスウイルスの型別確認を行った場合に算定できる。
- HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定) は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上ASC-US (意義不明異型扁平上皮) と判定された患者又 は過去に子宮頸部円錐切除若しくはレーザー照射治療を行った患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、過去に子宮頸部円錐切除又はレーザー照射治療 を行った以外の患者については、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。また、HPV核酸検出とHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)を併せて実施した場 合は、主たるもの1つに限り算定する。
- SARS-CoV-2核酸検出
 - ア SARS-CoV-2核酸検出は、本区分のHPV核酸検出の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。なお、採取した検体を、感染性物質の規定に従って、検体 採取を行った保険医療機関以外の施設へ輸送し検査を委託して実施した場合は、検査を実施した施設名を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
 - 本検査は、COVID-19の患者であることが疑われる者に対しCOVID-19の診断を目的として行った場合又はCOVID-19の治療を目的として入院している者に対し退 院可能かどうかの判断を目的として実施した場合に限り算定できる。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として 実施した場合は算定できない。なお、検査に用いる検体については、厚生労働省の定める新型コロナウイルス感染症の検査に係る指針を参照すること
 - ウ COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を1回に限り算定 する。ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断がつかず、本検査を再度実施した場合は、上記のように合算した点数をさらに1回 に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
 - エ COVID-19の治療を目的として入院している者に対し、退院可能かどうかの判断を目的として実施した場合は、(令和3年2月25日健感発0225 第1号)の「第1 退院 に関する基準」に基づいて実施した場合に限り、1回の検査につき上記のように合算した点数を算定する。なお、検査を実施した日時及びその結果を診療報酬明細書 の摘要欄に記載すること。
 - オ 本検査を算定するに当たっては、本区分の「10」の「注」に定める規定は適用しない。
- 注1. HPVとして、16、18、31、33、35、39、45、51、52、56、58、59、および68型の "中~高リスク型" HPVを検出いたします (型別判定はできません)。 注2. 6、11、42、43、および44型の "低リスク型" HPVを検出いたします (型別判定はできません)。



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) コード 実施料 判断料 検査項目 検査方法 最低希釈倍率 備 考 No 日数

ウイルフ 抗休の給出 (NIT)

				ワイル	人抗体の	検出(NT)			
1028 1029	単純ヘルペス (HSV)	1 型 2型	A	血液 血清 各2.0 各0.5	NT	血清4倍 髄液原液	79 *1 免疫	1型、2型間には抗原 交差性があります。 髄液も検査可。	12 18
4111	麻疹		A	血液 2.0 [◎] 0.5	NT		79 ^{※1} 免疫	髄液も検査可。	8
1036	ムンプス		A	一	NT	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	- 髄液も検査可。 	12
1058	RS		A	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	NT	血清4倍 髄液原液	79 *1 免疫	髄液も検査可。	12
1105		1型			1 1 1 1 1			1 	
4024		3型			 				
4025		4型		 				1 1 1 1 1 1	
4026		5型			1 1 1 1 1				
4027		6型		 				 	
4028	 	7型			1			 	
4029		9型		 				 	
4030	 	11型		 	1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	
4031		12型		 				 	
4032	エコー	13型	A	血液 血液 各2.0 各0.5	NT	血清8倍 髄液原液	¦ 79 * [*] [*] 免疫	 	12
4033		1 4型			 	BETWINK			
4034		16型		 				1 1 1 1 1 1	
4035		17型		 	1			1 1 1 1 1	
4036		18型		1 			 	1 1 1 1 1 1	
4037		19型		 	 		 	 	
4038		21型		1 				1 1 1 1 1 1	
4039	-	22型		 	1 1 1 1 1			1 	
4040	_	24型		 	1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1	
4041	-	25型						1 1 1 1	
4042		30型		I I I				I I	

②水痘・帯状疱疹ウイルス



コード No

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 判断料 検査方法 最低希釈倍率 検査項目

ウイルス抗休の給出(NIT)

所要 日数

備

考

				シイル	人机体の	快出(NI)			
4002		1 型		 	 		1 1 1 1 1		
4003		2型		 	 		 		
4004	i 	3型		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1	 	
4005	1 	4型		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	
4006	, 	5型							
4007	アデノ	6型	A	血液 <u>血清</u> 各2.0 各0.5	NT	血清8倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	 髄液も検査可。 	12
4008		7型							
4009		8型		1 1 1 1 1	 		1 1 1 1 1		
4010		11型		 	 		 		
4011		19型		1 1 1 1 1	 		 	 	
4014		37型		1 1 1 1 1	 	血清4倍 髄液原液	1 1 1 1		
4052		2型		; ; ; ; ;		血清4倍 髄液原液			
4053		3型		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	髄液原液	 		
0832		4型		 	 	血清8倍 髄液原液	 		
4127		5型		1 1 1 1 1	1 	血清4倍 髄液原液	 	 	
4054	コクサッキー A群	6型	A	血液 <u>血清</u> 各2.0 各0.5	NT		79 * ¹ 免疫	 髄液も検査可。 	12
4055		7型			 		 		
0833		9型		1 1 1 1 1	 	血清8倍 髄液原液	1 1 1 1 1	 	
4056		10型		1 1 1 1 1 1	 		1 1 1 1 1	1 	
0555	 	16型		1 1 1 1	 		1 1 1	 	

^{*:} NT法の所要日数は一応の目安です。多少遅れることもありますので、ご了承ください。 細菌繁殖などにより培養細胞が汚染され、検査不能になる場合もありますので、ご注意ください。「ウイルス型別」のある項目では必ず「型」をご指定ください。

ウイルス抗体の検出(NT)

4057		1型		1 1 1 1 1	 		 		
4058		2型							
4059	コクサッキー B群	3型	Λ	血液 血液 各2.0 [®] 各0.5	NT	血清8倍 髄液原液	79 *1	髄液も検査可。	1,2
4060	B群	4型	Λ	各2.0學各0.5	INI 	[髓液原液 	免疫	腹/仪で発見り。	18
4061	 	5型		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	 	1 1 1 1 1		
4062		6型		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1		
1106	エンテロ	70型	Λ	· · 血液 、 血清	NT	血清8倍 髄液原液		· 陈次十. ★全本司	1,2
1062	1	71型	А	<u>血液</u> 各2.0 [©] 各0.5	IN	: 髓液原液 :	1 1 1 1 1	髄液も検査可。	18

リオウイルス I 型 ⑩ポリオウイルス II 型 ⑮ポリオウイルス III 型 ⑯RSウイルス ⑰風疹ウイルス ⑱麻疹ウイルス ⑲日本脳炎ウイルス ⑳オーム病クラミジア

②水痘・帯状疱疹ウイルス





A 汎用容器

分離剤

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 所要 検査項目 検査方法 最低希釈倍率 備 考 判断料 No 日数

ウイルス抗体の検出(CF)

					* * 37 6 1 1 -				
0821	単純へルペ	X (HSV)	A	血液 血清 2.0 [©] 0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 *1 免疫	髄液も検査可。	5 7
0822	水痘・帯状々	ヘルペス (VZV)	Α	血液 2.0 [▲] 0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	- 髄液も検査可。 	5 7
1030	ムンプス		Α	血液 2.0 [▲] 0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	開液も検査可。	5-7
0824	インフルエンサ	A型	Α	血液 2.0 [◎] 0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	 髄液も検査可。 	5 7
0825	1 2 2 10 1 2 9	B型	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5		血清4倍 髄液原液	79 *1 免疫	髄液も検査可。	5 7
0895	RS		Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	- - 髄液も検査可。	5 7
0831	日本脳炎		Α	血液 <u>血清</u> 2.0 [∞] 0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	髄液も検査可。	5 7
4001	アデノ		Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	髄液も検査可。	5 7
0653	サイトメガロ	(CMV)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	脱液も検査可。	5 7
4051	コクサッキー A群	9型	Α	血液 <u>血清</u> 各2.0 各0.5	CF	血清4倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	髄液も検査可。	5 7
0834	 	1 型	1		 	 	 		4 6
0835	, 	2型			 	 	 		
0836	コクサッキー	3型	Α.	: : : 血液 血清	CF	: : : 血清4倍	79 *1	 - 髄液も検査可。	5 -7
0837	B群	4型	A	血液 <u>血清</u> 各2.0 [©] 各0.5	UF	髄液原液	免疫	脚/区 0代旦 40。	ク
0838		5型			, 	1 1 1 1 1			
0839		6型	1		1 1 1 1	 	 		4 6

ウイルス抗体価(1)・同一検体についてウイルス抗体価(定性・半定量・定量)の測定を行った場合は、8項目を限度として算定する。 ・ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)に当たって、同一検体について同一ウイルスに対する複数の測定方法を行った場合であっても、所定点数のみを算定する。

②水痘・帯状疱疹ウイルス



ウイルス学検査

 コード No
 検査項目
 採取量 検体量 (mL) (mL)
 検査方法
 最低希釈倍率
 実施料 判断料
 備 考
 所要 日数

	 		-	10.1.	/
		+=		***	
' / 1	 1 / /	*II '	1/N (/)		(HI)
	 	ם עו	14,07		\ I I I /

0236	風疹		A	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	HI	血清8倍 髄液原液	79 *1 免疫	 髄液も検査可。 	4~6
0238	ムンプス		Α	血液 2.0 [◎] 0.5	НІ	血清8倍 髄液原液	79 * ¹ 免疫	- 髄液も検査可。 	4 6
4013	インフルエンサ	ブ	A	血液 2.0 © 0.5	HI	血清10倍 髄液原液	79+79* ¹ 免疫	髄液も検査可。インフルエンザA 型およびB型の流行ワクチン株 につき、一括検査実施いたします。	4 6
0871		1型 (HA-2)			1 	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1		
0872	パライン フルエンザ	2型 (CA)	A	血液 血清 各2.0 全各0.5	НІ	血清10倍 髄液原液	79 ^{※1} 免疫	¦ ¦ 髄液も検査可。 ¦	4 6
0873		3型 (HA-1)			 	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1		
4091	日本脳炎		A	血液 2.0 © 0.5	Н	血清10倍 髄液10倍	79 * ¹ 免疫	間液も検査可。抗体価40倍以上 の検体は、2MEでその測定結果 も併せてご報告いたします。	7 10
0551		3型			 	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1		
1163	エコー	7型	Δ	血液 <u>血清</u> 各2.0 各0.5	HI	血清8倍	79 *1	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	4
1164	11型		11	各2.05 各0.5	1	髓液原液	免疫	MG/K C1大丘 10 0 	6
1165		12型			1 	1 	1 1 1 1 1		1

ウイルス抗体の検出 (FA)

0698		lgG					206 *1 免疫		
0697	EBV-VCA	ΙgΑ	A	血液 各2.0 [©] 各0.5	FA	血清10倍 髄液原液	79 * ² 免疫	髄液も検査可。	4 5 7
0696		IgM				1 1 1 1 1	206 *1 免疫		
0635		l g G				 	206 *1 免疫		-
0675	EBV-EADR	IgA	Α	血液 各2.0 [©] 各0.5	FA	血清10倍 髄液原液	79 * ² 免疫	髄液も検査可。	4
0655		IgM				1 			
0636	EBV-EBNA		Α	血液 <u>血清</u> 2.0 [©] 0.5	FA	血清10倍 髄液原液	79 * ² 免疫	- 髄液も検査可。 	4 7



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 所要 検 査 項 目 検査方法 最低希釈倍率 備 考 No 判断料 日数

ウイルス抗体の検出(EIA等)

1172	単純ヘルペス (HSV)	lgG lgM	血液 血清 各2.0 [®] 各0.5	EIA	IgG (-) EIA価2.O未満 IgM (-) index0.80未満	206 *1 免疫	4 7
1019	水痘・帯状 ヘルペス (VZV)	I g G	血液 血清 各2.0 全各0.5	EIA	IgG (-) EIA価2.0未満 IgM (-)	206 *1 免疫	4 5 7
0556	風疹	IgG	血液 血清 各2.0 图 各0.5	EIA	index0.80未満 IgG (-) EIA価2.0未満 IgM (-)	206 *1 免疫	4 7
4112	麻疹	l g G	血液 血清 各2.0 全 各0.5	EIA	index0.80未満 IgG (-) EIA価2.0未満 IgM (-)	206 *1 免疫	4 5 7
1167		I g G	血液 血液 各2.0 各0.5	EIA	index0.80未満 IgG (-) EIA価2.0未満 IgM (-)	206 *1 免疫	4
0683	サイトメガロ	l gM	 		index0.80未満 IgG (-) AU/mL 測定値6.0未満	206 *1	4
0684		IgM	血液 <u>血清</u> 各2.0 各0.5	CLIA	IgM (-) Index 測定値0.85未満	· 免疫 - 	7
4073	パルボウイルス B19抗体	lgG lgM	血液 2.0 © 0.5	EIA	(-) index0.80未満	206 *1 免疫	4 10

※1 グロブリンクラス別ウイルス抗体価(1)・同一検体についてグロブリンクラス別ウイルス抗体価の測定を行った場合は、2項目を限度として算定する。

・同一ウイルスについてIgG型ウイルス抗体価及びIgM型ウイルス抗体価を測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。
・ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)とグロブリンクラス別ウイルス抗体価を測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。
・ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)とグロブリンクラス別ウイルス抗体価を併せて測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。
グロブリンクラス別ウイルス抗体価(2)・グロブリンクラス別ウイルス抗体価は、下記の項目のウイルスのIgG型ウイルス抗体価又はIgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。
①へルペスウイルス ②風疹ウイルス ③サイトメガロウイルス ④EBウイルス ⑤麻疹ウイルス ⑥ムンブスウイルス ⑥といブスウイルス ⑦といていずウィルス1な体価(2)・同一体体(2)・同一体体(2)・同一体体(2)・アウィルス1な体価(2)・同一体体(2)・アウィルス1な体価(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1なん(2)・アウィルス1

※2 ウイルス抗体価(1)・同一検体についてウイルス抗体価(定性・半定量・定量)の測定を行った場合は、8項目を限度として算定する。
・ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)に当たって、同一検体について同一ウイルスに対する複数の測定方法を行った場合であっても、所定点数のみを算定する。
・ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)とグロブリンクラス別ウイルス抗体価を併せて測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。
ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)は、治療上必要な場合に行うものとし、次に掲げるものを当該検査の対象とする。

ウイルス抗体価検査 判定基準

	- 1 7 137 UTT 1 IMI	<u> </u>		
検査項目		陰性/(-)	判定保留/(±)	陽性/(+)
ウイルス抗体価IgG(EIA)	EIA価	2.0未満	2.0~3.9	4.0以上
ウイルス抗体価IgM(EIA)	index	0.80未満	0.80~1.20	1.21以上
サイトメガロウイルス抗体価IgG	AU/mL	6.0未満		6.0以上
サイトメガロウイルス抗体価IgM	index	0.85未満	0.85~1.00未満	1.00以上
パルボウイルスB19抗体価	index	0.80未満	0.80~0.99	1.00以上



ウイルス検査項目一覧

				抗	体	検	查							抗	原	検	查		
檢																			
検査方法	NT	法	CF	法 l	HI	l法 	FA	法	EIA	A法		l	l	I		l			
材	血	髄	血	髄	血	髄	血	髄	血	髄	血	血	尿	糞	上皮細胞	ぬぐい液	その	備考	¥
料 検査項目名	清	液	清	液	清	液	清	液	清	液	液	清		便	細胞	液	他	ν ω -	
単純ヘルペス			0821	4316															
lgG									1172										
lgM									1173										
1型	1028	4147																	
	1029																		
																	1104	塗抹標本(F/	AT)
水痘・帯状へルペス			0822	4317															,
IgG									1019										
lgM									1020										
風疹					0236	4338													
IgG									0556										
lgM									0557										
	4111	4188																	
lgG									4112										
lgM									4113										
ムンプス	1036	4228	1030	4320	0238	4340													
lgG									1167										
lgM									1110										
インフルエンザ A型			0824	4321	4010	40.41													
B型			0825	4322	4013	4341													
パラインフルエンザ 1型					0871	4345													
2型						4346													
3型					0873														
RS	1058	4224	0895	4323															
日本脳炎			0831	4324	4091	4349													
ロタ 抗原														2972				(ICA)	
ノロ 抗原														1901				リアルタイムF	PCR
抗原														1915				(EIA)	
エコー 1型	1105	4269																	
3型	4024	4270			0551	4355													
	4025	4271																	
	4026																		
6型	4027	4273																	
7型	4028	4274			1163	4356													
- 9型	4029	4275																	
	4030				1164	4357													
12型	4031	4277			1165	4358													
	4032																		
	4033																		
	4034																		
17型	4035	4281																	
18型	4036	4282																	
19型	4037	4283																	
	4038																		
	4039																		
	4040																		
	4041																		
	4042																		
して主	.5 1	00																	





ウイルス検査項目一覧

							抗	体	検	査							抗	原	検	査		
			検査方法	NT	法	CF	法	CLI	A法	FA	法	EIA	法		ı		1		ı			
			材	血	髄	血	髄	血	髄	血	髄	血	髄	血	血	尿	糞	上皮細胞	ぬぐい液	その	備	考
	検査項目	1名	料	清	液	清	液	清	液	清	液	清	液	液	清		便	細胞	液	他	I/H3	
	アデノ					4001	4325															
			1型	4002	4289																	
			2型	4003																		
			3型	4004																		
			4型	4005																		
			5型	4006																		
			6型	4007																		
			7型	4008																		
			8型	4009																		
				4010																		
			19型	4011																		
			37型	4014																		
			抗原														4156				(ICA)	
	コクサッキー	-A群	2型	4052																		
				4053																		
			4型	0832	4299																	
			5型	4127																		
			6型	4054																		
			7型	4055																		
				0833			4368															
			10型	4056																		
		DTV	16型	0555			1000															
		B群	1型	4057																		
			2型	4058																		
			3型	4059																		
			4型	4060																		
			5型	4061																		
H	+ / \	<u>+"</u> —	6型	4062	4310																	
	サイトメフ	/J 🗀	1~0			10053	4332	0600														
			IgG					0683 0684														
			lgM 抗原					0084						4144							サイトメガロpp	85位面
-	エンテロ			1106	1311									7144							ממחועיוויה	UU加尿
	エノノロ		70型		4311																	
-	EBV	VCA		1002	+012					0698	4350											
	LD V	VUA	IgA							0697												
			IgM							0696												
		ΕΛD	R IgG							0635												
		LAD	IgA							0675												
			IgM							0655												
		EBN								0636												
		DNA								3000	10/1				0637						(リアルタイム	PCR)
-	パルボB1		lgG									4073			5557						(3) 103.12	,, 011/
	, (////////////////////////////////////	J	IgM									4070										
			抗原									.5,5			1254						(PCR)	
-	HPV(中~高	ミリスク													5 1				1250		(ハイブリッドキャプ	 チャー法)
F	HPV(低リス		抗原																4159		(ハイブリッドキャプ	
	HPV(低リス	(ク)	抗原																4159		(ハイノリッドキャブ	ナヤー法)

ウイルス抗体測定について

ウイルス血清抗体価の測定は、感染後産生されたものであり、過去(近い、遠い)にそのウイルスに感染したこ とを回顧的に示すもので、今現在の状態と必ずしも一致しません。(ウイルス血清抗体価に基準値という概念は ありません。)

血清診断法はあくまでも間接的な診断法であって、結果を解釈するには、①各検査法の特徴、②抗体応答パター ン、③ウイルスごとの感染様式の特徴、④血清診断法の限界などを理解し、目的に応じた検査法を選択する必要 があります。

●ペア血清

ウイルス感染症の病原ウイルスを抗体から推定するためには、急性期(発病後早期)と回復期(発病後2~3週間) の血清をペアにして同時に抗体価を測定し、抗体価の上昇があることを示さなければなりません。通常、ペア血 清の抗体価が4倍以上上昇している場合、有意と判断し、そのウイルスの感染を推定します。

●ウイルス抗体検査法

補体結合反応 CF CF活性を持つ免疫グロブリンはIgG・IgM抗体のみであって、IgA抗体はCF活性を

持たない。(一般的にIgG抗体を検出している。) 活性はHI法やNT法よりやや遅れて

上昇し、短時間しか持続せず、上昇度もそれほど高くない。

赤血球凝集反応 HI IgG、IgA、IgM抗体の全てにHI活性がみられるため、感染後HI抗体価は速やかに上

昇し、長い間(数年~何十年)持続する。また感度もCF法より良好である。

HI法とほぼ同時に上昇し、長い間持続する。感度および型特異性が高く、初感染で 中和反応 NT

NT抗体価の有意の上昇を認めたときは、その診断価値が高いが、既感染のときはペ

ア血清によるNT抗体価の有意な変動はみられない。

FΑ 目的とするウイルス抗原に対して、蛍光色素で標識した抗体を用いて反応させ、蛍光 蛍光抗体法

> 強度を測定する方法で、直接法(FA)と間接法(IFA)がある。FA法は検出感度が 高く、特異性に優れている。また、IgG抗体、IgM抗体などのクラス別抗体測定が可

能である。

酵素免疫測定法 EIA 目的とするウイルス抗原と特異抗体を反応させ、酵素反応(酵素標識抗体、基質)に

> て発色させ、その吸光度より定量する。検出感度が高く、IgG抗体、IgM抗体などの グロブリンクラス別抗体測定が可能である。他法に比べて感度が高く微量の抗体が

定量的に検出できる。

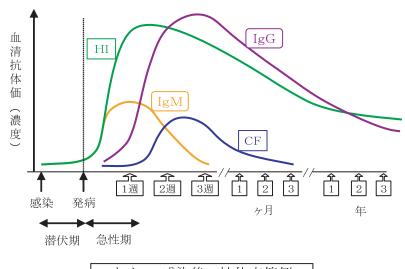
●抗体応答パターン

HI(赤血球凝集抑制反応)抗体価 は発病後急速に上昇し、およそ1 週間でピークに達する。その後HI 価は徐々に下降していくが、何年、 何十年にわたってHI抗体活性は検 出される。

CF(補体結合反応)抗体価はHI活 性よりも遅れて上昇し、ピーク時 の力価も低く、持続も短い。

IgM抗体は最初に産生されるがそ の量は少なく短期間で消失する。 lgG抗体はIgM抗体の後に大量に産

生され、その後低濃度になるが長 時間持続する。



ウイルス感染後の抗体応答例

コード

No

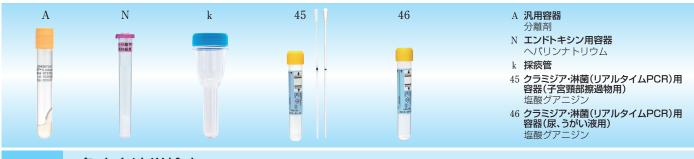
感 染 症 血 清 反

				心 不	71E IIII	一月		
0281	ASO (ASLO	0)	Α	血液 血清 2.0 [©] 0.5	LA	IU/mL 0~239	15 免疫	1 2
0204	抗ストレプトキ (ASK		Α	血液 2.0 [®] 0.5	PA	1280倍以下	29 免疫	2 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
0208	寒冷凝集反応		Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	НА	64倍未満]] 免疫	1
4430	トキソプラズマ抗体	IgG	Α	血液 <u>血清</u> 2.0 ^② 0.5	CLIA	下表参照	93 免疫]
4431		IgM	A	2.0 0.5	; GLIA !	;	95 免疫	1
0863	ーノーサニブー	7+ ÷/ -			CF	血清4倍未満 髄液原液未満	32 免疫	4 髄液も検査可。
0213	マイコプラズマ	መሆት	Α	血液 2.0 © 0.5	PA	血清40倍未満 髄液40倍未満	32 免疫	1 髄液も検査可。 2
2731	マイコプラズマ ニューモニエ D	7 NA同定	k	呼吸器系材料	LAMP	陰性	291 微生物	髓液も検査可。24単独検体6
0267		RPR	Α		LA	(-)	15 * ¹ 免疫	1 - 2
0268	梅毒定性	TP抗体	A			(-)	32 免疫	1 髄液も検査可。 5 2
0269	梅毒定量	RPR	Α	血液 血清	Ι Ι Ι Ι	R.U 1.O未満	34 * ¹ 免疫	1
0270		TP抗体	A	血液 2.0 © 0.5	LA	T.U 10未満	53 免疫] 2
0224		《定性》	Α.	· · · 血液 血清	FAT	(-)	134 免疫	4
4162	FTA-ABS	《定量》	Α	血液 2.0 © 0.5	FA 	20倍未満	134 免疫	4 6
0692	FTA-ABS-IgM	《定性》	Λ		FA	(-)	134 免疫	5~6
4164	I I'V VDO IBINI	《定量》	A	血液 2.0 © 0.5		20倍未満	134 免疫	- 6

梅毒血清反応(STS)定性、梅毒血清反応(STS)半定量及び梅毒血清反応(STS)定量は、従来の梅毒沈降反応(ガラス板法、VDRL法、RPR法、凝集法等)をいい、 梅毒血清反応(STS)定性、梅毒血清反応(STS)半定量及び梅毒血清反応(STS)定量ごとに梅毒沈降反応を併せて2種類以上ずつ行った場合でも、それぞれ主 たるもののみ算定する。

トキソプラズマ抗体判定基準

トキソプラズ	マ抗体 IgG (IU/mL)	トキソプラズマ抗体 IgM (index)				
(-)	1.6未満	(-)	0.50未満			
(±)	1.6以上 3.0未満	(±)	0.50以上 0.60未満			
(+)	3.0以上	(+)	0.60以上			





採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) コード 実施料 検査項目 検査方法 基準値 備 考 No 日数

感染症血清反応

			たい フ		月			
1921	クラミジア・	45	子宮頸部擦過物 又は咽頭ぬぐい液			 		
1924	トラコーマチス/ リアルタイムPCR	46	尿4.5~6.3	リアルタイム PCR	(-)	193 ※1 微生物	 採取方法は、N-10頁をご参照 ください。 	6
1926			うがい液 4.5~6.3			 		
1195	クラミジア・トラコーマチス抗体 IgA&IgG	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	EIA	次頁参照	200 ** ² 免疫		4 6
1821	クラミジア・ニューモニエ 抗体 I g A	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.6	EIA	次頁参照	75 免疫	1 1 1 1	4 5 7
1822	クラミジア・ニューモニエ 抗体 I g G	Α	血液 血清 2.0 © 0.6	EIA	次頁参照	70 免疫	1 	4 7
1841	クラミジア・ニューモニエ 抗体 I g M	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.6	EIA	次頁参照	152 免疫		3 6
1923		45	子宮頸部擦過物 又は咽頭ぬぐい液			 	1 1 1 1 1	
1928	淋菌・クラミ同時測定/ PCR	46	尿4.5~6.3	リアルタイム PCR	(-)	270 *3 微生物	採取方法は、N-10頁をご参照 ください。	3~6
1929			うがい液 4.5~6.3			1 1 1 1 1	 	1
1922		45	子宮頸部擦過物 又は咽頭ぬぐい液			 		
1925	淋菌/リアルタイム PCR	46	尿4.5~6.3	リアルタイム PCR	(-)	204 ** ⁴ 微生物	 採取方法は、N-10頁をご参照 ください。	4 6
1927		40	うがい液 4.5~6.3			 		
1148	カンジダマンナン抗原	A	血清0.8	EIA	U/mL 0.05未満	134 ** ⁶ 免疫		4 6
4173	アスペルギルス抗原	Α	血液 血清 3.0 🍑 1.0	EIA	(−) COI:0.5未満	157 ** ⁷ 免疫	ピペラシリン/タゾハクタム 合成投与患者では陽性になる 場合があります。	3~5
1237	アスペルギルス抗体	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CF	血清4倍未満 髄液原液未満	 	¦ 髄液も検査可。 	4 6
2949	エンドトキシン定量《ES法》	N	血液3.0	比濁時間分析法	pg/mL 5.0未満	免疫	 凍結不可。 無菌的に採取してください。	3~5
2700	(1→3)- <i>β</i> -D-グルカン	N	血液3.0	発色合成基質法	20以下	201 ** ⁷ 免疫	 凍結不可。 無菌的に採取してください。 	3-5
0893	プロカルシトニン (PCT)	Α	血液 血清 2.0 ® 0.5	CLEIA	ng/mL 0.05以下	284 ^{**9} 生化 I	敗血症(細菌性)鑑別診断の カットオフ値:0.50ng/mL未満 敗血症(細菌性)重症度判定の カットオフ値:2.00ng/mL以上	3~5

- クラミジア・トラコマチス核酸検出とクラミジア・トラコマチス抗原定性を併用した場合は、主なもののみ算定する。クラミジア・トラコマチス核酸検出は、泌尿器、生殖 **%**1 器又は咽頭からの検体により実施した場合に限り算定できる。
- グロブリンクラス別クラミジア・トラコマチス抗体は、クラミジア・トラコマチス抗原検出不能又は検体採取の困難な疾患(骨盤内感染症、卵管炎、副睾丸炎、新生児・乳 児肺炎等)の診断に際し、IgG抗体価又はIgA抗体価を測定した場合又は新生児・乳幼児肺炎の診断に際し、IgM抗体価を測定した場合に算定する。なお、IgG抗体
- ж3
- **%**4
- **%**5
- **%**6
- る。州圏及びフラスファインコマテストの日本版状団は、体域銀がつめたはも写定となる。 淋菌核酸検出は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体(尿検体を含む。)によるものである。 淋菌核酸検出、淋菌抗原定性又は細菌培養同定検査(淋菌感染を疑って実施するもの)を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。 カンジダ抗原定性、半定量又は定量は、カンジダ血症又はカンジダ肺炎の診断の目的で行った場合に算定する。 カンジダ抗原定性、同半定量、同定量、(1→3)-β-D-グルカン、D-アラビニトール、アスペルギルス抗原、クリプトコックス抗原半定量又はクリプトコックス抗原定性と **%**7
- **%8**
- 併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。 アスペルギルス抗原は、侵襲性肺アスペルギルス症の診断のために実施した場合にのみ算定できる。 プロカルシトニン(PCT)定量又は同半定量は、敗血症(細菌性)を疑う患者を対象として測定した場合に算定できる。ただし、エンドトキシンを併せて実施した場合 **%9** は、主たるもののみ算定する。
- (1→3)-β-D-グルカンは、深在性真菌感染症が疑われる患者に対する治療法の選択又は深在性真菌感染症に対する治療効果の判定に使用した場合に算定する。 **%**10



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 コード No 実施料 判断料 検 査 項 目 検査方法 基準値 備 考

感染症血清反応

	本												
4180	百日咳菌抗体		Α	血液 血清 2.0 [©] 0.5	EIA	EU/mL PT-lgG抗体 10未満 FHA-lgG抗体10未満	257 免疫		4~6				
4183	百日咳菌抗体	IgM	Α	血液 2.0 <u>血清</u> 0.5	EIA	(-) NTU値:8.5未満	80		ე∽დ				
4182		IgA	11	2.0 7 0.5	 	NTU他 8.5木海 	免疫						
4181	百日咳菌核酸	検出	49	後鼻腔 ぬぐい液	LAMP	(-)	360 *1 微生物		3~6				
0809	オーム病抗体		Α	血液 <u>血清</u> 2.0 0.5	CF	血清4倍未満 髄液原液未満	79 免疫	髄液も検査可。	5 7				
4174	ツツガ虫	lgG	Λ	血液 血清 1.0 ② 0.3					1				
4175	Gilliam	IgM	А	1.0 🖺 0.3	FAT								
4176	ツツガ虫	IgG	Δ	A 血液 血清 1.0 © 0.3			207 免疫		6~9				
4177	Kato	IgM	11	1.0 🐬 0.3					9				
4178	ツツガ虫	lgG	A	血液 血清 1.0 🔊 0.3			1 1 1 1 1 1 1 1 1		1				
4179	Karp	IgM	11	1.0 🐬 0.3					1				
4189	クリプトコッカ ネオフォルマン	ス ノス抗原	A	血液 血清 3.0 1.0	逆受身ラテックス 凝集反応	(-)	174 免疫	 髄液も検査可。 	5~7				
1151	ヘリコバクター・	《定性》	Λ	血液 血清		(-)	70 免疫		1 2				
4458	ピロリ抗体	《定量》	Α	血液 2.0 [◎] 0.5	LA	U/mL 10未満	80 免疫		3				
1900	便中 ヘリコバクター・	ピロリ抗原	18	糞便	EIA	(-)	142 免疫		3~5				
1898	<u>尿素</u>	ユービット	12	呼気 各200~250	IR (赤外分光分析)	ユービット服用 ¦ 20分後の△¹³C2.5‰未満を └ (-)	70 微生物	R法の呼気採取用パックは指定の容器 (12: 呼気採取パック) をご利用ください。各感染診断用剤 (ユービット、ピロニック) の用法	3-5				
3898	呼気試験	ピロニック	13	呼気 各12	GC-MS (質量分析)	ピロニック服用 10分後の△¹°C3.0‰未満を (−)	70 微生物	容量及び使用上の注意をご確認の上、服用 ください。また、呼気の採取方法は採取容 器に添付している説明書をご確認ください。	4~6				

百日咳菌核酸検出は、関連学会が定めるガイドラインの百日咳診断基準における臨床判断例の定義を満たす患者に対して、LAMP法により測定した場合に算定でき

■ クラミジア・トラコーマチス抗体IgA&IgG クラミジア・ニューモニエ抗体IgA クラミジア・ニューモニエ抗体IgG

EIU値 8未満

8~12

12を超える

	判定	EIU値
	(-)	30未満
	(±)	30~45

(+)

45を超える

判定	カットオフ・インデックス
陰 性(-)	0.900未満
判定保留(±)	0.900~1.099
陽 性(+)	1.100以上

判定

 (\pm)

(+)

判定	S/CO値
(-)	0.5未満
(±)	0.5~1.1
(+)	1.1を超える

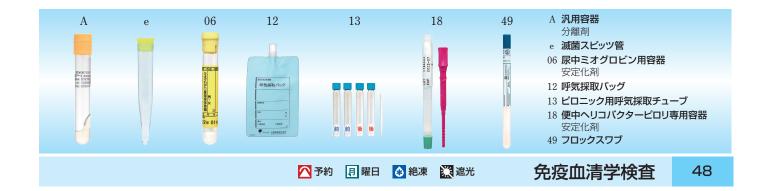
NTU値	判定
8.5未満	(-)
8.5~11.5	(±)
11.5を超える	(+)

所要 日数

コード No	検 査 項 目	採取 容器	採取量、検体量 (mL) (mL)	検査方法	基 準 値	実施料 判断料	備考	
-----------	---------	----------	----------------------	------	-------	------------	----	--

				<u> </u>	P	Á			
	ı		, ,			—	1	ı	_
0202	CRP	《定性》	Δ	血液、血清		(-)	16 *1 免疫		1 2
0262	CRP	《定量》	Α	血液 2.0 [◎] 0.5	LA	mg/dL 0.30以下	16 * ¹ 免疫		1 2
1809	血清アミロイドA蛋白 (SAAP)		Α	血液 血清 2.0 🕸 0.5	LA	μg/mL 8.0以下	免疫		3~5
1705	プレアルブミン	,	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	TIA	mg/dL 22.0∼40.0	免疫		3~5
0182	尿中アルブミン	,	е	蓄尿0.5	TIA	mg/day 30.0未満	尿・便	 	1 2
0181	尿中アルブミン 《クレアチニン		е	尿0.5	TIA	mg/g·Cr 30.0未満	尿・便	1 	
1790	α 1アンチトリ (α 1 A		A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	ネフェロメトリー法 -	mg∕dL 94~150	80 血液		3~6
2548	α1アシドグリコフ (α1Α)		Α	血液 2.0 © 0.5	TIA	mg/dL 42.0∼93.0	 		3 6
1171	α_1	Α	<u>血液</u> 2.0 © 0.5	LA	mg/L M 12.5~25.5 F 11.0~19.0	免疫		3-5	
4198	(α 1MG)	〈尿〉	e	尿1.0	 	mg/L M 0.8∼14.1 F 0.5∼ 7.0	免疫		3~5 3~6
2549	α₂マクログロフ	ブリン	Α	<u>血液</u> 2.0 © 0.5	ネフェロメトリー法	mg/dL M 100~200 F 130~250	血液		3-6
0771	β2マイクログロブリン	/	Α	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 0.5	LA	mg/L 0.9∼1.9	免疫	 	1 2
0772	(β2MG)	〈尿〉	e	尿0.5		μg/L 250以下	免疫	 酸性蓄尿は検査不可。 	3~5
0626	セルロプラスミ (Cp)	ミン	Α	血液 2.0 © 0.5	ネフェロメトリー法	mg/dL 21.0~37.0	免疫		3~5
0766	トランスフェリン	〈血清〉	Α	血液 2.0 © 0.6	TIA	mg/dL M 190∼300 F 200∼340	免疫		3 4
1242	(Tf)	〈尿〉	е	尿1.0	LA	mg/g·Cr 1.0以下	尿・便	¦ ¦ 凍結不可。 ¦	3 4
0149	フェリチン		Α	血液 2.0 [∞] 0.5	LA	ng/mL M 21.0∼282.0 F 5.0∼157.0	105 生化 I	 	1 2
0583	クリオグロブリン		Α	血液 2.0 © 0.5	ゲル内拡散法	(-)	42 免疫	採血時より血清分離までの間は37°Cの状態で行ってくだけい。	5 6
0589	ミオグロビン	〈血清〉	Α	血液 2.0 [©] 0.5	CLIA	ng/mL M 154.9以下 F 106.0以下	生化 I	 	3 4
1473		〈尿〉	06	尿6.0	RIA	ng/mL 10以下	135 **3 生化 I		3~5

- ※1 血清アミロイドA蛋白(SAA)をC反応性蛋白(CRP)定性又はC反応性蛋白(CRP)と併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。
 ※2 アルブミン定量(尿)、トランスフェリン(尿)及びN型コラーゲン(尿)は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。
 ※3 心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定性又は定量とミオグロビン定性又は定量を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 コード 実施料 検査項目 検査方法 基準値 備 考 No 判断料

1138	心室筋ミオシン軽鎖 I	Α	血液 血清 2.0 © 0.5	EIA	ng/mL 2.5以下	184 *1 生化 I		3~5
1232	高感度心筋トロポニンT	Α	血液 血清 2.0 ^② 0.7	ECLIA	ng/mL 0.014以下	*2 112 生化 I	急性心筋梗塞診断のカットオフ値: 0.100ng/mL、溶血の影響は低値傾向になります。ピオチンを投与(1日の 投与5mg以上)している方からの採血は、投与後少なくとも8時間以上経過してから実施してください。	1
4531	ヒト心臓由来脂肪酸 結合蛋白(H-FABP)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LA	ng/mL 6.2未満	生化 I **4		3~5
4199	Ⅳ型コラーゲン	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LA	ng/mL 150.0以下	135 ** ⁵ 生化 I		3-5
1887	尿中Ⅳ型コラーゲン	24	尿5.0	EIA	早朝一番尿 μg/g・Cr 40歳以上 4.9以下 30歳代 4.0以下 随時尿 7.3以下	184 ^{*6} 尿·便	必ず安静就寝後の起床時に採取した尿を専用容器にてご提出ください。	4 10
1039	プロコラーゲン Шペプチド (P− Ⅲ−P)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	IRMA (チューブ固相法)	U/mL 0.3∼0.8	136 ^{※5} 生化 I	 	4-6
4466	Mac-2結合蛋白糖鎖 修飾異性体	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	(−) COI:1.00未満	194 ^{※5} 生化 I	判定基準は下表参照	3~6
0710	ハプトグロビン (Hp)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	TIA/薄層アクリル アミドゲル電気泳動法	mg/dL 下表参照	132 免疫	感度(10mg/dL)未満の場合 は型判定不能でご報告します。	5-7
4202	APRスコア	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	LA	陰性 スコア0	191 ** ⁸ 免疫	未熟児・成熟児の区別、出生後時間を 記入。α1一酸性糖蛋白、ハプトグロビン、 C反応性蛋白を測定してスコア算出。	5~6
1886	肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.6	CLEIA	ng/mL 43.8未満	130 ^{*9} 生化 I		ഗ~ധ
1889	肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	ng/mL 110.0未満	生化 I	 	3~5
4478	便中カルプロテクチン	50	糞便 1g	FEIA	mg/kg 下表参照	270 ^{*10} 尿·便		5 11
4540	ロイシンリッチα₂ グリコプロテイン(LRG)	Α	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	LA	μg/mL 16.0未満	276 ^{*11} 生化 I	健常者参考値 6.48~13.92μg/mL	3 4

体

0803	血清補体価 (CH50)	Α	血液 血清 2.0 [©] 0.5	リポソーム 免疫測定法	U/mL 31.6∼57.6	38 免疫	分離後 3 5 4
0804	C 3 (<i>β</i> ι C <i>/ β</i> ι A グロブリン)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	TIA	mg/dL 86~160	70 免疫	3 4
0852			血液 2.0 ^{血清} 0.5		mg/dL 17~45	70 免疫	3 4
1513	C1インアクチベーター活性 (C1エステラーゼインヒビター)	G	血液 クエン酸酸 1.8 © 0.5	発色性合成基質法	% 70~130	260 免疫	3 5

- 心室筋ミオシン軽鎖 I は、同一の患者につき同一日に当該検査を2回以上行った場合は、1回のみ算定する。 心筋トロポニンT (TnT) 定性・定量と心筋トロポニンIを同一月に併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。 心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP) 定性又は定量とミオグロビン定性又は定量を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ※3 心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定性又は定量とミオグロビン定性又は定量を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
 ※4 心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)定性及び定量は、急性心筋梗塞の診断を目的に用いた場合のみ算定する。
 ※5 IV型コラーゲン又はIV型コラーゲン・TSは、プロコラーゲン・II・ペプチド(P-II-P)又はMac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体と併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。
 ※6 アルブミン定量(尿)、トランスフェリン(尿)及びIV型コラーゲン(尿)は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。
 ※7 Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体は、慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む。)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。
 ※8 APRスコア定性は、α1・酸性糖蛋白、ハブトグロビン及びC反応性蛋白(CRP)定性の3つを測定した場合に算定する。
 ※9 KL-6、肺サーファクタント蛋白-A (SP-A)及び肺サーファクタント蛋白-D (SP-D)のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
 ※10 カルプロテクチン(糞便)を慢性的な炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病等)の診断補助を目的として測定した場合に、算定できる。ただし、腸管感染症が否定され、下痢、腹痛や体重減少などの症状が3月以上持続する患者であって、肉眼的血便が認められない患者において、慢性的な炎症性腸疾患が疑われる場合の内視鏡前の補助検査として実施すること。
 イ 本検査を潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定した場合に、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療鏡及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

- - 1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること
- ウ 慢性的な炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病等)の診断補助又は病態把握を目的として、本検査及び区分番号「D313」大腸内視鏡検査を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
- ※11 ロイシンリッチαεグリコプロテイン
 ア ロイシンリッチαεグリコプロテインは、潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定した場合に3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
 - イ ロイシンリッチlphaeグリコプロテインと、カルプロテクチン(糞便)又は区分番号 $\lceil D313
 ceil$ 大腸内視鏡検査を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

ハノ	トグロピン (mg/aL)
1-1型	43~180
2-1型	38~179

使中カルフロテクチン	(mg/kg)
炎症性腸疾患の診断補助の指標	50以下
潰瘍性大腸炎の病態把握の指標	300以下
クローン病の病態把握の指標	80以下

IVIac-2前	Mac-2結百蛋日桔鋇修即其性体										
判定	COI										
陰性	1.00未満										
(+)	1.00~3.00未満										
(2+)	3.00以上										

15~116

2-2型

自 己 免 疫 関 連

					· · · · ·		
0203	リウマトイド因子 《定性》	٨	血液 2.0 [©] 0.5	LA	(-)	 	1 2
0263	(RF) 《定量》	A	2.0 0.5		IU/mL 15以下	30 ** ¹ 免疫	2
1709	I g G型リウマチ因子 (I g G - R F)	A	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	EIA	(IgG-RF index) 2.0未満	198 ※1 免疫	3~5
1890	抗ガラクトース欠損IgG (CARF)	Α	血液 2.0 © 0.6	ECLIA	AU/mL 6.0未満	114 ** ¹ 免疫 ** ⁴	თ~5
2953	MMP-3	A	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	LA	ng/mL M 36.9∼121.0 F 17.3∼ 59.7	116 ※½ 免疫	1
1907	抗CCP抗体 (抗シトルリン化ペプチド抗体)	A	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLIA	U/mL 4.5未満	198 ^{※2} 免疫	1
0806	抗核抗体 (ANA)	Α	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	FAT	40倍未満	102 免疫	3~5
1908	抗LKM-1抗体	A	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	ELISA	下表参照	215 * ³ 免疫	9
0679	抗SS-A抗体	Δ	血液 🔍 血清	オクタロニー法	陰性	161	5 7
2900	別は3一名別体	Α	2.0 0.5	CLEIA	U/mL 10.0未満	免疫 	3 5
0680	抗SS-B抗体	Α		オクタロニー法	陰性	158	5 7
2903	が23 一日が体	А	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLEIA	U/mL 10.0未満	免疫	3~5
0577	# C m # / *	Α	· · · 血液 血清	オクタロニー法	陰性	151	5 7
1918	抗Sm抗体	A	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLEIA	U/mL 10.0未満	免疫	3 5
0576	+÷ D N D +÷ /+	Λ	血液 血清	オクタロニー法	陰性	144	5 7
0588	抗RNP抗体	A	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLEIA	U/mL 10.0未満	免疫	3~5

- リウマトイド因子(RF)定量、抗ガラクトース欠損IgG抗体定性、同定量、マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)、C1q結合免疫複合体、モノクローナルRF結合免疫複合体及びIgG型リウマトイド因子のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。 **%**1
- 抗シトルリン化ペプチド抗体定性又は同定量は、関節リウマチと確定診断できない者に対して診断の補助として検査を行った場合に、原則として1回を限度として算 またできる。ただし、当該検査結果が陰性の場合においては、3月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、検査値を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。これとは別に、関節リウマチに対する治療薬の選択のために行う場合においては、患者1人につき原則として1回に限り算定する。ただし、 ■の調整欄に記載する。これに同かれている。これではからいたは、では、これでは、できないでは、できないでは、3月に1回に限り算定する。ただし、 当該検査を2回以上算定するに当たっては、その医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。また、抗シトルリン化ペプチド抗体定性、同定量、抗ガラクト 一ス欠損IgG抗体定性、同定量、マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)、C1q結合免疫複合体、モノクローナルRF結合免疫複合体及びIgG型リウマトイド
- 一人欠損官はが体定性、同定重、ベトリック人メタロノロテイナーでは、(MINIP-3)、して4結った皮核ロ体、モノンローナル内に相口元皮核ロ体及し160至シンスでは 因子のうち2項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの1つに限り算定する。 抗LKM-1抗体は、ウイルス肝炎、アルコール性肝障害及び薬剤性肝障害のいすれでもないことが確認され、かつ、抗核抗体陰性の自己免疫性肝炎が強く疑われる患者を対象として測定した場合に限り算定できる。本検査を実施した場合は、診療報酬明細書の摘要欄に抗核抗体陰性を確認した年月日を記載する。 抗ガラクトース欠損1gG抗体定性、同定量は、リウマトイド因子(RF)定量を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

抗LKM-I抗体

判	定	index
陰	性	17未満
判定	保留	17~49
陽	性	50以上



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 判断料 所要 コード 検査方法 基準値 備 考 検査項目 日数 No

自己免疫関連

0807	抗DNA抗体		A	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	RIA (硫安塩析法)	IU/mL 6.0以下	163 免疫		 	3 4
1226	tide DNIAtid	lgG	Λ		51104	IU/mL 12以下	163 免疫			3~5
4217	抗ds-DNA抗体	IgM	1	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 © 0.5	ELISA	U/mL 6未満	 			3
1227	抗ss-DNA抗体	l g G	Λ	血液 2.0 ^{血清}	ELISA		163 免疫			3 5
4219	กเรร-บเงสกเน	IgM	A	2.0 🔊 0.5	ELIOA	U/mL 17未満	 		 	3
2976	抗Scl-70±	市休	Α	血液 2.0 [©] 0.5	オクタロニー法	陰性	157			5 7
1025		/ U I'+'		2.0 🖤 0.5	CLEIA	U/mL 10.0未満	; 免没 : :		1 1 1 1 1	3-5
1160	抗Jo-1 抗体		A	血液 2.0 [©] 0.5	オクタロニー法	陰性	140			5 7
1159				2.0 0.5	CLEIA	U/mL 10.0未満				3-5
1024	抗セントロメア技	亢体	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	U/mL 10.0未満	174 免疫	% 1	1 1 1 1 1	3 -5
0887	抗ミトコンドリス	ア抗体	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	FAT	20倍未満	181 免疫			3
4230	抗ミトコンドリアMa	2抗体	A	血液 <u>血清</u> 1.0 © 0.3	CLEIA	(-) Index 7.0未満	189 免疫		i I I I I	3 5
0641	抗血小板抗体		A	血液 2.0 © 0.5	МРНА	(-)	261 免疫			6
1134	血小板表面 g((PA- g(О	血液7.0	EIA	ng/10 ⁷ cells 30.2以下	免疫		☑ 月 測定可能日につきましては事前にご連絡ください。注1	-
1257	抗カルジオリピン・β2GP I 複 (抗CLーβ2GPI複合体		A	血液 血清 2.0 [®] 0.5	EIA	U/mL 3.5以下	223 免疫	*3	 	3 5
1894	抗カルシオリビン	lgG	Α	血液 血清 2.0 🕸 0.5	EIA	U/mL 12.3以下	226	*3 *4		4 7
1214	抗体	IgM	1	2.0 🐃 0.5		U/mL 20.8以下	免疫 			10

- ※1 抗セントロメア抗体定量又は同定性は、原発性胆汁性肝硬変又は強皮症の診断又は治療方針の決定を目的に用いた場合に限り算定できる。
 ※2 血小板関連IgG (PA-IgG) は、特発性血小板減少性紫斑病の診断又は経過判定の目的で行った場合に算定する。
 ※3 抗カルジオリピン β 2グリコプロテインI複合体抗体と抗カルジオリピンIgG抗体、抗カルジオリピンIgM抗体、抗 β 2グリコプロテインIIgG抗体又は抗 β 2グリコプロテインIIgM抗体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
 ※4 抗カルジオリピンIgM抗体は、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として実施した場合に、一連の治療につき2回に限り算定する。また、抗カルジオリピンIgM抗体、抗 β 2グリコプロテインIIgG抗体及び抗 β 2グリコプロテインIIgM抗体を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。
 注1. 血小板数が $1\sim357$ / μ L以下の場合は、2倍量の血液をご提出ください(専用採血管2本使用)。 $157/\mu$ L以下の場合は、当社担当者までお問い合わせください。



所要

日数

考 備

自己免疫関連

1107	抗アセチルコリンレセプター 結合抗体	Α	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	RIA	nmol/L 0.2以下	798 免疫	% 1		8			
4455	抗MuSK抗体 (抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体)	Α	血液 血清 2.0 🔊 0.5	RIA	nmol/L 0.02未満	1000 免疫	*1		10			
0669	抗平滑筋抗体	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	FAT	20倍未満	 			3~5			
0649	抗胃壁細胞抗体 (抗パリエタル細胞抗体)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	FAT	; ; 10倍未満 ;				5 7			
2600	抗副腎皮質抗体	A	血液 6.0 ^{血清} 2.0	FAT	(-)	 			16 20			
0558	抗皮膚抗体 (ASA)	A	血液 2.0 ^血 清 0.5	IFA	抗体価 10倍未満 細胞間質抗体 (一) 基底膜抗体 (一)	 			6 8			
1056	精子不動化抗体	A	血液 血清 2.0 © 0.5	: : 不動化法 :	判定 (-) 不動化値 1.40以下 Slso値 1.0未満	 		SIso値は、判定が(-)の時は、 「検査不要」でご報告いたします。	13			
4240	抗糸球体基底膜抗体	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	FEIA	₍₋₎ U/mL 7.0未満	免疫	*2		3-5			
1788	抗好中球細胞質抗体 (PR3-ANCA)(C-ANCA)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	FEIA	_(一) IU/mL 2.0未満	免疫			3 5			
1804	抗好中球細胞質ミエロ ペルオキシダーゼ抗体 (MPO-ANCA)(P-ANCA)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	FEIA	_(一) IU/mL 3.5未満	258 免疫	*3		3-5			
4252	抗インスリンレセプター抗体	Α	血液 8.0 ^{血清} 2.5	RRA	(-)	 			5 25			
1904	抗デスモグレイン1抗体	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	U/mL 20.0未満	免疫	*4		3 5			
1905	抗デスモグレイン3抗体	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	U/mL 20.0未満	免疫	*5		:3 :5			
1913	抗BP180抗体	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	U/mL 9.0未満	270 免疫	*6		3~5			

抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)は、重症筋無力症の診断又は診断後の経過観察の目的で行った場合に算定できる。なお、本検査と抗筋特異的チ ロシンキナーゼ抗体を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)は、抗糸球体基底膜抗体腎炎及びグッドパスチャー症候群の診断又は治療方針の決定を目的として行った場合に限り算定する。

抗好中球細胞質ミエロペルオキシターゼ抗体 (MPO-ANCA) は、急速進行性糸球体腎炎の診断又は経過観察のために測定した場合に算定する。

抗BP180-NC16a抗体は、水疱性類天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。

抗デスモグレイン 1 抗体は、天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。 なお、鑑別診断目的の対象患者は、厚生労 働省 難治性疾患政策研究事業研究班による「天疱瘡診断基準」により、天疱瘡が強く疑われる患者とする。また、落葉状天疱瘡の患者に対し、経過観察中の治療効

果判定の目的で、本検査と抗デスモグレイン3抗体を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。 抗デスモグレイン3抗体は、天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。なお、鑑別診断目的の対象患者は、厚生労働省 難治性疾患政策研究事業研究班による「天疱瘡診断基準」により、天疱瘡が強く疑われる患者とする。また、尋常性天疱瘡の患者に対し、経過観察中の治療効 果判定の目的で、本検査と抗デスモグレイン1抗体を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

コード No	検 査 項 目	採取容器	採取量 (mL) (mL)	検査方法	基準値	実施料 判断料	備	考	所要 日数
			Ш	液型	検 査				
0225	ABO式血液型	16	EDTA加血液 2.0	マイクロプレート 直接凝集法		24 免疫	 		1 2
0226	R h (D)因子	16	EDTA加血液 2.0	マイクロプレート 直接凝集法		24 免疫	 		1 2
0257	R h – H r 式血液型	16	EDTA加血液 2.0	カラム凝集法		148 免疫	 		3 4
0231	抗 グ 直接クームス試験	16	EDTA加血液 2.0	マイクロプレート	(-)	34 免疫	 		1 2
0232	ブ 間接クームス試験	В	血液8.0	固相法	(-)	47 免疫	1 		1 2
4254	ゴ 試 定量クームス試験 験	A	血液 6.0 ^{血清} 2.5	試験管法	1倍未満	47 免疫	単独検体		3 4
0579	不規則性抗体	B E	血液8.0 および EDTA加血液2.0	マイクロプレート 固相法	(-)	159 * ¹ 免疫			3 4
0244 0253	交差適合試験 (クロスマッチ)	B E	血液8.0 および EDTA加血液2.0	マイクロプレート 固相法					1 2

不規則抗体検査は、輸血歴又は妊娠歴のある患者に対し、胸部手術、心・脈管手術、腹部手術又は子宮全摘術、子宮悪性腫瘍手術、子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)、帝 王切開術若しくは異所性妊娠手術が行われた場合に、手術の当日に算定する。また、手術に際して輸血が行われた場合は、本検査又は区分「K920」輸血の「注6」に定める不規則抗体検査加算のいずれかを算定する。この場合、診療報酬明細書の摘要欄に輸血歴がある患者又は妊娠歴がある患者のいずれに該当するかを記載する。

No

免疫成分判定検査

0801	免疫電気泳動 (抗ヒト全血清による同定)	Α	血液 2.0 [◎] 0.5	免疫電気泳動法		170 免疫	% 1		5
0802	免疫電気泳動 (特異抗血清による同定)	A	<u>血液</u> <u>血清</u> 2.0 [©] 0.5	免疫固定法		218 免疫		特異抗血清の検索は異常蛋白 を中心に行いますので、ご了 承ください。年齢、病歴を明 記してください。	5 ~7
0790	ベンス・ジョーンズ蛋白同定 (BJP同定)	e	尿1.0	免疫固定法		201 免疫		特異抗血清の検索は異常蛋白 を中心に行いますので、ご了 承ください。 承ください。 年齢、病歴を明記してください。 使用する抗血清は $\lg G$ 、 $\lg A$ 、 $\lg M$ 、 κ 、 λ 0 5つになります。	4~6
1702	オリゴクローナルバンド	e	髄液1.0及び 血清1.0	等電点 電気泳動法	検出せず	522 尿・便	*2	&	11

免疫グロブリン

0791	l g G	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	TIA	mg/dL 870~1700	免疫
0792	IgA	Α	血液 2.0 [◎] 0.5	TIA	mg/dL 110~410	免疫
0793	IgM	A	血液 2.0 [◎] 0.5	TIA	mg/dL M 33∼190 F 46~260	38 免疫 3
1912	lgG4	A	血液 2.0 [◎] 0.5	LA	mg/dL 11.0∼121.0	免疫
4257	免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比	A	血液 <u>血清</u> 2.0 0.5	LA	κ鎖 3.3~19.4mg/L λ鎖 5.7~26.3mg/L κ/λ比 0.26~1.65	388 * ³ 免疫 9

免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)及び免疫電気泳動法(特異抗血清)については、同一検体につき一回に限り算定する。また、当該検査を併せて行った場合は、主た 光授电気が到点(抗にドキ曲/月/及び元及电気がありたくでは、 る検査の所定点数のみを算定する。 IgGインデックス、オリゴクローナルバンド及びミエリン塩基性蛋白 (MBP) (髄液) は、多発性硬化症の診断の目的で行った場合に算定する。 免疫グロブリン上鎖κ/λ比は高免疫グロブリン血症の鑑別のために測定した場合に算定できる。また、本検査と免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)又は免疫電気泳動法

⁽特異抗血清)を同時に実施した場合は、主たるもののみ算定する。

免疫グロブリン(アレルギー関連)

0795	非特異的IgE (IgE)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	FEIA	IU/mL 170以下	100 免疫		3~5
3001	特異的「gE(シングルアレルゲン)	Α	血液 1.0 [©] 0.3	FEIA	U₄/mL 0.35未満	110 * ¹ 免疫	F-13参照	3~5
3577 3592	特異的IgE(マルチアレルゲン)	A	血液 1.0 ^血 清 0.3	FEIA	U₄/mL 0.35未満	110 ^{※1} 免疫	F-12参照	3~5
3595	アトピー鑑別試験 (ファディアトープ)	Α	血液 2.0 ^{血清} 0.5	FEIA	(-)	194 免疫	F-12参照	3~5
	TARC	A	血液 2.0 ^{血清} 0.5	CLEIA	pg/mL 下表参照	184 * ² 免疫		3 4
3000	TAP-18	A	血液 <u>血清</u> 6.0 2.0	FEIA	U』/mL 0.35未満	1430 免疫		3~5
3933	MAST 36	A	血液 血清 2.0 🕸 0.6	CLEIA	1.39(ルミカウント)以下 MASTクラスO	1430 免疫		4 6
3941	View アレルギー39	A	血液 血清 3.0 [©] 1.0	FEIA	クラス 0 V・index値:0.27未満	1430 免疫		4 6

特異的IgE半定量・定量検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1430点を限度と

年齢別参考基準値 非特異的IgE(IU/mL)

年 齢	平均値±1SD
1歳未満	1.36~ 19.32
1~ 3歳	5.24~ 29.99
4~ 6歳	5.19~111.94
7~ 9歳	13.12~141.91
10~12歳	11.09~171.79
13~18歳	24.72~126.77
19歳以上	27.54~138.34

基準値 TARC (pg/mL)

年 齢	基準値
6~12ヶ月	1367未満
1~2歳	998未満
2歳以上	743未満
成人	450未満

特異的IgE Ara h 2 判定基準

判	定	Ua/mL
陰	性	0.35未満
判定	保留	0.35~3.99
陽	性	4.00以上

特異的IgE クラス

U _A /mL
0.35未満
0.35~0.69
0.70~3.49
3.50~17.4
17.5~49.9
50.0~99.9
100以上

MAST クラス

クラス	ルミカウント(LC)
0	0~1.39
1	1.40~2.77
2	2.78~13.4
3	13.5~58.0
4	58.1~119
5	120~159
6	160~200

View アレルギー39 クラス

クラス	V · index
0	0.27未満
1	0.27~0.49
2	0.50~1.79
3	1.80~7.04
4	7.05~17.34
5	17.35~29.30
6	29.31以上



A 汎用容器 分離剤

免疫血清学検査

⚠ 予約 月曜日 🕸 絶凍 💥 遮光





[%]2

して算定する。
TARCは、以下のいずれかの場合に算定できる。
ア アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助を目的として、血清中のTARC量を測定する場合に、月1回を限度として算定できる。
イ COVID-19と診断された患者(呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。)の重症化リスクの判定補助を目的として、血清中のTARC量を測定する場合は、一連の治療につき1回を限度として算定できる。

混合アレルゲンの内容

	分 野	混合アレルゲン	点 数
3577	イネ科―マルチ	ハルガヤ・ギョウギシバ・カモガヤ・オオアワガエリ・アシ	110点
3580	雑草―マルチ	ブタクサ・ヨモギ・フランスギク・タンポポ(属)・アキノキリンソウ	110点
3583	動物上皮―マルチ	ネコ皮屑・イヌ皮屑・モルモット上皮・ラット・マウス	110点
3586	カビーマルチ	ペニシリウム・クラドスポリウム・アスペルギルス カンジダ・アルテルナリア・ヘルミントポリウム	110点
3589	食物―マルチ	卵白・牛乳・小麦・ピーナッツ・大豆	110点
3592	穀物―マルチ	小麦・とうもろこし・米・ごま・そば	110点
3595	アトピー鑑別試験 (ファディアトープ)	ヤケヒョウヒダニ・コナヒョウヒダニ・ネコ皮屑 イヌ皮屑・カンジダ・アルテルナリア・ブタクサ ヨモギ・ギョウギシバ・カモガヤ・スギ・シラカンバ(属)	194点

構成アレルゲン

3000	TAP—18	ヤケヒョウヒダニ・ブタクサ・ヨモギ・スギ ヒノキ・ゴキブリ・蛾・カモガヤ アスペルギルス・カンジダ・マラセチア(属) 卵白・牛乳・小麦(食物)・ピーナッツ 大豆・そば(食物)・動物上皮マルチ	1430点
3933	MAST 36	ソバ・小麦・ピーナッツ・大豆・米・マグロ・サケ・エビ・カニ ミルク・牛肉・豚肉・鶏肉・卵白・オボムコイド・キウイ・トマト・モモ バナナ・ゴマ・オオアワガエリ・カモガヤ・ブタクサ混合 I ヨモギ・スギ・ヒノキ・ハンノキ・シラカンバ コナヒョウヒダニ・ハウスダスト I ・ネコ皮屑・イヌ皮屑 カンジダ・アルテルナリア・アスペルギルス・ラテックス	1430点
3941	View アレルギー39	ハウスダスト1・ヤケヒョウヒダニ・スギ・ヒノキ・ハンノキ(属) シラカンバ(属)・カモガヤ・オオアワガエリ・ブタクサ・ヨモギ アルテルナリア・アスペルギルス・カンジダ・マラセチア(属) ネコ皮屑・イヌ皮屑・ゴキブリ・ガ・牛乳・卵白・オボムコイド・米 小麦・ソバ・大豆・ピーナッツ・リンゴ・バナナ・キウイ・ゴマ 牛肉・豚肉・鶏肉・エビ・カニ・サバ・サケ・マグロ・ラテックス	1430点

セット検査(各項目実施料110点×項目数、検体必要量1.5mL)

	スクリーニング
室内 101	ハウスダスト 1 動物上皮マルチ ヤケヒョウヒダニ ゴキブリ カビマルチ
食物系 102	エビ 穀物マルチ アニサキス ソバ 食物マルチ
花粉 103	スギ 雑草マルチ ヒノキ カナムグラ イネ科マルチ
春季 104	ハウスダスト 1 イネ科マルチ ハンノキ(属) スギ ヒノキ

アトビー性皮膚炎・じん麻疹						
乳幼児 109	卵白	ピーナッツ 大豆 小麦 米		動物上皮マルチ		
学童 110	ヤケヒョウヒダニ 卵白 牛乳 ピーナッツ	小麦 米	エビ キウイ ゴマ カビマ/	23 13 22 77 7		
成人	ヤケヒョウヒダニ スギ マラセチア(属) 卵白	大豆 小麦 米 ソバ	カニ エビ サバ カビマ/	- 13 113 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
アトピーセット	ヤケヒョウヒダニ スギ 雑草マルチ イネ科マルチ	食物マル穀物マル	チ チ			

	アレルギー性鼻炎	
通年性 105	ハウスダスト1 ヒノキ ユスリカ(成虫) カヒヤケヒョウヒダニ ネコ皮屑 ガカモガヤ イヌ皮屑 雑草マルチスギ ゴキブリ イネ科マルチ	<u>.</u> マルチ
春 106	ハウスダスト1 ハルガヤ スギ カヒヤケヒョウヒダニ カモガヤ ヒノキフランスギク ハンノキ(属)ネコ皮屑タンポポ(属)マツ(属) イヌ皮屑	<u>.</u> マルチ
夏 107	ハウスダスト1 ハルガヤ イヌ皮屑 カヒヤケヒョウヒダニ カモガヤ ゴキブリブタクサ オオアワガエリ ユスリカ(成カナムグラ ネコ皮屑 ガ	
秋 108	ハウスダスト1 アキノキリンソウ イヌ皮屑 カヒヤケヒョウヒダニ カナムグラ ゴキブリ ブタクサ スギ ユスリカ(成ヨモギ ネコ皮屑 ガ	

	気	管支喘息		
乳児 113	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ スギ 卵白	1 3 0	米 ソバ ネコ皮屑 イヌ皮屑	ゴキブリ
幼児 114	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ スギ 卵白		ソバ ネコ皮屑 イヌ皮屑 ゴキブリ	カビマルチ
学童 115	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ スギ 卵白		ゴキブリ ガ 雑草マルチ イネ科マル	
成人 116	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ スギ アスペルギルス	アルテルナリア ネコ皮屑		

特異的IgE アレルゲン一覧

特異的IgE(シングルアレルゲン)

コードNo	室内塵
3001	HD-1 (ハウスダスト1)
3004	HD-2 (ハウスダスト2)

コードNo	ダニ
3007	ヤケヒョウヒダニ
3010	コナヒョウヒダニ
3013	アシブトコナダニ
3016	サヤアシニクダニ
3019	ケナガコナダニ

コードNo	雑草花粉
3022	ブタクサ
3025	ブタクサモドキ
3028	オオブタクサ
3034	ニガヨモギ
3037	ヨモギ
3040	フランスギク
3043	タンポポ(属)
3046	ヘラオオバコ
3049	シロザ
3055	アキノキリンソウ
3070	ヒメスイバ
3076	イラクサ(属)
3079	カナムグラ

コードNo	イネ科花粉
3175	ハルガヤ
3178	ギョウギシバ
3181	カモガヤ
3184	ヒロハウシノケ草
3187	ホソムギ
3190	オオアワガエリ
3193	アシ
3196	ナガハグサ
3199	コヌカグサ(属)
3202	セイバンモロコシ
3217	小麦(属)(花粉)
3220	オオスズメノテッポウ
3223	スズメノヒエ(属)

コードNo	樹木花粉
3082	カエデ(属)
3085	ハンノキ(属)
3088	シラカンバ(属)
3094	ブナ(属)
3097	ビャクシン(属)
3100	コナラ(属)
3103	ニレ(属)
3106	オリーブ
3109	クルミ(属)
3115	ヤナギ(属)
3124	マツ(属)
3127	スギ
3133	アカシア(属)
3139	クワ(属)
3142	ヒノキ

コードNo	真菌(カビ)/細菌
3226	ペニシリウム
3229	クラドスポリウム
3232	アスペルギルス
3909	Asp f 1 (アスペルギルス由来)
3235	ムコール
3238	カンジダ
3241	アルテルナリア
3247	ヘルミントスポリウム
00E7	黄色ブドウ球菌
3857	エンテロトキシンA
3860	黄色ブドウ球菌
3000	エンテロトキシンB
3848	トリコフィトン
3607	マラセチア(属)

コードNo	職業性
3277	オオバコ種子
3598	綿
3283	イソシアネートTDI
3286	イソシアネートMDI
3289	イソシアネートHDI
3292	エチレンオキシド
3295	無水フタル酸
3298	ラテックス
3906	Hev b6.02 (ラテックス由来)
3854	ホルマリン

コードNo	食物性
3304	卵白
3863	オボムコイド
3469	卵黄
3307	牛乳
3472	α-ラクトアルブミン
3475	β-ラクトグロブリン
3478	カゼイン
3349	チェダーチーズ
3352	モールドチーズ
3337	えんどう
3340	ピーナッツ
3904	Ara h2(ピーナッツ由来)
3343	大豆
3905	Gly m4(大豆由来)
3346	いんげん豆
3397	はしばみ (ヘーゼルナッツ)
3400	ブラジルナッツ
3403	アーモンド
3430	ココナッツ
3313	小麦(食物)
3481	グルテン
3601	ω-5グリアジン(小麦由来)
3316	ライ麦(食物)
3319	大麦 (食物)
3322	オート麦(食物)
3325	とうもろこし
3328	米
3334	そば (食物)
3502	きび

	A #4 1#
コードNo	食物性 カシューナッツ
3604	
3908	Ana o3(カシューナッツ由来)
3415	豚肉
3418	牛肉
3355	鶏肉
3370	羊肉
3310	タラ
3406	カニ
3409	エビ
3433	ムラサキイガイ
3436	マグロ
3439	サケ
3460	カレイ
3484	ロブスター
3487	サバ
3490	イカ
3493	タコ
3496	アジ
3499	イワシ
3866	イクラ
3869	タラコ
3872	アサリ
3875	カキ
3878	ホタテ
3358	キウイ
3361	セロリ
3364	パセリ
3367	メロン
3379	マンゴ
3382	バナナ
3388	洋なし
3391	モモ
3394	アボカド
3412	トマト
3421	にんじん
3424	オレンジ
3427	じゃがいも
3442	いちご
3448	にんにく

3451グレープフルーツ3454ほうれん草

かぼちゃ

たけのこ

スイカ

麦芽

カカオ

クルミ

ビール酵母

Jug rl (クルミ由来)

さつまいも ヤマイモ

ゴマ (食物) マスタード

3463 たまねぎ 3466 リンゴ

3457

3511

3514

3881 3887

3331

3373 3376

3385

3445

3884

3907

コードNo	動物
3517	ネコ皮屑
3523	ウマ皮屑
3526	ウシ皮屑
3529	イヌ皮屑
3532	モルモット上皮
3550	ヤギ上皮
3553	羊上皮
3556	家兎上皮
3559	豚上皮
3562	ハムスター上皮
3571	ラット
3574	マウス
3538	ガチョウ羽毛
3541	セキセイインコのふん
3544	セキセイインコ羽毛
3565	ニワトリ羽毛
3568	アヒル羽毛

コードNo	昆虫
3145	ミツバチ
3148	スズメバチ
3151	アシナガバチ
3154	ゴキブリ
3157	ユスリカ(成虫)
3160	蛾
3163	ヤブカ(属)

コードNo	その他
3166	回虫
3172	アニサキス
3301	ヒトインスリン
3851	ゼラチン

3505 あわ

備 考 所要 日数

細胞性免疫検査

				фи ()	ᄝᄪᅲ	汉			
0813		B細胞百分率		ヘパリン加血液 3.0	フローサイト メトリー	7:66~89 B: 4~13	198 免疫	围月∼木	4 ~ 6
4701	I g G-F c R ⁻ 百分率	⁺ ・T細胞	Ι	ヘパリン加血液 3.0	フローサイト メトリー	2~23	6	■月~木	4 6
1199		l g G		1 1 1 1 1		1~3	6	 	
1200		IgA	 	 		1~3	6	 	
1201	B細胞表面 ^{免疫グロブリン}	IgM	ī	ヘパリン加血液	フローサイト	3~12	6 157	月月~木 3項目以上同時にご依頼の 場合は血液3.0mL採血して	4 6
1202	元投ノロノリノ (Sm-Ig)	IgD		各1.0	メトリー	1~10	6 免疫	, 場合は皿及3.0HL採皿して ; ください。 ;	6
1203		κ鎖	1	 		3~8	6		
1204		λ鎖		! ! !		1~5	6		
0818	PHAによる リンパ球幼若化検査		Ι	ヘパリン加血液 5.0	³H-サイミジン 取り込み能		0¦ 6¦345 *1	☑ 月~木	8~9
0819	ConーAによる リンパ球幼若化検査		よる 比検査		³H-サイミジン 取り込み能	cpr Con-A ⁺ 20300~6570 Control 127~45	n 免疫 O . O .	☑ 月 月~木	8 9
4991 4995	991 薬剤による リンパ球刺激試験		Ι	ヘパリン加血液 7.0	³ H-サイミジン 取り込み能		1薬剤 *1 345点 2薬剤 425点 3薬剤以上 515点	□ 月~木 1薬剤増すごとに血液5.0mL 必要となります。血液と同時に ご依頼薬剤も提出してください。 (原則として坐薬、皮内反応注 射薬は検査できません。)	9
				1 1 1		9	免疫	注1	1
2589	NK細胞活性		Т	血液5.0	51 Cr遊離法	 	 	₽月~木	6
	モノクローナル抗体 リンパ球表面マーカ		Ι	ヘパリン加血液 3.0	フローサイト メトリー	G-2頁参照	6		4
	Two-color リンパ球表面マーカ		I	ヘパリン加血液 3.0	Two-color フローサイトメトリー	i	6	「TU項目以上と依頼の場合は 「血液5.0mL採血してください。	4 6
3721	白血病・リンパ腫解析検査		I U	へパリン加血液 5.0 または 骨髄液1.0	フローサイト メトリー		1940 * ² 血液	同一本 種瘍細胞が高率に出現している検体をご提出ください。出現率が低い検体の場合、判定の精度が悪くなりますのでご注意ください。 実施項目はG-3ページを参照してください。	6
1194	好中球貪食能		I	ヘパリン加血液 2.0	フローサイト メトリー	70~87	6	同日o.*	4-5
1179	好中球殺菌能		I	ヘパリン加血液 2.0	フローサイト メトリー	93~97	6	凬月∼木	4~5 4~5



^{※1} リンパ球刺激試験(LST)は、Con-A、PHA又は薬疹の被疑医薬品による。
※2 造血器腫瘍細胞抗原検査はモノクローナル抗体を用いて白血病細胞又は悪性リンパ腫細胞の表面抗原又は細胞内抗原の検索を実施して病型分類を行った場合に 算定できる。対象疾病は白血病、悪性リンパ腫等である。なお、検査に用いられるモノクローナル抗体は、医薬品として承認されたものであり、検査に当たって用いたモノクローナル抗体の種類、回数にかかわらず、一連として所定点数を算定する。
注1. 薬剤では最低500万個のリンパ球が必要です。上記の検体量はリンパ球の回収率と正常リンパ球数より求めたもので、場合により検査に必要なリンパ球数が得られず、検査不能となることがあります。目安として白血球数が3,000/µL以下の場合は倍量程度を採血しご提出ください。

コード 検査項目 No

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL)

検査方法

基準値

実施料 判断料

備

所要 日数

細胞性免疫検査

U/mL 438 *1 З 可溶性インターロイキン-2 レセプター (sIL-2R) 血液 2.0 🕸 0.5 1798 CLEIA A 4 121~613 生化Ⅱ

(曜日指定)細胞性免疫検査の受託可能日は月曜日から木曜日までです。

モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析

コード No.	CD No.	基 準 値 (%)	主として反応する細胞・代表的な反応性	実施料・判断料
4801	CD1	1.0以下	胸腺皮質細胞	
4802	CD2	71.0~91.0	汎T細胞・Eロゼット形成細胞	
4803	CD3	58.0~84.0	成熟(末梢)T細胞	185 *2
4804	CD4	25.0~54.0	インデューサー/ヘルパーT細胞	─ 100
4805	CD8	23.0~56.0	サプレッサー/細胞障害性T細胞	76/52
4806	CD4 CD8 比	0.4~2.3		
4831	CD5	60.0~90.0	汎T細胞・一部のB細胞	
4808	CD7	72.0~90.0	汎T細胞	
4809	CD10	1.0以下	common-ALL·好中球	
4811	CD11b	18.0~49.0	NK細胞・サプレッサーT細胞の一部	
4813	CD13	9.0以下	単球・顆粒球・骨髄細胞	
4814	CD14	5.0以下	単球	
4816	CD16	6.0~39.0	NK細胞(Fcγレセプター)	
4817	CD19	5.0~24.0	汎B細胞	
4818	CD20	3.0~20.0	汎B細胞	
4819	CD21	3.0~18.0	C3d/EBVレセプター・成熟B細胞	
4820	CD22	2.0~17.0	成熟B細胞	
4822	CD25	8.0~34.0	IL-2レセプター/p55Tac	
4823	CD30	1.0以下	活性化T・B細胞・ホジキン細胞	
4824	CD33	5.0以下	未熟顆粒球・APL・AML	
4825	CD34	1.0以下	骨髄幹細胞·B前駆細胞	
4826	CD38	18.0~59.0	活性化及び増殖細胞	
4827	CD56	9.0~43.0	neural cell adhesion molecule (NCAM) ·	
			NK細胞·LAK細胞	
4828	CD57	4.0~45.0	NK細胞・サプレッサーT細胞の一部	
4832	HLA-DR	11.0~46.0	B細胞・活性化T細胞(HLA-DR抗原)	

^{※2} T細胞サブセット検査は、免疫不全の診断目的に行う検査をいい、いずれも検査方法にかかわらず、一連として算定する。

可溶性インターロイキン・2レセプター (sIL-2R) は、非ホジキンリンパ腫、ATL又はメトトレキサート使用中のリンパ増殖性疾患の診断の目的で測定した場合に算定できる。また、非ホジキンリンパ腫又はATLであることが既に確定診断された患者に対して、経過観察のために測定した場合は、特定疾患治療管理料の悪性腫瘍特 異物質治療管理料により算定する。

(曜日指定) 細胞性免疫検査の受託可能日は月曜日から木曜日までです。

Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査

				主 /- /、 実施料				
コードNo.	検査項目	基	準	値 (%)	実施料 判断料			
		CD11b-	CD8+	11.0~40.0				
		CD11b-	CD8-	29.0~64.0	*1			
4851	Two-color	CD11b+	CD8-	8.0~32.0	185			
4601	CD11b/CD8	CD11b+	CD8+	6.0~27.0	免疫			
		Brig	ght	20.0以下				
		Dull		3.0~17.0				
		HLA-DR-	CD8+	15.0~49.0	*1			
4864	Two-color	HLA-DR-	CD8-	28.0~62.0	185			
	HLA-DR/CD8	HLA-DR+	CD8-	6.0~25.0	免疫			
		HLA-DR+	CD8+	2.0~27.0				
		CD16-	CD56+	2.0~20.0				
4880	Two-color	CD16-	CD56-	57.0~91.0				
	CD16/CD56	CD16+	CD56-	9.0以下				
		CD16+	CD56+	4.0~33.0				
		CD45R0-	CD4+	6.0~34.0	*1			
4905	Two-color	CD45R0-	CD4-	28.0~58.0	185			
4900	CD45R0/CD4	CD45R0+	CD4-	7.0~32.0	免疫			
		CD45R0+	CD4+	10.0~32.0				
		CD4-	CD8+	22.0~54.0				
	Two-color	CD4-	CD8-	14.0~38.0	*1			
4807	CD4/CD8	CD4+	CD8-	23.0~52.0	185			
	004/000	CD4+	CD8+	7.0以下	免疫			
		CD4/CD8H	<u></u>	0.40~2.30				
		CD4+	CD25-	15.0~39.0	*1			
4895	Two-color	CD4-	CD25-	37.0~69.0	185			
4090	CD4/CD25	CD4-	CD25+	2.0~14.0	免疫			
		CD4+	CD25+	6.0~21.0				

- 1°N1-	****	—	:#= I:=	= (0/)	実施料		
コードNo.	検査項目	基	準 値	(%)	判断料		
		CD20+	CD5-	9.0以下			
4935	Two-color	CD20-	CD5-	9.0~40.0			
7000	CD20/CD5	CD20-	CD5+	54.0~87.0			
		CD20+	CD5+	13.0以下			
		CD57-	CD16+	1.0~15.0			
4870	Two-color	CD57-	CD16-	49.0~87.0			
4070	CD57/CD16	CD57+	CD16-	2.0~40.0			
		CD57+	CD16+	2.0~27.0			
		HLA-DR+	CD4-	8.0~37.0	*1		
4858	Two-color	HLA-DR-	CD4-	24.0~61.0	185 免疫		
4000	HLA-DR/CD4	HLA-DR-	CD4+	22.0~51.0			
		HLA-DR+	CD4+	1.0~12.0			
		HLA-DR+	CD3-	3.0~18.0	*1		
4885	Two-color	HLA-DR-	CD3-	7.0~36.0	185		
4000	HLA-DR/CD3	HLA-DR-	CD3+	33.0~75.0	免疫		
		HLA-DR+	CD3+	5.0~33.0			
		CD4-	CD45RA+	30.0~57.0	*1		
4841	Two-color	CD4-	CD45RA-	5.0~23.0	185		
4041	CD4/CD45RA	CD4+	CD45RA-	15.0~34.0	免疫		
		CD4+	CD45RA+	9.0~37.0			
		CD4-	CD29+	22.0~59.0	*1		
4846	Two-color	CD4-	CD29-	12.0~38.0	185		
4040	CD4/CD29	CD4+	CD29-	9.0~34.0	免疫		
		CD4+	CD29+	11.0~26.0			

白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器腫瘍細胞抗原検査)

項目コードNo.		モノクローナル抗体											
3721	CD1a CD34		000		CD5 4 HLA	CD7 -DR	CD8	CD10	CD13	CD14	CD19	CD20	CD33



所要 日数 採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 実施料 判断料 コード 検査方法 基準値 検 査 項 目 No

先天異常染色体

0815	 	G-Banding		ヘパリン加血液 各3.0	G-band			8 17
3729	染色体	C-Banding			C-band		2553+397 遺·染	☆ 目月~木 佐頼書に昨年診断をお上75
3730		Q-Banding	1		Q-band			依頼書に臨床診断名および 臨床所見等をご記入ください。21 { 25
3732		高精度分染法			高精度分染法			注1
3733	脆弱X染色		Ι	ヘパリン加血液 3.0	G-Bandingによる 脆弱X染色体の検出		2553+397 遺・染	1月、火、金 20 佐頼書に臨床診断名および 24 臨床所見等をご記入ください。24

先天異常染色体(FISH)検査

3734	13染色体		1 		 	1 	 	1
3735	18染色体		 			 		
3736	21染色体	Ι	ヘパリン加血液 各3.0	FISH		2553+397 遺・染	☑ 月 月~木 2項目以上のご依頼の場合も 血液3.0mLで検査可能です。	8
3737	X染色体		1 1 1 1 1			 		
4951	Y染色体		1 1 1 1 1		 	 		
3739	7染色体 (ウイリアムス症候群)							
3740	15 染色体 (プラダーウイリ症候群)		! ! ! !					
3741	15 染色体 (アンジェルマン症候群)	T	ヘパリン加血液	FISH		2553+397 遺・染	該当する疾患名にてご依頼 ください。 本検査は疾患に直接関与する	1,2
3742	1 7染色体 (ミラーディカー症候群)	. 1	各3.0	1 1011		 	遺伝子を検出する検査ではな く、責任領域の欠失の有無を 判断する検査です。	15
	22染色体(22q11欠失) conotruncal anomaly face症候群 velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群						15染色体は片親性ダイソミー の検索はできません。	

血液疾患染色体

0816 <mark>染色体 G-Banding</mark> I へパリン加血液5.0 G-band	2553+397 12 (血液、骨髄液共に)月~木 12 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15
---	---

血液疾患染色体検査(G-Banding)留意事項
1.ステロイド系薬剤、アルキル化薬剤、及び代謝拮抗薬剤の投与中は染色体分裂像が得られず検査ができません。
2.末梢血液でご依頼の際、血中に幼若細胞(blast)の出現がみられない場合、また寛解期患者の血液では染色体分裂像が得られず検査ができません。
注1. 受託数の急増などにより、ご報告が遅延することがありますので予めご了承ください。

血液疾患染色体 (G-Banding) 対象疾患名

該当	đ	る疾患	名に	C	ご依頼	<	ださ	い	10

	Myeloid系	Lymphoid系				
G- Banding	疾 患 名	疾 患 名				
	MDS(骨髄異形成症候群)	ALL(急性リンパ性白血病)				
	MPN(骨髓増殖性腫瘍)	CLL(慢性リンパ性白血病)				
Dariuling	AML(急性骨髄性白血病)	ML(悪性リンパ腫)				
	BMT(骨髄移植)	MM/PL(多発性骨髄腫/形質細胞性白血病)				
	その他	その他				

染色体・遺伝子関連

基準値

実施料 判断料

備

血液疾患染色体検査

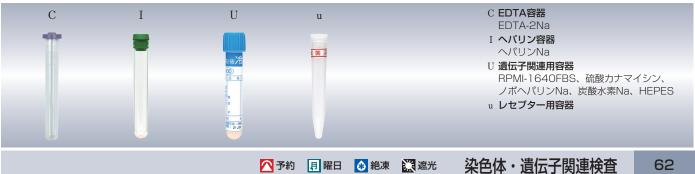
4983	BCR-ABL1t(9;22)転座	Ι	ヘパリン加血液 5.0	FISH		2553+397 遺・染	☑️圓月~木	8 11
3835	末梢血好中球 BCR-ABL1t(9;22)転座		ヘパリン加血液 5.0	FISH	•	2553+397 遺・染	□月一本 血液は採血後、速やかにご提出ください。 採血後30時間以上経過した血液を使用した 場合、細胞の形態的変化により、判定に影響がでる場合があるため検査できません。	8
4986	Major BCR-ABL1 mRNA (IS)	С	EDTA加血液	RT-PCR		2520 遺·染	☑️圓月~木	5 7
3750	8染色体	T			1 1 1 1 1 1			
3751	12染色体	1	ヘパリン加血液 各5.0	FISH		2553+397	☑️則月~木	11
3752	X染色体	TT	または 骨髄液各1.0	1 101 1		遺・染		15
3753	Y染色体	U	育腿/仪合 I.U		 	1 1 1 1 1 1		

疫

			70	12	1/3	~	~	14 3			
3755	免疫グロブリン H鎖J⋼再構成				1		1 		 		
3756	免疫グロブリン H鎖Cμ再構成			M加血液 7.0							
3757	免疫グロブリン L鎖Jѫ再構成			たは	 		 		 		
3758	免疫グロブリン L鎖Cҝ再構成	TT	骨髓	髄液			 			☆ :組織依頼書に臨床診断名および投与中	
3759	免疫グロブリン L鎖C _λ 再構成	U		1.0	: サザンフ : ハイブリ		: : : 遺伝子再	構成を	2373*1	の薬剤名等をご記入ください。 細胞は、院内でご使用の培養容器 (培養液を満たしたもの)に入れ、12	2
3760	T細胞レセプター β鎖CβT再構成	· 培 · 義		たは 11胞	- ハイフリ - 一ション -	1916	認めず		遺・染	冷蔵保存にてご提出ください。	1
3761	T細胞レセプター β鎖Jβ1再構成	培養容器		O ⁷ cells			, 			イゼーションによる解析は不可能! です。	
3762	T細胞レセプター β鎖Jβ2再構成	,,		たは	 		1 		1 1 1 1 1		
3763	T細胞レセプター γ鎖Jγ再構成	u		l織 50mg	 		 		1		
3764	T細胞レセプター δ鎖Jδ1再構成		<u> </u>	Joing					! !		

%1

免疫関連遺伝子再構成 悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病又は慢性リンパ性白血病の診断の目的で検査を行った場合に、6月に1回を限度として算定できる。また、悪性腫瘍遺伝子検査、造血器腫瘍遺伝子検査、免疫関連遺伝子再構成、FLT3遺伝子検査又はJAK2遺伝子検査のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるものの



染色体・遺伝子関連



所要 採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) コード 検 査 項 目 検査方法 基準値 備 判断料 日数 No

癌 関 連 遺 伝 子

3821	RAS·BRAF遺伝子変異解析	V	未染標本 スライド 5枚	PCR-rSSO法	4000* ¹ 遺·染	病理材料でRAS及びBRAF遺伝子(KRAS遺伝子、NRAS遺伝子、NRAS遺伝子ともにexon2 codon 12,13、exon3 codon59,61、exon4 codon117,146を、BRAF遺伝子は、exon15 5 codon600)の変異解析を目的としております。 8 病理材料以外は受託できません。 検査に必要な腫瘍細胞の割合は10%以上です。 他項目との重複依頼は避けてください。 注1
3815	c-kit遺伝子変異解析 (GIST)	v e	未染標本 スライド 5~10枚 または 組織 250mg	ダイレクト シーケンス法	2100 遺·染	本検査はc-kit遺伝子exon9、 11の変異解析を目的としてお ります。他項目との重複依頼 は避けてください。 注2

- 悪性腫瘍遺伝子検査、造血器腫瘍遺伝子検査、免疫関連遺伝子再構成、FLT3遺伝子検査又はJAK2遺伝子検査のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、 主たるもののみ算定し、悪性腫瘍の詳細な診断及び治療法の選択を目的として悪性腫瘍患者本人に対して行った遺伝子検査について、患者1人につき1回に限り算 定する。保険請求上の名称は、「BRAF遺伝子検査」および「RAS遺伝子検査」で、悪性腫瘍遺伝子検査(2項目)の所定点数となります。
- ・未染標本スライド材料について

採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬し、固定を行ってください(推奨固定時間は6~48時間)。 ご提出の際には、可能な限り3年以内に作成したホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)ブロックより、指定の厚さ(5~10μm)にて連続切片を作製してください。 なお、薄切時には検体ごとにミクロトーム刃を交換するなど、コンタミネーションに十分ご注意ください。

また、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されるため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては、解析不可能となることがありますので、あらかじめご了承ください。

また、他項目との重複依頼は避けてください。

留意事項

本検査に使用する組織片は、病理組織学的な評価がなされ、腫瘍組織の存在や含有量が確認されていることが受託の必須条件となります。切除不能な進行・再発の 結腸・直腸癌における治療選択の補助を目的として検査を実施した場合の保険請求上の名称は、「BRAF遺伝子検査」および「RAS遺伝子検査」で、悪性腫瘍遺伝 子検査(2項目)の所定点数となります。

・未染標本スライド材料について 未染標本スライドは、組織のホルマリン固定によりDNAが断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能な ことがありますので、あらかじめご了承ください。

留意事項

組織片は、必ず病理組織学的に鏡検され、腫瘍細胞の存在が確認されていることが受託の必須条件となります。未染標本スライドは、必ず「腫瘍部位確認用検査」を 合せてご依頼ください。提出する際、未染標本スライドの表に切片の厚さを記入し、オブジェクトケースに入れ、室温保存にてご提出ください。

・未染標本スライドの種類と枚数

未染標本スライド種類	切片の厚さ	枚数
腫瘍部位確認用	3~4µm	2枚
DNA抽出用	10 <i>µ</i> m	5~10枚

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 実施料 判断料 コード 検 査 項 目 検査方法 基 準 値

HLA検査・移植関連検査

2959	HLA-A, B (血清対応型タイピング) C EDTA加血液 2.0	PCR-rSSO		↑ 1 月~木 4 下表参照 単独検体 6
2960	HLA-DR (血清対応型タイピング) ^C EDTA加血液 2.0	PCR-rSSO		↑ 1 月~木 4 下表参照 単独検体 6

HLA (血清対応型タイピング)の種類

	HLA―A、B 血清対応型タイピング A B												
	А				DR								
A1	A25 (10)	A36	B5	B18	B41	B51 (5)	B60 (40)	B72 (70)	DR1	DR10			
A2	A26 (10)	A43	B7	B21	B42	B52 (5)	B61 (40)	B73	DR2	DR11 (5)			
АЗ	A28	A66 (10)	B8	B22	B44 (12)	B53	B62 (15)	B75 (15)	DR3	DR12 (5)			
A9	A29 (19)	A68 (28)	B12	B27	B45 (12)	B54 (22)	B63 (15)	B76 (15)	DR4	DR13 (6)			
A10	A30 (19)	A69 (28)	B13	B35	B46	B55 (22)	B64 (14)	B77 (15)	DR5	DR14 (6)			
A11	A31 (19)	A74 (19)	B14	B37	B47	B56 (22)	B65 (14)	B78	DR6	DR15 (2)			
A19	A32 (19)	A80	B15	B38 (16)	B48	B57 (17)	B67	B81	DR7	DR16 (2)			
A23 (9)	A33 (19)		B16	B39 (16)	B49 (21)	B58 (17)	B70	B82	DR8	DR17 (3)			
A24 (9)	A34 (10)		B17	B40	B50 (21)	B59	B71 (70)		DR9	DR18 (3)			



コード 検査項目 No

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL)

検査方法

基 準 値

実施料 判断料

備 考 所要 日数

血液算定・機能

0301	白血球数 (WBC)	1	1 1 1 1	電気抵抗検出方式	/μL M 3900~9800 F 3500~9100	 			
0302	赤血球数 (RBC)		 	シースフロー 電気抵抗検出方式	104/μL M 427~570 F 376~500	 			
0303	血色素量 (Hb)		1 1 1 1 1	SLS-ヘモグロビン法	g/dL M 13.5~17.6 F 11.3~15.2	21 血液			
0304	ヘマトクリット値 (H t)	F	EDTA加血液	赤血球パルス波 高値検出法	% M 39.8~51.8 F 33.4~44.9	1 		1	
0308	血小板数 (PLT)	L	2.0	2.0	シースフロー 電気抵抗検出方式	1 0 ⁴ /μL M 13.1~36.2 F 13.0~36.9	1 1 1 1 1		2
0305	平均赤血球容積 (MCV)		 		fL M 82.7∼101.6 F 79.0∼100.0	 			
0306	平均赤血球血色素量 (MCH)			計算法	pg M 28.0∼34.6 F 26.3∼34.3	I I I I			
0307	平均赤血球血色素濃度 (MCHC)	 			% M 31.6~36.6 F 30.7~36.6	 			
0381	網状赤血球数 (Ret)	Е	EDTA加血液 2.0	フローサイトメトリー法	% 0.2~2.0	12 血液		1 2	
0317	好酸球数	Е	EDTA加血液 2.0	フローサイトメトリー 間接法	/μL 70~440	17 *1 血液		1 2	
0362	喀痰中好酸球	v	塗抹標本1枚	ライト・ギムザ染色	(—)	15 血液	注1	1 2	
0359	鼻汁中好酸球	v	塗抹標本1枚	ライト染色	(—)	15 血液	注1	2 4	
0355	血沈 (赤沈・ESR)	F	クエン酸Na加血液 1.6	・ ウエスターグレーン法 ・	$\frac{\text{mm/h}}{1\sim15}$	 		1 2	

^{※1} 同一検体について、好酸球数及び末梢血液像(自動機械法)又は末梢血液像(鏡検法)を行った場合は、主たる検査の所定点数のみを算定する。 注1. プレパラートの中央部のみに塗布してください。

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) コード 実施料 判断料 所要 検査項目 検査方法 基準値 備 考 No 日数

態 血 液 形

0318	白血球像 (W-Hg)	Е	EDTA加血液 2.0	ログランス方式 一ダンス方式 及び鏡検法	Mono 0.2~1	0.4 9.3	15 血液	% 1		1 2
0330	赤血球像 (R-Hg)	 		¦ ¦ 鏡検法 !	大小不同 (一) 奇 形 (一) 多 染 性 (一) 有 核 (一)	1			 	
0313	好塩基性斑点赤血球	Е	EDTA加血液 2.0	ライト・ギムザ染色		%				1 2
0361	骨髄像 (マルク)	v	塗抹標本2枚以上	: ライト・ギムザ染色 : による鏡検法	 	1	788 血液	% 1	 未固定。 専用依頼書に臨床所見等を ご記入ください。	8 16

特 血液 殊 染 色

0468	ペルオキシダーゼ	〈血液〉	塗抹標本	3,3-Diamino-		27 血液	*2	メタノール固定を実施しますと、 8 染色不良となりますので、ご注 5
0463	染色	〈骨髄液〉	2枚以上	benzidine法		40 血液	*3	意ください。 12
0469	エステラーゼ	〈血液〉	· · 塗抹標本	α-NB·NAS-D		27 血液		メタノール固定を実施しますと、8
0464	染色	〈骨髄液〉	2枚以上	二重染色法		40 血液	*3	染色不良となりますので、ご注 \ \
0470	<i>የ</i> ተኔኪ ረ ታ	〈血液〉	塗抹標本 2枚以上			27 血液	*2	8
0465	鉄染色 -	〈骨髄液〉		! ベルリン青染色 !		40 血液	*3	12
0471	ALP染色	〈血液〉	塗抹標本			27 血液	*2	8
0466	ALFRE	〈骨髄液〉	2枚以上	アク巴系広		40 血液	*3	l ¹ 2 注1
0472	PAS染色	〈血液〉	塗抹標本	- - - : 過ヨウ素酸		27 血液	*2	8
0467	FAO米巴	〈骨髄液〉	2枚以上	シッフ反応		40 血液	*3	12

血 液 寄 生 虫

	*						
0366	マラリア原虫	Е	EDTA加血液 2.0	ライト・ギムザ染色	(—)	40 血液	塗抹標本でご提出の場合は、薄層 3 塗抹標本と濃塗抹標本をご提出 5 ください。(標本は冷蔵厳禁) 4

- 末梢血液像(自動機械法)、末梢血液像(鏡検法)及び骨髄像の検査については、少なくともリンパ球、単球、好中球、好酸球、好塩基球の5分類以上の同定・比率計算 **※**1 本行画版像(日勤成版公)、不行画版像(競技法)及び骨髄像の検査に当たって、位相差顕微鏡又は蛍光顕微鏡を用いた場合であっても所定点数により算定する。また、末梢血液像(鏡検法)の検査の際に赤血球直径の測定を併せて行った場合であっても、所定点数により算定する。また、末梢血液像(鏡検法)の検査の際に赤血球直径の測定を併せて行った場合であっても、所定点数により算定する。 ※2 特殊染色と末梢血液像(鏡検法)を併せて行った場合は、特殊染色加算として、特殊染色ごとにそれぞれ27点を所定点数に加算する。 ※3 特殊染色と骨髄像を併せて行った場合は、特殊染色加算として、特殊染色ごとにそれぞれ40点を所定点数に加算する。

- 注1. -3~-5℃の固定液〔ホルマリン原液10mL+純メタノール90mL+1%酢酸1mL〕(pH4.8)に5秒間浸漬、水洗15秒、乾燥。抗凝固剤は使用しないでください。



採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 実施料 判断料 コード 検 査 項 目 検査方法 基 準 値 備 No

出血凝固線溶

0336	プロトロンビ (PT)	ン時間)	G	血液 クエン酸酸 1.8 0.5	透過光検出法	% PT活性値 70.0~120.0 PTINR 0.90~1.10	18 血液	抗凝血薬投与中の患者はその 旨ご記入ください。	1 2
	フィブリノー (F I B	ゲン B)		血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	透過光検出法	mg/dL 200~400	23 血液		1 2
0340	活性化部分トロンボ	「プラスチン T)	G	血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	透過光検出法	25.0~40.0	29 血液	1 	1 2
0353	EDD	〈血漿〉	G	血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	LA	μg/mL 5.0未満	血液	へパリン投与患者はその旨ご	2
0354	5DP -	〈尿〉	21	尿2.0	LPIA	ng/mL 100以下	72 尿·便	記入ください。	3 4
1136	ローダイマー	《定量》	G	血液 クエン酸酸 1.8 © 0.5	LA	μg/mL 1.0未満	130 血液	1 1 1 1 1	1 2
4405	フィブリンモ 複合体定量	ノマー	G	血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	LA	μg/mL 6.1以下	221 ※l 血液	 	3 6
1893	ループスアンチコ	アグラント	G	血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	希釈ラッセル 蛇毒試験法	1.2以下 (Normalized Ratio)	273 ** ³ 免疫	 	3 4

フィブリンモノマー複合体、プロトロンビンフラグメントF1+2及びトロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)のうちいずれか複数を同時に測定した場合は、主たるもの ※1 フイフリンセノマー複合体、フロドロフとフノフントンド「TEZQUITULE」が、ファドロフとフィフリアに対している。
 ※2 フィブリンモノマー複合体は、DIC、静脈血栓症又は肺動脈血栓塞栓症の診断及び治療経過の観察のために実施した場合に算定する。
 ※3 ループスアンチコアグラント定量及び同定性は、希釈ラッセル蛇毒試験法又はリン脂質中和法により、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算ーサイフ

出血凝固線溶

2674	プラスミノーゲン	《抗原量》	G	血液 クエン酸血漿 1.8 多 0.5	LA	mg/dL 9.1∼14.5	血液	 	5~6
0349	(PLG)	《活性》	G	血流 カエン磁曲路	合成基質法	% 71~128	100 血液		3
0350	アンチプラスミン (α2PI)(α2プラス ミンインヒビター)	《活性》	G	血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	合成基質法	85~118	128 血液	1 1 1 1	3 4
1139	α₂ ブラスミンインヒビター・. (P I C		G	血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	LPIA	μg/mL 0.8未満	血液		3 4
1162	アンチトロンビン (AT)	′《活性》	G	血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	合成基質法	80~130	70 血液	1 1 1 1 1	1 2
1055	トロンビン・アンチトロン (T A T		G	血液 クエン酸血漿 1.8 © 0.5	CLEIA	ng/mL 3.0未満	血液	採血方法の不適により異常高値を示すことがあります。 (ツーシリンジ採血法にてお願いします。)	3 4
2679	プロニノン・〇	《定量》	G	血液 クエン酸酸 1.8 © 0.5	LPIA	% 70~150	232 血液		3~6
1221	プロテインC	《活性》	G	血液 クエン酸酸 1.8 0.5	合成基質法	% 64~135	234 血液	1 1 1 1	6
2681		《定量》	G	血液 クエン酸漿 1.8 0.5	LA		158 血液	測定対象はトータル(遊離型お よび複合体型)です。	3 ~5
2680	プロテインS	《遊離型》	G	血液 クエン酸酸 1.8 © 0.5	LA		158 血液		3 ~ 7
2555		《活性》	G	血液 クエン酸酸 1.8 © 0.5	凝固時間法	F 56~126	163 血液	1 1 1 1	3~5
0346	血小板第4因- (PF-4		Χ	血液 2.7 [◎] 0.5	EIA	ng/mL 20以下	血液	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	4 10
1236	βートロンボグ (β-Τ)		Χ	血液 血漿 2.7 0.5	EIA	ng/mL 60以下	血液	 - かm/ハ/dio、14-7 名でCS光/にCC/ 0	10
2559	トロンボモジュリン	/ 〈血清〉	A	血液 <u>血清</u> 2.0 © 0.5	CLEIA	U/mL 12.1∼24.9	血液		3~6
2560	(TM)	〈血漿〉	G	血液 クエン酸酸 1.8 ® 0.5	ULEIA	U/mL 8.7∼22.7	204 * ² 血液		6

^{※1} フィブリンモノマー複合体、プロトロンビンフラグメントF1+2及びトロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)のうちいずれか複数を同時に測定した場合は、主たるもの のみ算定する。



^{※2} トロンボモジュリンは、膠原病の診断若しくは経過観察又はDIC若しくはそれに引き続いて起こるMOF観察のために測定した場合に限り算定できる。

(リストセチンコファクター)

コード No	検 査 項 目 探取容器		検査方法	基準値	実施料 判断料	備考	所要 日数
	HH	(/			13-11		H 244

凝 固 因 子 **%** 223 Ż 血液 クエン酸漿 1.8 0.5 凝固時間法 74~146 第Ⅱ因子活性 2684 G 6 (PT法) (参考値) 血液 **%** 223 3~6 血液 クエン酸漿 1.8 0.5 凝固時間法 70~152 2685 第Ⅴ因子活性 (PT法) (参考値) 血液 % 3 223 <u>血液</u> クエン酸血漿 1.8 0.5 凝固時間法 63~143 第Ⅷ因子活性 2686 G 6 (PT法) 血液 (参考値) % 147 3~6 第Ⅷ因子様抗原 血液 クエン酸漿 1.8 0.5 50~150 0348 G LA (フォン・ウィルブランド因子定量) 血液 (参考値) **%**|223 3~6 血液 クエン酸血浆 1.8 0.5 凝固時間法 62~145 第四因子活性 G 0566 (APTT法) 血液 (参考値) % 223 3 <u>血液</u> クエン酸血漿 1.8 0.5 凝固時間法 74~149 第以因子活性 0567 G 6 (APTT法) (参考値) 血液 3~6 **%** 223 クエン酸漿 0.5 凝固時間法 71~128 第X因子活性 G 0351 1.8 (PT法) 血液 (参考値) 3~6 **%**|223 血液 クエン酸漿 1.8 0.5 凝固時間法 73~136 第以因子活性 2688 G (APTT法) 血液 (参考値) 3 ~ 6 223 血液 クエン酸血漿 1.8 0.5 凝固時間法 46~156 第三因子活性 2689 G (APTT法) 血液 (参考値) % 3<6 223 血液 クエン酸酸 1.8 0.5 1052 第三因子定量 70以上 血液 BU/mL 144 3 6 血液 クエン酸漿 1.8 0.5 第VII因子 G 2690 凝固抑制 血液 2項目ご依頼の場合は、それぞれ1本ずつ採血してください。 ベセスダ法 検出せず 因子検査 3 血液 クエン酸漿 1.8 0.5 144 第IX因子 G 2691 6 血液 フォン・ウィルブランド因子活性 G 3~6 **%**:129 血液 クエン酸血漿 1.8 0.5 固定血小板凝集法 2565

50~150

血液







凝固因子インヒビターは、第VIII因子又は第IX因子の定量測定を行った場合に、それぞれの測定1回につきこの項で算定する。

検体必要量 実施料 判断料 所要 日数 検査項目 器 保存 検査方法 備 No (mL)

般 細 菌 検

0501	塗抹鏡検		冷蔵	グラム染色など	64 微生物	材料が便、大腸又は培地の時、検査は実施しません。 3 4
0504	口腔気道又は呼吸 器からの検体 好	e m n	冷蔵	Bergey's Manual 他に基づく同定法	170 微生物	ビブリオ、淋菌、髄膜炎菌を疑う検体は室温保存にて 8 と で提出ください。
0521	気 消化管からの検体	j e		Bergey's Manual 他に基づく同定法	190 微生物	【緊急報告】 5 1.2類・3類感染菌が検出された時 5 2.血液・髄液から菌が検出された時 8
0506	菌 治 治 からの検体	m e		Bergey's Manual 他に基づく同定法	180 微生物	(髄液は塗抹、培養同定でご依頼ください) 5 (便・大腸粘膜検査) 症状、目的菌等の依頼が無い場合はサルモネラ、シゲ 8
0507	・ 同 血液又は穿刺液 定 ————————————————————————————————————	y e	血液・髄液 室温 その他の穿刺液 (冷蔵)	Bergey's Manual 他に基づく同定法	220 微生物	ラ、ビブリオの報告となります。 「尿中菌数定量」 自然尿・中間尿・穿刺尿・カテーテル尿で培養のご依 8
0508	を その他の部位から の検体	m n	冷蔵	Bergey's Manual 他に基づく同定法	170 微生物	頼があれば、全てご報告いたします。 細菌数が105/mL以上の時、尿路感染が疑われます。 静脈血・動脈血はyをご使用ください。
0503	嫌気性菌培養・同定	z q m		Bergey's Manual 他に基づく同定法	*1 122加算 : 微生物	嫌気ポーター、カルチャースワブブラス、血液検体は嫌気用 6 ボトルでご提出ください。 (便検体では、クロストリジオイ デス・ディフィシルの有無のみ報告) 静脈血・動脈血はなをご使用ください。
	感 1菌種 受		冷蔵	ディスク法 微量液体希釈法	180 微生物	
	性 2菌種 試		冷蔵	ディスク法 微量液体希釈法	230 微生物	セット内容についてはJ-6ページ参照 セット内容についてはJ-6ページ参照 便及び膣分泌物、口腔気道系検体の常在菌及び真菌 の感受性試験は行いません。 マイコブラズマ、ウレアブラズマ、トリコモナス、レプト
	験 3菌種以上		冷蔵	ディスク法 微量液体希釈法	290 微生物	スピラ及びレジオネラ菌の感受性試験は実施しておりません。

真 菌 検 査

5005	塗抹鏡検			冷蔵	グラム染色 KOH法 墨汁染色	; 64 ; 微生物	KOH法は材料が皮膚、ツメ、毛髪の場合に実施いたします。 墨汁染色は材料が髄液の場合に実施いたします。 材料が便、大鵬粘膜または培地検体の場合は検鏡は実施しません。
5006	培養・同定		一般細菌 に準ずる			# 微生物	#検体の採取部位により保険点数は異なります。 材料が皮膚、ツメ、毛髪の場合、培養に受付後2週間かかります。 糸状様真菌(カビ)を疑いの場合は真菌単独でご依頼ください。2
7001	酵母様真菌感受性試験	生検体 菌株		生検体 (冷蔵) 菌株 室温	微量液体希釈法	*2 150 微生物	生検体、菌株とも真菌培養同定検査を実施いたします。

- ※1 嫌気培養同定検査 嫌気性培養のみを行なった場合は培養同定検査の所定点数のみ算定し、嫌気性培養の加算は算定できない。※2 酵母様真菌薬剤感受性検査 深在性真菌症(カンジダ、クリプトコックスに限る。)であり、原因菌が分離できた患者に対して行った場合に限り算定する。

●好気性菌培養・同定 [材料]

口腔·気道·呼吸器	喀痰、気管内採痰、咽頭ぬぐい液、鼻汁、気管支洗浄液、気管支擦過物、扁桃ぬぐい液、鼻腔、呼吸器膿
消化管	便、大腸粘膜、胆汁、胃液、十二指腸液、膵液、嘔吐物、消化器膿、胃粘液(ピロリ菌)
泌尿器·生殖器	自然尿、中間尿、カテーテル尿、穿刺尿、膣分泌物、尿道分泌物、精液、月経血、泌尿生殖器膿、羊水
血液·穿刺液	胸水、腹水、関節液、髄液、動脈血、静脈血、骨髄液、臍帯血
その他の部位	褥瘡、耳漏、眼脂、開放性膿、非開放性膿、乳汁、皮膚、爪、毛髪

●酵母様真菌薬剤感受性試験の薬剤名

薬剤名	(略号)	商品名
アムホテリシンB	(AMPH-B)	ファンギゾン
フルシトシン	(5-FC)	アンコチル
フルコナゾール	(FLCZ)	ジフルカン
イトラコナゾール	(ITCZ)	イトリゾール
ミコナゾール	(MCZ)	フロリード
ミカファンギン	(MCFG)	ファンガード
ボリコナゾール	(VRCZ)	ブイフェンド

●酵母様真菌カンジダ属の感受性ブレークポイント(MIC: µg/mL)

S: 感性、S-DD: 濃度依存的感性、I: 中間、R: 耐性、-: 設定なし

E		FLCZ			VRCZ	MCFG					
属	S	S-DD	R	S	S-DD	R	S	I	R		
Candida albicans	≦2	4	≧8	≦0.12	0.25-0.5	≧1	≦0.25	0.5	≧1		
C. tropicalis	≦2	4	≧8	≦0.12	0.25-0.5	≧1	≦0.25	0.5	≧1		
C. parapsilosis	≦2	4	≧8	≦0.12	0.25-0.5	≧1	≦2	4	≧8		
C. glabrata	_	≦32	≧64	_	_	_	≦0.06	0.12	≥0.25		
C. krusei	_	-	_	≦0.5	1	≧2	≦0.25	0.5	≧ 1		
C. guilliermondii	_	_	_	_	_	_	≦2	4	≧8		

※2017 CLSI M60-ED1 参照

検体必要量 所要 器 考 検査項目 容 保存 検査方法 判断料 日数 No (mL)

殊 中 寓 m 4 室温 淋菌 5211 n 好気培養同定 微生物 Ŕ m 4 髄膜炎菌 室温 5212 n 好気培養同定 8 微生物 8 m 冷蔵 百日咳菌 好気培養同定 5234 微牛物 13 n ģ m 冷蔵 5206 ジフテリア菌 好気培養同定 13 微生物 n 0 8 冷蔵 マイコプラズマ 5232 好気培養同定 13 m 微生物 35 室温 8 般細菌 冷蔵 レジオネラ 泌尿器の材料の場合、検査は実施しません。 5231 好気培養同定 に準ずる 微牛物 13 5 クロストリジオイデス・ディフィシル 冷蔵 嫌気培養同定 便、大腸粘膜の時のみ実施。 5246 拇指頭大 微生物 (C・ディフィシル) Ŕ 5 糞便(充分量)を糞便用容器(キャリブレア入り)に カンピロバクター 糞便 冷蔵 5230 j 微好気培養同定 微牛物 入れてご提出ください。 Ŕ 5 大腸菌ベロトキシン(コード5306)との同時依頼を 大腸菌血清型別 糞便 (冷蔵) 175 5225 j 免疫血清凝集反応 推奨いたします。 Ŕ 免疫 基準値(-) 毎年に、 使検体にて一般細菌培養と同時依頼の場合は9~11日 単一菌株でご提出ください。大腸菌血清型別(コード5225) との同時依頼を推奨いたします。 189 大腸菌ベロトキシン 室温 菌株 RPLA法 6 5306 微生物 e 6 7 (冷蔵) ウレアプラズマ 5240 m 好気培養同定 微牛物 室温 36 7 般細菌 (冷蔵) クリプトコッカス 好気培養同定 5237 微生物 に準ずる 5~8 一般細菌 カンジダ 冷蔵 5251 好気培養同定 微生物 に準ずる 8 -般細菌 アスペルギルス 冷蔵 5244 好気培養同定 15 に準ずる 微生物 9 q 嫌気ポーター又はカルチャースワブプラスでご提出 放線菌(アクチノミセス) 冷蔵 5236 嫌気培養同定 16 m 微牛物 ください。 5 MRSAスクリ 般細菌 喀痰、尿、便、血液など臨床由来材料からのMRSA検 **MRSA** 冷蔵 0531 臨床材料 に準ずる 微生物 ング培地使用 8 鏡検64 6 e トリコモナス 室温 5281 培養# m 鏡検法・培養 5 14 微生物 21 培養# 検体は血液又は膀胱穿刺尿のみです。専用培地(コ

培養同定

室温

34

#検体の採取部位により保険点数は異なります。

レプトスピラ

口腔、気道又は呼吸器からの検体	170
消化管からの検体	190
血液又は穿刺液	220
泌尿器又は生殖器からの検体	180
その他の部位からの検体	170
嫌気培養加算	122



ルトフ培地)で提出

31

微生物

大腸菌血清型別は、細菌培養同定検査により大腸菌が確認され、及び大腸菌ベロトキシン定性により毒素が確認又は腸管出血性大腸菌用の選択培地に菌の 発育が確認され、並びに血清抗体法により大腸菌の0抗原又はH抗原の同定を行った場合に、使用した血清の数、菌種等に関わらず算定する。この場合に おいて細菌培養同定検査の費用は別に算定できない。

大腸菌ベロトキシン定性 細菌培養同定検査により大腸菌が確認され、病原性大腸菌が疑われる患者に対して行った場合に算定する。大腸菌ベロトキシン定 性のうち、細菌培養を行うことなく糞便から直接検出する方法であってELISA法によるものについては、臨床症状や流行状況から腸管出血性大腸菌感染症が 強く疑われる場合に限り、細菌培養同定検査を踏まえることなく行った場合にも算定できる。

検体必要量 実施料 判断料 検査項目 器 保存 検査方法 備 No (mL) 日数

抗酸 検

0511	塗抹鏡検 (チールネルゼン法)		一般細菌	冷蔵	チールネルゼン法	64 微生物	材料が、便、皮膚、爪等は鏡検の検査は実施しません。 血液材料の場合はヘバリン入り採血管にてご提出く	2~3
0509	塗抹鏡検 (蛍光法)		一般細菌に準ずる	冷蔵	蛍光法	50 微生物	ださい。 、カルチャーボトル(血液)での受付は不可。 ・スクリーニングは感度の高い蛍光法をご利用ください。 ・又、 培地検体での提出はコロニーの発育が認められ	2~3
0512	分離培養 (小川培地法)		一般細菌に準ずる	冷蔵	2%小川培地 を使用	209 微生物	るものに限ります。 (緊急報告) 1.鏡検(蛍光法・チールネルゼン法)陽性の時 2.培養で陽性の時	4W 6W 8W
5901	分離培養 (MGIT法)		一般細菌に準ずる	冷蔵	酸素感受性蛍光 センサー法 (MGIT培地使用)	300 微生物	酸素感受性蛍光センサー法は材料が便の時、検査は 実施しません。	3W 6W
5906	結核菌群核酸同定 /リアルタイムPCR	下表参照	下表参照	冷蔵	リアルタイムPCR法	410 微生物	 塗抹鏡検、分離培養との共有可。 コード5906とコード5907の共有可。	3~5
5907	マイコバクテリウムアビウム・ イントラセルラー核酸同定/リアルタイムPCR (MAC/リアルタイムPCR)	下表参照	下表参照	冷蔵	リアルタイムPCR法	*2 421 微生物	コード5907は結核菌群の結果が(+)でもMAC/リ アルタイムPCRを実施。	3~5
5908	結核菌群・MAC核酸同定セット / リアルタイムPCR (結核菌群・MACセット/リアルタイムPCR)	下表参照	下表参照	冷蔵	リアルタイムPCR法	 	コード5908は結核菌群の結果が(一)の場合のみ MAC/リアルタイムPCRを実施。 便検体の場合は前処理に1日かかるため、所要日数が 変わります。	3~5
7916	抗酸菌同定《質量分析法》 (164菌種)	菌株(培地) 又は 生検体	1	菌株 室温 生検体 冷蔵	 質量分析法 	*3 361 微生物	生検体でご提出の場合は、必ず分離培養も同時にご依頼ください。所要日数に培養日数および増菌などにかかる日数は含まれません。	ე∽დ
5902	結核菌群同定	菌株(培地) 又は 生検体	1	菌株 室温 生検体 冷蔵	HPA法	*1 410 微生物	生検体の場合は、培養もご依頼ください。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	8 1 1
5903	マイコバクテリウムアビウム・ イントラセルラー核酸同定 (MAC同定)	菌株(培地) 又は 生検体	 	菌株 室温 生検体 冷蔵	HPA法	*2 421 微生物	知度物に弦、風里小だり物口は海函複状質で天地です。 たします。 所要日数に分離培養の日数は含まれません。	8
0549	感受性試験4薬剤以上	菌株	1	室温	マイクロタイター法	400	SM.PAS,INH,KM EVM.EB.RFP,TH CS,LVFX	3W 5W
2947	結核菌IFN-γ SPOT数 《ELISPOT法》	ヘパリン加 血液 10mL	48 (専用容器)	室温	ELISPOT法	*5 594 免疫	□ 月~土 他項目との重複依頼は避けてください。 検体は採取後、当日・午前中にご提出ください。	4~6

- 抗酸菌分離培養検査、結核菌群核酸検出、抗酸菌核酸同定 結核患者の退院の可否を判断する目的で、患者の病状を踏まえ頻回に行われる場合においても算定できる。マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー (MAC) 核酸検出 他の検査により結核菌が陰性であることが確認された場合のみ算定できる。抗酸菌同定と併せて実施された場合にあっては、主たるもののみ算定する。
- 抗酸菌同定は、検査方法、培地数にかかわらず、1回のみ所定点数を算定する。
- 抗酸菌薬剤感受性検査 直接法、間接法等の方法及び培地数にかかわらず、感受性検査を行った薬剤が4種類以上の場合に限り算定する。混合薬剤耐性検査 においても、使われた薬剤が4種類以上の場合に限り算定する。 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能は、診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。

●結核菌群核酸同定/リアルタイムPCR,MAC/リアルタイムPCRの材料別必要量

材料	必要量	容 器	備考
喀痰、胃液、髄液、 肺洗浄液、膿	2~3mL	l(喀痰) e(その他)	へパリンは不可
尿、胸水、腹水	5~10mL	е	ヘパリンは不可、カルチャーボトルは不可
血液(血清不可)	3~5mL	容器は予めご依頼ください。	ヘパリンは不可、カルチャーボトルは不可
骨髄液	1~2mL	容器は予めご依頼ください。	ヘパリンは不可、カルチャーボトルは不可
組織(生検体)	5mm ³ 以上 (5~10mg)	容器は予めご依頼ください。	乾燥防止の為生理食塩水を 1mL加えてご提出ください。 ホルマリン固定組織、パラフィ ン固定組織は不可
糞便	小指頭大	i	
固形培地	1コロニー 以上	小川培地 他	抗酸菌陽性のもの (コロニーが認められるもの)
液体培地	1mL以上	MGIT培地	抗酸菌陽性のもの
スワブ	1本以上	m	検査は実施しますがデータの信頼性が低いため参 考値としてご理解ください。

※骨、爪等前処理ができない材料は検査不可。

1.結核菌群核酸同定検査対象菌種

- 1) M.tuberculosis
- 2) M.bovis
- 3) M.bovis BCG
- 4) M.africanum
- 5) M.microti
- ★1 個々の菌種についての結果は出ませんのでご注意ください。

検体必要量 実施料 判断料 検査項目 保存 検査方法 (mL)

そ の 他

5233	ヘリコバクター・ピロリ/培養 (H.ピロリ/培養)	胃生検	03	冷蔵	(2017年) 14 14 14 14 14 14 14 1	微生物	「材料」胃生検は、必ずHP培地に無菌的にかつ速やかに採取してください。検体は容器の材料位置ライン(酸素を遮断するため) まで入れ、冷蔵で保存してご提出ください。	
5991	ヘリコバクター・ピロリ/感受性試験 (H.ピロリ/MIC測定)	胃生検	03	冷蔵	 微好気性培養 微量液体希釈法	 	・ 培養陰性時は検査実施いたしません。 MIC値及び判定基準でご報告いたします。 薬剤:CAM,AMPC,MNZ	7 10
5304	MRSAスクリーニング	職員 検診用 材料	m	冷蔵	MRSA スクリーニング 培地使用	 	病院職員(健常者)の鼻前庭又は咽頭のMRSAの有無。 ・検体は鼻前庭又は咽頭ぬぐい液に限ります。 ・感受性検査は実施いたしません。(+)又は(-)で報告。	15
5302	クロストリジオイデス・ディフィシル毒素 (C.ディフィシル毒素)	糞便 拇指頭大	i	冷蔵	EIA	, 8U ' 女(ris	ToxinA及びToxinBの検出 偽膜性大腸炎の迅速診断 (+)、(一)、判定保留で報告	3 4
5992	便培養(2菌種) (シゲラ・サルモネラ)	糞便	j	冷蔵	培養・同定法		; シゲラ・サルモネラの有無を陰性時は(-)、陽性時は 別紙にて菌名を報告。 注1	5~8
5993	便培養(3菌種) (シゲラ・サルモネラ・O-157)	糞便	j	冷蔵	培養・同定法	1 1 1 1 1 1	 各菌の有無を陰性時は(ー)、陽性時は別紙にて菌名 を報告。 0-157が(+)の場合はベロトキシンも自動的に実	5~8
5994	便培養(4菌種) (シケラ・サルモネラ・ロ・l5ア・ビフリオ/コレラ・ ※だクリオ/	糞便	j	冷蔵	培養・同定法	 	施します。0-157以外の病原性大腸菌検査をご希望の場合は、一般細菌便培養に目的菌の病原性大腸 歯血清型別をご依頼ください。 注1	5~6
4411	透析液/R2A	透析液 5~10mL	e	冷蔵	 平板塗抹法 	 	R2A培地にて17〜23℃7日間培養。 菌名+生菌数(CFU/mL)を報告。	10 16

注1 便集団検診用検査項目です。一般細菌便培養と共用は出来ませんのでご了承ください。

微生物 輸送容器・輸送培地の一覧

						輸	送 容	器					輸	送 培	地	
	H	各号	l	j	i	m	n	У	Z	q	е	03	35	36	34	14
		字 器	5 M			50	カルチャー	好気用	嫌気用			a in the second			The state of the s	
材	料		スポイト式 採 <u>痰</u> 管	糞便用容器 (キャリブレア入り)	糞便 一般用容器	カルチャー スワブプラス	スワブプラス (チャコール入り)	好気用 レズン ボトル	レズンボトル	嫌気 ポーター	滅菌 スピッツ	HP培地	マイコプ ラズマ用	ウレアプ ラズマ用	コルトフ 培地	トリコモ ナス用
喀痰	・気管内痰	1~2mL														
咽頭	拭い液	充分量														
糞便	į	充分量														
自然原	ママイ アイティア アイティア アイティア アイティア アイティ アイス	3~5mL														
膣分泌	必物·尿道分泌物	充分量														
胸水	·腹水·関節液	2~3mL														
髄液		2~3mL														
動脈	血・静脈血	3~10mL														
耳漏	·眼脂	充分量														
皮膚	·爪·毛	充分量									0					
膿(開	放性·非開放性)	充分量				0				0	0					
その	他の検体	充分量				0				0	0	(E)				
検	好 気 性	菌				0	0			0		注	(E)	(E)	(E)	
検査可能菌	嫌気性					0	0									注
能	真	菌	0	0		0					0					
	抗 酸	菌						ede Ven	et- VC			VA ##	\A.++	\A ++	\A ++	\A ++-
	可能期間(使	用前)	3年	室温1年	特になし	室温20ヶ月	室温20ヶ月	室温 9ヶ月	室温 9ヶ月	室温2年	室温3年	冷蔵 4ヶ月	冷蔵 3ヶ月	冷蔵 3.5ヶ月	冷蔵 1年	冷蔵 6ヶ月
検包	採取時の輸	送条件	冷蔵	冷蔵・室温	冷蔵・室温	冷蔵・室温	冷蔵・室温	室温	室温	冷蔵		冷蔵	室温	室温	室温	室温
	注意事項・その他			®サルモネラ(チフス菌を含む)、シ がラ(赤痢菌)の他、ビブリオ、エルシニア、カンピロバクター、真菌、 ルシニア、カンピロバクター、真菌、		嫌気性菌にも使用可能です。 焼気性菌にも使用可能です。	萄以外の検索衣頼がある時よ温にて送付してください。淋温にて送付してください。淋圏がある時は室	(冷蔵厳禁)	(冷蔵厳禁) 室温にて送付してください。	送付してください。 5秒以内で閉栓し、速やかに 9 嫌気状態を保つため、開封後	❸ 項目の保存欄を参照ください。	ピロリ専用の容器です。ります。ヘリコバクターります。ヘリコバクターの 検体は胃生検の組織に限	● マイコプラズマ専用の	❸ ウレアプラズマ専用の	❸ レプトスピラ専用の	培地です。(冷蔵厳禁) トリコモナス原虫専用の 圏 室温にて送付してください。

[★]ビブリオを特に強く疑うときは室温にて送付してください。



感 受 性 試 験 実 施 薬 剤 と 商 品 名

		感 党 性 試 疑 美 肔 楽	用 C 简 n 右
系統	日本化学療法学会制定略号	抗 菌 薬 名	主な商品名(投与剤形)
.,,,,,,,	PCG	ペニシリンG	ペニシリンGカリウム〔注射用〕、バイシリンG〔顆粒〕
~	MPIPC	オキサシリン	(二クラク 6 万ラクム (圧利) (1) (イイクラク 6 (検付)
=	ABPC	アンピシリン	ビクシリン〔カプセル・ドライシロップ〕〔注射用〕
シリン系	AMPC	アモキシシリン	パセトシン(錠・カブセル・細粒)、サワシリン(錠・カブセル・細粒)、アモリン(カブセル・細粒)、ワイドシリン(細粒)
ーン	PIPC	ピペラシリン	ハビトラン (後・カフビル・神仙)、 グラクラン (後・カフビル・神仙)、 アモリン (カフビル・神仙)、 グイトンリン (海仙) ペントシリン (注射用・静注用)
糸			
-	SBTPC SBT (ABBC)	スルタミシリン	ユナシン〔錠・細粒(小児用)〕
B	SBT/ABPC	スルバクタムナトリウム/アンピシリンナトリウム	ユナシン・S (静注用)、スルバクシン (静注用)、スルバシリン (静注用)
1 %	CVA/AMPC	クラブラン酸/アモキシシリン	オーグメンチン(配合錠)、クラバモックス(小児用配合ドライシロップ)
置し	TAZ/PIPC SBT/CPZ	タゾバクタム/ピペラシリン	ゾシン(静注用)、ダゾピペ(配合静注用)
楽ゼ		スルバクタム/セフォペラゾン	スルペラゾン〔静注用〕、セフロニック〔静注用〕
	CMZ	セフメタゾール	セフメタゾン(静注用・筋注用・点滴静注用)
	CEZ	セファゾリン	セファメジンα〔注射用・筋注用・点滴用〕
	CCL	セファクロル	ケフラール 〔カプセル・細粒 (小児用)〕、L-ケフラール 〔顆粒 (徐放)〕
	CTM	セフォチアム	パンスポリン〔静注用・筋注用〕、ハロスポア〔静注用〕
	CTX	セフォタキシム	クラフォラン〔注射用〕、セフォタックス〔注射用〕
	CPZ	セフォペラゾン	セフォビッド〔注射用〕、セフォペラジン〔注射用〕
	CZX	セフチゾキシム	エポセリン〔坐薬〕
	CMX	セフメノキシム	ベストコール〔筋注用・静注用〕、ベストロン〔点眼・耳鼻科用(局所外用液剤)〕
l	CAZ	セフタジジム	モダシン〔静注用〕、モベンゾシン〔静注用〕
セ	CTRX	セフトリアキソン	ロセフィン〔静注用・点滴静注用〕、セフキソン〔静注用〕
フ	CEX	セファレキシン	ケフレックス〔カプセル・シロップ用細粒〕、L-ケフレックス〔顆粒・小児用顆粒〕
エ	CFIX	セフィキシム	セフスパン〔カプセル・細粒〕、セフィーナ〔細粒〕
Δ	CMNX	セフミノクス	メイセリン〔静注用〕
系	LMOX	ラタモキセフ	シオマリン〔静注用〕
	FMOX	フロモキセフ	フルマリン〔静注用〕
	CFDN	セフジニル	セフゾン〔カプセル・細粒(小児用)〕
	CPR	セフピロム	セフピロム硫酸塩〔静注用〕
	CDTR-PI	セフジトレン ピボキシル	メイアクトMS〔錠・小児用細粒〕
	CZOP	セフォゾプラン	ファーストシン〔静注用〕
	CFPN-PI	セフカペン ピボキシル	フロモックス〔錠・小児用細粒〕
	CFPM	セフェピム	マキシピーム〔注射用〕
	CPDX-PR	セフポドキシム プロキセチル	バナン〔錠・ドライシロップ〕
	CFTM-PI	セフテラム ピボキシル	トミロン〔錠・細粒(小児用)〕
% 1	FRPM	ファロペネム	ファロム〔錠・ドライシロップ小児用〕
% 2		アズトレオナム	アザクタム〔注射用〕
カル	IPM/CS	イミペナム/シラスタチン	チエナム〔点滴静注用・筋注用〕、イミスタン〔点滴静注用〕、インダスト〔点滴静注用〕
ルバ	MEPM	メロペネム	メロペン〔点滴用〕
%	BIPM	ビアペネム	オメガシン〔点滴用〕
バペネム系	DRPM	ドリペネム	フィニバックス〔点滴静注用〕
🛣	TBPM-PI	テビペネム ピボキシル	オラペネム〔小児用細粒〕
	KM	カナマイシン	カナマイシン〔カプセル・シロップ〕、硫酸カナマイシン〔注射液〕
アミフグリコシド系	GM	ゲンタマイシン	ゲンタシン〔注射用〕〔軟膏・クリーム〕、ゲンタロール〔点眼〕
1 ス	DKB	ジベカシン	パニマイシン〔注射用・注射液〕〔点眼〕
17	TOB	トブラマイシン	トブラシン〔注〕〔点眼〕、トービイ〔吸入液〕
	AMK	アミカシン	アミカシン硫酸塩〔注射液〕
ľ	ISP	イセパマイシン	イセパシン〔注射液〕、エクサシン〔注射液〕
糸	ABK	アルベカシン	ハベカシン〔注射液〕
3	EM	エリスロマイシン	エリスロシン(錠・ドライシロップ)(点滴静注用)、エリスロシンW(顆粒・ドライシロップ)、エリスロマイシン(錠)
マクロライド系	JM	ジョサマイシン	ジョサマイ〔シロップ・ドライシロップ〕、ジョサマイシン〔錠〕
17	AZM	アジスロマイシン	ジスロマック〔錠・カプセル小児用・細粒小児用〕〔点滴静注用〕、ジスロマックSR〔成人用ドライシロップ〕
系	CAM	クラリスロマイシン	クラリス〔錠・ドライシロップ小児用〕、クラリシッド〔錠・ドライシロップ小児用〕
* 3	TC	テトラサイクリン	アクロマイシン〔末・トローチ〕〔軟膏〕、アクロマイシン V〔カプセル〕
L**3	MINO	ミノサイクリン	ミノマイシン〔錠・カプセル・顆粒〕〔点滴静注用〕
* 4	CP	クロラムフェニコール	クロロマイセチン〔錠〕〔軟膏・局所用液〕、クロラムフェニコール〔点眼〕、クロロマイセチンサクシネート〔静注用〕、クロマイ〔腟錠〕
	LVFX	レボフロキサシン	クラビット〔錠・細粒〕〔点滴静注用〕〔点眼〕
	NFLX	ノルフロキサシン	バクシダール〔錠〕〔点眼〕
	OFLX	オフロキサシン	タリビッド〔錠〕〔点眼・眼軟膏・耳科用液〕
+	CPFX	シプロフロキサシン	シプロキサン〔錠〕〔注〕
1	NA	ナリジクス酸	ウイントマイロン 〔錠・シロップ〕
	GFLX	ガチフロキサシン	ガチフロ〔点眼〕
レン	PZFX	パズフロキサシン	パシル〔点滴静注液〕、パズクロス〔点滴静注液〕
系	TFLX	トスフロキサシン	オゼックス〔錠・細粒小児用〕〔点眼〕、トスキサシン〔錠〕
717	LFLX	ロメフロキサシン	バレオン〔カプセル・錠〕、ロメフロン〔点眼・耳科用液〕
	MFLX	モキシフロキサシン	アベロックス〔錠〕、ベガモックス〔点眼〕
	GRNX	ガレノキサシン	ジェニナック〔錠〕
	STFX	シタフロキサシン	グレースビット〔錠・細粒〕
.w.⊏	LCM	リンコマイシン	リンコシン〔カプセル〕〔注射液〕、リズピオン〔注〕
* 5	CLDM	クリンダマイシン	ダラシン〔カプセル〕、ダラシンS〔注射液〕、ダラシンT〔ゲル・ローション〕
プポ	CL	コリスチン	コリマイシン〔散〕、メタコリマイシン〔カプセル・顆粒〕、オルドレブ〔点滴静注用〕
プチドベ	VCM	バンコマイシン	塩酸バンコマイシン〔散〕〔点滴静注用〕、バンコマイシン〔散〕〔点滴静注用〕〔眼軟膏〕
系、	TEIC	テイコプラニン	タゴシッド〔注射用〕、テイコプラニン〔点滴静注用〕
	ST	スルファメトキサゾール-トリメトプリム	バクタ(配合錠・配合顆粒)、バクトラミン(配合錠・配合顆粒)(注)、ダイフェン(配合錠・配合顆粒)
	FOM	ホスホマイシン	ホスミシン〔錠・ドライシロップ〕、ホスミシンS〔静注用・点滴静注用〕〔耳科用〕
その	MUP	ムピロシン	バクトロバン〔鼻腔用軟膏〕
の	RFP	リファンピシン	リファジン(カプセル)、アプテシン(カプセル)
1 12	LZD	リネゾリド	ザイボックス〔錠〕〔注射液〕
	DAP	ダプトマイシン	キュビシン〔静注用〕
			- I I X X

薬剤感受性試験における実施薬剤

PCG ●*1 ● *4 *4 *4 MPPC ● ○ ○ *4 *4 *4 *4 *4 *4 *4 *4 *4 *4 *4 *4 *4	° *4	O * 3			
ペニシリン系 ABPC ●*1 ● ● *2	*4		0	O*3	0
ペニシリン系		*4	0	*4	0
1	•	○*3	0	O*3	0
AVII 0 *1 *2		*3		*3	
PIPC *1 *5 ●	•	O * 3	0	0	0
SBTPC *1 *5 *2					
SBT/ABPC ●*1 ● *5 ● *2	•	0	0	0	0
<u>β∋/29マーゼ</u> CVA/AMPC *1 *5 ● ○ *2	•	0	0	0	
阻害薬 TAZ/PIPC *1 *5 ● ●		0	0	0	0
SBT/CPZ			0	0	0
CMZ ●*1 ●*2 *5 ● *2		0	0	0	0
CEZ ●*1 ●*2 *5 ● *2		0	0	0	0
CCL *1 *2 *5 ● *2	•		0	0	
CTM *1 *2 *5 ● *2	•	0	0	0	0
CTX *1 *2 • • •	•	0	0	0	0
CPZ *1 *2 *5				0	0
CZX *1 *2 *5					
CMX *1 *2 *5					
CAZ *1 *2 *5 ● ●					0
CTRX *1 *2 ● ●	•			0	0
CFX ● ●*2 *5 *2					
CEX *1 *2 *5					
セフェム系 CFIX *1 *2 *5					
CMNX *1 *2 *5 *2					
LMOX *4 *2 *5					
FMOX *1 *2 *5 ● ○	0	0	0	0	0
CFDN *1 *2 *5 ● *2	•				
CPR *1 *2 *5					
CDTR-PI *1 *2 *5 ● ○	•	0	0	0	0
CZOP *1 *2 *5 ●					
CFPN-PI *1 *2 *5 ● ●					
CFPM *1 *2 *5 ● ●	•	0	0	0	0
CPDX-PR *1 *2 *5					
CFTM-PI *1 *2 *5 *2					
ペネム系 FRPM *1 0 *5 0 0	0	0	0	0	0
モノバクタム系 AZT *4 *4 *4 ● ●	*4	*4	*4	*4	0
IPM/CS	•	0	0	0	0
MEPM *1 ○ *5 ● ●	•	0	0	0	0
カルパペネム系 BIPM *1 *5					
DRPM *1 *5 ●					0
TBPM-PI *1 *4 *4 *4 *4 *4	0	*4	*4	*4	*4
KM *2 *2 *2 O					*2
GM ● ●*2 *2 *2 ●	0	0	0	0	*2
DKB *2 *2 *2					*2
<u>アミノグリコシ</u> TOB *2 *2 *2 ●	0				*2
AMK *2 *2 *0 ●	0	0	0	0	*2
ISP *2 *2 *2					*2
ABK ● ●*2 *2 *2 *4 *4	*4	*4	*4	*4	*2

薬 剤 感 受 性 試 験 に お け る 実 施 薬 剤

系統	検査項目名	ブドウ球菌	腸球菌	溶連菌	肺炎球菌	腸内細菌	緑膿菌を含む 非発酵菌	インフル エンザ菌	モラクセラ菌 (プランハメラ)	グラム 陽性桿菌	淋菌	嫌気性菌
	EM	•	•	•	•	*2	*2	0	0	0	0	0
740= / 177	JM					*2	*2	*2				
マクロライド系	AZM			0	0	*2	*2	•				
	CAM				•	*2	*2	•				
	LCM					*2	*2	*2				
リンコマイシン系	CLDM	•	•	•	•	*2	*2	*2	0	0	0	0
-1 -4 /6115.7	TC			•	•			•				0
テトラサイクリン系	MINO	•	•			•	•		0	0	0	
	LVFX	•	•	•	•	•	•	•	0	0	0	
	NFLX											
	OFLX											
	CPFX						•	•			0	
	NA	*4	*4	*4	*4	0	*2	*2	*2	*2	0	*2
1. /=×. T	GFLX											
キノロン系	PZFX											
	TFLX				•							
	LFLX											
	MFLX			•	0							0
	GRNX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	STFX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CL	*4	*4	*4	*4	0	0	*4	*4	*4	*4	*4
ポリペプチド系	VCM	•	•	•	•	*4	*4	*4	*4	0	*4	0
	TEIC	•	•	•	0	*4	*4	*4	*4	*4	*4	0
	ST	•	•	•	0	•	•	•	0	0	0	0
	CP	•	•	•	•	0	0	•	0	0	0	0
Z.D.4h	FOM	•	•	0	0	•	•	0	0	0	0	0
その他	MUP	•	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4
	RFP	•	•	•	0	*4	*4	0	0	0	0	0
	LZD	•	•	•	0	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4
リポペプチド系	DAP	•	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4

- ●:微量液体希釈法で実施。 ○:ディスク法で実施。
- *1:MRSA/MRCNS判定はMPIPC及びCFXの結果をもとに判定。CLSIの考え方により耐性変換を行います。 *2:自然耐性。
- $*3:\beta$ ラクタマーゼの結果をもとに判定。 *4: 判定基準がないため検査実施なし。 *5: PCGが感受性ならば感受性と判断します。

記載なし : クラス薬剤の考え方に基づき代表薬剤の結果をご報告いたします。

クラス薬剤の考え方

| 歯群に対して同一の薬効を示す薬剤をグループとし、その中の1薬剤を代表薬剤として検査を行い、グループ内の代表薬剤以外の薬剤に対して代表薬剤の感受性結果を報告する方

この方法は米国CLSI (Clinical and Laboratory Standards Institute: 臨床・検査標準協会において認められています。

【参考文献】

Performance Standards for Antimicrobial Susceptibility Testing: Twenty-Six Information Supplement, 2016(CLSI)

日本臨床微生物学会監修: 抗菌薬感受性試験のための標準検査法・第26版、株式会社 宇宙堂 八木書店、東京、2016

紺野昌俊: 抗菌薬療法の考え方第2巻, 株式会社ミット, 大阪, 2002





薬 剤 感 受 性 試 験

	系	統	ペニ	ニシリ	ノン系	藻	β- マ -	ラク: ゼ阻:	タ 書薬			セ	フ	=	E.	ム	系	. 1	薬				カルネム								%	<u>×</u>	 :	レーキ ン系	Fノ 薬	%	* 4	そ0.)他
请	動種	抗菌薬	PCG	A M P C	A B P C	PIPC	SBT/CPZ		SBT/ABPC	CCL	CEZ	C T M	C P Z		C F D N	CDTR - P	CFPN-P	C A Z	C T X	F M O X	C F P M	A Z T	-PM/Co	M E P M	G M	A M K	A B K	E M	C A M	A Z M	M I N O	T C	L V F X	T F L X	CPFX	CLDM	V C M	S T	FOM
_		· 球 菌	0		0		Z		0		0	0				I	ı			0			0		0		0	0			\circ		0				0	0	
B			U		0	\cap			U		0	0		0						U			0		U		U	0			0		0				0	U	0
Bi	" 5 炎	球 菌	0	Ω				0				0				0	0		0					0					0				0	Ω		0			
į	量 鎖 (溶連菌を含	球 菌	0		0			0		0									0				0	Ū				0			0		0			0			
_	ブ ラ ム 陽 (上記以外の)		0		0						0			0									0		0			0			0		0				0		
糸						0							0					0			0	0	0		0	0									0				
1		エンザ菌			0			0	0			0		_	0	0	0		0					0					0	0		0	0		0			0	
^	、 モ フ (インフルエン	ィール ス/ザ菌以外)			0					0									0				0						0		0		0						
ナ	ンピロ	バクター			0																		0			0		0					0			0			
Ł	-	リ オ			0														0							0						0	0					0	
_	ブラム 陰 (上記以外の)				0	0	0	0			0			0				0	0	0	0	0	0		0	0					0		0						0
_	ブラム陽				0			0				0							0				0					0			0		0			0	0		
	ラクセラ(0	_			0		_	0															0			0						
材	林 菌 、 髄 (上記以外の)		0					0						0					0													0	0						
媜	東 気	性 菌	0					0						0						0			0											0		0	0		

※1 モノバクタム系薬 ※2 テトラサイクリン系薬 ※3 リンコマイシン系薬 ※4 グリコペプチド系薬

セット項目についてのご説明

- ・院内セット
 - 院内セットとは、セットとする項目を弊社システムに登録することで、より少ないチェックで依頼を可能とするシステムです。
- 基本薬剤
 - 基本薬剤セットをご依頼された場合の内容は上記のとおりです。

細菌検査の検体の採取方法

咽頭拭い液 検体容器は弊社指定のm容器を使用してください。口を大 きく開けさせ、舌圧子で舌を押さえます。その後患者に「アー」と言わ せ、口蓋が拡がったときにm容器に付属の綿棒で扁桃腺窩を強く擦り取り ます。このとき、綿棒が舌や口腔粘膜に触れないように注意してください。 採取後、提出までに時間のかかる場合には冷蔵保存してください。

鼻咽頭粘液 鼻咽頭粘液ではmよりも弊社指定のn容器の方が綿棒の軸 が細いため検体が採取しやすいと思われます。鼻咽頭粘液はn付属の綿 棒を鼻を経て静かに鼻咽頭に挿入し、鼻中隔の近くで鼻の底部に保持し、 回転させて取り出します。採取後、提出までに時間がかかる場合には冷 蔵保存しますが、肺炎・気管支炎原因菌は時間の経過と共に急速に死滅 するものが多いので、冷蔵保存は検体採取後18~24時間程度を限度と 考えてください。

髄液 皮膚表面からの菌の混入による髄膜炎を避けるため、検体の採取は なるべく清浄な条件下で行う必要があります。穿刺部位の消毒は特に入 念に行い、穿刺予定部位を中心として円心状にしだいに外側に向けてな るべく広範囲を消毒します。2~3回の消毒後、局所麻酔を行い第4~5 腰椎間に穿刺して髄液を採取します。

検体容器としては弊社指定のe容器またはy容器を使用してください。 y では増菌培養が可能のため培養検査での菌の検出率は向上すると思わ れますが、反面検査実施当初では検体が液体培地によって希釈されてい るため、鏡検検査での検出率が低下することが考えられます。

尿 検体容器は弊社指定のe容器をご利用ください。乳幼児ではパックや カテーテルを使用したり、新生児では恥骨上からの膀胱穿刺法で採尿す ることもあります。パックやカテーテルを使用する方法では会陰、尿道 周囲を良く消毒し、雑菌の混入を防ぐ注意が必要です。

皮膚 セロテープなどの粘着テープ等に直接貼付して採取された材料は、 粘着面からの採取が困難であり、輸送状況により粘着膜が劣化する可能 性があります。このため、鏡検及び培養検査は検査不能とさせていただ きます。採取した皮膚は直接滅菌スピッツ(e)に入れてご提出ください ますようお願いいたします。

嫌気ポーター 液体検体は、アルコール消毒したゴム栓に注射針を刺し、 注入してください。固形状検体は、嫌気ポーターを立てた状態でゴム栓 をゆっくり外し、検体を入れ速やかに閉めてください。採取後、提出ま でに時間のかかる場合には冷蔵保存してください。

耳漏 耳漏の採取法は鼓膜穿孔の有無により異なりますが、検体容器はい ずれも弊社指定のn容器をご使用ください。

①鼓膜穿孔のない場合

70%エタノールを耳用綿棒につけて外耳道を清拭し消毒するのが一般的 です。外耳道を清拭し消毒後局所麻酔下で鼓膜切開を実施し、切開によ って流出した分泌物をn容器付属の綿棒を使用して採取します。このとき、 綿棒が外耳道に触れると消毒に使用した70%エタノールが検体に混入し、 病原菌の発育を妨げる場合があるので注意が必要です。

②鼓膜穿孔のある場合

耳漏が多量に流れ出ている場合にはまず外耳道に流出している耳漏を綿 棒で清拭するか、吸引管で吸引します。その後70%エタノールを耳用綿 棒につけて外耳道を清拭し、新たに流出してきた耳漏を n 容器付属の綿 棒を使用してなるべく鼓膜に近い部分で採取します。

耳漏が少ない場合は消毒後なるべく鼓膜に近い部分で採取するか、新た に鼓膜を切開して検体を採取します。

眼脂 眼脂は結膜面からのみ採取してください。眼角部や眼瞼縁は常在菌 が存在するので、ここから採取することは避けてください。通常、下眼 瞼を下方に引いて反転し、円蓋部結膜を露出してそこに滞留する眼脂を n容器付属の綿棒で採取してください。

涙器分泌物 涙嚢炎ではまず、涙点(下方、ついで上方)を外反露出し て清浄にして、次いで涙嚢部を指先手中等度の力で圧迫すると涙点から 貯留液(多くは膿性、懸濁性)が逆流してくるので、これをn容器付属 の綿棒で採取してください。指圧による貯留液の採取が困難な場合は生 理的食塩水による涙嚢洗浄を行い、これを検体としてください。

血液 血液培養検査では汚染菌の混入を極力避けることが大切です。

採血にあたり、好気用と嫌気用のボトルを用意して依頼するボトルのゴ ム栓を消毒用アルコールで拭き取ります。採血部位をイソプロパノール 又はエタノール清拭した後ヨードチンキ消毒し、減菌ディスポーザブル の注射器で採血します。

採血終了後、使用するボトルに3~10mL血液を注入してボトルの内容 物を静かに混和してください。採血後のボトルは室温にて保存してくだ さい。

各 臨 床 材 料 よ り 検 出 さ れ た 菌 の 病 原 性 の 考 え 方

	黄色ブドウ球菌	A群溶連菌	B群溶連菌	肺炎球菌	腸球菌	淋菌	髄膜炎菌	モラクセラ(カタル球菌)	大腸菌	肺炎桿菌	緑膿菌	インフルエンザ菌	セラチア属	その他の腸内細菌	その他のシュードモナス属	病原性大腸菌	サルモネラ属	赤痢菌	ビブリオ属	カンピロバクター属	リステリア属	バクテロイデス属	酵母様真菌
喀 痰	A	0	A	0	A			0	\Diamond	\Diamond	\Diamond	0	A	A	A				0			\Diamond	A
咽頭拭い液	A	0	A	0	A			0	\Diamond	\Diamond	\Diamond	0	A	_			0				0	A	A
気 管 分 泌 液	A	0	A	0	A			0	\Diamond	\Diamond	\Diamond	0	A	A	A								
耳漏	A	0	0	0	A			0	\Diamond	\Diamond	\Diamond	0	\Diamond	\Diamond	\Diamond		0		0			\Diamond	\Diamond
尿	A		0		A	0			0	0	\Diamond		\Diamond	\Diamond	\Diamond		0		0			A	\Diamond
血液		0	0	0	\Diamond				0	0	0	0	\Diamond	\Diamond	\Diamond		0		0	0	0	\Diamond	
髄液	0	0	0	0	0		0		0	\Diamond	0	0	A	\Diamond	\Diamond						0	0	0
胸 水	\Diamond		0	0	\Diamond				0	\Diamond	0	0	\Diamond	\Diamond	\Diamond							0	
腹水	0		0	0	0				0	0	0			\Diamond	\Diamond							0	
糞 便	A				A				A	\Diamond	\Diamond		\Diamond	\Diamond	A	0	0	0	0	0		A	\Diamond
膣 分 泌 物	\Diamond		0	\Diamond	A	0			\Diamond	\Diamond	\Diamond	A	\Diamond	\Diamond	\Diamond							\Diamond	
胆 汁	\Diamond				\Diamond				0	0	\Diamond		\Diamond	\Diamond	\Diamond		0					0	
膿汁		0	0	0						0	0								0			0	A

- ◎… 起炎菌としての頻度が高いもの。
- ○…病原性としは必ずしも強くはないが、起炎菌としてなり得るもの。
- ◇… 菌交代現象の結果より生じた可能性もあり得るもの。
- ▲… ヒトまたは環境に由来する細菌で、起炎菌としての頻度は低いと思われるもの。

改正感染症法

法令を踏まえて弊社では一種~四種病 原体の受託輸送及び保管に関しまして 下記の対応を行います。

- ●特定病原体等(一種~四種病原体等) の受領に関して
- (1) 一種~三種病原体に関しては弊 社及び弊社委託運搬業者が法令 要求事項に対応できないため、 受領は行いません。
- (2) 四種病原体と確定している菌株 をご出検される場合は、感染症 法に定められた容器(国連規格 カテゴリーA UNマーク、バイ オハザードマーク付き)をご出 検施設様でご用意していただけ た場合のみ受領、検査いたします。
- (3) 上記の容器以外での受領、運搬 は感染症法違反となりますので 何卒ご理解の程お願いいたします。
- ●弊社で検出された特定病原体(一種 ~四種病原体)の取扱い
- (1) 特定病原体の保管期間につきま しては、右表をご参照ください。
- (2) 特定病原体と確定後の追加検査 は原則お断りいたします。
- (3) 四種病原体の返却に関しまして は公的機関が感染症法等に基づ く疫学調査などに必要な場合に 限り検討いたします。その際返 却容器は原則公的機関側で用意 していただく事になります。詳 細はご相談ください。
- ●そのほかの病原体
- (1) 改正感染症法に該当しない菌株 に関しましては従来通りの対応 となります。

特定病原体の取扱いに

病 原 体 種 類	一種病原体	二種病原体	三種病原体	四種病原体
受領に ついて	受領できません。	受領できません。	受領できません。	出検先で輸送容器をご用意い ただきます。 出検前に必ずご連絡ください。
菌 株 保管期間	_	_	多剤耐性結核菌は同定確 定1ヶ月後に滅菌処理い たします。	●結核菌は同定確定1ヶ月後に 滅菌処理いたします。 ●結核菌以外は同定確定10日 後に滅菌処理いたします。
返 却 に つ い て	_	_	返却は行いません。	公的機関からの依頼に対して のみ輸送容器をご用意してい ただき返却いたします。
代表的な 病 原 体	_	_	多剤耐性結核菌	チフス、コレラ、結核菌、 腸管出血性大腸菌他

病原体等の適正な管理を含めた総合的な感染症対策の概要

所持等の禁止 (一種病原体等)

- ●エボラウイルス●クリミア・コンゴ出血熱

- ●クリミア・コンコ山山 ウイルス ●痘そうウイルス ●南米出血熱ウイルス ●マールブルグラ
- ●ラッサウイルス

(IV F6)

所持等の許可 (二種病原体等)

- ●SARSコロナウイルス
- ●炭疽菌

- ●ペスト菌 ●ボツリヌス菌 ●ボツリヌス毒素

(以上6)

所持等の届出 《三種病原体等》

- ●Q熱コクシエラ●狂犬病ウイルス
- 多剤耐性結核菌
- 政令で定めるもの
- ●コクシジオイデス真菌●サル痘ウイルス
- ●腎症候性出血熱ウイルス ●西部ウマ脳炎ウイルス
- ●ダニ媒介脳炎ウイルス ●オムスク出血熱ウイルス ●キャサヌル森林病ウイルス

- ●東部ウマ脳炎ウイルス ●二パウイルス ●日本紅斑熱リケッチア
- ●発しんチブスリケッチア ●ハンタウイルス肺症候群ウイルス
- ●Bウイルス
- ●鼻疽菌

- 季月田●ブルセラ属菌●ベネズエラウマ脳炎ウイルス●ヘンドラウイルス●リフトバレー熱ウイルス
- ●類鼻疽菌
- ●ロッキー山紅斑熱リケッチア ●SFTSウイルス
- ●MERSコロナウイルス



●病原体等の種類等について



- 厚生労働大臣へ事後届出 (7日以内)
- ■運搬の届出(公安委)



(以上18)

基準の遵守 《四種病原体等》

●インフルエンザウイルス (血清亜型がH2N2のもの

で新型インフルエンザ等 感染症の病原体を除く)

感染症の病原体を除く)
 インフルエンザウイルス(血清亜型がH5N1、H7N7、H7N9のもので新型インフルエンザ等感染症の病原体を除く)
 新型インフルエンザ等感染症の病原体
 基熱点が上のプログライン

● 黄熱ウイルス ● クリプトスポリジウム

(多剤耐性結核菌を除く) ●コレラ菌 ●志賀毒素

●腸管出血性大腸菌 ●パラチフスA菌

政令で定めるもの

●オウム病クラミジア

●デングウイルス

●日本脳炎ウイルス

のコロナウイルス (令和2年1月、中華人民共和国 から世界保健機関に対して、人 に伝染する能力を有することが

●ウエストナイルウイルス

●ベータコロナウイルス属

新たに報告されたものに限る)

●ポリオウイルス

●結核菌

●赤痢菌属



●国又は政令で定める法人のみ所持

(施設の指定が必要)、譲渡及び譲

受けが可能(痘そうウイルスは除く)

●輸入については、別途指定が必要

●運搬の届出(公安委)

●発散行為の処罰



●試験研究等の目的で厚生労

働大臣の許可を受けた場合

に、所持、輸入、譲渡し及



●病原体等に応じた施設基準、保管、使用、運搬、滅菌等の基準(厚生労働省令)の遵守

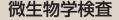
び譲受けが可能

重搬の届出(公安委)

- ●厚生労働大臣等による報告徴収、立入検査
- ●厚牛労働大臣による改善命令
- ●改善命令違反などに対する罰則







般臨床検査

採取 採取量 検体量容器 (mL) (mL) 所要 日数 実施料 判断料 コード 検査項目 検査方法 基 準 値 備 No

				尿	検	查			
	1	рН	1		試験紙法	5.0~7.5	1 1 1 1		1
	尿中	比重	 		屈折法	1.003~1.030	- 		
		ウロビリノーゲン定性	е		試験紙法	(±)	1 	1 1 1 1 1	1
0401	一般物質定性半定量検査	ビリルビン定性		₽ 100	試験紙法	(—)		:ウロビリノーゲン、ビリルビン 自動機器判定	1
0401	性半	ケトン体		e 尿10.0	試験紙法	(—)	1 1 1 1 1		2
	定量	糖定性			試験紙法	(—)	 		
	検査	蛋白定性			試験紙法	(—)			
	 	潜血反応			試験紙法	(—)	1 		1
0409	沈渣		е	尿10.0	フローサイトメトリー法 又は鏡検法		*1 *2		1 2
0402	尿糖	定量	e	尿0.5	酵素法	mg/dL 30以下	9 尿·便	蓄尿:コード0066 基準値:0.04~0.09 g/day	1 2
0498	尿蛋	白定量	e	尿0.5	ピロガロール レッド法	mg/dL 10以下	7 尿・便	 蓄尿:コード0499 基準値:20.0~120.0 mg/day	1 2
4462		白定量 7レアチニン補正》	е	尿10.0	ピロガロール レッド法	mg/g∙cr	 	尿蛋白定量および尿中クレアチ ニンを同時にご依頼ください。	1 2
0406	ベンフ	く・ジョーンズ蛋白定性 (BJP定性)	e	尿10.0	Putnum法	(—)	 	 陽性の場合には免疫学的同定 をおすすめします。	1 2

[%]1

79

当該検査の対象患者の診療を行っている保険医療機関内で実施した場合にのみ算定できる。 尿路系疾患が強く疑われる患者について、診療所が尿沈渣(鏡検法)を衛生検査所等に委託する場合であって、当該衛生検査所等が採尿後4時間以内に検査を行い、検査結果が速やかに当該診療所に報告された場合は、所定点数を算定できる。

一般臨床検査

コード No	検 査 項 目	採取容器	採取量 (mL) (mL)	検査方法	基 準 値	実施料 判断料	備考	所要 日数
-----------	---------	------	---------------------	------	-------	------------	----	----------

25	/击	+4	ᄍ
Ħ	188	Ach	72
-##	I T	17	

0415	th 60		娄庙 切长商士	塗抹法	(—)	20 尿·便	3 会別検査は反復検査が望ましい。4
0416	虫卵	1	糞便 拇指頭大	集卵法	(—)	15 尿·便	とされています。 3 4
0417	蟯虫卵 《セロファンテーブ法》	w	粘着標本	セロファンテープ 2日法	(—)	20 尿·便	1
0489	虫体鑑別	t	虫体	肉眼/鏡検		23 尿·便	検体は乾燥させないでください。 2
0486					(—)		1日法 採取方法は、N-8頁をご参照ください。
0490	便中へモグロビン (@中Hb)	h	糞便	LA	(—)	74 尿·便	2日法 採取方法は、N-8頁をご参照ください。 3
0491	·				(—)]]] 尿·便	3日法 採取方法は、N-8頁をご参照ください。
2486	便中へモグロビン《定量》	h	糞便	LA	(一) 120未満		1日法 採取方法は、N-8頁をご参照ください。 2
2490	(便中Hb)	11	共区		(一) 120未満	82 尿·便	2日法 採取方法は、N-8頁をご参照ください。
2573	アメーバ検査	専用	糞便	直接塗抹法(ヨード法)	(—)	64 微生物	容器は予めご依頼ください。 採取方法は、N-8頁をご参照ください。 4

髄 液 検 查

	髄	比重		 	屈折計法	1.005~1.007	1 		
	液	ノンネアペルト反応			ノンネアペルト反応	(—)	- 		-
0421	_	パンディ反応		髓液各0.5	パンディ反応	$(-) \sim (\pm)$	62]
0421	般	細胞数	е		Fuchs-Rosenthal法		尿・便		2
	検	細胞種類(好中球 N/リンパ球L)			ライト・ギムザ染色		- - - -	微生物学検査と併せてご依頼の 場合は、室温にてご提出ください。	- -
	查	トリプトファン反応	e	髓液1.0	里見変法	(-)			! !
0422	蛋白	定量			ピロガロールレッド法	mg/dL 10∼40	11 生化 I		1 2
0423	糖定	皇	e	髓液各0.5	酵素法	$rac{ extsf{mg/dL}}{50{\sim}75}$	11 生化 I		1
0424	クロ	ール (CI)		 	電極法	mEq/L 120∼130	l l 生化 I		1 2



精子正常形態率

			,						
コード No		検 査 項 目	採取容器	採取量 (mL) (mL)	検査方法	基 準 値	実施料 判断料	備考	所要 日数
				穿	刺液	検 査			
0.400	穿刺液	リバルタ反応			原法	(-)			
0428	穿刺液一般検査	比重			屈折計法				
0429	蛋白定	E量	e	穿刺液全量	屈折計法	g/dL	11 生化 I		1 2
0089	LD			Ż	JSCC標準化 対応法	U/L	11 生化 I		
0430	穿刺剂	支・沈渣			遠沈鏡検法			, 	
				関	節液	検 査			
0690	沈渣	・尿酸結晶	e	穿刺液全量	鏡検法		50 *1		3~5
1169	沈渣	・ピロリン酸Ca	e	穿刺液全量	鏡検法		尿・便		3~5
				籵	下 液 木	免 査			
		рН			試験紙法	7.0~8.0			
	精液一	星		(は) は	肉眼的計量	mL 2.0以上	70	 採取時間を必ず明記してくだ さい。採取後、できるだけ速	1
0431	般検査	精子濃度	k	精液全量	鏡検法		尿·便	¦ さい。採取後、ぐきるだけ速 ¦ やかに提出してください。 ¦	2
	笡	#= 7 ** ** * * * * *				%		 	

^{※1} 関節液検査については、関節水腫を有する患者であって、結晶性関節炎が疑われる者に対して実施した場合、一連につき1回に限り算定する。なお、当該検査と排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

15以上

鏡検法





採取 コード 実施料判断料 検査材料 考 検査項目 検査方法 No 容器 日数 病理組織検査 1 臓器 10%ホルマリン固定組織 ヘマトキリシンエオジン染色 病理 9901 1720 10%ホルマリン固定組織 ヘマトキリシンエオジン染色 2 臓器 病理 6 材料は、切除後直ちに指定の方法 により固定してからご提出ください。 9951 12 2580 3 臓器以上 10%ホルマリン固定組織 ヘマトキリシンエオジン染色 病理 860 手術材料 10%ホルマリン固定組織 ヘマトキリシンエオジン染色 0901 病理 細胞診検査 子宮頸管擦過 (ECスメア) 9802 膣および膣円蓋部 湿潤固定 標本部位別に1枚 150 パパニコロ染色 9801 (Vスメア) 病理 体部内膜 (EMスメア) 9803 9821 喀痰 (SP) 喀痰・湿潤固定標本 パパニコロ染色 3枚 190 4 7 吸器 気管支擦過 9822 病理 乾燥固定標本メイギムザ用 1枚 メイギムザ染色 気管支洗浄 9823 生材料の場合は冷蔵保存・提出 k YM式喀痰管に入れた喀痰 (早朝痰を3日間連続で採取) 4 190 蓄痰細胞診YM式 9826 パパニコロ染色 S 病理 胸水(PI) 9845 パパニコロ染色 湿潤固定標本 3枚 PAS染色 腹水(As) 9844 V 190 乾燥固定標本メイギムザ用 1枚 メイギムザ染色 病理 12 穿 9841 尿 刺 液 胆汁 9851 生材料の場合は冷蔵保存・提出 e その他 エストロジェン レセプター 720 陰性 10%ホルマリン固定組織 IHC法 1197 病理 14 プロジェステロン レセプター 690 陰性 10%ホルマリン固定組織 1196 IHC法 病理 7 14 690 9991 **HER2蛋白定量** 10%ホルマリン固定組織 IHC法

〈組織〉

病理



エストロジェンレセプターの免疫染色とプロジェステロンレセプターの免疫染色を同一月に実施した場合は、いずれかの主たる病理組織標本作製の所定点数及び 注に規定する加算(180点)のみを算定する。



病理組織・細胞診検査のご依頼について

- 1) 病理組織検査、細胞診検査それぞれに専用依頼書を用意していますので、ご利用ください。
- 2) 専用依頼書の記載欄には、もれなくご記入ください。
- 3) 検体は、本案内書ご参照の上ご提出ください。検体容器は、密栓され、液漏れのないものをご使用ください。

病理組織検査 材料の提出方法

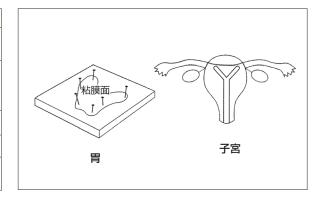
病理組織検査をご依頼の際は、検査材料を10%ホルマリン(局方ホルマリンの10倍希釈)固定組織、パラフィンブロック、未染標本スライド、 凍結組織などでご提出ください。

■10%ホルマリン固定組織

- 1)検体は採取後、自己融解・乾燥などを防ぐために、できるだけ速やかに固定してください。
- 2)検体の固定には充分量の10%ホルマリン液をご使用ください(組織の10~20倍量を目安としてください)。
- 3) 内視鏡下生検材料等の微細組織をご提出の際は、濾紙等に貼り付け、10%ホルマリン液にお入れください。
- 4) 内視鏡下生検材料等で複数個の微細組織をご提出の際は、濾紙に番号等を記入し、採取部位毎に組織片容器にお入れください。
- 5) 手術摘出検体は、提出検体より大きい広口容器(又はタッパウェアー等)に入れて提出してください。
- 6) 手術材料等の大きい組織をご提出の際は、下記図表の点に注意し、固定液が充分に浸透するように固定してください。

病理組織固定(ホルマリン固定)法

組織	固定法
胃、胆管、胆囊、等	臓器を切開後、粘膜面を上にし、板に拡げ、虫ピンなどで止めて10%ホルマリン液に入れます。
肺	気管支断端から10%ホルマリンを注入し、割面にガーゼを挟み、表面にも厚めのガーゼを掛け、10%ホルマリン液に入れます。
子宮	前面よりY字型に切開して10%ホルマリン液に入れます。
厚みのある臓器	予め割を入れてから10%ホルマリン液に入れます。
郭清リンパ節	部位番号あるいは部位名を明記し、別々の容器で固定後、 ご提出ください。 〈別々の組織片容器にて固定〉



■未染標本スライド

- 1) 患者名、検査番号等を明記し、切片が傷つかないようにしてご提出ください。
- 2) 染色時の剥離が充分考えられますので、数枚余分にご提出ください。
- 3) 酵素抗体法染色用スライドは、APS(シラン)coatingのものを使用し、37℃にて一晩乾燥後、パラフィンを融解せずにご提出ください。 酵素抗体法染色用には原則として1項目につき2枚ご用意ください。

■病理組織検査の算定について

- ・病理組織標本作製(1臓器につき)860点
- ・病理組織標本作製料について

次に挙げるものは、各区分ごとに1臓器として算定する。

ア.気管支及び肝臓 イ.食道 ウ.胃及び十二指腸 エ.小腸 オ.盲腸

カ.上行結腸、横行結腸及び下行結腸 キ.S状結腸 ク.直腸 ケ.子宮体部及び子宮頸部

- ・病理標本作製にあたって、3臓器以上の標本作製を行った場合は、3臓器を限度として算定する。
- ・病理組織標本作製に当って、免疫抗体法(蛍光抗体法、酵素抗体法)を用いた検査を行った場合は、1臓器につき1回のみ400点を算定する。
- ・確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して、標本作製を実施した場合には、所定点数に1,200点を加算する。
- ・確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者とは、原発不明癌、原発性脳腫瘍、悪性リンパ腫、悪性中皮腫、肺悪性腫瘍 (腺癌、扁平上皮癌)、消化管間質腫瘍(GIST)、慢性腎炎、内分泌腫瘍、軟部腫瘍、皮膚の血管炎、水疱症(天疱瘡、類天疱瘡等)、悪性 黒色腫、筋ジストロフィー又は筋炎が疑われる患者を指す。これらの疾患が疑われる患者であっても3種類以下の抗体で免疫染色を行った場合 は、当該加算は算定できない。



病理学検査

細胞診検査 材料の提出方法

標本の固定

固定は細胞の変性・融解などの変化を停止させる作業ですので、塗抹後直ちに固定する必要があります。 湿固定はパパニコロウ染色・PAS染色などの為の固定法で、乾燥固定はギムザ染色などの為の固定法です。 固定の良否は採取部位・方法とともに細胞診判定内容を左右する重要な因子の一つです。迅速な固定をお願いいたします。





検体採取の留意点

- ・スライドガラスにてご提出の場合、フロスト部分に鉛筆で患者名、材科名を明記してください。(マジックペン、ボールペン不可)
- ・血液や粘液をなるべく入れないでください。
- ・固定保存液は容器に示された範囲内であることを確認の上、ご提出ください。
- ・妊婦にはブラシを使用しないでください。

※ 採取器具は以下を参考にしてください。



サーベックスブラシ



エンドサーベックス ブラシ標準



エンドサーベックス ブラシSタイプ



綿棒

※特に綿棒の場合は、検体採取量が少なくなるため、 検体不適性となる場合があります。ご了承ください。

◎湿潤固定標本:パパニコロウ染色に用いられます。

〈方法〉 ①塗沫後、直ちに95%エタノールにて固定(15~30分)し、スプレー固定剤を噴霧してください。 ②スプレー固定剤のみを使用する際は、スプレー固定剤が滴る程度噴霧してください。

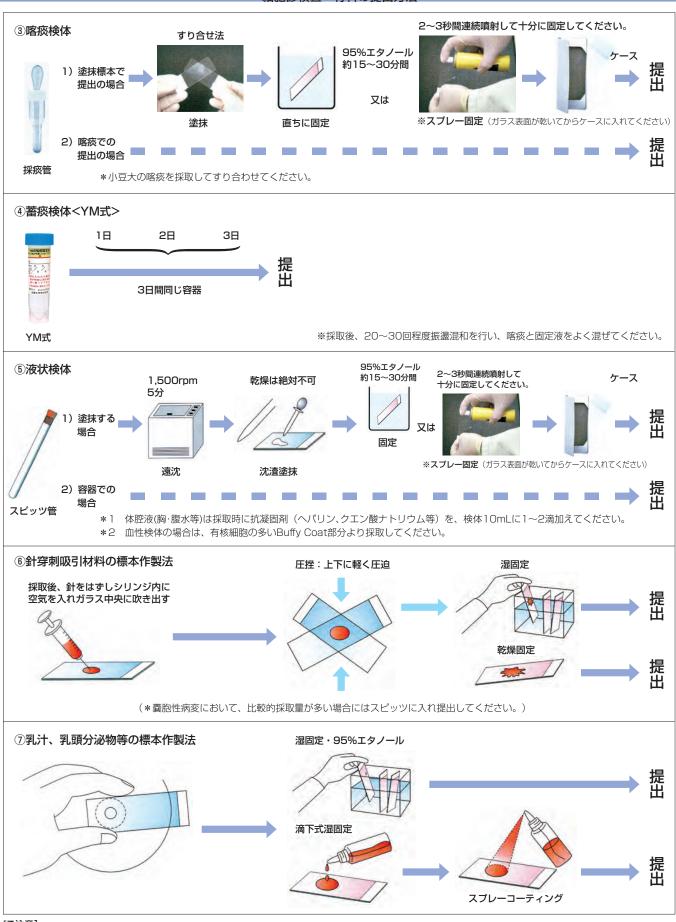








細胞診検査 材料の提出方法



[ご注意]

- ・スライドガラスにて提出の場合、フロスト部分に鉛筆で患者名、材料名を明記してください。(マジックペン、ボールペン不可)
- ◎湿潤固定標本:パパニコロウ染色に用いられます。

〈方法〉①塗沫後、直ちに95%エタノールにて固定(15~30分)し、スプレー固定剤を噴霧してください。

◎乾 燥 標 本:ギムザ染色、PAS染色等に用いられます。

(⑤⑥の材料には湿潤固定の他、必ず乾燥標本をつけて提出してください。)

〈方法〉 塗抹後、ドライヤー等の冷風にて急速に乾燥させる。 (乾燥固定)

No	検査項目	体収 容器	採取重 (mL) (mL)	検査方法	基準値	判断料	備考	日数
			新	規	項目			
			ग ।	///	<u> </u>			
					i i i		 	
			1					
			 		 	 	 	-
					 	 	 	-
							 	-
					 		 	-
					 		 	<u> </u>
								-
			 		1 		 	-
								-
					 		 	-

検査方法の概略

CF 補体結合試験

Complement Fixation Test

抗原一抗体結合物がある一定の条件のもとに補体を活性化し、免疫グロブリンのFc部分に補体を結合する現象を応用した検査方法。主にウイルス抗体の検出に用いられる最も基本的なものである。CF活性を持つのはIgGとIgMのみであるが、一般に感染後短期間のみ検出される場合が多い。ペア血清で測定するのが望ましい。

CLEIA 化学発光酵素免疫測定法

Chemiluminescent Enzyme Immuno Assay

被検物質に対する抗体を担体に固相したものに検体および酵素標識抗体を反応させ、これに化学発光基質を加える。この基質は酵素により分解され酵素量に応じて発光し、その発光量をルミノメーターで測定し定量する方法。

CLIA 化学発光免疫測定法

Chemiluminescent Immuno Assay

被検検体にアクリジニウム・エステルを標識した抗体と固相化抗体を反応させサンドイッチ法により測定する検査方法。磁気分離固相法によりB/F分離した後、専用アナライザーでアクリジニウム・エステル発光の量により定量する。

ECLIA 電気化学発光免疫測定法

Electro Chemiluminescent Immunoassay

電解反応により生成されるエネルギーによりルテニウムピリジン錯体を励起して発光させる化学発光法の一種である。被検検体に測定を目的とする物質 (A) に対する抗体を結合したビーズを反応させると、抗原抗体複合物が生成される。次にこのビーズを洗浄し、ビーズに結合した (A) にルテニウム標識抗体を反応させるとサンドイッチ状の複合物が形成される。さらにビーズを洗浄し電極上にて電気エネルギーを加えるとビーズに結合したルテニウム標識抗体量に応じてルテニウム錯体が発光する。この発光量は (A) の量と相関するので検量線により濃度を読み取る。

EIA 酵素免疫測定法

Enzyme Immuno Assay

抗原または抗体に被検検体を反応させた抗原抗体複合物に酵素標識抗体を加え反応させた後、その酵素に対する基質を添加し発色させ、その吸光度により比色定量するものである。競合法と非競合法に大別され、広く各種ホルモン、ウイルス抗原・抗体価、薬物濃度などの測定に用いられる。標識酵素にはペルオキシダーゼやアルカリフォスファターゼなどが用いられている。

ELISA 酵素免疫測定法

Enzyme-Linked Immunosorbent Assay

固相化した抗体に対して抗原を反応させた後、酵素標識した抗体を抗原に 2次反応させ、発色基質を加えて酵素活性を測定する方法。

FA 蛍光抗体法

Fluorescent Antibody Method

目的とする抗原に対して、蛍光色素で標識した抗体を用いて抗原抗体反応を行い、蛍光顕微鏡下で蛍光強度を測定する方法。蛍光色素で標識した抗体を直接反応させる直接法と、抗原に対して抗体を反応させた後、蛍光色素で標識した抗体を2次反応させる間接法がある。

FAT 蛍光抗体法

Fluorescent Antibody Test

抗原または抗体を測定する場合にFITCなどの蛍光色素を標識し抗原と抗体を反応させ蛍光顕微鏡下で観察すると特異的な蛍光が見られ、これにより判定する。抗体(抗原)に蛍光色素を直接結合させる直接法と抗原抗体反応させた後、さらに抗血清に蛍光色素を反応させる間接法がある。

FEIA 蛍光酵素免疫測定法

Fluoroenzyme Immuno Assay

EIA法の一つである。主にアレルゲン特異的IgE抗体を測定するのに用いられ、酵素を標識として用い測定対象のアレルゲン(抗原)を被検検体に入れ、抗原抗体反応により酵素が基質に反応する。その際に発する蛍光の強度により検量線より濃度を測定する。

FISH 蛍光 in situ ハイブリダイゼーション

Fluorescence in situ hybridization

蛍光色素で標識したプローブを用いて標的DNAとハイブリダイゼーションを行い、特定の波長で発色させた蛍光部位を染色体上のシグナルとして蛍光顕微鏡下で検出する方法。蛍光色素で標識したプローブと標的DNAを直接結合させる直接法と、標識物質で標識したプローブと標的DNAを結合させた後に、標識プローブと蛍光物質を結合させて発色させる間接法がある。

FPIA 蛍光偏光免疫測定法

Fluorescence Polarization Immuno Assay

血中薬剤濃度のような比較的分子量の小さい物質の測定に用いられる。試料中の測定物質と一定量の蛍光標識標準物質が、一定量のこの標準物質の抗体と競合する。 この抗原一抗体反応と、蛍光偏光度との関係から検量線を用いて濃度を求める。

GC ガスクロマトグラフィー

Gas Chromatography

固定相としてキャピラリーカラムを用い、測定試料が移動相(キャリアーガス)にのって流動する間に溶解性の差によって分離・同定される。充填剤は測定試料の構造により無極性型、極性型があり、検出器には電子捕獲検出器(ECD)、水素炎イオン化検出器(FID)、熱伝導度検出器(TCD)などが用いられている。

GC-MS ガスクロマトグラフィー・マススペクトロメトリー

Gas Chromatography-Mas Spectrometry

マススペクトロメトリー(質量分析:MS)は測定試料を気化しイオン化した後、高電圧で加速し、これを磁場に導き、ここで得られたイオン化した物質のエネルギー分布や電荷分布の違いによる特異的なスペクトルを解析することにより化合物の同定、定量、構造解析が行われる。GC-MSはこのMSにガスクロマトグラフィーを組み合わせたものである。

HA 赤血球凝集反応

Hemagglutination

赤血球の表面抗原と抗体を反応させ、抗原抗体反応による凝集の有無により抗体の存在を判定する方法。

HI 赤血球凝集抑制試験

Hemagglutination Inhibition Test

一般にウイルスは動物の赤血球を凝集する性質を持っており、ウイルス抗原が対応する抗体と結合し抗原抗体反応を起こすと赤血球凝集能が抑制される。この性質を利用してウイルス抗原を被検検体と反応させ、これに赤血球を加え反応させ、どの希釈倍率まで凝集が抑制されたかにより抗体価を判定する。

HPLC 高速液体クロマトグラフィー

High Performance Liquid Chromatography

微細な球体のシリカやイオン交換樹脂、疎水性のアルキル基、親水基をもったシリカゲルなどを充填したカラムを用いて試料中の測定物質を分離し、光学的方法や電気的な検出方法によりその測定物質を検出し、得られたクロマトグラムからピーク高やピーク面積により定量化する。

ICA イムノクロマトグラフィー法

Immunochromatography Assay

液体をニトロセルロース膜に滴下すると毛細管現象により膜上を移動する性質を利用した免疫学的測定法である。液状検体中の標的物質が膜を移動する過程でまず色素標識抗体に結合させ、さらに膜に固相化した抗体で抗原・抗体複合体を補捉する。こうして形成されたサンドイッチ複合体(色素標識抗体一抗原一固相化抗体)は抗体固相化地点で呈色することになるため、目視にて確認することができる。

IFA 間接蛍光抗体法

Indirect Fluorescent Antibody method

目的とする抗原に対して、蛍光色素で標識した抗体を用いて抗原抗体反応を行い、蛍光顕微鏡下で蛍光強度を測定する方法。蛍光色素で標識した抗体を直接反応させる直接法と、抗原に対して抗体を反応させた後、蛍光色素で標識した抗体を2次反応させる間接法がある。

IR 赤外吸収スペクトロメトリー

Infrared Absorption Spectrometry

分子は各々固有の振動をしているので、測定試料に照射する赤外線の波長を連続的に変化させていくと、試料の分子の固有振動周波数と同じ周波数の赤外線が吸収されて、その分子構造に応じた固有の振動スペクトルを得ることができる。その物質の赤外吸収波数を測定することにより試料の定性・定量分析を行なう方法である。

IRMA 免疫放射定量法

Immunoradiometric Assay

RIA法(ラジオイムノアッセイ)の一つで、非競合的な反応に基づくものをいい、一般のRIA法より特異性が高いといわれる。測定を目的とする抗原に標識抗体を加えると抗原と標識抗体が結合した抗原・抗体複合物ができるが、その放射活性により検量線から濃度を読み取る。最近では2抗体法以外の方法をIRMAと呼ぶことがある。

検査方法の概略

KIMS

Kinetic Interaction of Microparticles in a Solution

抗原または抗体を結合させたマイクロパーティクルを用いて抗原抗体反応を行い、抗原抗体反応による凝集の濁度を、光を照射させて透過率から測定する方法。

LA ラテックス凝集法・ラテックス凝集比濁法

Latex agglutination

測定を目的とする抗原に対する抗体をラテックス粒子に結合させ、これに 被検検体を反応させると陽性の場合に抗原抗体反応によりラテックス粒子 が凝集する性質を利用し、目的物質を測定する。

LAMP

Loop-Mediated Isothermal Amplification

標的遺伝子の配列から6つの領域に対して4種類のプライマーを設定し、 鎖置換反応を利用して一定温度で反応させる方法。

LC-MS/MS 液体クロマトグラフィータンデム四重極型質量分析法

Liquid chromatography tandem mass spectrometry

LC/MS/MSは高速液体クロマトグラフ(HPLC)と質量分析計(MS)を2段結合させた装置。試料をHPLCにより分離し、1台目のMSでイオン化させ質量毎に分離(ブリカーサーイオン)する。これを不活性ガスと衝突させ、1台目のMSで選択したイオンから生じた2次的イオン(プロダクトイオン)を2段目のMSで計測する。2回の質量分離を行うため高い分離能と特異性が得られるため、試料中の夾雑成分の影響を受けにくく信頼性の高い正確な定量を行うことができる。

LPIA ラテックス近赤外比濁法

Latex Photometric Immuno Assay

測定を目的とする抗原に対する抗体をラテックス粒子に結合させ、これに 被検検体を反応させると抗原抗体反応により凝集し濁度が変化する。これ に赤外線を当てその透過度により定量する方法である。

MPHA 混合受身赤血球凝集試験

Mixed Passive Hemagglutination Test

プレートのような担体に測定対象となる抗体に対する抗原を固相する。それに被検検体を加え一定時間反応させ、プレートを洗浄し指示血球を滴下し、一定時間後に受身赤血球凝集反応と同様の基準で判定を行なう。

NT 中和試験

Neutralization Test

ウイルス抗体価の測定によく用いられる。被検検体を段階希釈しウイルスを添加、混合し検体中の抗体と抗原抗体反応を起こさせ、そのウイルスに感受性のある細胞に接種して一定期間培養を行なう。中和抗体が存在するとウイルスが中和され細胞変性効果(CPE)が起こらず、その最大希釈倍率を抗体価とする。最も特異性の高い抗体価測定法である。

PA 粒子凝集試験

Particle Agglutination Test

ゼラチン粒子などの担体に検出を目的とする抗体に対する抗原を結合させ、これと被検検体を反応させると、抗体が陽性の場合にはゼラチン粒子が凝集する。

PCR ポリメラーゼ連鎖反応

Polymerase Chain Reaction

DNAの断片を増幅する方法である。目的とする領域のDNAを増幅するために、まず加熱し変性させ一本鎖DNAにする。次に2種のプライマーを混合させ適当な温度条件でアニールさせると各々のプライマーは変性したDNAと相補性のある塩基で対を形成し、DNAポリメラーゼの反応により鎖が伸長し、最初のDNA部分の鎖は1回だけ増幅される。このプロセスを数十回繰り返していくと数百塩基対から数干塩基対のDNA断片のコピーをほぼ無限大に得ることができる。RNAを増幅する場合は逆転写酵素(reverse transcriptase; RT)によりcDNAに転換して増幅する。

PHA 受身赤血球凝集試験

Passive Hemagglutination Test

動物の赤血球に検出を目的とする抗体に対する抗原を結合させ、これに被 検検体を反応させる。凝集が起これば陽性である。

REA

Radioenzymatic Assay

標的物質の有する酵素活性を放射性アイソトープ標識基質を用いて測定するものである。検体とアイソトープ標識基質を反応させ、その反応生成物量を放射活性より測定する。予め標準品を用いて作成した検量線から標的物質の活性を求めることができる。

RIA 放射性免疫測定法

Radio Immuno Assay

測定を目的とする抗原に対する抗体を用いて、被検検体に抗体を加え抗原 抗体反応を起こさせた後、さらにラジオアイソトープ(主に¹²⁵I)で標識 した抗体を入れて、複合体を形成した標識物(bound)と未反応物 (free)を分離(B·F分離)し、放射活性を測定してB/Fの比率を求め て検量線から濃度を測定する。一般に二抗体法のような競合反応以外の方 法を、IRMAと呼んでいる。

RRA ラジオレセプターアッセイ

Radio Receptor Assay

ホルモンやビタミンDなどはそのレセプターと結合することで活性を持つが、その性質を応用して通常の抗原・抗体反応と同じ様に、測定を目的とする物質にレセプターを結合させ、その反応性により目的物質を定量する方法である。

RT-PCR

Reverse Transcriptase-Polymerase Chain Reaction

RNAが増幅対象の場合に、RNAを鋳型として逆転写酵素 (reverse transcriptase: RT) により相補的なcDNAを合成してPCRを行う方法。

Scorpion-ARMS法

変異を特異的に増幅する「ARMS」と増幅された変異をシグナルに変える「Scorpions」の2種類の技術を組み合わせた新しい高感度リアルタイムPCRです。

SRID 免疫拡散法

Single Radial Immunodiffusion

ある特定の抗原量や抗体価を測定する場合に、それに対応する抗体や抗原が入ったゲルを用いた免疫拡散板に検体をスポットし、ゲル内沈降反応により生じた沈降線の直径により被検物質の濃度を定量する。二重免疫拡散法は沈降線の交差により判定する。

TIA 免疫比濁法

Turbidimetric Immuno Assay

被検検体中の測定目的物質に対応する抗体を検体に加えると抗原抗体反応により、抗原抗体複合物が生成される。この複合物の濁度は被検物質の抗原量と相関するため、この濁度を測定し既知濃度標準物質により作成された検量線により濃度を測定する。

TMA

Transcription Mediated Amplification

2種類の酵素と2種類のプライマーおよび基質を用いてRNAを増幅する方法。抽出したRNAから逆転写酵素により2本鎖DNAを合成し、この2本鎖DNAを鋳型としてRNAポリメラーゼの逆転写反応によりRNAを合成することを繰り返し、目的とするRNA領域を増幅させる。

UV 紫外部吸光光度分析

Ultraviolet absorption Spectrophotometry

通常、比色法は可視部波長を用いて吸光度により測定するが、補酵素がNADHやNADPHの場合は波長が340nm付近の紫外部に最大吸収を持つので、これらの補酵素が反応系に関与する場合はUV法が用いられる。

51Cr遊離法

非自己細胞(癌細胞、感染細胞など)に対するリンパ系細胞の障害活性を調べる目的で、標的細胞(Target cell:K562,Raji Chang Liver などの培養株化細胞やニワトリの赤血球など)を放射性の51Crで標識し、これに被検細胞(effector cell)または抗体系を加えて培養し、障害によって標的細胞から遊離する51Cr放射活性を測定する。全放射活性に対する遊離放射活性の比をもって障害活性のインデックスとする。

3H-サイミジン取り込み能

³H-TdB uptake

リンパ球が非自己抗原による刺激に反応して芽球化する現象を利用した方法。リンパ球に刺激物質と3H-サイミジンを加えて培養し、DNA合成により3H-サイミジンが細胞に取り込まれる量を放射活性として測定する。刺激物質にはPHA, ConA, 薬剤などが用いられる。

検査方法の概略

ラインブロット法

Line immunoassev

抗原をメンブレン上に点着し、その抗原に対する特異的抗体を反応させた後、酵素で標識した抗体を、2次反応させて抗体の検出を行う方法。

液相(核酸)ハイブリダイゼーション

液相中でrRNAを遊離させ、化学発光物質で標識したDNAプローブを用いてハイブリダイゼーションを行い、ハイブリッドを分離剤に吸着させた後、化学発光により検出する方法。

オクタロニー法

Ouchterlony method

平板内二重免疫拡散法と呼ばれるゲル内拡散法の1つ。ゲル内で抗体と抗原を拡散させ、抗原抗体反応により形成された沈降線の数や反応性の有無から、抗原と抗体の反応を確認する方法。

凝固時間法(PT法、APTT法)

測定対象となる因子の欠乏血漿とトロンボプラスチン、アクチン、塩化カルシウムを加え、凝固するまでの時間を測定する方法。

合成基質法

検体に発色性合成基質と一定濃度のプラスミン又は、過剰のヘパリンを加えそれぞれの複合体を形成させる。その後残存プラスミン残存トロンビンが、基質に反応しp-ニトロアニリンを遊離してくる。それぞれの残存活性は被検血漿中のα2-プラスミンインヒビターや、アンチトロンビンⅢの活性を反映するので遊離したp-ニトロアニリンを波長405nmで比色定量することによりそれぞれの活性を求める。

酵素法

Enzymatic method

酵素反応を利用して目的とする物質を定量する方法で、終点測定法 (end poit assay) と初速度測定法 (rate assay) とがある。終点測定法は、酵素反応が平衡状態に達した時点、すなわち反応がみかけ上完結した時点での最終生成物などを測定する方法で、初速度測定法は、反応速度、すなわち単位時間当たりの基質の減少または生成物の増加などを測定する方法である。

サザンブロットハイブリダイゼーション

Southern blot hybridization

制限酵素で消化したDNAを電気泳動により分画し、1本鎖DNAに変性後、毛細管現象を利用してナイロンメンブレンに転写して、標的プローブとハイブリダイゼーションを行い、目的の遺伝子を検出する方法。DNAの量的、質的変化の異常を解析する場合に用いられる。

試験紙法

試験紙を用いて、試料を浸し試薬と化学反応、pHの変化等による色調の変化を目視または特定波長の光を試験紙にあて、それからの反射光の強さを既知濃度物質の反射光と比較して濃度を半定量的に求める。

電気泳動法

荷電粒子の浮遊する電解質溶液に通電すると、粒子は各粒子の荷電と逆の極側に移動する現象を利用し、移動度から目的の物質を測定する方法。水溶液支持体にはセルロースアセテート膜、アガロースゲル、ポリアクリルアミドゲルなどが用いられる。

雷極法

Electrode method

主に電解質などの測定に利用される検査方法。イオン選択電極を用いて電気化学的に測定するもので、選択されるイオンの量に対数比例する強度の電位を発生し、この電位を測定することによりイオン濃度を測定する。

ネフェロメトリー法

Nephelometry

抗原抗体反応による混濁物に光を照射させ、光の散乱強度を測定する方法。

比色法

Colorimetry

溶液の色の濃さを標準液の色の濃さと比較して溶液濃度を求める方法で、最も簡単な方法は肉眼で比較する方法である。しかし、通常は、溶液の吸光度はその濃度と液層の幅に比例するというランベルトベーアの法則(Lambert-Beer law)にもとづき、光電光度計を用いて試料溶液の吸光度を測定し、標準液の吸光度と比較することによって測定値を求める。溶液が無色の場合は、発光試薬を加えるか、目にみえない紫外線や赤外線の吸収を調べる。

比濁法

Turbidimetry

沈殿(混濁)反応を呈する物質の測定法のひとつ。反応液の濁りの度合い(濁度)を測って溶液中に浮遊するサスペンジョンの濃度を求める分析法。

比濁時間分析法

Turbidimetric Time Assay

エンドトキシン測定法の一つ、エンドトキシンの存在下にカブトガニ血液 抽出物中の凝固成分であるファクターC、ファクターB、凝固酵素 (clotting enzyme) 前駆体、およびコアグローゲン(coagulogen)が 段階的に活性化され、最終的に生成したコアグリン(coagulin)がゲル 化する性質を利用したものである。ここでゲル形成に要する時間は反応初発時のエンドトキシン量の2回対数に反比例することから、ゲル化時間を 測定すれば、検体中のエンドトキシン量を求めることができる。

フローサイトメトリー

Flow cytometry

蛍光色素で標識したモノクローナル抗体で染色した細胞を高速度で流しながらレーザー光を照射し、前方散乱光(細胞の大きさ)や90°散乱光(細胞の内部構造)と蛍光強度(細胞表面の対応抗原)から個々の細胞を解析する方法。2種類の蛍光色素を用いて二重染色を行い解析する場合はTwo-colorフローサイトメトリーと呼ばれる。

免疫電気泳動法

Immunoelectrophoresis

電気泳動を行う際に支持体として用いるゲルの中に抗血清(抗体)を入れることにより、検体中の蛋白質を解析する検査。抗ヒト全血清を用いた検査では数十種類のヒト血清蛋白の観察が可能であり、抗ヒト特異血清を用いた検査では単クローンの免疫グロブリンが認められるM-蛋白血症の診断に有用である。泳動を行う際に用いる支持体にはセルロース・アセテート膜やアガロース(寒天)ゲル、比較的分離能が良いとされるポリアクリルアミドゲル(PAGE)などがある。

免疫電気泳動法(免疫固定法)

Immunofixation/Electrophoresis

免疫固定電気泳動法はアガロース支持体を用いた蛋白の電気泳動と免疫沈降反応を組み合わせた検査方法である。支持体上に検体を塗布し、電気泳動により蛋白成分を分離させ、さらに特異抗血清($\lg G,A,M,D,E,\kappa,\lambda$)による免疫沈降反応を応用することで反応生成物を支持体中に固定する。反応を起こした複合体は蛋白染色により明瞭なバンドとして観察することができる。

リアルタイムPCR

PCR法を基本原理とする核酸増幅法の一種であり、分解により蛍光を発するオリゴヌクレオチドを利用することにより、PCRサイクルごとに蛍光シグナルを確認することでリアルタイムにターゲット核酸の定量が可能となる測定方法。

期間

検体の安定性

検査項目

検査項目 期間 生化学検査 冷蔵4週

生化字模食	
総蛋白	冷蔵4週
アルブミン	冷蔵4週
蛋白分画	
総ビリルビン	
直接ビリルビン	冷蔵1週
アルカリフォスファターゼ	冷蔵1週
AST	冷蔵1週
ALT	冷蔵1週
乳酸脱水素酵素	冷蔵2日
γ-グルタミルトランスペプチダーゼ	冷蔵2週
コリンエステラーゼ	冷蔵2週
ロイシンアミノペプチダーゼ	冷蔵2週
クレアチンキナーゼ	冷蔵1週
総コレステロール	冷蔵1週
中性脂肪	冷蔵1週
HDLコレステロール	冷蔵1週
LDLコレステロール	冷蔵1週
尿素窒素	冷蔵1週
クレアチニン	冷蔵1週
尿酸	冷蔵2週
アミラーゼ	冷蔵2週
ナトリウム	冷蔵2週
カリウム	冷蔵2週
クロール	冷蔵2週
カルシウム	冷蔵1週
無機リン	冷蔵1週
鉄	冷蔵1週
不飽和鉄結合能	冷蔵2週
血糖	冷蔵1週
アポ蛋白	冷蔵2~3日
リパーゼ	冷蔵2週
LDアイソザイム	室温3日
CK-MB	冷蔵4日
CKアイソザイム	凍結1週
浸透圧	冷蔵5日
ALPアイソザイム	冷蔵5日

腫瘍関連検査

α -フェトプロテイン(AFP)	冷蔵2週
癌胎児性抗原(CEA)	冷蔵2週
CA19-9	冷蔵2週
CA125	冷蔵1週
前立腺特異抗原(PSA)	冷蔵2週
神経特異エノラーゼ(NSE)	冷蔵3日

内分泌検査

期間

黄体形成ホルモン(LH)	冷蔵1週
卵胞刺激ホルモン(FSH)	冷蔵1週
プロラクチン(PRL)	冷蔵1週
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	冷蔵1週
トリヨードサイロニン (T3)	冷蔵1週
遊離トリヨードサイロニン(FT3)	冷蔵1週
総サイロキシン (T4)	冷蔵1週
遊離サイロキシン(FT4)	冷蔵1週
サイログロブリン (Tg)	冷蔵1週
カルシトニン(CT)	凍結4週
血漿レニン活性(PRA)	凍結2週
コルチゾール	冷蔵1週
カテコールアミン3分画	凍結10日
バニルマンデル酸〈蓄尿〉	冷蔵4週
ホモバニリン酸〈蓄尿〉	冷蔵4週
インスリン(IRI)	冷蔵2週
C-ペプチド (CPR)	凍結2週
ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG)	凍結4週
HCGβサブユニット	冷蔵4週
テストステロン	冷蔵2週
ヒト心房性Na利尿ポリペプチド(hANP)	凍結4週

薬物検査

フェニトイン	冷蔵1週
フェノバルビタール	冷蔵1週
カルバマゼピン	冷蔵1週
バルプロ酸ナトリウム	冷蔵1週
エトスクシミド	冷蔵1週
ジゴキシン	冷蔵1週
テオフィリン	冷蔵1週

ウイルス学検査

IgM·HA抗体	冷蔵1週
HBs抗原	冷蔵1週
HBs抗体	冷蔵1週
HBe抗原	冷蔵1週
HBe抗体	冷蔵1週
HBc抗体 (CLIA)	冷蔵1週
IgM·HBc抗体	冷蔵1週
HTLV-I 抗体	冷蔵1週
ウイルス抗体価(HI)	冷蔵2週
ウイルス抗体価(CF)	冷蔵2週

検査項目

免疫血清学検査	
ASO	冷蔵2週
トキソプラズマ抗体	冷蔵2週
マイコプラズマ抗体	冷蔵2週
梅毒検査·RPR	冷蔵1週
梅毒検査·TP抗体	冷蔵1週
FTA-ABS	冷蔵1週
CRP	冷蔵1週
プレアルブミン	冷蔵1週
α₂マクログロブリン	冷蔵2週
トランスフェリン	冷蔵1週
フェリチン	冷蔵2週
血清補体価	凍結4週
C3	冷蔵1週
C4	冷蔵1週
リウマトイド因子	冷蔵2週
抗核抗体	冷蔵2週
抗DNA抗体(RIA)	冷蔵2週
抗ミトコンドリア抗体	冷蔵2週
免疫電気泳動(特異抗血清)	凍結3週
免疫グロブリン	冷蔵2週
非特異的IgE	冷蔵2週
特異的IgE	冷蔵2週

血液学検査

プロトロンビン時間(PT)	凍結1週
フィブリノーゲン(FIB)	凍結1週
活性化部分トロンボプラスチン(APTT)	凍結1週
アンチトロンビン(AT)	凍結1週
プラスミノーゲン(PLG)	凍結1週
FDP	冷蔵1日
Dダイマー	冷蔵1日

健診判定基準

健診検査項目の健診判定値

		データ					
番号	項目名	保健指導判定値	受診勧奨判定値	単位			
1	血 圧(収縮期)	130	140	mmHg			
2	血 圧(拡張期)	85	90	mmHg			
3	中性脂肪	150	300	mg/dL			
4	HDL-コレステロール	34	mg/dL				
5	LDL-コレステロール	120 140					
6	空腹時血糖	· 自由特 100 126					
7	HbA1c	5.2	6.1	%			
8	AST(GOT)	AST(GOT) 31 51					
9	ALT(GPT)	ALT(GPT) 31 51					
10	γ-GT(γ-GTP)	101	U/L				
11	血色素量 [ヘモグロビン値]	13.0(男性) 12.0(女性)	12.0(男性) 11.0(女性)	g/dL			

メタボリックシンドロームの診断基準

内臓脂肪の蓄積									
ウエス	卜周囲径	男性≧85cm 女性≧90cm							
(内臓脂肪面積	男女とも	に ≧100cm ² に相当)							



血糖値	空腹時高血糖	≧110mg/dL
血圧	収縮期(最大)血圧 かつ/または	≥130mmHg
	拡張期(最小)血圧	≥ 85mmHg
血清脂質	中性脂肪 かつ/または	≧150mg/dL
	HDLコレステロール	< 40mg/dL

※上記3項目のうち、いずれか2項目以上があてはまる場合。

^{※1~2}のデータ基準については日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン」に基づく。 ※3~5のデータ基準については日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患診療ガイドライン」及び「老人保健法による健康診査マニュアル」に基づく。 ※6~7については日本糖尿病学会「糖尿病治療ガイド」等の各判定基準に基づく。 ※8~10のデータ基準については日本消化器病学会肝機能研究班意見書に基づく。 ※11のデータ基準については、WHOの貧血の判定基準、人間ドック学会作成の「人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン」のデータ等に基づく。

汎用容器

- ●容量 8.5mL
- ●分離剤
- ●室温
- ●容器に表示
- ●生化学検査一般 血清学検査一般 ウイルス学検査一般

汎用容器



- ●容量 9mL
- ●室温
- 18ヶ月
- ●不規則性抗体 血液型不適合 間接クームス クロスマッチ

EDTA容器



- ●容量 7ml
- ●EDTA-2Na
- ●室温
- ●容器に表示
- 血漿レニン活性 カテコールアミン3分画 ACTH アンジオテンシン [・] サイクリックAMP BNP

血糖·HbA1c用容器



●血糖 HbA1c

血液学容器



- ●採取量 2mL
- ●EDTA-2K
- ●室温
- ●容器に表示
- ●末梢血液一般検査 血液像

血沈用容器



- ●採取量 1.6mL
- クエン酸ナトリウム
- ●室温
- ●容器に表示
- ●血沈

血液凝固容器



- ●採取量 1.8mL
- ●3.2%クエン 酸ナトリウム
- ●室温
- ●容器に表示
- 凝固因子活性 Dダイマー TAT PT **APTT** ΑТ

ヘパリン容器

- ●容量 9mL
- ●ヘパリンナトリ ウム
- ●室温
- 18ヶ月
- ●アミノ酸分画 微量金属 染色体

乳酸・ピルビン酸用容器



- ●採取量 1mL
- ●除蛋白液1mL 0.8N過塩素酸
- ●冷蔵
- ●容器に表示
- ●乳酸 ピルビン酸

エンドトキシン用容器



- ●採取量 3mL
- ●ヘパリンナトリウム
- ●室温
- ●容器に表示
- ●エンドトキシン定量 (1→3)-β-D-グルカン

PA-IgG用容器

- ●容量 8mL ●保存液
- ●室温
- 容器・外袋に表示
- ●PA-lgG

ビタミンC用容器

氏名 鰤

2022.04.27 10513

- ●採取量 血清0.5mL ●0.8N過塩素酸
- ●冷蔵
- ●容器に表示
- ●ビタミンC

アンモニア用容器



- ●採取量 1mL
- ●除蛋白液(4mL)
- ●冷蔵
- 容器に表示
- ●血中アンモニア



NK細胞活性用容器 U

- ●採取量 5mL
- ●保存液 0.7mL
- ●冷蔵 ●容器・外袋に表示

遺伝子関連用容器



- (アルミシート開封後1ヶ月)
- ●NK細胞活性



- ●容量 5mL
- ●RPMI-1640 **FBS** 硫酸カナマイシン ノボヘパリンNa 炭酸水素Na **HEPES**
- ●凍結
- 色が薄いピンク の状態で使用 容器に表示
- 免疫グロブリンH鎖L鎖 T細胞レセプター 血液疾患染色体



- ●採取量 3mL
 - ●凝固促進剤
 - ●室温
 - -1年
 - ●亜鉛 アルミニウム マンガン ニッケル







組織片容器



●宰温

●病理組織検査

レセプター用容器



| 菌 済

●宰温

●免疫関連遺伝子 癌関連遺伝子

プレパラート





蟯虫卵検査専用テ

●室温

-3年

●蟯虫卵検査



好気用レズンボトル



●採取量 3~10mL

●遮光、室温 -9ヶ月

●好気性菌培養同定 真菌培養同定



●採取量 3~10mL ●遮光、室温 -9ヶ月

●嫌気性菌培養同定

嫌気用レズンボトル 01 癌胎性フィブロネクチン用容器 02



●室温

外袋に表示

■頸管膣分泌液中 癌胎児性フィブ ロネクチン



顆粒球エラスターゼ用容器

●抽出液

●冷蔵

外袋に表示

●子宮頸管粘液中顆 粒球エラスターゼ

HP培地

材料位置







PCR専用容器



●採取量 5mL

●分離剤 ●室温

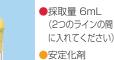
-1年

●HIV抗原・抗体

尿中ミオグロビン用容器 08

目・氏名・施設

22年 01月



●室温

●容器に表示

●ミオグロビン〈尿〉



●採取量 5mL

●BSA、防腐剤 色素

●遮光、室温

容器に表示

●尿中NMP22

09 HSV抗原容器



外袋に表示

●単純ヘルペスウ イルス特異抗原



ウイルス分離同定用容器 12



●冷蔵

●容器に表示

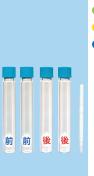
●水痘・帯状ヘル ペスウイルス抗 原・単純ヘルペ スウイルス抗原

※提出の際ご連絡 ください



●室温

●尿素呼気試験 (ユービット)



呼気採取バッグ 13 ピロニック 胛気採取チューブ ●遮光、室温

-1年

●尿素呼気試験 (ピロニック)

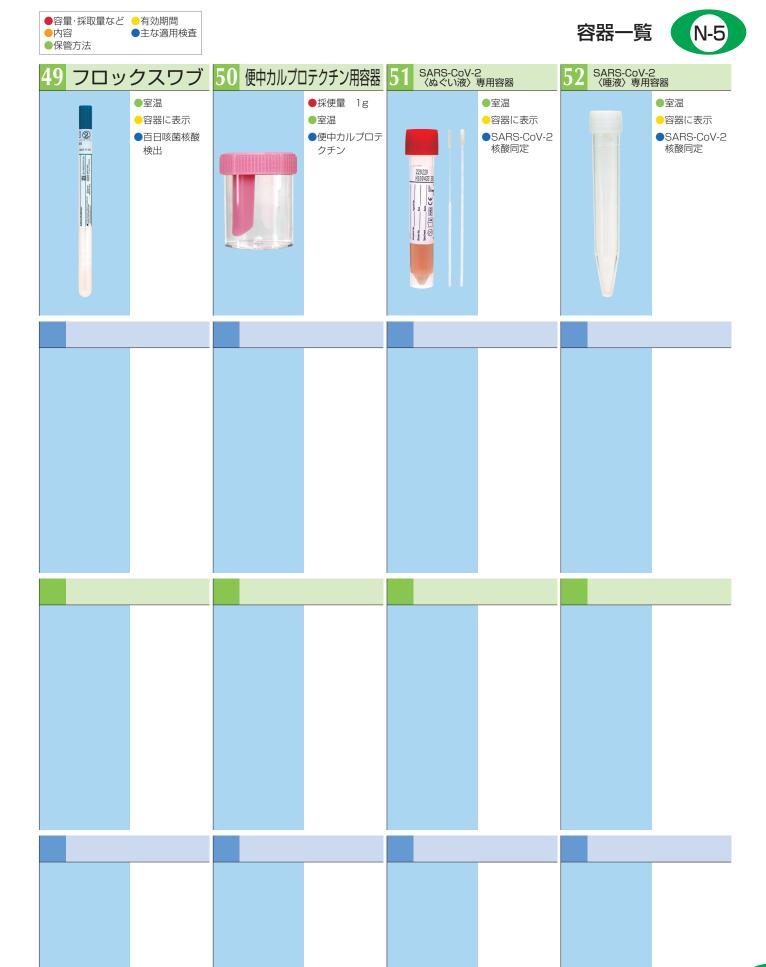






尿中FDP用容器 血液型専用容器 (中へリコバクターピロリ専用器 20 尿・金属分析用容器 21) ●採取量 2mL ●安定化剤 ●室温 ●採取量 2mL OF ELLIPSING ●EDTA-2K ●室温 容器に表示 ●抗プラスミン剤 ●室温 ●容器に表示 ●尿中微量金属 ●室温 ●便中へリコバク ●容器に表示 - 外袋に表示 血型 ター・ピロリ抗 ●FDP〈尿〉 ●血液型 TO M 氏名(No.) ニプロ株式会 尿中Ⅳ型コラーゲン用容器 25 ノロウイルス抗原専用容器 31 HBV·HCV専用容器 33 ノロウイルスRNA専用容器 ●採取量 5mL ●採取量 1.0g ●採取量 5mL ●室温 1.5M Tris-HCI ●室温 ●凝固促進剤 外袋に表示 ●室温 ●ノロウイルス抗 ●室温 ●ノロウイルス 原《EIA》 RNAマルチ ●容器に表示 -1年 ●HBV-DNA定量/ ■尿中IV型コラー ゲン リアルタイムPCR HCV-RNA定量/ リアルタイムPCR 遮光容器(血液・ヘパリン) 44 HIV-1専用容器 アプロチニン容器 ●採取量 8mL ●容量 5mL ●採取量 2mL ●EDTA-2K ●ヘパリンNa ●EDTA-2Na 7141APCE ●室温 ●室温 アプロチニン -1年 -2年 ●室温 栓厳 ●HIV-1RNA定量/ ●赤血球プロトポルフィリン -1年 コプロポルフィリン リアルタイムPCR hANP 遮光容器 (血液・EDTA) 48 結核菌FN-γ (ELISPOT法) 用容器 クラミジア・淋菌(リアルタイム PCR)用容器(尿、うがい液用) クラミジア・淋菌(リアルタイム PCR)用容器(子宮頸部擦過物用) 46 ●採取量 10mL ●塩酸グアニジン ●採取量 ●容量 4mL 4.5~6.3mL ●EDTA-2Na ●ヘパリンNa ●室温 USPOT法 ●塩酸グアニジン - 容器に表示 ●室温 ●室温 ●室温 ●クラミジア・ト -1年 -2年 ラコーマチス/ - 容器に表示 ●ビタミンB₁ ●結核菌IFN- y E N リアルタイム ●クラミジア・ト ビタミンB2 SPOT数 PCR〈子宮頸 ラコーマチス/ 《ELISPOT法》 部擦過物用〉 リアルタイム 淋菌/リアルタ PCR〈尿、う イムPCR〈子 がい液用〉 宮頸部擦過物 淋菌/リアルタ 用〉 イムPCR〈尿、 うがい液用〉





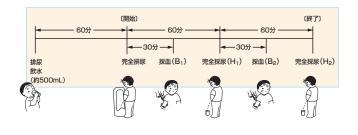


クレアチニン・尿素クリアランス

- 1.排尿後、微温水約500mLを飲ませてください。
- 2.60分後に完全排尿させ、時刻を記録する。 (試験開始)
- 3.試験開始30分後、採血する。(B1)
- 4.試験開始60分後、完全採尿し、尿量測定後一部を出検。 (H1)
- 5.1回目採尿30分後、採血する。(B2)
- 6.1回目採尿60分後、完全採尿し、尿量測定後一部を出検。(H2)
- ※被検者は空腹状態とし、試験が終了するまで安静平臥を保ってください。 不完全排尿は測定誤差の原因となりますので、必ず完全排尿させてください。 採血時間、採尿時間、尿量、身長、体重の記録とともに提出してください。

クレアチニンクリアランス(24時間)

- 1.一定時刻に完全排尿させてこれを捨て、以後の尿を翌日同時刻まで冷所に蓄尿する。
- 2.混和後、蓄尿量を測定し、その一部 (5.0mL)を提出する (H1)。
- 3.昼食前に2.0mL採血する。溶血をさけて血清分離する(B1)。





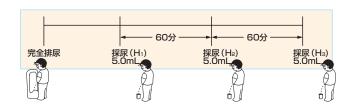
PFD

- 1.対照として早朝空腹時に採尿してください。
- 2.次にPFD試験薬を200mLの水とともに服用させてください。(以**驚**尿)
- 3.約1時間後、利尿のためにコップ1杯相当の水を飲ませてください。
- 4.試験薬内服以降6時間の採尿量を記録してください。
- 5.以上のようにして得た尿を4~6℃保存し、所定量を提出してください。 その際、6時間尿量を必ず明記してください。
- ※消化酵素含有製剤、消炎酵素剤、利尿剤などの投与を受けている患者では、 検査値に影響がありますので、検査前3日よりこれらの薬剤の投与を行わな いでください。
- ※次の患者には検査実施しないでください。
- ①腎機能が高度に低下している患者
- ②急性膵炎の急性期の患者
- ③急性肝炎の急性期の患者
- ④妊婦もしくは妊娠している可能性のある女性

| FD服用 飲水(約200mL) | FD服用 飲水(約200mL) | FD服用 飲水(約200mL) | FD服用 飲水(約200mL) | FDML | FDM

フィッシュバーグ濃縮試験

- 1.試験前日午後6時までに夕食をとらせ、以後試験終了まで飲食を禁ずる。
- 2.就寝前排尿し夜間排尿分は捨てる。
- 3.翌朝起床とともに第1回採尿(午前6時)。
- 4.被検者は臥床のままとし、1時間後第2回採尿(午前7時)。
- 5.その後起床・臥床は任意とし、更に1時間後第3回採尿(午前8時)。 ※喫煙は利尿を抑制するので当日は禁煙してください。



β トロンボグロブリン(β -TG)血小板第4因子(PF-4)

2.7mL



20ゲージ(19~21ゲージ可)の針を用いたポリプロピレン注射器で、血液3mLを採取してください。

真空採血管の使用は絶対に止めてください。また、できれば駆血帯も使用しないでください。 10mL以上の採血は避け、できるだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採血してください。

操作を2分以内に行う



予めキャップを開け冷却しておいた専用容器に採取した血液3mLを移し、ゆっくり2~3回反転混合してください。

指定のサンプリングチューブ以外は使用しないでください。 サンプリングチューブは振とうさせないでください。

採血管を速やかに砕氷と水の入ったラックに戻し、冷却してください。 砕氷水の水面よりチューブ中の血液の液面が下になるようにしてください。 角氷は使用しないでください。

60分間



砕氷水に少なくとも15分間静置後、採取血液を2,500×gで20分間、2~8℃で遠心分離してください。(下表に2500×gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) 1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。

30 分 間



上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットでO.5mL検体容器へ採取してください。 検体は必ずプラスチック製容器に入れ凍結保存してください。 (1ヶ月安定)

血餅に近い部分よりの採取は絶対に避けてください。

単純ヘルペスウイルス特異抗原

【検体の方法】

水疱の場合:小水疱、膿疱、痂皮

- 1) 針を挿入し、上部の皮あるいは痂皮を剥がしてください。(図1)
- 2) ピンセットで、剥がした皮を除去してください。(図2)
- 3) ポリエステル綿棒を生理食塩水や精製水で軽く湿らせ、病巣基底 部前面を綿棒で強くぬぐってください。(図3)

水疱でない場合:基底部細胞の採取

ポリエステル綿棒を生理食塩水や精製水で軽く湿らせ、病巣基底部前面を綿棒で強くぬぐってください。(図3)

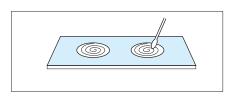
《注意》

- ①早朝の水疱病巣が検体として最適です。
- ②水疱内容液は検体として不適です。
- ③ウイルス感染細胞は病巣基底部にありますので、患者が痛いという くらい強くぬぐい、基底部の細胞を採取します。
- ④膿が出ている場合は、病巣基底部をかき乱さないように注意し、綿棒でまず膿をぬぐい去り、別の綿棒で検体を採取してください。

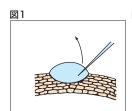
【検体の塗抹方法】

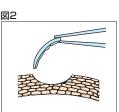
1) スライドグラスの2つのウェルに内側から円を描くように、こすらず、軽く叩くように塗抹してください。

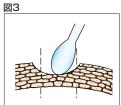
その際、綿棒に付着している検体全てが塗抹されるよう、綿棒を少しずつ回転させ、ウェルからはみ出さないように塗抹してください。



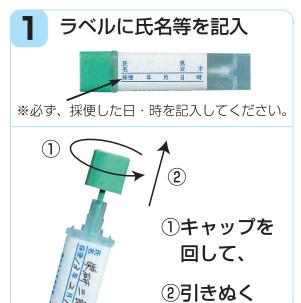
- 2) **風乾** 操作中検体が剥がれ落ちる原因となりますので、完全に乾燥させてください。
- アセトン固定 検体の塗布してあるウェルにアセトンを滴下して 固定し、蒸発させます。

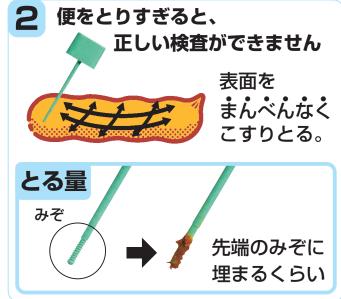


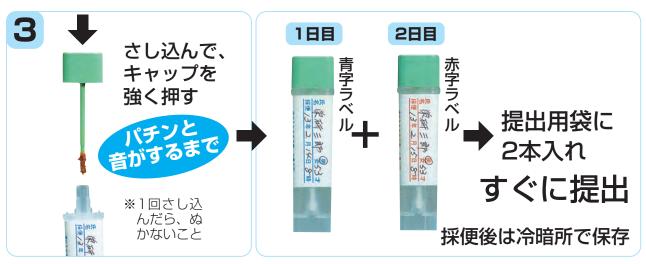




便中ヘモグロビン







《注意》

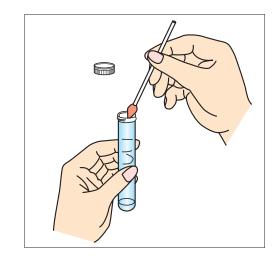
- ●アルミシールは、やぶらないでください。
- ●1本の容器に、2日分とらないでください。
- ●容器の液を捨てたり、水を足したりしないでください。
- ●なるべく新しい便を提出してください。
- ●生理中は、採便をしないでください。
- ●人体に直接使用しないでください。
- ●大便をとる目的以外には使用しないでください。
- ●保管は、子どもの手の届かない所にしてください。





(糞便)アメーバ検査

- 1) 専用容器のキャップを取りはずし、市販の10%ホルマ
- リンを10mL入れてください。 2) 付属のスプーンを使って、新鮮な便は山盛り1杯、保存便は2杯を容器に入れてください。
- 3) スプーンでよくかきまぜ、内容物がこぼれないように しっかりキャップをしてください。
- 4) 軟便、水様便で原虫を疑う場合、日を変えての連続検 査をお勧めします。
- ※ 血便材料の際は、容器番号「i:糞便一般用容器」でご 提出ください。(ホルマリンの影響により検体が固ま り検査不能となります)





子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ

子宮膣部の粘液を綿球で 丁寧に拭い取ります。



綿棒を頸管内に挿入し、 ゆっくりと2回転させて 頸管粘液を採取します。



- ①子宮頸管部より採取します。
- ②検体採取は膣部洗浄前に行います。
- ③綿棒が外子宮周辺の分泌物や粘液に接触しないようにしてください。 綿棒の先が初めて接触する部分が頸管内腔であるように挿入してください。
- ④綿棒1回転あたり約5秒をかけ、自然に粘液(滲出液)をしみ込ませるようにしてください。
 - 少量の固形物が付着した場合は取り除き、大量の固形物が付着した場合は、検体採取をやり直してください。 (採取前) (採取後)

⑤採取した検体は15分以内に抽出操作を行います。





抽出液の入った抽出容器の青色キャップをはずします。抽出容器の液量確認後、頸管粘液(滲出液)を採取した綿棒を浸けて、 $2\sim3$ 分間放置します。

綿棒を20~30回細かく上下させて検体を抽出します。

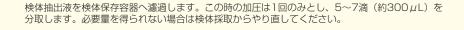




綿棒に浸み込んだ検体抽出液を抽出容器ごと指で押しつぶす等して絞り出した後、綿棒を取り除きます。



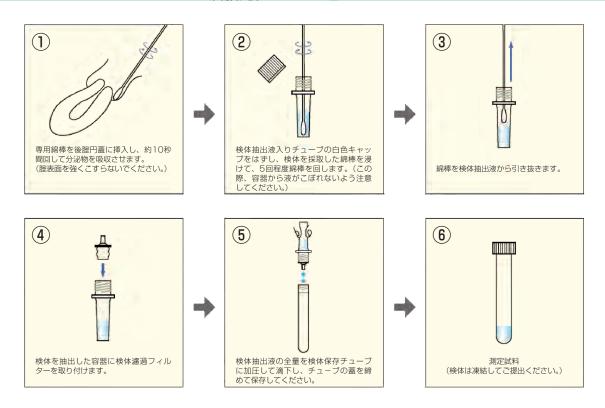






検体保存容器に白色キャップをし、容器ラベルを貼って保存します。冷蔵(8 $^\circ$)で3日以内、冷凍 (-15° 以下)で3ヵ月以内に測定してください。

癌胎児性フィブロネクチン



クラミジア、淋菌/リアルタイムPCR

ぬぐい液の採取/処理方法

- ①粘液除去用ドライスワブ(2本あるうちの太い方)で子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を十分拭い 取ります(粘液を拭ったスワブは廃棄します)。
- ②もう一本のフロックスワブを子宮頸管内に入れ、同じ方向にそっと5回まわします。 膣の粘液に触れないように注意してスワブを引き抜きます。
- ③容器のキャップを開け、採取したスワブの先端の綿棒が溶液に漬からないように注意しながら入れ、 スワブの柄の黒い線を容器のふちに合わせます。

容器のふちを利用して、スワブの柄の黒い線のところで折り、容器のキャップをしっかり閉めてください。 (手元に残った折れた柄は廃棄してください。スワブを折る際は絶対にはさみを使用しないでください)。

④容器を2~8℃で冷蔵保存してください。

うがい液の採取/処理方法

- ①生理食塩水(日局方など)をコップに15~20mL入れてください。
- ②生理食塩水15~20mLを口に含み、顔を上に向けて10~20秒間、勢いよく"ガラガラ"とうがいを行います。
 - ※口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を合せてうがい液とします。
- ③うがい液全量をうがい用コップに回収し、スポイトで専用容器に必要量添加します。 ※専用容器に記載されている2つのラインの間にうがい液を入れます。
- ④フタをしっかりと閉めて、5回転倒混和させて冷蔵で保管してください。※検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むことなどは避けてください。※コップ、生理食塩水および滅菌済みのスポイトは予め医療機関にてご用意ください。

(初) 尿の採取方法

- ①検体採取の1時間前より排尿しないでください。
- ②起床時または来院時の初尿を約10mLを採尿カップに採取してください。
- ③滅菌済みスポイトを用いて尿を採取します。 (滅菌済みスポイトは予め医療機関にてご用意ください。)
- ④容器に記載されている2つのラインの間に収まるように尿を入れます。
- ⑤フタをしっかりと閉めて、5回転倒混和させて冷蔵で保管してください。



検査項目名 参考文献名 頁 著者 生化学検査 総蛋白、アルブミン、A/G比 ※0 臨床検査法提要 35版 2020 478-480 金井 正光 臨床病理 30 (増刊) 蛋白分画 1977 18-37 橋本 寿美子. 他 総ビリルビン、直接ビリルビン 臨床検査法提要 35版 2020 564-568 金井 正光 389-392 幸彦, 他 アルカリフォスファターゼ ₩ 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 足立 臨床検査法提要 35版 2020 602-603 金井 正光 骨型アルカリフォスファターゼ **%** 1 医学と薬学 55 2006 279 倉澤 健太郎, 他 AST **%** 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 378-381 安部井 誠人 ALT ***** 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 378-381 安部井 誠人 乳酸脱水素酵素 日本臨牀67 増刊号8 2009 382-385 前川 真人 ***** 0 臨床検査法提要 35版 2020 626-629 全井 正光 γーグルタミルトランスペプチダーゼ ***** 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 386-388 十鳥 睦 コリンエステラーゼ ***** 0 臨床検査法提要 35版 2020 613-614 金井 正光 ロイシンアミノペプチダーゼ 臨床検査法提要 34版 2015 585-587 金井 正光 クレアチンキナーゼ ***** 0 日本臨床67 増刊号8 2009 367-372 庄司 進-アミラーゼ ***** 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 416-419 元雄 良治 リパーゼ 静代. 他 **%** 0 医学と薬学 41 (3) 1999 489-496 松井 膵ホスホリパーゼA2 **%**2 ホルモンと臨床 38 (7) 1990 729-734 竹田 昌弘, 他 トリプシン **%**2 医学と薬学 53 (5) 2005 635-641 河野 幹彦, 他 アルドラーゼ Med. Technol. 12 1984 157 宮原 尿NAG ***** 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 155-157 杉田 収 臨床病理 21 リゾチーム 1973 37 仁科 甫啓. 他 **%** 1 アデノシンデアミナーゼ 臨床検査機器・試薬 9(4) ***2** 1986 715-720 佐野 中良 他 チミジンキナーゼ活性 **%**2 Clin Chem Lab Med 51 (2) 2013 439-447 Benjamin Nisman et al. グアナーゼ ***** 1 臨床化学 12 1983 304 杉山 正康. 他 LDアイソザイム Medical Technology 25 (1) 1997 45-51 森山 隆則, 他 AI Pアイソザイム 目でみる雷気泳動法 2 (医歯薬出版) ***** 2 1989 55-71 芝 紀代子 アミラーゼアイソザイム 日本臨床検査自動化学会会誌 37 (3) 2012 293-297 星野 忠. 化 **%**2 P型アミラーゼ 日本臨床67 増刊号8 2009 416-419 元雄 良治 CKアイソザイム *****2 臨床検査 32 (11) 1988 1309-1315 高木 康, 他 CK-MB**%** 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 367-372 庄司 進 医学のあゆみ 146 岡部 紘明 m-AST **%** 1 1988 517 臨床検査法提要 35版 中性脂肪 2020 543-545 金井 正光 **%** 0 日本動脈硬化学会 動脈硬化性疾患治療ガイドライン 2007 リン脂質 ***** 0 日本臨牀68 増刊号1 2010 58-60 久保 信彦 高脂血症診断の手引き 厚生労働省・日本医師会編 リポ蛋白分画 1991 33 リポ蛋白(a) 日本臨床検査自動化学会会誌 21 (5) 1996 705-709 岡野 芳幸,他 レムナント様リポ蛋白-コレステロール 医学と薬学 56 ***** 1 2006 269 滝野 豊. 他 アポ蛋白 ***** 1 動脈硬化 16 1988 832 野間 昭夫 他 臨床検査法提要 35版 総コレステロール ***** 0 2020 541-543 金井 正光 動脈硬化性疾患治療ガイドライン 2007 日本動脈硬化学会 遊離コレステロール 臨床検査法提要 35版 2020 541-543 金井 正光 1989 885 下條 信雄 臨床検査 33 日本臨床68 増刊号1 HDLコレステロール、LDLコレステロール ※0 2010 16-24 金原 秀雄, 他 動脈硬化性疾患治療ガイドライン 2007 日本動脈硬化学会 LDL/HDL比 医学と薬学 64 2010 191-197 菅田 有紀子 総胆汁酸 臨床化学 8 1979 191 眞重 文子, 山中 学 全脂質構成脂肪酸分画 ぶんせき 11 1978 774 金井 晃 2 小沢 昭夫 他 脂肪酸分面(4成分) 分析化学 31 1982 87-91 ***** 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 695-699 五十嵐 雅彦 血糖 1.5-アンヒドログルシトール **%** 1 機器・試薬 24 2001 139 森脇 貴美,他 ヘモグロビンA1c **%** 0 日本臨牀67 増刊号8 2009 700-703 佐藤 麻子 ヒアルロン酸 **※** 1 医学と薬学 44 2000 1141 島村 朗,他 KL-6 日本臨牀67 増刊号8 2009 358-360 ***** 0 石川 暢久 他 乳酸 生物試料分析 8 浅沼 和子. 他 **%** 1 1985 16 ピルビン酸 **%** 1 生物試料分析 8 1985 16 浅沼 和子, 他 Clin Chem. 30 クエン酸 1 1984 1231 Warty, V. S. et al. グリコアルブミン 医学と薬学 51 2004 737-745 永峰 康孝, 他 尿素窒素 ***** 0 臨床検査法提要 35版 2020 497-500 金井 正光 日本臨牀67 増刊号8 木村 秀樹 クレアチニン ***** 0 2009 642-645 CKD診療ガイド2012 日本腎臓学会編 eGFR **%** 0 2012 医学のあゆみ 243 (9) 2012 747 堀尾 勝 クレアチン Me d.Technol. 12 1984 270-276 今野 稔 **%** 5 山崎 知行,他 尿酸 日本臨牀67 増刊号8 2009 654-657 シスタチンC 臨床化学 41 (1) ***** 0 2012 62 伊藤 喜久,他 最新医学 21 奥田 拓道・藤井 節郎 アンモニア **※** 0 1966 622-627 直琴. 他 アミノ酸分画 **%** 1 臨床病理 28 (補) 1980 138 植木 臨床化学シンポジウム 20 1980 142 大沢 恵津子, 他 アミノ酸11分画 第24回液体クロマトグラフ研究会講演要旨集 22 1981 32 小田 治. 他 総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比 現代医療 26 (増Ⅱ) 1994 99 飯塚 誠一,他 ホモシステイン 山口 昭弘 他 **%** 5 臨床小児医学 37 1989 109-113 J.Chromatography, 422 1978 43 A.Araki and Y.Sako Henry, R. et al. ビタミンA ***** 1 Clinical Chemistry Principles and Tecnics 2nd Ed, 1974 1375 195 レチノール結合蛋白 臨床病理 57 (3) 2009 三浦 信樹, 他 ***** 1 ビタミンBı 生物試料分析 36 (4) 2013 327 宮川 秀則, 他 ビタミンBっ ***** 1 臨床病理 29 1981 安田 和人 他 564 ビタミンBo 薬学雑誌 98 **%** 1 1978 1319 吉田 継親 他 ビタミンB12 ※1 医学と薬学 41 1999 145 河口 行雄, 他

## 2017 175	検査項目名	委最 託 先終	参考文献名	発 行 年	頁	著者
2 3 - 2 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	カルニチン	* 1	新薬と臨床 66 (9)	2017	1176	市本 景子,他
28 - OHL 2 4 2 0 1 (4 8 向)	葉酸	※ 1	機器・試薬 25	2002	441	安田 和人,他
25-0HP 23-20 (単程記) 41 Outcompose in 170 (00)	ビタミンC	※ 1		1995	329	J Lykkesfeldt, et al.
18. 2.5 - (OH) 149 年2 D		※ 1				
19. 25 (OH)・ビタシン	25-OHビタミンD(骨粗鬆症)	※ 1	•			
## 25-25						
□・アメリンザンを						
Packer 2						
### 2000 1937						
### 2000 1	プロホルフィリン、コフロホルフィリン	ж I				
### 2010 00 200 00 1 上野 男人 他 1 日本語歌の財刑号1 2010 200 200 1 上野 男人 他 1 日本語歌の財刑号1 2010 200 200 1 日本	赤血球プロトポルフィリン	% 1				
70 ール 90 日本監禁的部場付 2010 207271 上野 方人 他 1 日本監禁の部場付 2010 20726 上野 万人 他 1 日本監禁の 2010 20726 2010 2010 2010 2010 2010 2010 2010 20						
### 1904 0 B ARRINGS SHIFF! 2010 2012-265 上野 男人、他						
### 14 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
接触的		※ 0				
### 2016 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	イオン化カルシウム	※ 1	検査と技術 19 (2)	1991	119-124	桑克彦
 (株) 医神経性病性 (特殊 179) (株) (国際) (株) (日) (日本) (株) (日本) (日本) (日本)<!--</td--><td>無機リン</td><td> % 0</td><td>臨床検査法提要 35版</td><td>2020</td><td>587-589</td><td>金井 正光</td>	無機リン	 % 0	臨床検査法提要 35版	2020	587-589	金井 正光
## (場) *** **** *** **** *** *** *** *** ***	マグネシウム	 0 *	臨床検査法提要 35版	2020	583-587	金井 正光
### 20	鉄、総鉄結合能、不飽和鉄結合能	※ 0	臨床検査法提要 35版	2020	589-593	金井 正光
無別	銅〈血清〉	※ 0	臨床検査法提要 35版	2020	593-594	金井 正光
## 20m Chim Acia 147 1995 247 Mazzon Farina, A and Corolin N. Mazzon Farina, A and Corolin	铜〈尿〉	※ 1	臨床病理(特集17号)			24. 1 12, 11 13.
8		※ 1	検査と技術 9			松本 武志, 金井 晃
### 2016 日本の		※ 1				
### 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	鉛	※ 1	2010-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03-03	1990	56	
カミシウム 9.1 Cin. Chem. 25 1979 1988 Lagoesson. V. and Andreako, L. ファナン 9.1 Cin. Chem. 25 (1979 1985			2000			
マンガン 9.1 日本児童医学会会話37 1999 195 加地 売、他 ついかか 9.1 Clin. Chem. 23 (5) 1977 948 Misson-Dovey. D. et al. フィッシュハケノ海紋状態 9.0 臨床検査法模型38版 2020 1579 会井 正光 フィッシュハケノ海紋状態 9.0 臨床検査法模型38版 2015 1513-1514 会井 正光 フィッシュハケノ海紋状態 9.1 検査法検理38版 2015 1513-1514 会井 正光 別差性 9.1 検査法検理38版 1998 1478-1479 会井 正光 別差性 9.1 検査法検理38版 1998 1478-1479 1513-1514 会井 正光 別差性 9.1 検査法検理38版 1998 1513 355 深建 大橋 正規 ファントを分割 9.1 Clin. Chem. Acta 134 1983 327 Hereno, Y. et al. Am. J. Surg. 146 1993 329 Carant, 中明 質二 イッシュノル 9.1 深熱が大変大力・アック・アック・アック・アック・アック・アック・アック・アック・アック・アック						
Din. Chem. 23(6)						_
Profession						
課題リアラス 9 回転検査法理学 3 版 2015 1513 1514 151						
### 22 Am - フリルボーブ原始試験 80 編件検査法院書 34版 2015 151.514 会井 正光 接近 151.514 会井 正光 接近 151.514 会井 正光 接近 151.514 会井 正光 注意 151.514 会井 正元 151.514 全井 正元 151.514 251.514 会井 正元 151.514 251.514 会井 正元 151.514 251.5						
課題E ・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					
長野 メチル馬型は、マンテル層音音彙を登現速度						
アセトン 81 労働科学99 1883 555 深組 すみに、中明 賢二 ケトド分冊圏 81 Clin Chem Acta 134 1883 527 Harron, Y. et al.						
## 1 Clin Chem Acta 134 1983 227 Harano, Y. et al. **Amain J.Surg. 146 1983 229 Ozewa K. et al. **Kameradan 25 1997 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20						
本の						
エタール き 1 素素 条分析 実践ハンドブック 2002 118	ケトン体分画	* 1				
### 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ## 2 ##			•			
************************************	T 6 / U	W. 4				
************************************	•					
### ABC	· · ·					
内分泌学検査					519	
成長ホルモン #1 医学と薬学 68 2012 899 小山 沙世 他					102	
成長ホルモン #1 医学と薬学 68 2012 899 小山 沙世 他 ソマトメジンーC #1 Endocrine J. 59 2012 771 Sojima T. et al. 黄体形成ホルモン、卵胞刺激ホルモン #0 医学と薬学 56 (4) 2006 577-586 高加 国夫、他 甲状腺刺激ホルモン #0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 副教授養刺激ホルモン #1 医学と薬学 72 (8) 2015 1379 田中 誠正、他 トリュードサイロニン、遊離サイロキシン #0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 の 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 アバブレシン *1 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 日本・イロニン、遊離サイロキシン #0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 日本・イロニシ、遊離サイロキシン #0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 日本・イロニシ、遊離サイロキシン #0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 サイロキシン、遊離サイロキシン #0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 サイロキシン結合グロフリン #1 ホルモンと臨床 27 1979 1287 年 泉男、他 サイロイドテスト、マイクロゾームテスト *1 臨床免疫 12 (743) 1980 桜美・武彦、他 サイロイドテスト、マイクロゾームテスト *1 臨床免疫 12 (743) 1980 桜美・武彦、他 ボサイリアリンがは、新年財産ルルオキシダーゼは #0 医学と薬学 55 (5) 2006 775-782 森田 新二、他 コトトレ・エグター抗体 第3世代 *0 医学と薬学 59 (6) 2008 1111-1120 吉村 弘、他 田状腺制剤抗体 *1 医学と薬学 71 (5) 2014 903 上条 桂一、他 副甲状腺ホルモン・			IIII//1大正:1大时 王目 乙	1370	102	业 冰心 侧 (位于自此)
ソマトメジシー C #1 Endocrine J. 59 2012 771 Isojima T, et al. 黄体形成ホルモン、卵胞刺激ホルモン #0 医学と薬学 56(4) 2006 577-586 高加 国夫 他 甲状腺刺激ホルモン #0 医学と薬学 74(3) 2017 317-326 吉屋 実、他 副腎及質刺激ホルモン #1 医学と薬学 72(8) 2015 1379 田中 誠二、他 ドリコードサイロニン、遊離リヨードサイロニン #0 医学と薬学 74(3) 2017 317-326 古屋 実、他 Wサイロキシン結合グロブリン #0 医学と薬学 74(3) 2017 317-326 古屋 実、他 サイロイシン結合グロブリン #1 ホルモンと臨床 27 1979 1287 伴 良男、他 サイロイランは着のグロブリン #0 医学と薬学 74(3) 2017 317-326 古屋 実、他 サイロイランは着のグロブリン #1 路上を疫 12(743) 1980 松美 直接 化 ボザイロクロブリン #0 医学と薬学 74(3) 2017 317-326 古屋 実、他 サイロイランは は甲状腺小オキシダーゼポト #0 医学と薬学 75(5) 2014 1980 桜美 武彦・他 田状腺刺激赤体体 第3世代) #0 医学と薬学 55(5) 2006 775-782 森田 新二、他 田状腺刺激赤体体 第3世代) #0 医学と薬学 74(1) 2014 1930 上条 桂一、他 副甲状腺カルモンwhole #1 婚話技会話 61(1) 2014 1 吉野 亜紀、他 副甲状腺ホルモンwhole #1 情感技会話 61(1) 2014 1 吉野 亜紀、他 副甲状腺ホルモンwhole #1 日本臨床を含自動化学会会話 40(1) 2015 52 戸来 孝・他 TRACP-5 b #1 日本臨床を含自動化学会会話 40(1) 2016 52 戸来 孝・他 TRACP-5 b #1 日本臨床を含自動化学会会話 40(1) 2014 1 古野 亜紀、他 ロボアンアン学術トテロペブチド #1 Osteoprosisis Japan 12 2004 191 日本骨相駁症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 高	. =	% 1	医学と薬学 68	2012	800	小山 沙冊 4h
黄体形成ホルモン、卵胞刺激ホルモン *0 ホルモンと臨床 53 (5) 2005 123-129 板倉 啓一、他 プロラクチン *0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 副背及質刺激ホルモン *1 医学と薬学 77 (8) 2007 239 阿部 正樹 パゾブレン *1 医学と薬学 72 (8) 2015 1379 田中 誠工、他 ドリコードサイロニン、遊離トリヨードサイロニン *0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 サイロキシン・遊離サイロキシン *0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 サイロイドウストン、遊離サイロキシン *0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 サイロキシンも結合プロブリン *0 医学と薬学 71 (9) 2014 1655-1666 北川 耳、他 サイロイドテスト、マイクロゾームテスト *1 臨床免疫 12 (743) 1980 桜美 武彦、他 桜美 武彦、他 エドノロフター抗体 (第3世代) *0 医学と薬学 95 (6) 2006 775-782 森田 新工、他 エトレセイフター抗・原子の土地で、第2 (第3) *1 生産・大 (1) 2014 151-1120 青村 弘、他 田井は藤がイロファン・大 (第3) 医学と薬学 74 (1) 2015 97 北川 五 他 北・他 第3 (第3 (2) 2016						
プロラクチン *0 医学と薬学 66 (4) 2006 577-586 高加 国夫 他 世状腺刺激ホルモン *0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実 他						
甲状腺刺激ホルモン *0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実、他 副腎皮質刺激ホルモン *1 医学と薬学 72 (8) 2007 239 阿郎 正樹 バゾブレン *1 医学と薬学 74 (3) 2015 1379 田中 誠二、他 ************************************						
副腎皮質刺激ホルモン *1 医学と薬学 57 80 2017 339 阿部 正樹						
ドリゴードサイロニン、選難トリヨードサイロニン **1 医学と薬学 72(8) 2015 1379 田中 誠二、他 **1 医学と薬学 74(3) 2017 317-326 古屋 実、他 **3 後サイロキシン、 遊離サイロキシン **1 ホルモンと臨床 27 1979 1287 伴 良男、他 **5 大イロギンシンと結合グロブリン **1 ホルモンと臨床 27 1979 1287 伴 良男、他 **5 大イロゲームテスト、マイクロゾームテスト、**1 臨床 免疫 12(743) 1880 桜美 武彦、他 **5 大イログロブリン **0 医学と薬学 71(9) 2014 1655-1666 北川 亘。他 **5 大イログトテスト、マイクロゾームテスト、**1 臨床 免疫 12(743) 1880 桜美 武彦、他 **5 大田						
ドリョードサイロニン、遊離トリョードサイロニン *0 医学と薬学 74(3) 2017 317-326 古屋 実、他 8時イロキシン、遊離サイロキシン、遊離サイロキシン *1 ホルモンと臨床 27 1979 1287 伴 良男、他 サイロイドテスト、マイクロゾームテスト *1 臨床免疫 12(743) 1980 桜美 武彦、他 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **						
総サイロキシン、遊離サイロキシン **0 医学と薬学 74 (3) 2017 317-326 古屋 実,他 サイロキンと協合グロブリン **1 ホルモンと臨床 27 1979 1287 伴 良男,他 サイログロブリン **0 医学と薬学 71 (9) 2014 1655-1666 北川 亘」他 サイログロブリン海体、類甲段酸ペルオキシダーゼ体体 **0 医学と薬学 55 (5) 2006 775-782 森田 新二,他 TSHレセプター抗体(第3世代) **0 医学と薬学 59 (6) 2008 1111-1120 吉村 弘,他 甲状腺刺激抗体 **1 医学と薬学 71 (5) 2014 903 上条 桂一,他 副甲状腺ホルモンーintact **0 医学と薬学 77 (5) 2014 903 上条 桂一,他 副甲状腺ホルモンン intact **0 医学と薬学 74 (1) 2017 45-54 猪俣 啓子,他 副甲状腺ホルモンと助尿 40 1992 1309 福本 該二,他 カルシトニン **1 医学と薬学 72 2015 97 北川 亘,他 オステオカルシン **1 日本臨床検査自動化学会会話 40 (1) 2015 52 戸来 孝・他 エRACP-5 **1 医学と薬学 55 2006 443 三木 陸巳・他 「型コラーゲン架橋Nーテロペプチド **1 医学と薬学 57 (2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシビリジノリン **1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 島 啓找 他 していは P1NP **0 医学と薬学 70 (2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシビリジノリン **1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 島 啓找 他 してン活性 **5 医学と薬学 73 (3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 **5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 レニン定量 **5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 フンジオテンシン I転換酵素 **1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール **1 医学と薬学 69 (6) 2013 385-991 関口 昌工、他 コルチゾール **1 日本臨床検査自動化学会会話 44 (1) 2019 47 松村 充子,他		* 0				
サイロキシン結合グロブリン *1 ホルモンと臨床 27 1979 1287 伴 良男,他 サイログロブリン *0 医学と薬学 71 (9) 2014 1655-1666 北川 亘,他 サイロイドテスト、マイクロゾームテスト *1 臨床免疫 12 (743) 1980 桜美 武彦,他 航井イログロブリン旗体 抗甲投機ペルオキシダーゼ旗体 *0 医学と薬学 55 (5) 2006 775-782 森田 新二,他 TSHLセブター抗体(第3世代) *0 医学と薬学 59 (6) 2008 1111-1120 吉村 弘,他 甲状腺刺激抗体 *1 医学と薬学 71 (5) 2014 903 上条 桂一,他 副甲状腺ホルモン・in t a c t *0 医学と薬学 74 (1) 2017 45-54 猪俣 密子,他 副甲状腺ホルモン・in t a c t *1 埼臨技会誌 61 (1) 2014 1 吉野 亜紀,他 副甲状腺ホルモン関連蛋白in t a c t *1 ホルモンと臨床 40 1992 1309 福本 誠二,他 カルシトニン *11 医学と薬学 72 2015 97 北川 亘,他 オステオカルシン *11 日本臨床検査自動化学会会誌 40 (1) 2015 52 戸来 孝,他 エステオカルシン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 40 (1) 2015 52 戸来 孝,他 エステオカルシン *1 医学と薬学 55 2006 443 三木 隆巳,他 エ型コラーゲン架橋Nーテロペブチド *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗軽症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 いはI PINP *0 医学と薬学 70 (2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシビリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗軽症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 島 啓視,他 ロボレニン活性 *5 医学と薬学 73 (3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 56 (6) 2013 985-991 関口 昌江,他 フルチゾール *1 医学と薬学 69 (6) 2013 985-991 関口 昌江,他						
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	サイロキシン結合グロブリン	※ 1				
ポサイログロブリン抗体、抗甲状酸ペルオキンダーゼ抗体 **0 医学と薬学 55(5) 2006 775-782 森田 新二、他 TS Hレセブター抗体(第3世代) **0 医学と薬学 59(6) 2008 1111-1120 吉村 弘、他 甲状腺刺激抗体 **1 医学と薬学 71(5) 2014 903 上条 桂一、他 副甲状腺ホルモンーintact **0 医学と薬学 74(1) 2017 45-54 猪俣 啓子、他 副甲状腺ホルモンwhole **1 熔離失会話 61(1) 2014 1 吉野 亜紀、他 副甲状腺ホルモン関連蛋白intact **1 ホルモンと臨床 40 1992 1309 福本 誠二、他 カルシトニン **1 医学と薬学 72 2015 97 北川 亘、他 オステオカルシン **1 日本臨床検査自動化学会会話 40(1) 2015 52 戸来 孝、他 TR A C P - 5 b **1 医学と薬学 55 2006 443 三木 隆巳、他 「型コラーゲン架橋Nーテロペプチド **1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博、他 total P1NP **0 医学と薬学 70(2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシピリジノリン **1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 669 畠 啓視、他 血漿レニン活性 **5 医学と薬学 73(3) 2016 311 宇津 貴央、他 レニン定量 **5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊、他 アンジオテンシン I 転換酵素 **1 Clin. Chen. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール **1 医学と薬学 59(6) 2013 985-991 関ロ 昌江、他 アルチブール(番尿) **1 日本臨床検査自動化学会会話 44(1) 2019 47 松村 充子、他	サイログロブリン	※ 0	医学と薬学 71 (9)	2014	1655-1666	
T S H レ セプター抗体(第3世代) ** 0 医学と薬学 59(6) 2008 1111-1120 吉村 弘,他 甲状腺刺激抗体 ** 1 医学と薬学 71(5) 2014 903 上条 桂一,他 副甲状腺ホルモンーintact ** 0 医学と薬学 74(1) 2017 45-54 猪俣 啓子,他 副甲状腺ホルモンwhole ** 1 埼醯技会話 61(1) 2014 1 吉野 亜紀,他 副甲状腺ホルモン関連蛋白intact ** 1 ホルモンと臨床 40 1992 1309 福本 誠二,他 カルシトニン ** 1 医学と薬学 72 2015 97 北川 亘,他 オステオカルシン ** 1 日本臨床検査自動化学会会誌 40(1) 2015 52 戸来 孝,他 T R A C P - 5 b ** 1 医学と薬学 55 2006 443 三木 隆巳,他 I 型コラーゲン架橋Nーテロペプチド ** 1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 total P1NP ** 0 医学と薬学 70(2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシピリジノリン ** 1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ポルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視,他 血漿レニン活性 ** 5 医学と薬学 73(3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 ** 5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 アンジオテンシン I 転換酵素 ** 1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール ** 1 医学と薬学 69(6) 2013 985-991 関ロ 昌江,他 アルドステロン ** 1 日本臨床検査自動化学会会誌 44(1) 2019 47 松村 充子,他	サイロイドテスト、マイクロゾームテスト	※ 1	臨床免疫 12 (743)	1980		桜美 武彦, 他
甲状腺刺激抗体 *1 医学と薬学 71(5) 2014 903 上条 桂一,他 副甲状腺ホルモンーintact *0 医学と薬学 74(1) 2017 45-54 猪俣 啓子,他 副甲状腺ホルモン以nole *1	抗サイログロブリン抗体、抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	※ 0	医学と薬学 55 (5)	2006	775-782	
副甲状腺ホルモン・intact *0 医学と薬学 74 (1) 2017 45-54 猪俣 啓子,他 副甲状腺ホルモンwhole *1 坊臨技会誌 61 (1) 2014 1 吉野 亜紀,他 副甲状腺ホルモン関連蛋白intact *1 ホルモンと臨床 40 1992 1309 福本 誠二,他 カルシトニン *1 医学と薬学 72 2015 97 北川 亘,他 オステオカルシン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 40 (1) 2015 52 戸来 孝,他 TRACP-5 b *1 医学と薬学 55 2006 443 三木 隆巳,他 I型コラーゲン架橋Nーテロペプチド *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗軽症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 otal P1NP *0 医学と薬学 70 (2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシピリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗軽症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視,他 血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73 (3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文後,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之,他 コルチゾール *1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之,他 コルチゾール (蓄尿) *1 医学と薬学 69 (6) 2013 985-991 関ロ 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44 (1) 2019 47 松村 充子,他	TSHレセプター抗体(第3世代)	※ 0	医学と薬学 59 (6)	2008	1111-1120	吉村 弘,他
副甲状腺ホルモンWhole *1 埼臨技会話 61 (1) 2014 1 吉野 亜紀,他 副甲状腺ホルモン関連蛋白intact *1 ホルモンと臨床 40 1992 1309 福本 誠二,他 カルシトニン *1 医学と薬学 72 2015 97 北川 亘,他 オステオカルシン *1 日本臨床検査自動化学会会話 40 (1) 2015 52 戸来 孝・他 TRACP-5b *1 医学と薬学 55 2006 443 三木 隆巳,他 「型コラーゲン架橋Nーテロペプチド *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 total P1NP *0 医学と薬学 70 (2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシピリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視,他 血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73 (3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 73 (3) 2016 311 宇津 貴央,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール (蓄尿) *1 医学と薬学 69 (6) 2013 985-991 関ロ 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会話 44 (1) 2019 47 松村 充子,他	甲状腺刺激抗体	※ 1	医学と薬学 71 (5)	2014	903	上条 桂一,他
副甲状腺ホルモン関連蛋白intact *1 ホルモンと臨床 40 1992 1309 福本 誠二,他 カルシトニン *1 医学と薬学 72 2015 97 北川 亘,他 オステオカルシン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 40 (1) 2015 52 戸来 孝.他 TRACP-5b *1 医学と薬学 55 2006 443 三木 隆巳,他 I型コラーゲン架橋Nーテロペプチド *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 total P1NP *0 医学と薬学 70 (2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシピリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視,他 血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73 (3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 73 (3) 2016 311 宇津 貴央,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 69 (6) 2013 985-991 関ロ 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44 (1) 2019 47 松村 充子,他	副甲状腺ホルモンーintact	※ 0	医学と薬学 74(1)			猪俣 啓子,他
# 1 医学と薬学 72 2015 97 北川 亘,他 # 1 日本臨床検査自動化学会会誌 40(1) 2015 52 戸来 孝,他 # 2	副甲状腺ホルモンwhole	※ 1	埼臨技会誌 61(1)	2014	1	吉野 亜紀,他
# 1 日本臨床検査自動化学会会誌 40(1) 2015 52 戸来 孝,他 TRACP-5 b *1 医学と薬学 55 2006 443 三木 隆巳,他 I型コラーゲン架橋Nーテロペプチド *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 total P1NP *0 医学と薬学 70(2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシピリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視,他 血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73(3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y, et al. コルチゾール *1 医学と薬学 69(6) 2013 985-991 関口 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44(1) 2019 47 松村 充子,他						
TRACP-5 b *1 医学と薬学 55 2006 443 三木 隆巳,他 I 型コラーゲン架橋Nーテロペプチド *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 total P1NP *0 医学と薬学 70(2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシビリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 島 啓視,他 血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73(3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 69(6) 2013 985-991 関口 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44(1) 2019 47 松村 充子,他						
I 型コラーゲン架橋Nーテロペプチド **1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 total P1NP **0 医学と薬学 70(2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシビリジノリン **1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視、他 血漿レニン活性 **5 医学と薬学 73(3) 2016 311 宇津 貴央、他 レニン定量 **5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊、他 アンジオテンシンI 転換酵素 **1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール **1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之、他 コルチゾール (蓍尿) **1 医学と薬学 69(6) 2013 985-991 関ロ 昌江、他 アルドステロン **1 日本臨床検査自動化学会会誌 44(1) 2019 47 松村 充子、他						
ホルモンと臨床 43 1995 655 高見 博,他 total P1NP *0 医学と薬学 70(2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシピリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視,他 血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73(3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之,他 コルチゾール (蓄尿〉 *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44(1) 2019 47 松村 充子,他						
total P1NP *0 医学と薬学 70(2) 2013 357-365 日高 好博 デオキシピリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視,他 血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73(3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 アンジオテンシンI 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之,他 コルチゾール(蓄尿) *1 医学と薬学 69(6) 2013 985-991 関口 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44(1) 2019 47 松村 充子,他	I 型コラーゲン架橋N-テロペプチド	※ 1				
デオキシピリジノリン *1 Osteoporosis Japan 12 2004 191 日本骨粗鬆症学会 ホルモンと臨床 42 1994 659 畠 啓視、他 血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73(3) 2016 311 宇津 貴央、他 レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊、他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之、他 コルチゾール 〈蓄尿〉 *1 医学と薬学 69(6) 2013 985-991 関ロ 昌江、他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44(1) 2019 47 松村 充子、他						
ホルモンと臨床 42 1994 659						
血漿レニン活性 *5 医学と薬学 73 (3) 2016 311 宇津 貴央,他 レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之,他 コルチゾール〈蓄尿〉 *1 医学と薬学 69 (6) 2013 985-991 関ロ 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44 (1) 2019 47 松村 充子,他	アオキンビリジノリン	※ 1				
レニン定量 *5 医学と薬学 76 2019 1827-1832 佐藤 文俊,他 アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之,他 コルチゾール〈蓄尿〉 *1 医学と薬学 69 (6) 2013 985-991 関ロ 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44 (1) 2019 47 松村 充子,他	<u> </u>					
アンジオテンシン I 転換酵素 *1 Clin. Chem. 27 1981 1922 Kasahara, Y. et al. コルチゾール *1 医学と薬学 55 2006 145 花田 浩之, 他 コルチゾール〈蓍尿〉 *1 医学と薬学 69 (6) 2013 985-991 関ロ 昌江, 他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44 (1) 2019 47 松村 充子, 他	-					
コルチゾール*1医学と薬学 552006145花田 浩之,他コルチゾール 〈蓄尿〉*1医学と薬学 69 (6)2013985-991関口 昌江,他アルドステロン*1日本臨床検査自動化学会会誌 44 (1)201947松村 充子,他						
コルチゾール〈蓄尿〉 *1 医学と薬学 69 (6) 2013 985-991 関ロ 昌江,他 アルドステロン *1 日本臨床検査自動化学会会誌 44 (1) 2019 47 松村 充子,他	1 1 1 1 1 1					
アルドステロン **1 日本臨床検査自動化学会会誌 44 (1) 2019 47 松村 充子,他						
臨床病理 66(suppl) 2018 131 酒本 美由紀,他	アルトステロン	* 1				

検査項目名	委最 託 先終	参考文献名	発行年	頁	著者
アルドステロン/レニン活性比	* 5	医学と薬学 76	2019	1819-1826	佐藤 文俊,他
デハイドロエピアンドロステロンサルフェート	※ 1	日本臨床検査自動化学会会誌 37(Suppl1)	2012		市原清志
		医学と薬学 56 (3)	2006		増戸 梨恵
17ーケトステロイド分画 メタネフリン2分画		Endocrine J. 50 第47, 48回島津デュポン高速液体クロマトグラフィー講座、高速液体	2003		Suzuki, T. er.al. 守 和子
メダイノリンと労曲	2K I	第47,40回局岸ノュホン同区(水) フロマトグラフィーセミナー要旨集	1977	0-0	₹
カテコールアミン3分画	* 1	機器・試薬 11	1988	635	辻 潮, 他
遊離カテコールアミン3分画	※ 1	第47, 48回島津デュポン高速液体クロマトグラフィー講座, 高速液体	1977	6-8	守 和子
		クロマトグラフィーセミナー要旨集			
バニリルマンデル酸〈血漿〉	* 1	Clin. Chem. 27 Clin. Chem. 34 (12)		2060 2504-2506	Anderson, G.M. et.al Alfredo Gironi, et al.
バニリルマンデル酸〈蓋尿〉《クレアチニン補正》		Clin. Chem. 25		1234	Flood, J. G. et al
ホモバニリン酸〈血漿〉	* 1	Clin. Chem. 34 (12)	1988		Alfredo Gironi, et al.
ホモバニリン酸〈蓄尿〉《クレアチニン補正》	※ 1	Clin. Chem. 27	1981	228	Rosano, T. G. et al.
セロトニン		J. Chromatogr. 341	1985		Picard, M. et al.
5 - ハイドロキシインドール酢酸 インスリン		Clin. Chem. 28	1982		Rosano, T. G. et al.
インスリン抗体		日本臨牀 68 増刊号 1 医学と薬学 60	2008	511-513	田村明,岡芳知村山寛,他
Cーペプチド	* O	医療と検査機器・試薬 29 (5)		485-491	唐澤美佳,他
抗GAD抗体	※ 1	医学と薬学 72 (9)	2015	1551	及川 洋一,他
抗 I A-2抗体	※ 1	医学と薬学 75 (6)	2018	669	川崎 英二,他
1 1 Ab T 14 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		医学と薬学 66 (2)	2011		川崎 英二,他
ヒト絨毛性ゴナドトロピン HCG- <i>B</i> サブユニット		臨床検査機器・試薬 20 機器・試薬 14		609-613	花川 準司
HCG-βサノユニット プレグナンジオール、プレグナントリオール		機器・試薬 14 Endocrine J. 50	1991	-	菅原 由人,他 Suzuki, T. er.al.
抗ミュラー管ホルモン		医学と薬学 72 (1)		109-118	浅田 義正, 他
エストラジオール		産科と婦人科 73		133-140	岩佐武,他
テストステロン	※ 1	医学と薬学 70 (2)	2013	331	松崎 利也,他
遊離テストステロン				147-151	大塚 喜彦,他
プロゲステロン		産科と婦人科 73		133-140	岩佐武,他
癌胎児性フィブロネクチン ス字原符状活力照料はエラスタード		医学と薬学 72 (9) 臨床検査機器・試薬 21		1591-1594	奥田 直貴,他
子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ ヒト心房性Na利尿ポリペプチド		検査機器・試薬 36 (5)	2013	357-361 699	北村 光, 他 積田 智佳, 他
脳性Na利尿ペプチド		医学と薬学 65		657-661	蔦本 尚慶, 他
脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント		医学と薬学 74 (5)		607-617	古屋実,他
エリスロポエチン	※ 1	医学と薬学 67 (2)	2012	297	増田 詩織, 他
		日本臨床検査自動化学会会誌 37 (suppl.1)	2012		市原清志
サイクリックAMP ヒスタミン	※ 1	Biochem. Med. 18	1977		Honma, M. et al
肝細胞増殖因子	* 1 * 1	British Journal of Anaesthesia 肝胆膵 25	1995	430-437	武藤 泰敏, 他
腫瘍関連検査		IIIIIIII EU	1002	011	P(1)3 - 3, 9)3, 10
a−フェトプロテイン	* 0	日本臨牀 68 増刊号 7	2010	665-669	青柳 豊, 他
AFPレクチン分画 / LBA		JJCLA 43	2010		吉川 友康,他
癌胎児性抗原	* O	日本臨牀 68 増刊号 7		674-677	黒木 政秀
塩基性フェトプロテイン	 % 5	臨床病理 36	1988	1039-1044	設楽 光弘,他
DUPAN-2	※ 5			705-710	櫻林 郁之助,他
CA19-9		日本臨牀 68 増刊号 7		685-687	小田桐 恵美
S P a n 1 シアリル L e ^x ー i 抗原		核医学 27 癌と化学療法 14		405-413	福田 容子, 他 井村 祐夫, 他
シアリルTn-抗原		癌と化学療法 16		3213-3219	
C A 7 2 – 4		医学と薬学 49	2003		青山 昭, 他
CA54/61	 * 5	癌と化学療法 19	1992	827-835	野澤 志朗,他
NCC-ST-439		臨床病理 35			吉岡 久,他
BCA225		基礎と臨床 23			石和久,他
CA125		日本臨牀 68 増刊号 7		681-684 2085-2093	平地修,他
C A 6 0 2 C A 1 5 – 3		癌と化学療法 19 医学と薬学 61		105-113	野澤 志朗, 他 三浦 雅一, 他
扁平上皮癌関連抗原		医学と薬学 52		413-421	高木康,他
シフラ		埼臨技会誌 61 (1)	2014		吉野 亜紀,他
ガストリン放出ペプチド前駆体		医学と薬学 62		759-766	古川 徹, 他
γーセミノプロテイン		医学と薬学 43		97-106	佐藤 達郎,他
I 型コラーゲンCテロペプチド		ホルモンと臨床 42			清原剛,他
前立腺特異抗原		日本臨牀 68 増刊号 7		739-742	栗山 学 田中 一平 他
P I VKA - II 《CLIA》 神経特異エノラーゼ		細胞 47 医学と薬学 60		561-565 657-663	田中 一平, 他 花田 浩之, 他
エラスターゼ1		臨床病理 50		376-380	大出 勝也,他
尿中NMP22		医学と薬学 43		397-400	坪井 五三美,他
PSAフリー/トータル比	% 5	Prog.Med. 21			武田 悟,他
PSA-ACT		医学と薬学 49		325-332	大野 明美, 他
抗p5 3 抗体		医学と薬学 75		955-964	橋本 礼輔, 他
高感度PSA		Prog.Med.		2279-2283	
HER2蛋白定量	*1	Int. J. Biol. Markers 19	2004		Luftner D, et al.
薬物検査			000	100= :	++ +
フェニトイン、フェノバルビタール		Med. Technol. 37		1005-1008	
プリミドンカルバマゼピン、バルプロ酸ナトリウム	* 2 * 0	臨床化学 6 (3) Med. Technol. 37		202-211 1005-1008	宮本 侃治 まな 一恵
エトスクシミド		臨床化学 6(3)		202-211	宮本 侃治
-10//51		MBRALLO 1- O (O)	1010	-02-211	H-+- NP/H

検査項目名	委最 託 先終	参考文献名	発行年	頁	著者
クロナゼパム	 * 2	日本臨牀 48(増)	1990	1116-1119	菱田 広
ニトラゼパム	 * 2	日本臨牀 53 (増)	1995	911-914	安田 公夫
ジアゼパム	% 2	Jornal of Chromatography 150	1978	361-366	Brocli RR et al.
ゾニサミド	 * 2	医療と検査機器・試薬 38 (2)		205-210	安田 真依, 他
クロバザム	%2	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		41-49	Kunicki PK
ガバペンチン	*2	Eur J Clin Pharmacol 55		697-705	TomsonT,et al.
レベチラセタム	*1	Epilepsy 4 (2)	2010		赤松 直樹,他
ラモトリギン	*2	臨床精神薬理 11	2008	117-134	村崎 光邦,他上野 哲.他
ハロペリドール、ブロムペリドール リチウム(Li)		日本臨床検査自動化会誌 29 臨床化学 46 (1)		39-46	上野 召,他 細羽 恵美子,他
レードーパ		産業医学 17		170-171	中 和子
ジゴキシン	* O	臨床検査機器 · 試薬 23		273-279	山田 満廣, 他
プロカインアミド、キニジン		日本臨床検査自動化学会会誌 33(5)		860-864	木村 秀樹, 他
アプリンジン		日本臨牀 53 (増)		989-993	鈴木 信
リドカイン		臨床化学 6(3)		202-211	宮本 侃治
ジソピラミド	 % 2	臨床検査機器・ 試薬 6 (2)	1983	520-523	扇谷 茂樹,他
ピルニカイニド	 %2	薬理と治療 17(6)	1989	2741-2749	田辺 晃久,他
プロパフェノン	% 2	Clinical Pharmacokinetics 21-1	1991	1-10	Hii JTY
メキシレチン	%2	新薬と臨床 38-10	1989	1825-1835	小竹 武
フレカイニド	% 2	臨床薬理 21-4		713-723	金澤 知博
シベンゾリン	 %2	Pharma Medica 14-9		155-166	大塚実
アミオダロン	*2	Cardiologist 3-9		566-571	笠貫 宏
ピルメノール	*2	臨床医薬 11 (4)		903-906	市川林,他
ベプリジル ゲンタマイシン	*2 *2	JPN.J.ELECTROCARDIOLOGY 31 (2) 医学と薬学 42 (6)		150-157 1061-1074	鎌倉 令,他
トブラマイシン	* 2 * 2			860-864	石橋 みどり,他
アミカシン	* 2 * 2	日本臨床検査自動化学会会誌 33 (5)		860-864	木村 秀樹, 他
バンコマイシン	* 2			103-107	石澤 春美,他
アルベカシン	*2			705-717	新島 端夫
バンコマイシン	 * 2			860-864	木村 秀樹, 他
テイコプラニン	%2	日本臨床検査自動化学会会誌 38(1)		79-82	師岡 美里,他
テオフィリン	* 0	Med. Technol. 37	2009	1005-1008	末森 一恵
シクロスポリン	%2	医学と薬学 70 (5・6)	2013	961-973	古屋実,他
タクロリムス	% 2	医学と薬学 70 (5・6)	2013	961-973	古屋実,他
サリチル酸	%2	日本臨床検査自動化学会会誌 33(5)		860-864	木村 秀樹, 他
アセトアミノフェン	% 2	H-F-MAPPINE HAVE STATE OF (C)		860-864	木村 秀樹,他
メトトレキサート	%2	医学と薬学 72 (4)		761-767	中原、佑香里,他
乱用薬物スクリーニング、覚せい剤検査等	* 1	Mandatory Guidelines for Federal Workplace Drug Testing Programs, USA.		327	Depertment of Health and Human Services
農薬スクリーニング パラコート	* 1 * 1	第24回日本環境化学会講演会資料集 アルキルジピリジウム系農薬/HPLC. 薬毒物検査マニュアル1999年		30-45	福島 実 日本法医学会
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		(日本法医学会法医中毒学ワーキンググループ編)	1000	04-00	日本仏区于五
ウ イ ル ス 学 検 査					
IgG・HA抗体、IgM・HA抗体	% 5	医学と薬学 58	2007	151-161	矢野 公士,他
HBs抗原	 0 *	機器・試薬 17	1994	1161-1166	山口 芳子,他
HBs抗体	% 0				山口 芳子,他
HBe抗原、HBe抗体	* 5			621-628	宮川 正明, 他
H B c抗体《PHA》	* 5	NE - IXIII - I		1442-1446	大森 友幸,他
H B c 抗体《CLIA》		Prog.Med. 22		1037-1046	飯田 健一,他
IgM・HBc抗体	*5	医学と薬学 52 肝胆膵 41	2004	847-858	中尾 瑠美子,他
HBVプレコア変異及びコアプロモーター変異 HBV-DNA定量/リアルタイムPCR		がた かん			
HBVゲノタイプ	× 5	医学と薬学 70			松山和弘,他
		医学と薬学 73 臨床病理 57 (1)	2016	1329-1339	菅原 昌章,他
	 * 2	臨床病理 57(1)	2016 2009	1329-1339 42-47	菅原 昌章,他 田中 靖人,他
HCV抗体	*2 *0		2016 2009 2010	1329-1339 42-47 446-449	菅原 昌章,他
	*2 *0 *5	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6	2016 2009 2010 2007	1329-1339 42-47	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他
HCV抗体 HCVコア蛋白-HS	*2 *0 *5 *5	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45	2016 2009 2010 2007 2016	1329-1339 42-47 446-449 454-466	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R	*2 *0 *5 *5 *5	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73	2016 2009 2010 2007 2016 2013	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別	*2 *0 *5 *5 *5 *5	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》	*2 *0 *5 *5 *5 *2 *2	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1)	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al.
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》	*2 *0 *5 *5 *5 *2 *2	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1)	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al.
H C V 抗体 H C V コア蛋白 — H S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V — I 抗体《PA》 H T L V — I 抗体《CLIA》 H T L V — I 抗体《確認試験》	*2 *0 *5 *5 *5 *2 *2 *0 *1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2)	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al.
H C V 抗体 H C V コア蛋白 — H S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V — I 抗体《PA》 H T L V — I 抗体《CLIA》 H T L V — I 抗体《確認試験》	*2 *0 *5 *5 *5 *2 *2 *0 *1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) C lin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査	*2 *0 *5 *5 *5 *2 *2 *0 *1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) C lin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9)	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425	管原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al.
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R	*2 *0 *5 *5 *2 *2 *0 *1 *1 *1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6)	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015 2016	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性	*2 *0 *5 *5 *2 *2 *0 *1 *1 *1 *1 *5	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015 2016 2000	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーHS H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルスpp65抗原	*2 *5 *5 *5 *2 *2 *0 *1 *1 *1 *1 *5 *2	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11)	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015 2016 2000 1993	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権藤 久司, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア	*2 *5 *5 *5 *2 *2 *0 *1 *1 *1 *1 *5 *2 *1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015 2016 2000 1993 1994	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権藤 久司, 他 浅井 隆善, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 科別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原で サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス特異抗原〈塗抹標本〉	*2 *5 *5 *5 *2 *2 *0 *1 *1 *1 *1 *5 *2 *1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) C lin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7 J. Clin. Microbiol. 26	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015 2016 2000 1993 1994 1988	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権藤 久司, 他 浅井 隆善, 他 Espy, M. J. et al.
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - T 航 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原ア 単純ヘルペスウイルス特異抗原〈塗抹標本〉 ロタウイルス抗原	*2 *0 *5 *5 *2 *2 *0 *1 *1 *1 *1 *1 *5 *2 *1 *1 *5	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7 J. Clin. Microbiol. 26 小児科臨床 41	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015 2016 2000 1993 1994 1988 1988	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22 397-400	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 木藤 及司, 他 浅井 隆善, 他 Espy, M. J. et al. 篠崎 立彦, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス抗原 H P V - D N A 同定《中~高リスク型》(低リスク型)	#2 #0 #5 #5 #5 #2 #0 #1 #1 #1 #1 #5 #2 #1 #1 #1 #5 #2 #1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) C lin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7 J. Clin. Microbiol. 26 小児科臨床 41 医学と薬学 39	2016 2009 2010 2017 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015 2016 2000 1993 1994 1988 1988 1998	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22 397-400 849	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権護 久司, 他 清井 隆善, 他 Espy, M. J. et al. 篠崎 立彦, 他 石 和久, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 九原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス pp65抗原 サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス 抗原 で全球標本》 ロタウイルス 抗原 H P V - D N A 同定〈中~高リスク型〉〈低リスク型〉 パルボウイルス B 19 D N A	#2 #0 #5 #5 #5 #2 #0 #1 #1 #1 #1 #5 #2 #1 #1 #1 #1 #1 #1 #1 #1 #1 #1 #1 #1 #1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) C lin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 与ロの移植 7 J. Clin. Microbiol. 26 小児科臨床 41 医学と薬学 39 臨床検査 37	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2016 2000 1993 1998 1998 1998 1998	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22 397-400 849 164	管原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権護井 隆善, 他 Espy, M. J. et al. 篠崎 立彦, 他 石 和久, 他 布上 菫
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーHS H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗体 (確認試験》 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス対原定性 サイトメガロウイルス対原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス対集抗原〈塗抹標本〉 ロタウイルス抗原 H P V - D N A 同定(中~高リスク型〉(低リスク型) パルボウイルス B 19 D N A E B V - D N A 定量	#2 #0 #5 #5 #5 #2 #0 #1 #1 #1 #1 #5 #2 #1 #1 #1 #5 #2 #1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) C lin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7 J. Clin. Microbiol. 26 小児科臨床 41 医学と薬学 39 臨床検査 37 Genome Res. 6	2016 2009 2010 2017 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2005 2015 2016 2000 1993 1994 1988 1988 1998 1999	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22 397-400 849 164 986	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 〇かっ T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権藤 久司, 他 浅井 隆善, 他 Espy, M. J. et al. 寝崎 立彦, 他 石 和久, 他 布上 菫 Heid, C. A. et al.
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 九原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス pp65抗原 サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス 抗原 で全球標本》 ロタウイルス 抗原 H P V - D N A 同定〈中~高リスク型〉〈低リスク型〉 パルボウイルス B 19 D N A	# 2 # 0 # 5 # 5 # 2 # 2 # 0 # 1 # 1 # 1 # 5 # 2 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) C lin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7 J. Clin. Microbiol. 26 小児科臨床 41 医学と薬学 39 臨床検査 37	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2001 2000 1993 1994 1988 1998 1998 1999 1999 2009	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22 397-400 849 164	管原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権護井 隆善, 他 Espy, M. J. et al. 篠崎 立彦, 他 石 和久, 他 布上 菫
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗体 (確認試験》 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス抗原 サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス抗原 H P V - D N A 同定(中~高リスク型)(低リスク型) パルボウイルス B 19 D N A EBV-D N A 定量 ノロウイルス - R N A マルチ	# 2 # 0 # 5 # 5 # 2 # 2 # 0 # 1 # 1 # 1 # 5 # 2 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1 # 1	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図認臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7 J. Clin. Microbiol. 26 小児科臨床 41 医学と薬学 39 臨床検査 37 Genome Res. 6 臨床と微生物 36 医学と薬学 61	2016 2009 2010 2007 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2007 2015 2000 1993 1994 1988 1988 1998 1998 1999 2009	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22 397-400 849 164 986 251-256 93-98	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 〇Dno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権藤 久司, 他 浅井 隆善, 他 医spy, M. J. et al. 篠崎 立彦, 他 石 和久, 他 布上 菫 Heid, C. A. et al. 田所 健一, 他
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイムP C R H C V V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - 抗原・抗体 HIV-1/2抗体確認検査 H I V - 1 R N A 定量/リアルタイムP C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス pp65抗原 サイトメガロウイルス pp65抗原 サイトメガロウイルス 抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス 特異抗原〈塗抹標本〉 ロタウイルス抗原 H P V - D N A 同定〈中~高リスク型〉〈低リスク型〉 パルボウイルス B 19 D N A E B V - D N A 定量 ノロウイルス 九原 《EIA》	#2 #0 #5 #5 #5 #2 #2 #0 #1 #1 #1 #1 #5 #2 #1 #1 #5 #5 #5 #5 #5 #5	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7 J. Clin. Microbiol. 26 小児科臨床 41 医学と薬学 39 臨床検査 37 Genome Res. 6 臨床と微生物 36 医学と薬学 61	2016 2009 2010 2017 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2015 2016 2000 1993 1994 1988 1998 1998 1999 2009 2009	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22 397-400 849 164 986 251-256 93-98	管原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 〇Dno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権藤 久司, 他 浅井 隆善, 他 Espy, M. J. et al. 篠崎 立彦, 他 石 和久, 他 布上 菫 Heid, C. A. et al. 田所 健一, 他 田中 智之
H C V 抗体 H C V コア蛋白ーH S H C V - R N A 定量/リアルタイム P C R H C V 群別 H C V サブタイプ解析 H T L V - I 抗体《PA》 H T L V - I 抗体《CLIA》 H T L V - I 抗体《確認試験》 H I V - T R N A 定量/リアルタイム P C R アデノウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原定性 サイトメガロウイルス抗原アンチジェネミア 単純ヘルペスウイルス特異抗原〈塗抹標本〉 ロタウイルス抗原 H P V - D N A 同定〈中~高リスク型〉(低リスク型) パルボウイルスB19 D NA EBV-D N A 定量 ノロウイルス-R N A マルチ ノロウイルス抗原 《EIA》 SARS-CoV-2核酸同定〈ぬぐい液〉(唾液〉	#2 #0 #5 #5 #5 #2 #2 #0 #1 #1 #1 #1 #5 #2 #1 #1 #5 #5 #5 #5 #5 #5	臨床病理 57 (1) 日本臨牀 68 増刊号 6 消化器科 45 医学と薬学 73 医学と薬学 70 Journal of Clinical Microbiology 35 (1) 図説臨床癌シリーズ 9 医薬と薬学 65 Clin. Diagn. Lab. Immunol. 5 (1) Clin. Lab. 63 (2) Prog.Med. 27 PLoS One 10 (9) 医学と薬学 73 (6) JARMAM 11 臨床血液 34 (11) 今日の移植 7 J. Clin. Microbiol. 26 小児科臨床 41 医学と薬学 39 臨床検査 37 Genome Res. 6 臨床と微生物 36 医学と薬学 61 Eftazyd anuel SMR-GM2 etectorial without RML etection and puritation. International Junual of Infectious Diseases. 2001, no. 89	2016 2009 2010 2017 2016 2013 1997 1986 2011 1998 2017 2015 2016 2016 1993 1994 1988 1998 1998 1999 2009 2009 2020 1973	1329-1339 42-47 446-449 454-466 1329-1339 633-641 201-207 42-50 651-655 45 227 425 705 93-98 1438-1444 553 22 397-400 849 164 986 9251-256 93-98 16-17 235-262	菅原 昌章, 他 田中 靖人, 他 石川 和克, 他 熊田 博光, 他 菅原 昌章, 他 長谷川 瞳, 他 Ohno T. et al. 池田 幹雄, 他 有馬 直道, 他 Zrein M, et al. Umeki K, et al. 武田 悟, 他 Moon HW.et.al. 目崎 和久, 他 小島 禎, 他 権藤 久司, 他 浅井 隆善, 他 Espy, M. J. et al. 篠崎 立彦, 他 石 和久, 他 布上 菫 Heid, C. A. et al. 田所 健一, 他 田中 智之 Fukumoto T, et al

検査項目名	委最託先終	参考文献名	発行年	頁	著者
ウイルス抗体の検出《CF法》	 * 2	臨床検査マニュアル	1988	880-886	北村 元仕,他
コクサッキー B群 (1型、6型)≪CF法≫	※ 1	臨床検査 17	1973	838	井上 栄
		微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査(第3版)第Ⅰ Ⅱ Ⅲ分冊			厚生省監修
ウイルス抗体の検出《HI法》	× 2	ウイルス実験学 各論(改訂二版) ウイルス実験学 総論 2版		133-135 214-225	国立予防衛生研究所学友会(編) 国立予防衛生研究所学友会
リイルス抗体の検出《HI法》 日本脳炎《HI法》、エコー(12型)《HI法》		ウイルス実験室診断法			臨床ウィルス談話会(編)
日本個人《IIIZ》、工工 (IZ至)《IIIZ》	- A I	臨床とウイルス別冊	1975		芦原 義 守
		ウイルス実験学 各論(改訂二版)		133-135	国立予防衛生研究所学友会(編)
		微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査(第3版)第Ⅰ Ⅱ Ⅲ分冊	1987		厚生省監修
EBV-VCA、EBV-EADR、EBV-EBNA		臨床病理 特(35)		179-189	日沼 頼夫,他
ウイルス抗体の検出		微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊			厚生省監修
水痘・帯状ヘルペス I g G、I g M		臨床とウイルス 13 (4) 臨床とウイルス 23 (1)		490-496 44-47	古田 晃,他
風疹 g M ムンプス g G		医学と薬学 42 (2)		33-306	佐藤 俊則, 他 中山 哲夫
パルボウイルス B19抗体 gG、 gM		感染症 69		1135	要藤裕孝,他
免疫血清学検査					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	W 0		0010	105 107	±.1. +c.±
ASO	※ 0	日本臨牀 68 増刊号 6		135-137	中山哲夫
抗ストレプトキナーゼ	₩ E	日本臨牀 39 (6) 臨床検査機器・試薬 7		685-688 417-422	伊藤 忠一
寒冷凝集反応	* O	臨床検査法提要 34版		920-921	土屋 彦治, 他 金井 正光
トキソプラズマ抗体IgG		Diagn Microbiol Infect Dis.62		235-244	Sickinger E, et al.
トキソプラズマ抗体IgM	* O	Diagn Microbiol Infect Dis.64		275-282	Sickinger E, et al.
マイコプラズマ抗体《CF》	* 1	臨床検査 19		1240	富山哲雄
マイコプラズマ抗体≪PA≫	₩0	日本臨牀 68 増刊号 6		234-236	森永 芳智, 他
マイコプラズマニューモニエ DNA同定	 % 2	医学と薬学 58 (4)	2007	565-571	山口 惠三,他
梅毒定性RPR、梅毒定量RPR	₩0	日本性感染症学雑誌 13		124-130	大里 和久
梅毒定性TP抗体、梅毒定量TP抗体		日本性感染症学雑誌 13		124-130	大里 和久
FTA一ABS《定性》	* 1	臨床検査法提要 第34版	2015		金井 正光
FTA一ABS《定量》		微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)		H-83	厚生省監修
F T A - A B S - I g M クラミジア・トラコーマチス/リアルタイムP C R	* 5	微生物検査必携 免疫血清反応検査(第2版)	1978	1007	厚生省監修 熊本 悦明,他
クラミジア・トラコーマチス抗体1gA&1gG		医学と薬学 37	1997		根原 祥子,他
クラミジア・ニューモニエ抗体IgA、IgG				1013-1021	宮下 修行
クラミジア・ニューモニエ抗体 I gM		小児科診療 71		95-99	宮下 修行, 他
淋菌/リアルタイム PCR	※ 1	医学と薬学 66 (6)		1007	熊本 悦明, 他
カンジダマンナン抗原	* 1	日本臨牀 66 (12)	2008	2313-2318	藤田 信一
		臨床検査機器・試薬 23 (3)	2000	197-203	新崎 晃弘,他
アスペルギルス抗原	* 1	医学と薬学 42	1999		見手倉 久治,他
アスペルギルス抗体	※ 1	Dis Chest 53	1968		Walter, J. S. et al.
エンドトキシン定量《ES法》		検査と技術 30	2003		石原 美弥子,他
(1→3)-β-D-グルカン	* 1	医学と薬学 67 臨床病理 44	2012 1996		吉田 耕一郎,他 大林 民典
プロカルシトニン	* 2	職休内は 44 医学と薬学 73 (4)		459-467	小林 一三,他
百日咳菌抗体		医学と薬学 65		531-536	岡田 賢司
百日咳菌抗体IgM、百日咳菌抗体IgA		小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2017		236-240	小児呼吸器感染症診療ガイドライン作成委員会
百日咳菌核酸検出	 # 5	J.Clin.Microbiol. 44			Kamachi, K. et al.
オーム病抗体	 % 2	臨床検査マニュアル	1988	880-886	北村 元仕, 他
ツツガ虫 Gilliam、ツツガ虫 Kato、ツツガ虫Karp	* 1	臨床とウイルス 12	1984		山本 正悟
クリプトコッカス ネオフォルマン抗原	※ 1	真菌と真菌症 30巻3号		211-221	篠田 孝子,他
ヘリコバクター・ピロリ抗体	* 0	医学と薬学 72		331-337	井上 和彦
便中へリコバクター・ピロリ抗原 尿素呼気試験《ユービット》	* 1	感染症誌 76	2002 1998		神谷 茂, 他
尿素呼気試験 《ピロニック》	* 5 * 5	Helicobacter 3 J.Gastroenterol, 33	1998		Ohara,S. et al. Ohara,S. et al.
R条行式試験《ピロニック》 CRP	* O	日本臨床検査自動化学会会誌66	1990		Oriendjo. Ot all.
血清アミロイドA蛋白	* 2	生物物理化学 37(1)		19-23	永徳 広美,他
プレアルブミン	* 1	臨床病理 44 (5)	1996		河合 忠, 他
尿中アルブミン	% 0	科学的根拠に基づく糖尿病診断ガイドライン	2004	67-80	日本糖尿病学会
$\alpha_1 \mathcal{P} \mathcal{V} \mathcal{F} F J \mathcal{J} \mathcal{V} \mathcal{V} \mathcal{V} \mathcal{A}_1 \mathcal{P} \mathcal{V} F \mathcal{J} J \mathcal{J} \mathcal{D} \mathcal{F} \mathcal{J} \mathcal{V}$	* 1	医学と薬学 29		1239	山下 順香,他
α1マイクログロブリン〈血清〉	 # 2	(1)		469-476	中野卓,他
α₁マイクログロブリン〈尿〉	* 5	医学と薬学 39		835-844	徳山 昌司郎,他
α ₂ マクログロブリン	* 1 * 0	日本臨牀 42(春季臨増) 医療と栓本機器・計算 06 (2)		1209	飯村 康夫,他
β ₂ マイクログロブリン セルロプラスミン	* 0 * 1	医療と検査機器・試薬 26 (2) 日本臨牀 42 (春季臨増)	2003	127	伊藤 浩治, 他 飯村 康夫, 他
トランスフェリン〈血清〉		日本職所 42 (春李職増) 検査と技術 16 (7)		593-598	伊藤 忠一
トランスフェリン〈尿〉	* 1	日本臨床検査自動化学会会誌 25 (5)	2000		齊藤 良一,他
フェリチン	* O	医学検査 59		194-198	飯沼 克弘,他
クリオグロブリン	※ 1	Clin.Chem.44 (7)		1558	Okazaki,T.et al
ミオグロビン	※ 1	医学と薬学 37	1997	1255	吉川 文雄, 他
心室筋ミオシン軽鎖1	% 5	医学と薬学 52		443-449	宮崎 修一,他
高感度心筋トロポニンT	* 0	医学と薬学 62		331-340	戸田 圭三,他
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白	*2	医療と検査機器・試薬 33 (5)		629-632	藤田孝,他
Ⅳ型コラーゲン	* 1 * 1	日臨検自動化会誌 28	2003		重村 雅彦, 他
尿中Ⅳ型コラーゲン	* 1 * 1	Lab.Clin.Pract.19 医学と変学 24	2001		東野、勲、他
プロコラーゲンⅢペプチド Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体	* 1 * 1	医学と薬学 24 臨床病理 63	1990	72-77	上野 隆登,他 柴田 宏,他
Mac-2結合蛋白糖類修即共任体 ハプトグロビン	* 1 * 1	臨床病理(特集第101号)	1996		河合 忠,他
APRAIT		小児科臨床 30		757-764	後藤玄夫
肺サーファクタントプロテインA、肺サーファクタントプロテインD		医学と薬学 71		161-166	大木 卓,他

検査項目名	委最 託 先終	参考文献名	発行年	頁	著者
更中カルプロテクチン	* 1	医学と薬学 74 (6)	2017	717	松岡 克善, 他
ロイシンリッチα₂グリコプロテイン(LRG)	* 1	臨床栄養 135(6)		748-750	伊藤 いづみ,他
		IBD Research 10 (4)		212-217	飯田 智哉,他
血清補体価	* 0	医学と薬学 76		345-353	大當京子,他
C ₃	*0	臨床検査機器・試薬 25 臨床検査機器・試薬 25		159-165 159-165	黒澤 弘美, 他 黒澤 弘美, 他
○₄ C 1 インアクチベーター活性	*0 *2	Immun Infekt 13		113-118	点字 加夫, 他 Dick W et al
リウマトイド因子	*0	医学検査 63		447-452	立石 亘,他
IgG型リウマチ因子	* 1	リウマチ科 22 (5)		499-510	栗原 夕子
抗ガラクトース欠損IgG	 * 5	医学と薬学 42		817-828	平山 吉朗, 他
MMP-3	* 0	医学検査 61	2012	778-782	飯沼 克弘,他
抗CCP抗体	 0 *	医学と薬学 64		767-777	林 伸英,他
抗核抗体	 % 2	臨床検査 30 (7)		687-692	東条 毅
抗LKM-1抗体	*2	医学と薬学 46(1)		109-114	竹村 真理,他
抗SS-A抗体	* 2	臨床検査法提要 30版 医学と薬学 68(2)		973-975 345-355	金井 正光 西山 進
抗SS-B抗体	 * 2			973-975	金井正光
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		医学と薬学 68 (2)		345-355	西山 進
抗Sm抗体	 * 2			973-975	金井 正光
		医学と薬学 68 (2)		345-355	西山 進
抗RNP抗体	 * 2	PHAT 1 17 (2012)		973-975	金井 正光
		医学と薬学 68 (2)		345-355	西山 進
抗DNA抗体	※ 1	日臨免疫会誌 17	1994		宮脇 晶二
抗ds-DNA抗体 I g G、抗ss-DNA抗体 I g G	*2	日本臨床検査自動化学会会誌 26 (6)		747-753	陣内 記代,他
抗ds-DNA抗体IgM、抗ss-DNA抗体IgM	*2 *2	医学と薬学 58 (5) 防床検索注提票 20 版		763-767 973-975	山下 雅樹, 他 金井 正光
抗Scl-70抗体	* Z	臨床検査法提要 30版 医学と薬学 70(1)		109-117	松下雅和
抗Jo-1 抗体	* 2	臨床検査機器・試薬 13 (4)		835-838	西海 正彦
7,000	~ L	医学と薬学 70 (1)		109-117	松下雅和,他
抗セントロメア抗体	*2	医学と薬学 45 (1)		129-135	宮脇 昌二、他
抗ミトコンドリア抗体	* 1			1416	長島 秀夫, 小出 典男
抗ミトコンドリアM2抗体	* 1	医学と薬学 67 (3)	2012	485	丹野 瑞木,他
抗血小板抗体	※ 1	Med.Techol.11	1983	724	坂本 久浩
血小板表面 I g G	* 1	臨床検査 32	1988		倉田 義之,他
抗カルジオリピン・β ₂ GPI複合体抗体	※ 1	医学と薬学 26	1991		小池 隆夫,他
抗カルジオリピン抗体IgG	* 1	医学と薬学 36		1389	岡田 純,他
抗カルジオリピン抗体IgM 抗アセチルコリンレセプター結合抗体	* 1 * 2	Thrombosis Research 146 ホルモンと臨床 48 (1)	2016	89-93	Keiji Oku 太田 光熙,他
抗がセチルコリンレセフター福音机体 抗MuSK抗体	* 1		2000		本村政勝,他
NEW COLUMN TO THE PARTY OF THE		Nature Medicine 7 (3)	2001		Hoch, W et al.
抗平滑筋抗体	* 1	日本臨牀 42(春季臨増)		1430	長島 秀夫,他
抗胃壁細胞抗体	* 1	J.Clin.Invest. 44	1965	2021	Jeffries, G.H.et al.
抗糸球体基底膜抗体	* 1	医学と薬学 66 (6)	2011	1099	平田 寛之,他
抗好中球細胞質抗体	* 1	医学と薬学 66 (6)		1099	平田 寛之,他
		医学と薬学 73 (1)	2016		宮原 涼馬, 他
抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体	* 1	医学と薬学 66 (6)		1099	平田 寛之,他
はノンフロンエトプター 七仕	w E	医学と薬学 73(1)	2016		宮原 涼馬, 他
抗インスリンレセプター抗体	* 5	臨床検査 34 Science 190	1990	941-946	小林 正, 他 Flier,J.S et al.
抗デスモグレイン 1 抗体、抗デスモグレイン3抗体	* 1	Mebio 27 (6)	2010		横山 知明,他
NO ACCOUNT OF THE PROPERTY OF THE OWNER.		日本臨牀 68(増刊6)	2010		天谷 雅行
抗BP180抗体	* 5	医学と薬学 70		989-1000	吉田かおり、他
ABO式血液型、Rh (D)因子	 # 0	Medical Technology Vol.22 No.7			
		Blood Group Immunology DADE			
		Technical Manual 第8版 aaBB			
Rh一Hr式血液型	* 1	Med.Techol.11	1983	631	山崎順啓
直接クームス試験、間接クームス試験	% 0	輸血検査マニュアル		1010 1015	河瀬 正晴
구르	× 4	臨床検査法提要 35版		1013-1018 1097	金井 正光
定量クームス試験 不規則性抗体	* 1 * 0	検査と技術 24 Med.Techol.11	1983		松田 仁志,他 南雲 文夫
↑祝則性机体 交差適合試験(クロスマッチ)	** 0	Med.Techol.TT 輸血検査マニュアル	1963	001	河瀬 正晴
免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	*2	日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版	1977	8-26	大谷 英樹, 他
	*2	日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版	1977		大谷 英樹,他
色疫電気泳動(特異抗血清による同定)、ベンス・ジョーンズ蛋白同定		最新電気泳動実験法		61-74	佐々木 征治, 他
	%2		2002	159-165	黒澤 弘美、他
オリゴクローナルバンド	*2 *0	臨床検査機器・試薬 25	2002	100-100	無序 五天、16
オリゴクローナルバンド IgG、IgA、IgM IgG4		日本臨床免疫学会会誌 21	1998	145-149	崎山 幸雄,他
オリゴクローナルバンド IgG、IgA、IgM IgG4 免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比	*0 *5 *5	日本臨床免疫学会会誌 21 医学と薬学 74	1998 2017	145-149 945-950	崎山 幸雄,他 守田 由香,他
e疫電気績(特異抗血清による同定)、ベンス・ジョーンズ蛋白同定 オリゴクローナルバンド IgG、IgA、IgM IgG4 免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比 非特異的IgE	** 0 ** 5 ** 5 ** 1	日本臨床免疫学会会誌 21 医学と薬学 74 アレルギーの領域 2	1998 2017 1995	145-149 945-950 920	崎山 幸雄, 他 守田 由香, 他 島津 伸一郎, 他
オリゴクローナルバンド IgG、IgA、IgM IgG4 免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比 非特異的IgE 特異的IgE(シングルアレルゲン)、TAP-18	**0 **5 **5 **1 **1	日本臨床免疫学会会誌 21 医学と薬学 74 アレルギーの領域 2 アレルギー 40	1998 2017 1995 1991	145-149 945-950 920 544	崎山 幸雄, 他 守田 由香, 他 島津 伸一郎, 他 奥平 博一, 他
オリゴクローナルバンド IgG、IgA、IgM IgG4 免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比 非特異的IgE 特異的IgE(シングルアレルゲン)、TAP-18 特異的IgE(マルチアレルゲン)	*0 *5 *5 *1 *1	日本臨床免疫学会会誌 21 医学と薬学 74 アレルギーの領域 2 アレルギー 40 アレルギー 40	1998 2017 1995 1991 1991	145-149 945-950 920 544 544	崎山 幸雄, 他 守田 由香, 他 島津 伸一郎, 他 奥平 博一, 他 奥平 博一, 他
オリゴクローナルバンド IgG、IgA、IgM IgG4 免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比 非特異的IgE 	*0 *5 *5 *1 *1 *1	日本臨床免疫学会会誌 21 医学と薬学 74 アレルギーの領域 2 アレルギー 40 アレルギー 40 医学と薬学 23	1998 2017 1995 1991 1991 1990	145-149 945-950 920 544 544 83	崎山 幸雄, 他 守田 由香, 他 島津 伸一郎, 他 奥平 博一, 他 奥平 博一, 他 我妻 義則, 他
オリゴクローナルバンド IgG、IgA、IgM IgG4 免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比 非特異的IgE 特異的IgE(シングルアレルゲン)、TAP-18 特異的IgE(マルチアレルゲン)	*0 *5 *5 *1 *1	日本臨床免疫学会会誌 21 医学と薬学 74 アレルギーの領域 2 アレルギー 40 アレルギー 40	1998 2017 1995 1991 1991 1990 2006	145-149 945-950 920 544 544	崎山 幸雄, 他 守田 由香, 他 島津 伸一郎, 他 奥平 博一, 他 奥平 博一, 他

参考文献名 検査項目名 著者 細胞性免疫検査 T細胞・B細胞百分率 1981 865-871 Wauwe JV et al IgG-FcR⁺・T細胞百分率 The Journal of Immunology 130 (5) **%** 2 1983 2133-2141 Perussia B et al B細胞表面免疫グロブリン **%**2 Clinical Chemistry 28 (9) 1982 1905-1909 lp SH et al PHAによるリンパ球幼若化検査 **%** 2 臨床検査 23 (7) 1979 660-667 笠原 忠,他 Con-Aによるリンパ球幼若化検査 **%**2 臨床検査 23 (7) 1979 660-667 笠原 忠,他 薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST) **%**2 臨床免疫 15 (9) 1983 727-736 北見 啓之,他 NK細胞活性 **%** 2 Medical Technology 21 (7) 1993 574-580 康 浩一,他 モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析 ***2** Clinical Chemistry 28 (9) 1982 1905-1909 lp SH et al American Journal of Clinical Pathology 100 白血病・リンパ腫解析検査 (LLA) CD45ゲーティング ※2 1993 534-540 Borowitz MJ et al 好中球貪食能 Immunohaematol.7 1985 483 関 秀俊,多賀 千之 臨床病理 33 関 秀俊, 他 好中球殺菌能 ***** 1 1985 371 可溶性インターロイキン-2レセプター 医学と薬学 73 (7) 伏見 美津恵, 他 2016 875 ***** 1 医療と検査機器・試薬 39 (3) 2016 263 古川 亜紀, 他 染色体検査・遺伝子関連検査 1971 971-972 先天異常染色体G-Banding *2 The Lancet 2 Seabright M 先天異常染色体C-Banding **%**2 Exp Cell Res 75 1972 304-306 Sumner AT et al 先天異常染色体Q-Banding **%** 2 Hereditas 67 1971 89-102 Caspersson T at al 先天異常染色体高精度分染法 * 2 Proc Japan Acad 55 (1) 1979 15-18 Ikeuchi T et al 先天異常脆弱X染色体 **%** 2 Science 197 1977 265-266 Sutherland GR 先天異常染色体《FISH》 臨床FISHプロトコール 阿部達生監(秀潤社) 稲澤 譲治 1997 90-95 血液疾患染色体G-Banding 2 1971 971-972 The Lancet 2 Seabright M BCR-ABL1t (9;22) 転座、末梢血好中球BCR-ABL1t (9;22) 転座 ※ 2 臨床FISHプロトコール 阿部達生監(秀潤社) 1997 90-95 稲澤 譲治 Major BCR-ABL1mRNA (IS) 2015 Hirohisa Nakamae, et al 血液疾患染色体 8染色体、12染色体、X染色体、Y染色体 ※ 2 臨床FISHプロトコール 阿部達生監(秀潤社) 1997 90-95 稲澤 譲治 免疫関連遺伝子再構成検査 日本臨牀 47 (増刊号) 1989 113-123 村上 龍文, 他 RAS・BRAF遺伝子変異解析 BMC Cancer 13 2013 405 Bando H, 他 2 Journal of Translational Medicine 9 c-kit遺伝子変異解析 **%**2 2011 75 Alessandra Maleddu, et al H L A - A, B、H L A - D R(血清対応型タイピング) ※2 MHC 10 (1) 吉川 枝里, 他 2003 21-31

0-8 主要参考文献

検査項目名	委最 託 先終	参考文献名	発行年	頁	著者	
血液学検査						
白血球数	* 0	臨床検査法提要 35版	2020		金井 正光	
赤血球数	* 0	臨床検査法提要 35版		224-225	金井 正光	
血色素量	* 0	臨床検査法提票 35版		241-242	金井正光	
ヘマトクリット値 血小板数	* 0 * 0	臨床検査法提要 35版 臨床検査法提要 35版		226-227 263-265	金井 正光 金井 正光	
MCV、MCH、MCHC	* 0	臨床検査法提要 35版		227-228	金井 正光	
網状赤血球数	* 0	臨床検査法提要 35版		228-229	金井 正光	
好酸球数	※ 0	臨床検査法提要 35版	2020	265-266	金井 正光	
喀痰中好酸球	* 0	Med.Technol.別冊 染色法のすべて	1988		丹羽 欣正	
鼻汁中好酸球	* 5	臨床検査 29		267-272	奥田 稔	
血沈	* 0	臨床検査法提要 35版		366-368	金井 正光	
白血球像、赤血球像	* 0	血液細胞アトラス第3版 スキャッタグラムとその臨床	1988			
		~末梢血液像・骨髄像の対比による~血液形態観察のすすめ方				
好塩基性斑点赤血球	* 0	血液細胞アトラス第3版		29-30		
骨髓像	* 5	臨床検査法提要 33版	2010	245	金井 正光	
ペルオキシダーゼ染色	* 5	Med.Technol.別冊 染色法のすべて	1988	213	亀井 喜恵子	
エステラーゼ染色	* 5	Med.Technol.別冊 染色法のすべて	1988		齋藤 準一,他	
鉄染色	* 5	Med.Technol.別冊 染色法のすべて	1988		岡田・美樹・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
A L P染色	* 5	Med.Technol.別冊 染色法のすべて	1988		小池正,他	
PAS染色〈骨髄液〉	* 5	Med.Technol.別冊 染色法のすべて	1988		安達	
マラリア原虫 プロトロンビン時間	* 1 * 0	臨床検査法提要 29版 臨床検査法提要 35版	1983	383 414-418	金井 正光	
フィブリノーゲン	* 0 * 0	臨床検査法提要 35版 臨床検査法提要 35版		414-418	金井 正光	
活性化部分トロンボプラスチン	*·0	臨床検査法提要 35版		412-414	金井 正光	
FDP〈血漿〉	* 0	臨床検査法提要 35版		458-462	金井 正光	
FDP〈尿〉	* 1	臨床検査機器・試薬 14	1991		堀内 伸純, 他	
D-ダイマー	* 0	臨床検査法提要 35版	2020	458-462	金井 正光	
フィブリンモノマー複合体定量	* 1	日本臨牀 49	2001	813	和田 英夫,他	
ループスアンチコアグラント	* 1	臨床病理 43	1995	263	佐藤 久美子,他	
プラスミノーゲン	※ 1	機器・試薬 8	1985		坂東 史郎, 他	
アンチプラスミン《活性》	* 1	機器・試薬 8	1985		坂東 史郎, 他	
α2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体		機器·試薬 16		1107	徐吉夫,他	
アンチトロンビン《活性》	* O	機器・試薬8	1985		山口正人,他	
トロンビン・アンチトロンビン複合体 プロテインC《定量》	* 1 * 2	医療と検査機器・試薬 33 (4) 検査と技術 12 (7)		525-533 581-587	木村 真波,他	
プロテインC《活性》	* 1	検査と投例 12 (7) 臨床検査機器・試薬 15	1992		有村 国明,木村 典子	
プロテインS《定量》	*2	臨床検査機器・試薬 13 (4)		579-583	鬼沢実	
プロテインS《遊離型》	* 2	医学と薬学 51 (1)		167-172	坂田 敏幸, 他	
プロテインS《活性》	 # 2	臨床検査機器・試薬 15 (2)		166-171	鬼沢実	
血小板第4因子	* 1	血管と脈管 18	1987	326	高橋 芳右,他	
βートロンボグロブリン	* 1	血管と脈管 18	1987	326	高橋 芳右,他	
トロンボモジュリン〈血清〉〈血漿〉	※ 1	臨床病理 39	1991		天野 景裕, 他	
凝固因子(II、V、VII、VII、IX、X、XI、XII、XII因子)	* 1	Med.Technol.24	1996		安達 眞二,他	
第四日子様抗原		Proceeding of X VI th Congress of the ISTH	1997		Peltire J.Y.et.al.	
凝固抑制因子検査 第Ⅷ因子、第Ⅳ因子 フォン・ウィルブランド因子活性	* 1 * 1	日本臨牀 57(増刊) 機器・試薬6	1999 1983		高松 純樹 杉原 卓郎	
JAZ JANJJZTAJAE		1成位 昨天0	1300	021	12/5 千印	
微生物学検査						
一般細菌 塗抹鏡検	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修	
	* 5	Medical. Technology, 別冊 染色法のすべて	1988			
	* 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994			
好気性菌 培養・同定	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修	
横与林带 拉莱 同宁	* 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994			
嫌気性菌 培養・同定	* 5 * 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版) Medical. Technology, 別冊 染色法のすべて	1987 1988		厚生省監修	
	* 5 * 5	Medical. Technology, 別冊 楽色法のすべ(Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1988			
感受性試験/1菌種	* 5 * 5	臨床と微生物 37		331-334	小栗 豊子	
感受性試験/2菌種、感受性試験/3菌種以上	* 5	臨床と微生物 36		525-535	小栗 豊子	
真菌 塗抹鏡検	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修	
	* 5	Medical. Technology, 別冊 染色法のすべて	1988			
	* 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994			
真菌 培養・同定	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修	
	* 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994		IND. Ship. M	
됐다. 당하는 보다 있게 되면서	* 5	臨床病理44		67-75	山根一誠久,他	
酵母様真菌感受性試験	* 5 * 5	臨床病理45		190-200	山根一誠久,他	
淋菌、髄膜炎菌、百日咳菌	* 5 * 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修	
ジフテリア菌、マイコプラズマ、レジオネラ クロストリジオイデス・ディフィシル	* 5 * 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th) 微生物検査必携 細菌・真菌検査 (第3版)	1994 1987		厚生省監修	
7 HAT 9 2 A T 7 A T 7 1 2 1 2 10	* 5 * 5	MET MY MET	1987		才工日 血膠	
	* 5 * 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994			
カンピロバクター	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修	
	* 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994			
大腸菌血清型別	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修	
大腸菌ベロトキシン	* 5	感染症学雑誌71		248-254	甲斐 明美,他	
ウレアプラズマ	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修	
	* 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994			

検査項目名	委最託	参考文献名	発行年	頁	著者
クリプトコッカス、カンジダ、アスペルギルス	* 5	微生物検査必携 細菌·真菌検査 (第3版)	1987		厚生省監修
	※ 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994		
	※ 5	臨床病理44		67-75	山根 誠久,他
放線菌	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修
	* 5 * 5	Medical. Technology, 別冊 染色法のすべて Pergov's Manual of Determinative Protection (Oth)	1988 1994		
MRSA	* 5 * 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th) 微生物検査必携 細菌・真菌検査 (第3版)	1994		厚生省監修
WITTOA	* 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994		7 工日皿 10
トリコモナス	* 5	臨床と微生物 31 増刊号	2004		
レプトスピラ	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査 (第3版)	1987		厚生省監修
	 % 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994		
亢酸菌 塗抹鏡検(チールネルゼン法、蛍光法)		抗酸菌検査ガイド2016	2016		日本結核病学会抗酸菌検査法検討委員会
抗酸菌 分離培養(小川培地法、MGIT法)	※ 5	抗酸菌検査ガイド2016	2016		日本結核病学会抗酸菌検査法検討委員会
核菌群核酸同定/リアルタイムPCR、MAC/リアルタイムPCR	* 5	医学と薬学62		121-127	田口直子,他
亢酸菌同定《質量分析法》 	* 5	抗酸菌検査ガイド2020		47-70	日本結核・非結核性抗酸菌症学会編集
**************************************	w E	臨床微生物質量分析計検査法ハンドブック 2017.	2017	267 275	日本臨床微生物学会
吉核菌群同定 ΛAC同定	* 5 * 5	医学と薬学40 臨床と微生物29		367-375 93-100	矢ケ崎 満郎, 他 矢ケ崎 満郎. 他
ガA C 同足 抗酸菌 感受性試験 4 薬剤以上	* 5 * 5	抗酸菌検査ガイド2016	2002	JU-100	日本結核病学会抗酸菌検査法検討委員会
iki	* 5	モダンメディア54	2008	148-153	原田 登之,他
トリコバクター・ピロリ/培養	* 5	Prog.Med.15		2668-2672	大崎敬子,他
ヽリコバクター・ピロリ/感受性試験	* 5	日本化学療法学会雑誌48	2000	561-568	日本化学療法学会
	* 5	日本化学療法学会雑誌50		54-58	日本化学療法学会
MRSAスクリーニング	* 5	Perfomance Standards for Antimicrobial Susceptibility Testing.			CLSI
クロストリジオイデス・ディフィシル毒素	* 5	臨床と微生物20	1993	1045	山根 誠久,他
更培養(2菌種)	* 5	微生物検査必携 細菌・真菌検査(第3版)	1987		厚生省監修
更培養(3菌種)	% 5	Bergey's Manual.of Determinative Bacteriology (9th)	1994		
更培養(4菌種)	* 5	感染症学雑誌71		248-254	甲斐明美,他
透析液/R2A	* 5	透析会誌41	2008	159	日本透析医学会
一般臨床検査					
尿中一般物質定性半定量検査	* 0	臨床検査法提要 35版	2020	115-157	金井 正光
尤 渣	* O	一般検査技術教本	2012	110-107	日本臨床衛生検査技師会
NATE.		尿沈渣アトラス	2014		宮地 勇人,他
永糖定量	* 0	臨床検査法提要 35版	2020	131-134	金井 正光
· 尿蛋白定量	※ 0	臨床検査法提要 35版	2020	127-128	金井 正光
尿蛋白定量《クレアチニン補正》	※ 0	臨床検査法提要 35版	2020	1581	金井 正光
ベンス・ジョーンズ蛋白定性	₩0	臨床検査法提要 35版	2020	130-131	金井 正光
虫卵 (塗抹)・ (集卵)	 ₹ 5	臨床検査アトラス 4 寄生虫	1982		金子 清俊
		臨床検査法提要 35版		1284-1285	金井 正光
堯虫卵《セロファンテープ法》 	* 0	臨床検査法提要 35版		1287	金井 正光
k体鑑別 更中へモグロビン	* 0	臨床検査法提要 30版		192-196	A# T#
アメーバ検査	* 0 * 1	臨床検査法提要 35版 検査と技術 16		183-185 1269	金井 正光 宮原 道明, 真子 俊博
・グーバ検査 有液一般検査	* 0	臨床検査法提要 35版		203-211	金井 正光
植液 蛋白定量		臨床検査法提要 35版		212-214	金井 正光
植液 糖定量	* 0	臨床検査法提要 35版		214-215	金井 正光
宇刺液一般検査	* 0	臨床検査法提要 35版		189-203	金井 正光
字刺液 蛋白定量	* 0	臨床検査法提要 35版		193-194	金井 正光
L D(穿刺液)	* 0	臨床検査法提要 35版	2020		金井 正光
学刺液・沈渣	* 0	臨床検査法提要 35版		201-202	金井 正光
青液一般検査	* 0	臨床検査法提要 35版	2020	217-222	金井 正光
病 理 学 検 査					
マップ	* 6	病理学(臨床検査講座)	1982		三友善夫
77-工作工科以1次.且	W 0	病理技術マニュアル (下)	1982		ーニ及 一番大 日本病理学会 編
		組織病理学	1972		宮地 徹
		組織学検査法	1976		佐野 豊
		病理組織標本の作り方	1975		景山 喜三
		病理組織標本染色法	1982		平山 章
		外科病理学	1984		石川 英世
		免疫病理診断-基礎と実際-	1987		水口 國雄 編
		病理と臨床 6 (臨時増刊号) 「免疫組織と化学」	1988		渡辺 慶一 編
田胞診検査	* 6	Color Atlas of Cancer Cytology	1981		Masayosi Takahasi
		細胞診教本	1988		田中昇,他
		細胞診を学ぶ人のために 細胞診断	1990 1997		医子 隆一,他 服部 正次

個人情報保護方針

当社は、検体検査を主要な業務とし、国民の健康の維持と増進に寄与することを目的として事業活動を行っております。 当社は医療、健康に携わる企業として、お預かりした個人情報は、個人の人格尊重のもと慎重且つ適切に取り扱い、そ の保護・管理は当社の重要な課題であり、また社会的責務であると考えております。

個人情報の適正な取り扱いを実践するため、以下に個人情報に関する指針を定め、従業者一人ひとりが個人情報保護の 重要性を深く認識させるとともに、個人情報の管理体制を構築し、取得した個人情報の保護の徹底および適正な管理に 努めてまいります。

個人情報の取得

当社は、個人情報の取得に際しては、利用目的を特定し、当社の正当な事業の範囲内で適法かつ公正な手段により行います。

個人情報の利用

当社は、取得した個人情報は、特定された利用目的の達成のための範囲内でのみ利用し、目的外利用を行わないための措置を講じます。

外部委託

当社は、利用目的の範囲内において業務の一部を、外部に委託する場合があります。業務委託にあたりましては、個人情報を適切に取扱う委託先を選定し、委託先において適切な個人情報管理が実施されるよう努めます。

個人情報の第三者提供

当社は、法令等に定めのある場合を除き、ご本人の同意なしに、又は、医療機関等を通してご本人の同意を得ることなく第三者へ個人情報を提供いたしません。

個人情報の安全管理

当社は、個人情報保護の責任体制を確立し、不正アクセス、紛失、破壊、改ざん、漏えい又は滅失、毀損等のリスクを認識し、その防止を図るための必要かつ適切な対策を講じます。また、万一の事故の際には速やかに是正します。

法令及び関係規範の遵守

当社は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める 指針、その他の規範及びガイドラインを遵守するととも に、JISQ15001に準拠し、個人情報を保護いたします。

教育

当社は、個人情報の安全かつ適切な取り扱いが確保されるよう、従業員に対して教育啓発活動を実施いたします。

苦情及び相談に関する対応

当社は、個人情報の取り扱いに関する苦情及び相談への 対応は、苦情・相談窓口を設置し、誠意を持って対応いた します。

継続的改善

当社は、個人情報の保護に関するマネジメントシステムを策定し、実施してまいります。また、この個人情報保護マネジメントシステムは適宜見直しを行い、継続的に改善を図ります。

2005年4月1日 制定 2015年9月1日 改定

株式会社武蔵臨床検査所 代表取締役社長 杉田宏充

認定登録証



ISO 認 証 登 録 証 登録証付属書



-プライバシーマーク 登録証



医療関連サービスマーク 認定証書

登録番号・登録業務

埼玉県登録衛生検査所57号

登録業務

生化学的検査 免疫学的検査 血液学的検査 尿・糞便等一般検査 微生物学的検査 遺伝子関連・染色体検査

衛生検査所名称・所在地

醬 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8 TEL 04(2964)2621

FAX 04(2964)6659

URL http://www.e-musashi.co.ip



圣纪德生烯本证

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8 TEL04(2964)2621(代) FAX04(2964)6659 お問合せ受付時間 8:45~18:30(日曜日·祝祭日·年末年始を除く) URL https://www.e-musashi.co.jp